演　習　林　年　報

2015年度活動報告等

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

2016.7

はじめに

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林は，森林や樹木，林業に関する基礎的・応用的研究を行うとともに，森林を学習する学生たちに教育の場を提供することを目的として設置されています。大学演習林は，森林科学分野の講座を持つ大学に設置することが定められており，今から 120 年以上前の 1894 年 11 月 29 日に，当時の帝国大学（現在の東京大学）に千葉演習林が設置されて以来その歴史を刻んできました。現在，東京大学の演習林は全国7ヶ所の地方演習林と弥生キャンパス内の企画部および教育研究センターから構成されており，その総面積は 32,300 ha におよび，東京山手線内面積の5つ分に相当します。各地方演習林には，それぞれの地域の気候，地質と地形，歴史を背景とした特徴ある森林が生育しています。東京大学の演習林は林業・森林教育の実践の場として農学教育の発展に貢献するとともに，木材生産，国土保全，温暖化防止，生物多様性保全など多くの森林研究の場として学術的にも成果をあげてきました。東京大学の演習林は，大学関係者だけでなく一般の方が森に親しみ，森林に関する最新の知識を学ぶことのできる場を提供しており，近年その役割は大きくなっています。

森林の管理運営を含めた東京大学演習林の活動は長期的な視野を必要とするため，従来から10年を1期とする試験研究計画のもとで進められてきました。国立大学法人の中期計画の1期6年と比較すると，その長さが分かります。東京大学演習林は，2011 年度から新たな 10 年計画「演習林教育研究計画 2011～2020」の下で活動を行っています。2015 年度には，演習林の設置後初めて，外部評価委員4名に演習林の管理，研究，教育，社会貢献の評価と将来に対する提言を依頼しました。そして，演習林の多数の教職員の同席のもと，評価委員の評価結果を伺い，意見交換を行いました。その後，その評価と提言に基づいて，10 年計画「演習林教育研究計画 2011～2020」の一部を見直し，演習林の計画を修正しました。

この「年報」は 2015 年度の活動を対象としています。2015 年度は「演習林教育研究計画 2011～2020」の 5 年目に当たり，10 年計画前半の成果が問われ始める時期にあたります。新たな 10 年計画の開始とともに，特定テーマへの個性化を図るために改称された生態水文学研究所，富士癒しの森研究所の名称も次第になじまれてきています。しかしながら，大学関係の予算縮減と教職員定数削減の中にあって，高い研究倫理を保持し，森林内での教育研究活動と森林管理作業の安全を確保しつつ，学術的な成果を蓄積し，「演習林教育研究計画」がめざす成果を達成するためには，更に真摯な取り組みが必要です。

本冊子は「演習林教育研究計画」にそって着実な活動がなされているかを振り返るための基礎資料として作成しています。東京大学の内外の学生・院生の研究フィールドや実習，東京大学前期課程教育の全学体験ゼミナールでの利用をはじめ，附属演習林全体の活動，記録を掲載しました。有効な利用を期待しています。

2016 年6月

東京大学大学院　農学生命科学研究科
演習林長　富樫　一巳

目次

はじめに

演習林の概要 …… 1

組織図 …… 3

全演での取組み …… 4

演習林活動の統計 …… 8

演習林規則に則って開催された委員会・会議報告 …… 10

その他委員会・会議報告 …… 11

演習林の活動

各地方演習林活動

千葉演習林 …… 12

北海道演習林 …… 14

秩父演習林 …… 16

田無演習林 …… 18

生態水文学研究所 …… 20

富士癒しの森研究所 …… 22

樹芸研究所 …… 24

教育研究センター …… 26

各常置委員会活動 …… 28

資料

教育活動

大学院講義等 …… 42

学部講義等 …… 44

他大学の非常勤講師 …… 46

その他の講義実習対応 …… 46

4研究室の所属メンバー …… 47

所属学生の学位論文 …… 47

森林生態圏管理学大講座ゼミ …… 48

演習林教育研究センターゼミ …… 49

実習等 …… 50

研究活動

教職員の論文等 …… 53

学会発表等 …… 56

著書 …… 61

演習林を利用して行った論文等 …… 62

外部資金によって行われた研究 …… 65

社会連携

学外各種委員会等委員 …… 67

小中高等学校への対応 …… 69

公開講座・セミナー等 …… 71

学会，研究，市民教育等における講師等（招待講演を含む）…… 73

管理

管理面積集計表・林相別蓄積集計表・植栽樹種…… 78
立木伐採量…… 79
育林実行量…… 80
素材生産総括表・土木実行総括表・道路現況…… 82
予算配分・収入…… 83
演習林林産収入細分表…… 83
演習林技術職員等試験研究・研修会議…… 84

その他

国際交流
交流事業・国際シンポジウム・共同研究 …… 88
海外渡航…… 89
外国人研究者の来訪…… 90

出版広報活動
演習林報告・演習林…… 91
科学の森ニュース…… 92
演習林出版物…… 93
新聞雑誌放送等…… 95

安全衛生
安全防災のための講習会等 …… 96
資格取得のための講習等 …… 96
災害統計・山火事予防活動…… 97

研修
技術職員…… 98
事務職員…… 98

組織図
企画部・教育研究センター…… 99
千葉演習林…… 100
北海道演習林…… 101
秩父演習林…… 102
田無演習林…… 102
生態水文学研究所…… 103
富士癒しの森研究所 …… 103
樹芸研究所…… 103

人事異動 …… 104

利用状況
全利用者…… 105

各演習林所在地及び連絡先 …… 155

東京大学演習林の概要

1890年に東京農林学校が帝国大学に併合されて農科大学となり，1894年にはその附属施設として日本で初めての大学演習林が房総半島の南東部に位置する清澄に設けられた。これが，今日の東京大学千葉演習林の始まりである。引き続いて，教育研究目的や森林の生態的な特性を考慮しながら，北海道演習林（1899年），秩父演習林（1916年），生態水文学研究所（1922年），富士癒しの森研究所（1925年），樹芸研究所（1943年），田無演習林（1929年（演習林への移管は1982年））が設置され，さまざまな森林帯にわたる約32,000haの広大な面積の，世界的にも貴重で多様な森林資源を守り育ててきた。さらに，2000年度には大学院重点化が行われ，従来から関係の深い森林科学専攻ならびに関連分野の研究者との教育・研究協力関係を一段と発展させながら，大学院農学生命科学研究科の他の附属施設（農場，牧場，水産実験所，動物医療センター，緑地植物実験所）とともに生圏システム学専攻の協力講座として新たなスタートを切り，大学院教育にも主体的に参画している。現在，東京大学演習林は7つの地方演習林と企画部・教育研究センター（旧研究部）で構成されている。各地方演習林は，演習林全体としての共通理念に立脚しつつ，独自の教育研究計画に基づいて活動を行っている。

千葉演習林は，暖温帯に位置する総面積約2,200haの日本で最初の大学演習林である。スギ，ヒノキ，マツ類などの主要造林木の育成技術と持続的森林施業に関する試験を120年余にわたって実施してきた。また，モミ，ツガや広葉樹からなる貴重な天然林を有し，学内外のさまざまな分野の研究・教育に大きく貢献している。近年では，特に自然史や生態系に関する調査・研究を幅広く行っている。

北海道演習林は，亜寒帯に位置する総面積約23,000haの，東京大学では2番目に古い演習林である。択伐施業の実証的・理論的研究によって，林学と北方林業の発展に寄与してきた。各種の試験林が造成される一方，奥地天然林には11,000haの鳥獣保護区が設けられるなど北海道の森林動植物に関する各種の調査・研究に利用されている。特に1958年以降，北海道演習林の天然林全域を対象として，北方林の持つ環境保全機能と木材生産機能との調和を図る一大森林施業実験「林分施業法」を実施しており，その成果は国内外から高い評価を受けている。

秩父演習林は，冷温帯に位置し，総面積約5,800haと東京大学では2番目，青森県以南の大学演習林では最大の面積を有する演習林である。険しく多様な山岳地形の中にあるため，森林植生は変化に富み，生物相も多様である。大面積にわたる貴重な天然林を対象に森林生態系に関する調査・研究を数多く行っている。また，急傾斜の山岳林における人工林施業法，映像情報による森林情報の収集・蓄積・利用などに関する研究も行っている。

田無演習林は，本学農学部がある弥生キャンパスに近い西東京市に設けられている総面積約9haの演習林である。大学に近いことや，土地が平坦なことから造林学，森林植物学，森林動物学などの生物系の圃場実習や室内実験に多く利用されている。

生態水文学研究所は，愛知県の尾張東部・北部丘陵に位置する総面積約 1,300ha の演習林である。

林種は，荒廃山地（ハゲ山）から砂防植栽等により回復し，遷移した天然生林(76%)とヒノキやスギの人工林(24%)となっている。1922年の設置後まもなく，演習林内の山地流域からの水流出量の観測が順次開始され，3流域については現在まで観測が継続している。それらの長期水文データを基礎として，森林生態系に流入・循環・移動・流出する水，栄養塩，炭素，土壌，土砂，エネルギーの収支や時間変化，プロセス，メカニズムに関する様々な研究が行われている。また，森と水の自然科学教育，森と水と人の関係についての人文・社会科学教育の拠点として，主に農学部講義および実習に貢献している。

富士癒しの森研究所は，富士山麓山中湖畔に位置する総面積約40haの演習林である。立地条件を生かして森林の保健休養機能の解析や景観評価，環境教育に関する研究を行っている。また，演習林の一部には東京大学の学生・教職員の休養施設が設置され活用されている。

樹芸研究所は，伊豆半島南端の温暖な地にある総面積約250haの演習林である。特用樹木の利用と育成に関する基礎研究や演習林内に泉源を持つ温泉熱を利用した温室における熱帯・亜熱帯産樹木の育成と展示を行っている。

農学部（弥生）キャンパスに設置されている企画部・教育研究センターは，東京大学演習林の教育研究活動の中心であり，演習林全体の試験研究計画の円滑な実行を支援している。さらに，多方面の演習林利用希望者の便宜をはかること，共同研究の企画調整，各演習林の気象等観測結果のデータベース化と観測・研究成果の公表の場としての「演習林報告」および「演習林」の編集・発行，インターネット等を利用した情報公開促進・広報等，東京大学演習林全体に関わるさまざまな役割を担っている。

組織図

演習林長
演習林長補佐
演習林運営委員会
演習林会議
企画部
（企画部長，統括技術長）
「東京大学の森」育成資金委員会
森林病虫害委員会
国際交流委員会
広報情報委員会
環境安全管理委員会
教育推進委員会
研究推進委員会
基盤データ整備委員会
教育研究センター
樹芸研究所
富士癒しの森研究所
生態水文学研究所
田無演習林
秩父演習林
北海道演習林
千葉演習林

全演での取り組み

2015 年度は東京大学演習林の「教育研究計画 2011-2020」前半5年間最後の年にあたる。2015 年度もさまざまな取り組みを行ったが，最も大きなものとして「教育研究計画 2011-2020」に則って実施してきた活動を見直し，後半5年間の取り組みにいかしていくために実施した外部評価があげられる。東京大学演習林 120 年の歴史の中でも外部評価を実施したことはなく，また附属施設としての活動を見直し今後に活かしていくための外部評価ということで手探りの取り組みであったが，2015 年 10 月 23 日に外部評価委員会を開催し，4名の外部評価委員から評価結果の説明を受けるとともに演習林教職員との意見交換を行うことが出来た。

外部評価を実施するにあたり，まず「教育の場としての演習林」，「研究の場としての演習林」，「演習林の社会連携」といった視点を中心に評価を行う必要性から，研究者，大学関係者，民間企業関係者などを対象に人選を行い，4名の方に外部評価委員をお願いすることとした。外部評価委員のプロフィールは表-1の通りである。

外部評価委員には表-2に示すように「教育研究計画 2011-2020」がスタートした 2011 年度以降の活動がわかる資料と自己評価資料を事前に送付し，「教育」，「研究」，「社会連携・貢献」，「管理・運営」，「その他」の5項目にわたって自由に評価をしていただいた。各委員の外部評価の結果（要約）表-3の通りである。

外部評価委員会当日は表-3を踏まえたうえで4名の外部評価委員から説明を受け，東京大学演習林の活動の評価できる点と不足している点，今後期待される点などについて指摘をうけた。外部評価結果を受けて東京大学演習林として今後取り組む内容を再検討し，「教育研究計画 2011-2020」後半5年間の活動計画の一部見直しを行った。なお，外部評価の結果の詳細と評価結果を受けた見直し案は，2016 年度末に発行する「演習林」に掲載する予定である。

次に，2014 年度に申請していた技術職員再配分の要求が1名認められたことを受けてあらたに技術職員の選考採用を行い，ICT フィールド体験教育補助業務にあたる技術職員を北海道演習林に配置した。なお，技術職員の再配分要求（国際対応強化のための技術職員要求）は 2015 年度も引き続き行っているが再配分は認められなかった。

また 2017 年度概算要求事項として，秩父演習林影森地区に森林生物多様性教育研究施設の新築要求を提出した。

表-1：外部評価委員のプロフィール

委員氏名	杉山精一	長谷川香織
所属	自伐林家	住友林業株式会社
職名等	杉山林業代表	資源環境本部　山林部長
略歴等	地元県立吉田島農林高校（現総合）卒業後自営（農林業）し現在に至る。 神奈川県内で唯一の自伐林家として農林業経営をしている。 平成26年度53回全国農林水産祭参加大日本山林会主催全国林業経営推奨行事で農林大臣賞受賞	1989年　住友林業株式会社入社 四国九州東京で勤務 2002年　住友林業株式会社山林部紋別山林事業所長 2006年　住友林業フォレストサービス㈱取締役営林部長 2014年　住友林業株式会社山林環境本部山林部長

委員氏名	餅田治之	山本　進一
所属	一般財団法人林業経済研究所	国立大学法人　岡山大学
職名等	フェロー研究員	理事・副学長
略歴等	1971年　東京教育大学農学部卒業 1973年　東京教育大学大学院農学研究科修士課程修了 1981年　農学博士（北海道大学） 1985年　林業試験場研究員 1996年　筑波大学農林学系教授 2003年～2006年　筑波大学農林技術センター長 2010年　財団法人林業経済研究所所長 2013年　同上退任、同研究所フェロー研究員 2005年～2007年　林業経済学会長 外部委員： 農林水産省統計観測審議会委員、他 茨城県森林審議会委員、他	名古屋大学大学院生命農学研究科教授を経て、同大学農学部長・研究科長として部局マネージメントに関わる。 その後、名古屋大学理事・副総長として大学全体の研究・産学官連携・国際交流のマネージメントを担当。総長顧問を経て、岡山大学へ異動し、研究担当理事・副学長として地方の基幹的総合大学の研究マネージメントに携わっている。 この間、大学評価・学位授与機構客員教授として大学評価システム開発に従事するとともに、多数の国公私立大学の評価を担当。 専門は森林科学。 名古屋大学名誉教授。

表-2:外部評価資料一覧

	資料名	概要
①	演習林　　(第五十一号)	「教育研究計画2011～2020」掲載
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林　教育研究計画2011～2020　全演計画の概要	上記資料の「全演計画」部分の説明用スライド
②	東京大学演習林の平成23年度から平成26年度までの活動に関する自己評価	「教育研究計画2011～2020」にしたがって行ってきた平成23(2011)年度から平成26(2014)年度までの活動の報告と自己評価を「東大演習林全体として取り組む活動」,「地方演習林毎に取り組む活動」、「個々の教員の活動」に分けてまとめた資料。一部平成27(2015)年度の内容を含む場合がある。
	地方演習林等の平成23年度から平成26年度までの活動に関する自己評価	
	教員の平成23年度から平成26年度までの活動に関する自己評価(平成27年6月30日所属演習林別)	
③	演習林年報　　2011年度活動報告等	各年度の活動報告(「教育研究計画2011～2020」計画対象期間分)
	演習林年報　　2012年度活動報告等	
	演習林年報　　2013年度活動報告等	
	演習林年報　　2014年度活動報告等	
④	2015東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 概　要　　Since1894	2年に一度改訂される演習林概要の2015年度版。演習林全体について記載したもの(「全演版」と呼ばれる)と各地方演習林それぞれについて記載したもの(「各演版」と呼ばれる)を作成している。
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 千葉演習林　　2015	
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 北海道演習林　　2015	
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 秩父演習林　　2015	
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 田無演習林　　2015	
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 生態水文学研究所　　2015	
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 富士癒しの森研究所　　2015	
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 樹芸研究所　　2015	
⑤	科学の森で学ぼう　東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林へのご案内	学生確保のために作成している教員紹介資料の2015年度版。もともとは印刷媒体であったが，現在はpdf版をweb公開している。
⑥	No.54　科学の森ニュース	学内外向けの一般広報誌として年4回作成しているニュース(「教育研究計画2011～2020」計画対象期間発行分)。
	No.55　科学の森ニュース	
	No.56　科学の森ニュース	
	No.57　科学の森ニュース	
	No.58　科学の森ニュース	
	No.59　科学の森ニュース	
	No.60　科学の森ニュース	
	No.61　科学の森ニュース	
	No.62　科学の森ニュース	
	No.63　科学の森ニュース	
	No.64　科学の森ニュース	
	No.65　科学の森ニュース	
	No.66　科学の森ニュース	
	No.67　科学の森ニュース	
	No.68　科学の森ニュース	
	No.69　科学の森ニュース	
	No.70　科学の森ニュース	
⑦	“森たび”東京大学演習林の見どころ100 (森と出会う　森で出会う)	「演習林出版局」が発行している東大演習林の紹介を兼ねた書籍(「教育研究計画2011～2020」計画対象期間発行分)。
	東京大学樹芸研究所　　温室本　　芸のある植物たち	
	わが国最古の「大学の森」 東京大学千葉演習林のすべて	
	樹海をゆく～富良野・東京大学演習林の森づくり～ (フィールドに学ぶ人と森との共生)	
⑧	「演習林報告」・「演習林」　掲載論文一覧	演習林が発行している学術誌(紀要にあたる「演習林報告」と資料集にあたる「演習林」)の「教育研究計画2011～2020」計画対象期間発行分に掲載された原稿の一覧
⑨	平成23年度　　技術職員等試験研究・研修会議報告	毎年度実施している「技術職員等試験研究・研修会議」の報告集(「教育研究計画2011～2020」計画対象期間分)。後日学会誌に投稿する場合もあるので内部資料扱い。
	平成24年度　　技術職員等試験研究・研修会議報告	
	平成25年度　　技術職員等試験研究・研修会議報告	
	平成26年度　　技術職員等試験研究・研修会議報告	
⑩	日本列島　　大学の森めぐり　　－未来への軌跡－	大学演習林120周年を記念して2014年度に全国大学演習林協議会が作成した記念出版物。東京大学演習林は出版企画の中心として関わった。

表-3：外部評価結果の要約

委員氏名	教育	研究	社会連携・貢献	管理・運営	その他
杉山精一	初等教育の目的で学生に対して体験教育の場を与えることは、現場（フィールド）を知り汗を流しながらの学習も大切であると思われる。こうした教育活動を推進することにより、体験からチャンスを得られるキッカケになるのではないか。	研究部における計画、各演習林における立地、環境、状況を理解しながらフィールドの活用がなされ、基礎的な研究から数多くの新たな研究がなされていることは評価できる。しかし、研究過程のもの及び成果の出たものに対しては大学内や、学会等の発表だけでなく、利用できそうな組織へのアプローチも大切ではないか。	演習林を市民や他大学に開放、利活用されていることは素晴らしいことである。演習林関係者の努力は素晴らしいが、ハングリーに追求してもらえると社会連携、地域への貢献度は上がるのではないだろうか。	予算の削減等により関係者の努力と工夫により素晴らしい運営がなされていると思う。	「演習林をどうアピールしてゆくか」、「広大な演習林をどのように運営してゆくか」、「東大だけでなく開かれた演習林にしてゆくか」、「東大ブランドは維持しながら地域連携、貢献ではレベルを下げてわかりやすくし活用性を挙げる」、「各々の演習林のの教育、研究の成果を市民及び社会へのアピール」など検討して欲しい。
長谷川香織	演習林年報の全利用者を見ると、他大学・研究機関からの来訪者多く、学内外含め、教育については評価できる。	企業では難しいスパンの長い研究については、継続をお願いしたい。時間軸で、大学と企業が分業し合えば、研究成果が見えやすくなると思う。また、需要の変化によって林業経営は変わるべきものでもあるため、時々のトレンドにあわせた、科学的な知見も常に発信してもらいたい。	林業経営に携わる者として、大学演習林は「何をやっているのか良くわからない」存在である。森林総研や都道府県林試に合わせる必要はないが、地域特有のニーズについても掘り下げていく必要があるのではないか。地方創生の鍵は「林業の復活」と広く言われている中で、評論家的発言ではなく、フィールドを活かした連携・貢献の道があると思う。	演習林の管理運営を「経営」とみなすのであれば、PDCA回路が働く仕組みにするべきである。そのためにも評価し易い計画（数値目標が記載されている）を作成し、実行しながら常に確認作業を行い軌道修正していくべきである。	個人的には、大学演習林は教育研究に特化してほしい。特許、実用新案等、知的財産についても評価の対象になるのではないか。
餅田治之	教育に対するエフォートは20％前後の教員が多いが、中には30～40％以上の者もいる。それは評価されるべきであるが、演習林の教員には演習林の管理・運営の業務が課せられている。それ故、演習林の教育に対するエフォートを低減させることができるよう、研究科・学部の協力を得ることはできないか。 東大の各地方演習林はいずれも利用者の受入数が多い。なかでも他大学の教育活動の受け容れが多いの特徴である。それだけ東大演習林は社会的な貢献度が高いものと思われる。 全国大学演習林協議会が制度化した「公開森林実習」の科目が2014年度から開始された。この他大学の学生向けのプログラムが動き始めたことは歓迎すべき動き。	2011年から実施されている「教育研究計画」では、各地方演習林の「担うべき役割」が示され、その基本的な方針に基づいて研究が進められているように見える。規模の大きい演習林組織の場合、各演習林において実施される研究について、統一的な観点からの役割分担の明確化が要請されるが、その点本演習林の場合効果的に研究が進められている。 演習林に所属する個々の研究者の研究アクティビティーは、平成23年～26年の4年間の筆頭論文数、代表者としての科研獲得状況などから見て、かなり高いものと思われる。今後もこの水準の維持が期待される。 大学演習林所属の教員に限らず、研究に費やすことのできる時間は減少してきている。演習林教員のうち毎年ある一定割合について、研究のためのサバティカル制度を設け、研究意欲の維持・増進を図ることはできないだろうか。	一般公開やその他の行事を通じて、市民・小中学生を対象とした社会教育・自然教育・環境教育などの取り組みが、各地方演習林において実施されている。演習林側が市民や生徒たちに一方的にサービスを提供するだけではなく、市民と演習林が連携した仕組みで各種のイベントが行われていることは一歩進んだ地域貢献活動として評価できる。 市民向けないし入門者向けの森林や樹木についての啓蒙書が作られ、演習林の社会貢献活動の質の高さが感じられる。	二酸化炭素吸収量の認証を取得し、J-VERに基づくCO2吸収量のクレジット化を進めた。このことは大学演習林の運営として注目される。こうした姿勢は演習林における教育活動、研究活動に間接的にプラスの効果をもたらすものと考えられる。 「国際交流委員会」は、アジアにおける大学演習林の長期モニタリング研究の先導的な役割を果たすことが使命の一つとされている。東大演習林が国際的な連携・協力関係の推進役となることはまさに先導的であり、今後もより活発化されるべき活動分野である。	自然災害による被害の復旧工事、修繕費用など、予期しない出費に対する予算措置はどこがするのか。かつてはその都度文科省が予算を計上したが、国立大学法人化以降、演習林は文科省と直接的な予算のつながりが無くなった。学内でこうした費用を捻出するとしたら、迅速な対応は期待できない。
山本進一	学部教育、特に初年時教育における実践・体験教育において「森林体験」は自然に触れる重要な教育科目である。東京大学演習林はこの体験教育の充実において大きく貢献し、1学年の1割以上の学生がこの体験教育に参加していることは特に高く評価できる。ただし、教育効果についてなんらかの定量的な評価が必要である。 ICTを利用した教育はフィールド型体験実習でも重要であり、プログラムの提供は演習林の役割として大きく期待される。 地方演習林を有効に活用し全国の大学から学生を受け入れる「公開森林実習」制度への参加は、best practice である。 東京大学は第3期の中期目標・中期計画期間中に重点支援3として世界レベルの大学と伍した教育・研究を行なうこととされている。これは演習林の教育研究にも当てはまるため、国際レベルの教育が要求される。	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林は長い貴重な研究の蓄積があることは自他ともに認めるところである。「林象台」とも言える演習林での研究は、地道で長期にわたる定期的なデータ収集が不可欠である。全国の森林系研究者の研究フィールドとして、また、長期にわたるモニタリングデータは、長い歴史を有する東京大学演習林の成果として世界レベルである。このような取り組みに対して、本演習林の活動は特に高く評価したい。 国際レベルの研究成果が発出されており、特に高く評価できる。東京大学は第3期の中期目標・中期計画期間中に重点支援3として世界レベルの大学と伍した教育・研究を行なうこととされている。演習林組織として、外国の大学の演習林との連携や共同研究による国際レベルの研究の推進も重要である。	大学附属の演習林は、大学内で行なわれている様々な学術研究や活動を社会に向けて発信する貴重な「場」であり、「フィールド」である。と同時に、これまで蓄積された多くの研究成果や、多様な「生態系サービス」を社会に提供することで大きな社会貢献を行なっている。東京大学演習林も多くの市民向けの行事や各種多様な出版物の発行を通じて社会へ大きく貢献していることは評価できる。しかし、活動の効果や成果は測られているのであろうか？また、そこでのエビデンスを反省等に生かし、事後の活動内容に生かされているのであろうか？PDSAサイクルは構築されているかが重要である。 社会貢献は大学の3つの目的の一つであり、その要素である「社会実装」につながる「特許」の取得は重要である。一般に、森林系では特許取得が少ないと言われているが、現場と直結している演習林においては特許取得の機会が多いと考えられる。	全国に地方演習林を有する有数の演習林である東京大学演習林は巨大組織でありながら、ほぼ順調に管理、運営が行なわれており評価できる。経費削減・人員削減に対しても適切に対応している。ただし、今後の大学財政（法人としての）の行方によっては現在の規模の組織維持が必ずしも順調とは言えないのではないか。 教員の教育・研究・社会貢献・管理運営のエフォート管理に関しては、年齢や業績、適性による重み付けを考慮する事も良いのではないか（マンチェスター大学の例）。また、サバティカル制度の適切な運用も効果があると考えられる。	演習林では森林現場での教育・研究ならびに作業が行なわれており、安全衛生管理は第一義的に重要である。しかしながら必ずしも少なくない事案が生じている。安全衛生管理の会議・研修が開催されているにも関わらず、本事案が発生していることは、それらの効果に疑いを挟む余地があり、問題である。事故原因の徹底究明と再発防止策の開示が必要である。作業資格取得については積極的に対応しており、評価できる。

演習林活動の統計

論文等の本数

外部研究費の獲得数

利用件数

利用者のべ人数
ロードレース（富士癒しの森研究所）を除く

演習林規則に則って開催された委員会・会議報告

運営委員会

演習林規則第5条により設置されている演習林の管理および運営に関する最高議決機関である。委員は演習林の教授・准教授のほか研究科長が推薦する研究科の教授または准教授（10 名以内）と演習林統括技術長，研究科事務部長であり，演習林長が委員長を務める。今年度は2016年3月 16 日（水）に開催し，地方演習林と常置委員会を軸とする演習林の管理および運営に関する重要事項の審議を行った。

演習林会議

演習林規則第6条により設置されている演習林の管理および運営の実務に関する事項を審議決定する機関である。議員は演習林長，演習林長補佐，演習林所属の教授，准教授，講師，演習林統括技術長のほか演習林長が必要と認めた者がなる（今年度は研究科総務附属施設担当副課長が指名された）。演習林長が議長を務める。原則として毎月1回（8月をのぞく）教授会開催日の前日に開催する。今年度は 11 回開催した。

その他委員会・会議

技術主任会議

統括技術長と地方演習林技術主任により森林管理・技術主任組織等に関する諸問題を検討する。2015 年度は7月 24 日（金）に開催し，あわせて7月 23 日（木）に事務担当者・技術主任合同会議を開催した。

事務担当者連絡会議

大学院農学生命科学事務担当者による会議であり地方演事務担当者を含めて事務処理遂行上の問題点等について報告，意見交換を行う。通常年1回，当初予算決定後に開催する。今年度は7月 23 日（木）に開催した。

技術職員等試験研究・研修会議

技術職員等による研究報告と情報交換，技術研修等を目的に年1回開催する。今年度は 10 月 29 日（木）から 30 日（金）にかけて富士癒しの森研究所を会場に開催した。

演習林編集委員会

「東京大学農学部演習林報告」と「演習林」の編集・発行を行っている。委員は演習林の教授・准教授のほか関連専攻から推薦された教授・准教授（7名）と編集委員長が指名する者がなる。原則として奇数月に開催し，今年度は6回開催した。

科学の森ニュース編集委員会

広報誌「科学の森ニュース」の編集に当たっている。必要に応じて電子メールのやり取りを中心に編集作業を行ってきたが，2015 年度は科学の森ニュースの記事検討のタイミングに合わせ，6月・9月・12 月・3月に会議を実施した。科学の森ニュースは 70 号～73 号を発行した。

ネットワーク委員会

演習林内のネットワークに関する問題の対応，メールアドレス管理等の他，研究科マルチメディア委員会の対応等を行っている。

■各地方演習林活動■

千葉演習林

【教育】

教養教育として全学体験ゼミナール4科目（危険生物の知識（春編），フィールドで考える野生動物の保護管理，危険生物の知識（秋編），房総の森と生業（なりわい）を学ぶ）を主体的に実施した。これらの現地実習は多様なフィールド学習や課題解決型学習を含む最長3泊4日の内容であり，のべ 213 人日が利用した。専門教育として農学部4科目（造林学実験，森林植物学実験，森林経理学実習，森林計測学実習），理学部1科目（地球惑星環境学野外調査 I），大学院農学生命科学研究科 1 科目（生圏システム学特論），新領域創成科学研究科1科目（地域自然誌論）の計7科目を実施し，のべ 308 人日が利用した。また他大学の実習5科目（宇都宮大学，京都大学，千葉大学）でのべ 447 人日が利用した。

学生の研究活動として，卒業論文研究3件，修士論文研究9件，博士論文研究2件の利用があり，安全管理，観測補助，フィールド情報等提供，データ提供などの研究支援活動を行った。

【研究】

研究課題のうち①「持続可能な人工林経営を実践する理論と技術の高度化」では，人工林の長期成長測定試験地（通称，吉田試験地）10 箇所において，1916 年の測定開始以来 100 年目となる定期測定を，森林経理学研究室と共同で行った。この測定期間は，国内の人工林固定試験地で最長と考えられる。また高齢人工林の搬出間伐跡地に昨年設置した針広混交化試験地において，第1回のモニタリングを行い，8つのプロットの樹種，被度，個体数，樹高等を測定した。このモニタリングは今後 20 年間を目処に継続する。②「林木の育種と増殖技術の開発」では，抵抗性クロマツ選抜試験の二次検定に2系統が選抜された。また，接ぎ木増殖の手法としてクリップによる接合を試験的に導入した。キヨスミミツバツツジのさし木試験では，さし木床環境，発根促進剤の処理条件を変え樹齢の異なる母樹を用いて発根の最適条件を調べた。ヒメコマツのさし木試験では，ホルモン処理の濃度と浸漬時間の違いが発根率に顕著に影響することを示した。これら2種は一般にさし木が困難とされるが，千葉演習林では最適な条件を見い出しており，着々と成果が得られている。③「絶滅危惧植物の保全に関する研究」では，千葉県のヒメコマツ保全協議会としての取り組みのほかに，独自に遺伝的多様性とマツ材線虫病抵抗性の検証を行い，遺伝子保全の観点から重要な知見を得ることができた。④「房総丘陵における暖温帯林生態系の保全・管理」では共同研究として新たなヤマビル忌避剤の装着試験を行った。

「基盤データ整備」として，生物部門植物分野の活動として大正～昭和初期に採集された古いさく葉標本の画像撮影とリスト作成を完了し，約 5,000 点のリストを「演習林」に投稿した。今後，さまざまな研究への利活用が期待できる。昆虫分野では，千葉県立中央博物館と共同で任意採集を3回実施し同定作業を進めた。また，オサムシ科昆虫調査（ピットフォールトラップ）を定期的に実施した。GIS 部門では，当部門の全演的な支援のため樹芸研究所への技術支援を行い，新たな試みとして ArcGIS online を導入した。また林相図更新のため GIS オペレータを養成した。

【社会連携】

これまで春・秋に実施していた一般公開について，春は，今年度より開催しない方針とし，秋は，断続的な斜面崩壊に対する安全面の懸念から中止とした。地域交流協定を結んでいる鴨川市において「野鳥の巣箱をかけよう」，「東大キャンパスツアー」，「緑の教室」を開催した。「緑の教室」では，小学生が木登り，丸太伐り，森林散策などを通して森林の役割と生活への関わりについて学んだ。同様に地域交流協定を結んでいる君津市において「スクールミュージアム」を開催し，小学生が天然林，苗畑，森林博物資料館の見学や，水生生物，地層の観察を行った。その他，「清澄星フェスタ」，「鴨川ふるさと会」等の地域イベントの開催協力，清澄寺の節分会に合わせた森林博物資料館の公開，ボランティア団体 Abies と連携した観察会等を行った。トピックとしては，天津神明宮による20年に一度の「式年鳥居木曳祭」への100年生超スギ材の提供，新たな公式ガイドブック「千葉演習林　生き物ガイドブック」の出版等を行った。

【施業管理】

昨年度の予算削減を受けた施業人工節減のため，今年度，主伐は行わなかった。来年度に下馬不動下（44 林班 C11 小班）の主伐を予定しており，今年度は当該主伐林分の立木販売に向けた予定価格の算定を行った。今後，主伐は1haを目処に隔年実施とし，植栽は毎年 0.5ha ずつ行うこととする。植栽，下刈り，保育間伐は，表－1の林分を対象に直営で行った。なお植栽地では事前に地拵えを行い，一部に防獣柵（総延長 162m）を設置した。

表-1 ：2015年度育林実行量（2016年2月現在）

作業種	地拵え・新植	下刈り	除伐	保育間伐
林齢	―	2～3	―	28～39
面積（ha）	0.51	2.95	―	6.68

【その他】

今年度，災害防止のために以下の対策を行った。まず，安房消防署員の指導の元，清澄学生宿舎（特定防火対象物）を中心とした総合消防訓練（通報・消火・避難）と人工呼吸や心臓マッサージ，AED の取扱いについて講習を行った。次に，振動工具を取り扱う職員に対し「振動工具取扱作業者安全衛生教育」を行った。また，新たに購入したボール盤の作業手順書の作成と取扱説明会を行った。さらに，熱中症予防対策としてスポーツドリンクを購入し，現場作業に出る職員に対して水分，塩分の摂取を促した。今年度実施された外部評価でも「災害防止への一層の取り組みを求める」ことが挙げられており，今後も災害防止対策のさらなる強化に取り組んでいく。

その他，林相図の改訂を 2005 年以来，10 年ぶりに行った。新たな林相図は，自らGIS データを編集し印刷のみを業者へ発注することにより，作成費用をこれまでより大幅に削減した。また組織運営を効率化する一環として，清澄宿舎における朝食のセルフサービス化，施設利用料等徴収のための内規を作成した。

北海道演習林

【教育】

学部・大学院の専門教育として，農学部授業科目「森林科学総合実習」を担当実施し，大学院の授業科目1件（新領域創成科学研究科）を受け入れた。卒業論文研究8件，修士論文研究2件，博士論文研究3件を受け入れ，これらの実行を支援した。また，他大学の授業科目1件（同志社女子大）を受け入れ指導を行った。教養教育として，教養学部授業科目「全学体験ゼミナール：雪の森林に学ぶ～北海道演習林」を開講するとともに，1件の全学体験ゼミナールを受け入れ実施を支援した。体験的な機会の提供として，本学の体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」を実施して学部生2名を2回に分けて受け入れたほか，体験活動プログラム1件を受け入れ実施を支援した。ICT を活用したフィールド遠隔教育の取り組みとして，弥生キャンパスで行う農学部授業科目等で計4回の遠隔ライブ講義を実施し，2回のビデオ配信と2回の遠隔ライブ講義デモンストレーションを実施した。

初等・中等教育支援として，文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業による校外研修（札幌啓成高），科学技術振興機構さくらサイエンスプラン事業による研修（立命館慶祥高・シンガポールNJC），教育学部附属中等教育学校の宿泊研修を受け入れ，それぞれプログラムを作成・提供するとともに指導を行った。帯広農業高（森林科学科），とわの森三愛高（獣医進学コース），山梨県立農林高の3件の研修，および富良野市内小学校の総合的な学習の時間（1件）を受け入れ，指導を行った。技術者教育として，国際協力機構（JICA）3件をはじめ，森林部門技術士会，官公署，林産業界団体等の研修会計 13 件を受け入れ，それぞれ指導を行った。

【研究】

「汎針広混交林帯における森林生態系の持続的・順応的管理」を課題として掲げ，森林生態，森林経営，森林生態系保全の3分野のもと活動を行った。主なトピックは以下の通りである。

森林生態分野では，主要樹種の繁殖生態と更新機構に関して，天然林地がき試験地の一斉測定を行った。微生物・昆虫の生態と生物間相互作用に関して，ウダイカンバ一斉二次林においてクスサンによる食害後に穿孔するアンブロシアキクイムシ類の基礎的な生態を調査した。カラマツ林で大発生が続いているカラマツハラアカハバチの密度変動について継続調査した。野生動物の生態に関して，エゾシカのライトセンサスと自動撮影装置による野生動物モニタリングを継続実施するとともに，モニタリング地点を新たに4箇所設定した。コウモリ類の生息状況調査と音声情報の収集を開始した。

森林経営分野では，空中写真（UAV による撮影を含む），航空機 LiDAR，衛星画像を利用した林種区分を本格的に導入し，施業計画策定業務の省力化を進めた。また，タブレット端末とデータベースソフトウェアを用いた標準地調査野帳の電子化に向けた検討を開始した。さらに，腐朽判定技術の高度化を目指して非破壊機器診断の精度と特性について検討した。広葉樹優良木の管理・育成手法の開発に関して，樽材として有用なミズナラ優良木の形質と空間分布を調査した。また，ミズナラ立木の樽材適性評価に用いる調査票を作成し，樽材供試木選定の際に評価を試行した。エゾマツ苗生産システムに関して，リゾクトニア苗立枯病および暗色雪腐病に対して使用する農薬製剤 3 剤の適用登録拡大を完了した。森林作業の開発に関して，グラップルとバケットのハイブリッドアタッチメントを直営素材生産作業に導入した。また，素材検知野帳の電子化（タブレット端末使用）による土場作業の効率化を進めた。

森林生態系保全分野では，針広混交林生態系の多面的機能の評価のために必要な LiDAR データの取得を行い，GIS のレイヤとしての取り込みを行った。希少な動植物種のハビタットの保全として，環境省の保全調査・保全に必要な施業の調整に協力した。河川の水質調査を基盤データ整備委員会の調査を

兼ねて進めた。鉱山跡地の緑化については具体的な進行を見なかった。

【社会連携】

一般公開事業として，公開セミナー「森林環境の保全と持続的な木材生産を学ぶ」，大麓山ハイキング登山会，および神社山自然観察路一般公開（春季・秋季に各1日）を開催した。富良野市長からの北海道演習林の教育利用への要請を受けて，富良野市との地域協定の改訂と締結を行った。富良野市教育委員会と，富良野市内の小中学校の教員向けのモニターツアーを 10 月に計画したが，悪天候のため中止になった。富良野市教育委員会を中心に，北海道演習林，北海道教育大学旭川校，富良野地区の NPO などと，森林学習プログラム推進事業の検討会議を開催し，今後の学習プログラムの開発のための協議を行った。

【施業管理】

立木伐採は資材量にして 28,543 m^3（うち天然林 16,827 m^3，人工林 11,716 m^3）を実行した。伐採量のうち 1,460 m^3 については素材生産・販売を行った（直営 845 m^3，再生林請負 486 m^3，委託販売 128 m^3）。立木および素材の販売額は合計 88,208,686 円で，うち立木が 44,099,580 円，素材（委託販売を除く）が 16,891,200 円，委託販売（銘木市売）が 27,217,906 円であった。銘木市に出品したマカバのうち1本（材積 3.034 m^3）に総額 5,275,519 円の値が付き，丸太1本の販売額では過去最高となった。山出苗生産本数は 10.8 千本（トドマツ 1.8，エゾマツ 8.6，アカエゾマツ 0.4 千本），地拵，植付，下刈の実行面積はそれぞれ 24.5，21.9，18.2 ha で，林道の改良距離は 54.2 km であった。森林保護に関して，春期に山火予消防活動（監視および啓発）を，春と秋に野鼠発生予察調査を，冬期に北海道猟友会富良野支部および富良野市と共同でエゾシカの有害獣駆除（2回）を，それぞれ実施した。

不動産（土地）は，今年度2件の土地売却を行った（北麓郷会館用地 400.24 m^2，麓郷の森観光施設用地 1,986.91 m^2）。いずれも誤信使用していた相手方からの売却要請に応じたものである。立木補償は公共事業や土地売却に係わるものが3件，計 152 本であった。2012 年度より開始された国土調査法に基づく地籍調査事業は，現在第3期まで進んでいる。第1期分については管理下になかった本学所有地9箇所 15 筆（面積計 54,140 m^2）の所有権保存登記を，第2期については管理下になかった本学所有地8箇所 28 筆の成果閲覧を，第3期については管理下になかった本学所有地 17 箇所を確認した。地籍調査が進むに連れて農地や建物等の越境が数多く見られ，今後はこれらの解消に向けた個別具体的な協議を行うことにしている。土地の貸借契約は賃貸借 14 件，52,442.05 m^2 および使用貸借 17 件，143,893.98 m^2 を締結している。不動産(建物）は，職員宿舎1戸（60.61 m^2）を倉庫に用途変更した。その他，岩屋地区の道道 544 号線（麓郷街道）未改良区間（1.3 km）の線形設計について協議を継続した。

【その他】

環境安全管理について，今年度の事故災害発生件数は8件で，ハチ刺され災害（1件）の大幅な減少を受けて昨年度の半分以下であった。一方で慣れによる安全確認（装備・環境・行動）の不徹底に起因すると考えられる事故災害の発生が多く（6件），引き続き基本動作の確認と励行の徹底が必要である。車両系木材伐出機械に係る安衛則改正に向けた対応，および各種作業の方法と手順の見直しを重点的に実行し，作業計画書様式やマニュアル等の作成・改訂を推進した。

秩父演習林

【教育】

1.　学位研究の受け入れ

本学の学部課程1名，修士課程6名，他大学の学部課程5名，修士課程4名が学位取得のための研究を行い，研究計画の助言，研究地への送迎，野外調査の補助，試験地の維持管理などの協力を行った。

2.　大学実習の受け入れ

森林科学専攻の実習4件（森林土木学実験，森林植物学実験，森林政策学実験，森林土壌学実験），他専攻の実習2件（フィールド科学概論，バイオマス科学実習・森林科学実習），他研究科の実習3件（新領域創成科学研究科自然環境学研究 1,2 及び自然環境学特別研究 1,2,3・自然環境デザインスタジオ 2，理学系研究科植物科学野外実習Ⅲ），教養課程の全学体験ゼミナール2件を受け入れた。秩父演習林としては，全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」「秋の奥秩父を巡る」を開講した。他大学の実習として，東京環境工科学園野生鳥獣被害防除対策実習を受け入れプログラムの一部を提供し，日本女子大学環境生物学実験ではタイムテーブル作成と植物調査の指導を補助した。ほかに首都大学東京動物系統学野外実習，東京都市大学野外実習を受け入れた。また，国外からインターンシップ学生2名を受け入れた。

【研究】

1.　冷温帯森林生態系に関する研究

成果として，大面積長期生態系観測プロット（27～28 林班ろ小班）の 2014 年の調査資料を発表した。定期調査として，人工林固定試験地（4箇所），亜高山帯風害跡地試験地，ライトセンサス，気象，水文水質観測，落葉落枝および落下種子（2箇所），環境省モニタリングサイト 1000 調査（毎木，落葉落枝および落下種子，地表徘徊性昆虫）を実施した。試験地整備として，大面積長期生態系観測プロットの高精度 GPS 測量を実施した。

また，民間企業との連携によって，シカ排除柵試験地（30 箇所×内外2調査区）の下層植生調査，センサーカメラによる哺乳類相調査，渓流水の水質モニタリングを行った。さらに，シカ GPS テレメトリーの実施など，植生保護に向けた実証研究を実施した。

2.　情報工学分野との融合研究

前年度に続き，ロボットカメラによる森林景観と樹木フェノロジーの映像・音声記録，鳥類相の遠隔調査，環境教育教材の開発に関する研究が行われ，論文として公表された。

3.　山村社会に関する研究

前年度に続き，山村社会の変化と資源，山村振興に関する研究が行われた。

4.　基盤データ整備

引き続き各部門分野の情報収集を進めた。生物部門脊椎動物分野では，東京大学技術職員研修や公開講座の教材としてデータ等を提供した。生物部門植物分野では，Ⅱ種の活動として行った黒石実験地・影森苗畑の植生調査について，2015 年度末発行の「演習林」に掲載された。気象観測と水文水質観測では 2013 年の結果を公表した。

また，利用者発表会を開催し，教育・研究の促進と利用者間の調整を行った。

【社会連携】

公開講座・セミナー等として，公開講座「東大の森林で昆虫採集」（8月，参加者 16 名），「秩父演習林の動物たち」（1月，参加者 13 名）を行った。このほかに，自由見学は，2014 年度と同様にガイドツアーに変更して2回開催するとともに（6・10 月，参加者 36 名），東大教職員特別ガイド（5月，参加者 18 名）を実施した。また，秩父市木材加工業者主催の「木が香る秩父フェスティバル」（5・10 月，道の駅ちちぶ）に参加，秩父演習林の恒例行事となっている「影森祭」（12 月，来場者約 81 名）を秩父演習林ボランティア「しおじの会」と秩父演習林 OB 会の協力を得て実施した。また，しおじの会によるボランティア活動は，シカ防除柵の点検補修，歩道巡視，修繕，お土産（木工品）づくり，リター仕分けなど，のべ 163 人の参加があった。

学外各種委員会では，埼玉県森林審議会，特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査指導委員，埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会，埼玉県レッドデータブック検討委員会，ユネスコエコパーク登録推進検討委員会，秩父地域森林林業活性化協議会，秩父地域獣害対策協議会幹事会，関東山地ニホンジカ広域協議会，モニタリングサイト 1000 検討会，JaLTER 運営委員会などさまざまな活動を実施した。また，つなげよう,支えよう森里川海推進志民会議 in 秩父キックオフミーティングに出席し，演習林内でのエクスカーションを実施した。

【施業管理】

立木伐採，植栽は実施しなかった。育林業務として獣害対策を行った。実行量は，クマ剥皮防除樹皮ガード設置が1箇所（1.28ha）とシカ防護柵の保守管理が7箇所（3.34ha）であった。シカ防護柵の保守管理はボランティアの協力を得て実施した。また樹木園に設置されているシカ防護柵の保守管理を毎月1回実施した（直営と外注で各6回）。

土木実行量は車道維持 13,859m，歩道維持 77,383m，モノレール維持 3,067m（3路線）であった。また，民間企業との協定による森林整備で作業道1路線の延長を 1,194.7m，歩道1路線の新設を 980m 実施した。工事は東谷林道が源兵衛橋の架け替え，入川林道が 100m地点の谷止工土砂撤去工事と 2,050m 地点の石積・排水補修を実施した。

5年ごとの保安林の土地形質変更届の更新を行った。土地資産に関する変動はなかった。

【その他】

環境安全管理について，今年度は災害が4件発生し，ヒヤリハットはなかった。災害の内訳はハチ刺されが3件で，残りの1件はボール盤使用時の切創であった。ボール盤での切創については，研究科環境安全管理室の現場検証と演習林環境安全管理委員会の指導を受け，作業手順の追加作成，MS 項目の修正を行った。4月に普通救命講習会，公用車自主点検，8月に消防訓練を実施した。また，新たに東京大学の森育成資金に3件の寄付をいただき，記念樹を設定した。

田無演習林

【教育】

農学部の実習を5件，教養学部の実習（全学体験ゼミナール）を3件実施した。農学部実習のうち2件は連携する生態調和農学機構によるものである。全学体験ゼミナールの2件は田無演習林をはじめ千葉演習林，富士癒しの森研究所の教職員が主体的に関わって実施した。小中学生に対する指導体験を通じて樹木に関する知識とコミュニケーション力の向上を図ることを目標とする「都市の緑のインタープリター」，森のエネルギーを体感し森林管理の観点からその流通利用における問題点について学ぶことを目標とする「森のエネルギーを使いこなす」である。なお，両講義とも東京大学が実施する「グローバルリーダー育成プログラム（GLP）」の 2015 年度指定科目に選定された。

卒業論文研究等では卒業論文1件（うち本学1件），修士論文4件（うち本学3件），博士論文2件（うち本学2件）の利用があった。

森林を疑似体験できる教育コンテンツを作成するため，全方位ビデオカメラおよびそれに係る撮影機材を整備し，演習林内の様子を映像に記録した（写真 - 1，2）。

【研究】

単回・通年利用を含め 40 件の申請があり，のべ 799 人の研究利用があった。内容別には生物の生態的特性に関する研究が約4割，樹木の生理に関する研究が約4割，物質の動態に関する研究が約1割，その他が約1割となっている。

分野の異なる利用者との交流を深め，研究可能性をさらに広げることを目的とした研究利用者交流会を6月 22 日に開催し，7題の口頭報告のほか，5件の要旨による報告がなされた。

【社会連携】

小中学生向け講座を2件，休日公開を6件実施した。近隣の中学校から5件のべ 14 日間職場体験を受け入れたほか，演習林資源を有効活用できるように東大教職員特別ガイドのリース作り講習会を1件実施した。地元小中学校による校外学習を5件指導したほか，地元の公民館，科学館，非営利団体による利用5件に対応した。

樹木剪定作業により生じた枝葉を園芸資材として東京都板橋市場にて販売した。

【施業管理】

実習および研究用としてアカマツ，クロマツ，スギ，ヒノキの実生苗の育成を行った。そのほかに，研究者から委託された苗木育成のための苗畑管理（潅水や除草）を技術職員と技能補佐員で行った。また，試験地として実験用に植栽されたフィールドの適切な管理を行うため，下草刈り等の作業を行った。

田無演習林は，年間を通して多数の一般利用者が来演するため，一般利用者の安全を考え，散策路沿いの枯損木等の伐採を，小径木については直営で，大径木については請負(ソメイヨシノ2本)で行った。そのほか枯損枝，掛り枝は，スローラインや高所作業車を用いて直営で除去した。1月に降った湿雪により，大量の枝の落下や掛り枝が発生し処理に時間を要した。また，敷地境界からはみ出した枝の処理や境界沿いの小径木の伐採を直営で適宜行った。特に新築住宅建設予定地に接する北側境界は重点的に整備した。第4期教育研究計画で示した，隣接する民地にかかる支障樹木の伐採を請負で6本（シラカシ4本，ヒノキ2本）行った。

その他，散策路柵の修繕を定期的に行い，重機を用いて下草刈りの支障になる丸太の運搬を実施した。

【その他】

6月に開催した利用者交流会や，利用者が来演する都度，田無演習林から環境安全管理についての情報提供を行い，利用者の安全管理に努めた。6月に井戸水のくみ上げや炊き出しなど，災害時の訓練を兼ねた環境整備をアジア生物資源環境研究センターと共同で実施した。機構と防災訓練を共同で 11月に実施し，消火器取扱い訓練や止血法講習などを行った。毎月定例会の前に行っている安全衛生マネジメントシステム会議では，ほかで発生した災害発生報告や，熱中症やハチ刺されの対策など季節に応じた注意喚起を行い，災害を未然に防ぐことができた。

「東京大学の森」育成資金に1名の方から寄付いただいた。「武蔵野に大学の森をたずねて～東京大学田無試験地の 80 年～」を 53 冊，「”森たび”東京大学演習林のみどころ 100」を 42 冊販売した。

写真 - 1:全方位ビデオカメラによる 360 度撮影イメージ

写真 - 2:全方位ビデオカメラ撮影機材

生態水文学研究所

【教育】

農学部森林生物科学専修・森林環境資源科学専修の森林保全学実習，測量学実習の現地実習をそれぞれ6月 16～19 日，8月 24～28 日に蔵治光一郎准教授，田中延亮助教らが行い，それぞれ6名，5名の農学部生と引率教員が参加した。このうち森林保全学実習の6月 17～19 日について，全国大学演習林協議会の公開森林実習「森林と土砂と渓流の実習－山から川に流れ出る土砂を測ろう－」と位置づけて行い，愛知工業大学から1名の学生が参加した。教養学部前期課程夏学期総合科目 D 人間・環境「森林環境資源学」（ダムと森林）のフィールドワーク，冬学期主題科目全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」を蔵治，田中らがそれぞれ6月6～7日，2月 27～29 日に行い，それぞれ 20 名，22 名の教養学部前期課程の学部生が参加した。「ダムと土砂と海」には水産実験所の菊池潔准教授にもご参加いただいた。

7月 20～24 日に体験活動プログラム「森林・水・土砂の長期モニタリング調査体験」を企画し参加学生1名で開催した。生態水文学研究所の研究林で，80 年以上の長期間続けている森林・水・土砂の長期モニタリングを体験した。研究林内の観測施設等を見学した後，環境省の全国規模の生態系モニタリング調査プログラム，「モニタリング 1000」の作業，渓流水質調査のための採水作業，こうもり調査を体験した。プログラム後半は，森林流域から流出する土砂量の特定や，砂出し（ダムにたまった土砂の排出），気象水文観測機器メンテナンスとデータの回収・読み取り作業など，80 年以上続けられているモニタリングを体験した。

南山大学（5月 23～24 日，20 名），名古屋大学（11 月 26 日，40 名）の講義，実習を受け入れ，技術職員が対応した。田中が森林科学専攻の博士課程の学生1名の博士論文研究を指導した。タイ農業研究開発庁との国際交流協定（部局協定）に基づき，タイ王立灌漑局水文学研究官 Nilobol Aranyabhaga 氏が 12 月 12～19 日，2月1～14 日に来訪し，蔵治が論文博士取得に向けた研究指導を行った。

【研究】

白坂・穴の宮・東山・犬山にて気象，水文観測，雨水・渓流水サンプリング，水質分析を継続した。長期生態系プロットにおける毎木調査，リター調査，種子調査，地上徘徊性昆虫調査，鳥類調査を継続し，その結果の一部を環境省モニタリング 1000 事務局に提出した。

過去の記録紙の読み取り，マイクロフィルム化されていない最近の記録紙の PDF 化，過去のデジタルデータを CD-R と紙媒体で永久保存する作業を進めた。東山試験流域における 1928～76 年までの 49 年間の日降水量再計算が完了し，結果報告が「演習林」に投稿された。白坂の 2013 年の日降水量・日流出量，降水と渓流水の水質データが，基盤データ整備委員会水文水質部門によって「演習林」に掲載された。

水文・水資源学会 2015 年度研究発表会にて，犬山ライシメータの間伐実験の結果を蔵治らが発表した。第5回中部森林学会にて，東海地方の暖温帯二次林におけるカシノナガキクイムシ被害の経年変化について佐藤らが，穴の宮試験地の広葉樹二次林内および隣接表層崩壊地における表面流の比較について五名らが発表した。第 127 回日本森林学会にて，東海地方の暖温帯二次林におけるナラ枯れが林分構造に与える影響について佐藤が，穴の宮試験地の隣接する裸地斜面と広葉樹林斜面における地表面流の比較について蔵治らが発表した。カナダ・ケロウナ市で行われた The 4th IUFRO International Conference on Forests and Water in a Changing Environment，およびシンガポールで行われた The 7th APHW International Conference jointly organized with 12th AOGS Annual Conference において蔵治らが白坂小流域のリター剥ぎ取り実験の結果について発表した。国立台湾大学で行われた The 6th Symposium of Asian University Forest Consortium において，矢作川流域における森の健康診断の成果を蔵治らが，赤津研究林におけるナラ枯れが二次林の森林動態に及ぼす影響について松井らが発表し

た。アメリカ地球物理学連合大会で田中らがチークの樹幹流について発表した。技術職員等研究・研修会議にて，生態水文学研究所における境界の管理－隣接土地所有者への対応と今後の課題－について井上が，赤津研究林白坂小流域における林分構造の変化について高橋が発表した。東京大学技術発表会にて，生態水文学研究所における境界の管理－隣接土地所有者への対応と今後の課題－について井上が，二次林の森林動態にナラ枯れが及ぼす影響について松井が発表した。附属牧場で実施された 2015 年度第3回分析技術グループ研修「動物の生理分析とフィールドにおける簡易分析」に高橋が参加した。

8月 12 日に愛知県豊田市との受託研究「水源かん養機能モニタリング研究委託」を開始し，その経費で1月1日に五名美江氏（日本学術振興会特別研究員 PD）を特任助教として採用した。首都大学東京所属の畑憲治の農学共同研究員としての任期が9月 30 日で終了した。

データ利用規則に基づき，森林総研の末吉氏，京都大学の辻氏，名古屋大学の岩下氏，名城大学の太田氏のデータ利用申請を許可した。5月8日に利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会を開催し，18 件のポスター発表があった。1月 30 日にシンポジウム「水害・土砂災害から住民の命を守るには」を犬山市で開催し，80 名の参加者があった。

【社会連携】

犬山市立今井小学校・城東小学校の探鳥会に松井がそれぞれ4回・3回，講師をつとめた。東京大学赤津研究林サポーターズクラブ「シデコブシの会」，犬山研究林利用者協議会による赤津研究林，犬山研究林での主催行事や見学団体ガイドがそれぞれ 17 件，29 件行われた。10 月 28～30 日，瀬戸市幡山中学校の生徒3名の職場体験を受け入れた。瀬戸市との共催で，せと環境塾 2015 講座「森と水のエネルギー」を10月3～4日に開催し，10名が宿泊した。瀬戸市環境審議会，瀬戸市自然環境の保護及び保全特定地区選定委員会，「せと環境塾」運営委員会，犬山市環境審議会に蔵治が委員として参加した。ローカル FM 局「尾張東部放送」の生放送番組「蔵治先生の環境講座」に蔵治が不定期に出演した。

ブックレット『森の健康診断の 10 年－愉しくてためになる流域の森のキヅキとマナビ』，リーフレット『東京大学赤津研究林の見どころ－2016 年改訂版』を演習林出版局から出版した。

【施業管理】

第5期生態水文学研究所教育研究計画において4つにゾーニングした研究林を，それぞれの施業方針に従って管理した。危険の未然防止の観点から，瀬戸市と犬山市の公道沿いに発生したナラ枯れ木を伐採した。74 林班においてマツ枯れ対策として湖西市と協働で地上からの予防散布（5月 24 日），年越し枯死木調査（4月 22 日，被害本数2本，うち今年度被害2本，材積 1.18m^3），静岡県によるマツ枯れ被害木の伐採搬出（材積4.31m^3），枯死木調査（12 月9日，被害本数6本，うち今年度被害6本，材積1.36m^3）を行った。

12 月 31 日に波多野八重子技術補佐員が退職し，その後任として1月1日付で橋本聖学術支援職員を雇用し，赤津作業所にて森林管理，宿泊施設管理，賄い補助業務にあたらせた。

【その他】

光熱水量の観点から8月 10～14 日を休業状態とした。

富士癒しの森研究所

2015 年度は，事業内容の優先度を吟味しつつ，他演や地域住民との連携を図りながら癒しの森プロジェクトに関する各種事業をおおむね計画通り実行できた。

【教育】

大学の実習として，農学部の実習 4 件，大学院の実習3件，教養学部6件，工学部1件を受け入れた。研究科の留学生プログラム1件を受け入れた。学生体験活動プログラムとして「癒しの森の落ち葉たき」を企画・実施した。「癒しの森プロジェクト」にもとづく教養学部開講科目として，全学体験ゼミナール「癒しの森をつくる（夏）（冬）」を開講・実施した。同様に，関連科目として，森林圏生態社会学研究室提供による全学体験ゼミナール「癒しの森を考える」の現地講義を実施した。これまでに引き続き，ゼミ合宿を誘致した。運動会学生との共同作業として，カラマツ間伐材を用いて，山中寮勝手口周辺の整備を行った。当研究所を拠点として修士論文研究1件が行われた。ICT を活用した教育プログラム実施のための準備を行った。

【研究】

実証林において，市民参加型の林床植生調査を企画・実施し，3D レーザー測量および林内気象データを観測し，データを蓄積した。薪原木販売に関する社会実験を2回実施するとともに，木材搬出作業会参加者に対して，森林作業の経験や意識に関するアンケート調査を実施した。実証林における保健休養機能に関する次年度以降の実験に向けて，機材の配備等，準備作業を進めた。癒しの森プロジェクトに基づくこれまでの研究成果から学会発表1件を行った。フットパスに関する住民との共同勉強会を定期的に実施した。特別ガイドにおいてアンケート調査を3回実施した。技術職員による研究として，地域社会との連携に関する近年の傾向を整理・分析し，技術職員等試験研究・研修会議で発表した。基盤データ整備の脊椎動物部門，昆虫部門におけるデータ，およびⅠ林班での気象データの蓄積を行った。キノコ放射性物質調査に参加し，サンプリングを行った。富士山科学研究所との共同研究は実施できなかった。

【社会連携】

薪原木販売会を2回，木材搬出作業会を2回，第1回癒しの森の植生調査隊を実施した。年度末に公開講座として 2015 年度研究報告および特別講演会を実施した。やまなしバイオマス協議会の一員として会議等に参加した。寄付者および活動連携者に対し研究所報告の送付を行った。ウェブサイトおよびブログを活用し，イベントの通知のほか情報発信を行った。英語のウェブサイト構築は実施できなかった。

【施業管理】

刈払いは一部を除き，おおむね計画通り実施した。除伐・間伐はⅢ-13 の間伐を秩父演習林からの3名の技術職員の業務協力および実務研修の参加者により実施した。その他の予定区では実施できなかった。湖畔作業道沿いの危険枝処理は，利用者である山中湖村の予算により外注にて実施した。またⅡ，Ⅲ林班村道沿いの支障枝処理，Ⅲ林班歩道の危険木処理，馬房前の危険木処理について，市町村交付金相当額予算で外注により実施した。枯損木伐採は気象条件が整わず予定区では実施できなかったが，整備の緊急性にかんがみ予定外の区や風倒木処理作業を各所で行った。小班界の杭打ち作業は実施できなかった。県有林の管理指針を県と協議の上策定した。歩道，車道共に全線の整備を行った。

湖畔広場四阿の壁材丸太の入れ替えを行った。旧作事場の劣化して危険な庇の除去工事を，市町村交付金相当額予算で外注により実施した。ICT システム整備にかかわる講義室の改修工事を行い完成した。Ⅰ林班馬房横の老朽化した物置の撤去および新規の物置設置の計画を検討した。ブナ試験地跡整備については，省力化のため伐根の腐朽を待って実施することとし，当年度は実施しなかった。2014 年度に実施したモニ 1000 サイト毎木調査にて新規加入した個体へのタグ付けを行ったが進界木については翌年度に実施することとした。名称変更に伴うパネル式看板の設置は，実証林の看板について設置を完了したが，Ⅲ林班の看板についてはパネルが用意できず未実施となった。

【その他】

計画通り，東大教職員特別ガイドを春・秋・冬の3回実施した。間伐作業技術を研修内容とした実務研修を実施し，4名の参加があった。演習林技術職員等試験研究・研修会議の会場演習林として運営にあたった。第 11 回大学間里山交流会を，当研究所を会場に開催した。山中寮およびグラウンド周辺の管理について，体育チーム担当者と打ち合わせを実施した。

国際農学実験・実習Ⅰ「山の幸を探る」
演習林内で採取した食材を使った料理に挑戦

実証林で市民参加による林床植生調査を実施

地域住民を対象とした木材搬出作業会

試験地の間伐作業に関する実務研修で正確な伐倒方法について研修

樹芸研究所

2015 年度は樹芸研究所第4期教育研究計画の5年目の見直しを実施した。計画のスリム化と資源の集中を念頭に立案した教育研究計画ではあったが，幾つかの事業が手つかずとなっていることを確認した。今年度から技術職員数が1減となったので，これら手つかずの事業を含む計画の全ての項目に着手することを目指すことよりも，これまで優先して実施してきた事業を更に推進することを選択して，教育と研究の特色がきらりと光る組織を目指すこととした。

第4期教育研究計画において，樹芸研究所では教育分野にエフォートを大きく割くこととした。特に2006 年度に開始した前期教養課程の主題科目・全学体験ゼミナールの実施に大きなエフォートを割いている。全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ」シリーズは，人と自然のつながりや，人と人のつながり，そして現代社会においては見えにくい「プロセス」を，体験を通して気付かせる仕掛けであることを基本としながら，大学受験を終えたばかりの学部1，2年生に「学ぶ」ということの原点を問うことに重きを置く講義である。構想から8年越しとなる昨年度にようやく体験ゼミナール「伊豆に学ぶ－熱帯植物編－」の実施に漕ぎ着けた。その中のカカオノキからカカオを収穫してチョコレートを製造するというアクティビティーを発展させる格好で，今年度よりチョコレート会社と共同研究を展開する運びとなった。樹芸研究所産カカオからチョコレートを製造し，UTブランドによる市販を実現した。今後もより一層教育内容の充実と実施体制の効率化を計る。温室では，カカオ以外にも原料植物の現物を用いる教育プログラム開発に意欲的に取り組んでいる。その他，研究ではおよそ 30 年前に実施したユーカリ適応試験の遺産を活かして材の加工特性や製品化の方向性を探る取り組みを進め，並行して林分単位での生産性を明らかにする目的であらたに植栽試験を実施した。利用方法を明らかにしたうえでユーカリを林業樹種として提案したいと考えている。ユーカリ以外の樹種では，クスノキ合板を製造しその性能試験を行ったほか，これまで手が回らなかった油糧植物アブラギリに関して伝統工芸木炭生産技術保存会と安定供給に関する共同研究を開始した。

今年度実施した外部評価では，全学体験ゼミナール等の教育に特化した取り組みとあらたな林業を見据えたユーカリ事業に関して全ての委員から高い評価を受けた。昨今，林野庁があちらこちらで日本林業に早生樹を組み込むことを提唱しているので，川下（出口）に当たる材等の利用法をしっかり検討しながら進めている早生樹ユーカリを活用する林業提案は，東大演習林の1つの柱に育つ可能性ある事業になりつつあると感じている。演習林総体の中で，実験的な取り組みを行うことを樹芸研究所の使命の一つと捉えており，第4期計画においては更にその役割を全うしたいと考えている。

【教育】

・農学部　国際開発農学専修3年生

「森林実習」（他大学生に開放し，全国大学演習林協議会「公開森林実習」とした。）

・教養学部前期課程1，2年生　主題科目　全学自由研究ゼミナール

「伊豆に学ぶプラス1」，「伊豆に学ぶプラス2」

・教養学部前期課程1，2年生　主題科目　全学体験ゼミナール

「伊豆に学ぶ(夏)1」，「伊豆に学ぶ(夏)2」，「伊豆に学ぶ(夏)3」，

「伊豆に学ぶ―熱帯植物編―」

「伊豆に学ぶ1」，「伊豆に学ぶ2」，「伊豆に学ぶ3」

「企画系さらに伊豆に学ぶ1」「企画系さらに伊豆に学ぶ2」

・東京大学体験活動 「南伊豆という一地域との連携に学ぶ」

南伊豆地域で竹林や獣害問題に向き合う NPO の方々と連携して実物の問題に当たる

【研究】

1．適応試験で選抜されたユーカリ 10 種を林業樹種として再検討

・*E. smithii*, *maidenii*, *bicostata*, *radiata* を伐採し，製材加工特性の試験を行った。（森林総合研究所と共同研究）

・2013 年6月，12 月に実生苗を植栽した *E. saligna* の成長調査を継続して実施した。（王子製紙と共同研究）

・樹芸に生育した *E. elata*, *piperita* の株からクローン苗を作り，試験地を造成し，その成長調査を継続して実施した。（日本製紙と共同研究）

・*E. smithii* の実生試験地の成長調査を継続して実施した。

・*E. smithii* のクローン苗作成に着手した。

2．樹芸研究所産カカオ・バニラを用いたチョコレート製造・販売。（メリーチョコレートカムパニーと共同研究）

3．油糧植物の植栽地整備と利用方法の検討

・アブラギリの間伐試験を継続（伝統工芸木炭生産技術保存会と共同研究）。

4．シカ等野生生物の調査とその影響を定点観測

・予定した調査日が荒天に見舞われたため延期した。2016 年4月に実施予定。

【社会連携】（市民向け公開講座）

・温室特別公開－樹芸産バニラを使ったアイス作りとバニラの人工授粉体験－

・温室特別公開－樹芸産カカオを使ったチョコレート－

・公開講座－林業遺産・岩樟園クスノキ林を知ろう－

・公開講座－林業遺産・岩樟園クスノキ林見学会－

※今年度後半に，下田市教育委員会との連携を強めた結果，温室特別公開の一つを下田市との共催で実施した。下田市に広報部分を担当してもらえるので，今後拡大することを検討している。

【施業管理】

・静岡県の助成制度による間伐・作業道開設を実施した。

【その他】

・4月と6月に2名の非常勤職員を障害者雇用枠で雇用した。

教育研究センター

【教育】

週1回のゼミ（演習林ゼミと教育研究センターゼミ）と指導教員との連携による個別指導を通じて，演習林に所属する学生（博士課程学生2名，修士課程学生6名，4年生1名，研究生1名，合計 10 名）の卒業論文，修士論文，博士論文研究等の指導・支援を行うとともに，学生生活全般のケアを行った。教育研究センターゼミでは，R を使った統計解析，プレゼン，論文読解，要旨執筆などに関する基礎的な演習・指導を行った。また，修士論文，学生が筆頭著者の投稿論文，学会発表ポスター，要旨等の英文チェックを行った。今年度は修士課程において2名が修了し，学部課程では1名が卒業した。学部・大学院のガイダンス等で演習林における教育研究の説明を行った。演習林教員で担当している講義のスケジュール調整，教養学部講義，演習林ゼミ等の教育推進に関わる経費管理等を通じて，演習林の教育活動を支援した。また，学内の各種委員会に出席した。

広報情報委員会と連携し，各地方演習林の教育利用実績を取りまとめた。また，教育目的での演習林利用希望者に対して，各地方演習林との連絡調整を行い，必要な情報を提供した。教育推進委員会と連携し，全国大学演習林協議会の公開森林実習の受付，諸手続きを支援した。

【研究】

演習林編集委員会と連携し，「演習林報告」，「演習林」の編集作業を行った。演習林内の委員会活動が円滑にできるよう，農学系事務との連絡調整を行うとともに，経費執行等の支援をした。広報情報委員会と連携し，各地方演習林の研究利用実績を取りまとめた。

研究目的で演習林を利用する利用者に情報を提供し，全演習林の研究活動を支援した。演習林教職員による投稿論文（英文要旨含む）の英文，演習林報告の目次，地方演習林の各種施設等の英文チェックを行った。

【社会連携】

広報情報委員会と連携し，ホームページ，科学の森ニュース，学内広報・弥生等の機関紙を通じて，演習林の社会貢献に関する広報活動を行った。また，各地方演習林の広報活動を取りまとめ，専攻長・附属施設長会議に毎月報告した。さらに，演習林の活動報告の情報を取りまとめ，演習林年報を発行した。一般公開，東大教職員特別ガイドの補助・支援を行った。

今年度は4月および5月より約3か月間，フランスより Nolwenn Le Toquin さんと Laure Chapuis さんの2名のインターンシップ生の受け入れに伴い，受入れ指導教員と連携して受入れ手続きを行い，教育研究センターにおいては演習林概要の説明およびインターンシップ終了報告会の開催を行った。

12 月に開催された NTU-UTokyo 合同カンファレンスにおいて，来日された台湾大学の教員4名と学生6名の受け入れ対応および UTokyo-NTU Forest Science Seminar 2015： Kick-off meeting for future collaboration の開催支援を行った（写真 - 1）。

写真-1：UTokyo-NTU Forest Science Seminar 2015 の終了後にフードサイエンス棟前にて

【施業管理】

地方演習林の施業管理，毎木・収穫調査，苗畑作業への補助を行った。

【その他】

農学系事務からの各種問い合わせに対応するとともに，連絡調整を行った。安全衛生活動として，地震時の緊急避難について，教職員，学生ともに緊急避難場所を1号館と2号館の間のヒマラヤスギの近くに一次避難した後，農学部グラウンドに集合することを確認した。9月に行われた全国大学演習林協議会総会に出席した。5月にフランスから，7月にカナダからそれぞれ来日予定のインターンシップ生の受入れ手続きを行った。

■各常置委員会活動■

【基盤データ整備委員会】

＜気象部門＞

東京大学演習林では，これまで最長で 100 年を超える期間気象観測を継続してきた。現在の観測システムは 2001 年から稼働し， 7 地方演習林を網羅する合計 17 箇所の観測地を基盤データ整備委員会気象部門で責任をもって観測を続けてきた。

2012 年 1 月 1 日からは「教育研究計画 2011~2020」に基づいた新体制の下での観測を継続している。すなわち，基盤データ整備委員会気象部門で責任をもつ I 種観測地は札郷（千葉），前山（北海道），小赤沢（秩父），白坂（生態水文），青野（樹芸）の 5 箇所，観測項目は気温，湿度，降水量，日射量，風速，風向である。 I 種以外の観測地は II 種として各地方演習林の裁量で観測や全演でのデータ公開を行っているが，気象部門として各地方演習林で対応の困難な案件についてのサポートは継続している。

本年度は 3 年ぶりに気象部門会議を開催し，機器の更新計画，気象観測指針の確認，データ保存状況等について検討を行った。観測機器やその部品についてはメンテナンス計画に基づいて購入，更新しているが，2015 年度は ICT 対応でデータロガー等の整備が進んだために，メンテナンス計画の修正を行った。観測データの公開については，2013 年 1 月 1 日より演習林ホームページでの公開を大幅に早め，翌々月には公開するようにしている。2015 年のデータは観測体制とともに雑誌「演習林」59 号（2017 年 1 月発行予定）に 2015 年気象年報として掲載する。

2015年 各地方演習林の観測地と観測項目 （2015年末現在）

演習林名		千葉演			北海道演			秩父演				田無演	生態水文学研			樹芸研	
I種とII種の別		I	II	II	I	II	II	I	II	II	II	II	I	II	II	I	II
観測地		札郷	清澄	新田	前山	山部	山部事務所	小赤沢	栃本	大血川	ワサビ沢	第一苗畑	白坂	東山	穴の宮	青野	加納
観測項目	気温	○(○)	○(−)	○(−)	○(○)	○(−)		○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(−)	○(−)	○(○)	○(○)
	地温								○(−)			○(−)	○(−)	○(−)		○(−)	
	湿度	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)		○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)
	降水量	○(○)	○(−)	○(−)	○(○)	○(−)		○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(−)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)
	日射量	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	○(−)		○(−)	○(−)		○(−)		○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	
	風速	○(−)		○(−)	○(−)	○(−)		○(−)	○(−)				○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	
	風向	○(−)			○(−)	○(−)		○(−)	○(−)				○(−)	○(−)	○(−)	○(−)	
	降雪						○(−)										
	積雪						○(−)										
	降雪深						△(−)		○(−)								
	積雪深						○(−)										

○観測公表項目，△観測しているが公表していない，( )内代替観測の有無

＜生物部門＞

○植物分野

演習林内に生育する維管束植物（自生種・導入植栽種）をリストアップし，同時にさく葉標本を1種につき3点作成することを目標に資料の収集にあたっている。

2015 年度は，標本未採取種について，可能な限り標本の収集を行った。デジタル画像未撮影分について継続して撮影を行うこととなっており，各地方演習林でそれぞれ次の項の通り活動を行った。また，2015 年度中にハーバリウム登録の準備として標本リストと標本ラベルのフォーマットの作成・リストの整理を行う予定であったが，これについてはあまり進めることが出来なかった。

2015 年度の各演習林の活動

千葉演習林: Ⅰ種の活動は表の通り。Ⅱ種の活動として，古いさく葉標本の画像を撮影し，リストの作成を行った(画像 7,324 点，リスト1点)。人工の内訳は，写真撮影4人工，データ入力 37 人工，標本乾燥 12 人工である。古いさく葉標本は，総計 9,254 点で，そのうち重複や採集情報の不十分な標本を除外した 5,192 点をリスト化し，現在雑誌「演習林」に投稿中である。

北海道演習林: Ⅰ種の活動は，標本整理を 12 日・18 人工行い，約 3,350 点を麓郷森林資料館の標本庫に収蔵した。Ⅱ種の活動は行わなかった。

秩父演習林: Ⅰ種の活動として，未採取分の標本採取を行った（表の通り）。Ⅱ種の活動としては，2014 年度に引き続き，自動撮影カメラによるフェノロジー調査（開芽・展葉・落葉）と黒石実験地・影森苗畑の植生調査を行った。植生調査については，2015 年度末発行の雑誌「演習林」58 号に掲載された。

田無演習林: Ⅰ種の活動は表の通り。Ⅱ種の活動として，樹木園で自動撮影カメラによるフェノロジー調査を行った。

生態水文学研究所: Ⅰ種の活動は画像デジタルデータの整理を行った。Ⅱ種の活動は行わなかった。

富士癒しの森研究所: Ⅰ種の活動は標本整理を行った。Ⅱ種の活動は行わなかった。

樹芸研究所: Ⅰ種の活動は標本整理を行った。Ⅱ種の活動は行わなかった。

演習林名	調査日数	調査人員	2015 採取 標本種数	2015 採取 標本点数	2015 年度末 総標本種数
千葉演習林	1	3.0	5	15	693
北海道演習林	0	0.0	0	0	872
秩父演習林	2	4.0	72	114	902
田無演習林	19	19.0	47	139	208
生態水文学研究所	0	0.0	0	0	1,202
富士癒しの森研究所	0	0.0	0	0	416
樹芸研究所	0	0.0	0	0	628

〇昆虫分野

(1) 全演共通の調査を実施

本年度もピットフォールトラップを用いた地表徘徊性甲虫相調査を実施した。2008 年から各地方演習林共通の方法による定期的・定量的採集を行っており，採集された標本は北海道演習林に集められている。千葉演習林，北海道演習林，秩父演習林，田無演習林，生態水文学研究所，樹芸研究所では，2013 年より調査地を移動した。富士癒しの森研究所では別の調査地がないため当初から同じ場所で調査している。

2008～2010 年の標本については同定結果が出ているものの，2011～2015 年は未同定である。2011～2012 年の同定が済んだところで，2008～2012 年の5年分のデータの解析を行い雑誌「演習林」に投稿する予定である。

(2) 各地方演習林を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化

各地方演習林を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化は各地方演習林で進めているが，2016 年度中にリスト様式を確定し，各地方演習林担当者により随時整備していく。

○脊椎動物（鳥類を除く）分野

今年度は 11 月 27 日に担当者会議を行い，2016 年度に雑誌「演習林」に投稿予定の 2011～2015 年

度（5年間）に全演で収集したセンサーカメラ調査成果情報の整理・公表方針の検討を行い，投稿までのスケジュールを確認した。あわせて今年度までの調査実績を基に，今後の調査計画の検討を行った。また秩父演習林で開催された技術職員研修と公開講座に際し，技術指導補助およびセンサーカメラ調査・ライトセンサスで得られたデータの一部を提供した。各地方演習林で行われたセンサーカメラ調査の成果およびその他の調査の内訳と成果は以下の通りである。

演習林名	センサーカメラ調査			その他の調査			
	設置場所	調査日数	確認種数	調査方法（実施月）	確認種数	収集件数	備考
千葉	林内	366	5	目撃情報記録（通年）	10	0	
北海道	林道	366	10	自動撮影調査（6･10月）	10	454	林道モニタリング
				目撃ノート（通年）	9	93	
				エゾシカライトセンサス（11月）	6		シカ249頭
秩父	歩道	366	14	ライトセンサス（5月）	5	20	林道
				目撃ノート（通年）	9	42	
田無	竹林内・苗畑内	366	4	動物観察ノート（通年）	7	14	
生態水文	歩道・沢地	366	12	目撃情報シート（通年）	4	5	
				コウモリ調査（7・8・9月）	2		
富士	林内・歩道	366	7	目撃情報記録（通年）	3	12	
樹芸	青野研究林内	366	6	目撃情報記録（通年）	20	52	

○鳥類分野

本年度も各地方演習林でみられる鳥類のリストアップとモニタリングを目的に教育研究計画の Ⅰ 種，II 種の調査項目を実施した。現在，調査担当者不在の田無演習林，富士癒しの森研究所では任意調査のみの実施であった。2015 年4月から 12 月までの確認種数，調査回数等は下記表の通りとなっている。また，生態水文学研究所では，近隣小学校の探鳥会の講師を7回担当したほか，技術職員等試験研究研修会議で秩父演習林からヨタカに関する発表が1件あった。次年度も組織的に調査体制を維持していきながら，計画を実行していく予定である。

演習林名	確認種		調査回数		調査人員		確認種数	
	科	種	公式調査	任意調査	公式調査	任意調査	公式調査	任意調査
千葉	30	49	9	82	18	113	23	44
北海道	30	74	18	65	32	77	48	68
秩父	22	48	12	27	12	28	35	31
田無	13	17	0	18	0	18	0	17
生態水文	24	43	4	34	4	52	19	38
富士	29	54	0	33	0	33	0	54
樹芸	24	43	5	5	5	5	25	31

確認種の分類は日本鳥類目録_改訂第7版2012を参照
任意調査は公式調査以外の野外業務の際，一時的に任意で行った調査，観察

＜水文・水質部門＞

千葉演習林，北海道演習林，秩父演習林，生態水文学研究所，樹芸研究所において，降水量と流出水量の観測を行うとともに，月に一度降水と渓流水を採取し，水質分析を行った。観測，分析は上記演習林で行っているが，千葉演習林での観測・分析は森林理水及び砂防工学研究室の協力を受けた。観測・分析結果を生態水文学研究所に集約し，雑誌「演習林」58 号で公表した。データは各演習林と生態水文学研究所で保管・管理している。今年度の観測体制と観測地点，活動内容の詳細は以下である。

○降水量・流出水量観測

北海道演習林，秩父演習林，生態水文学研究所，樹芸研究所では各演習林にて，千葉演習林では砂防工学研究室にて降水量と流出水量を観測し，日降水量・日流出水量へ整理したデータを生態水文学研究所に報告した。流出水量観測地点は袋山沢 A（千葉演習林），丸山沢（北海道演習林），バケモノ沢（秩父演習林），白坂本谷（生態水文学研究所），3号沢（樹芸研究所），降水量観測地点は，新田（千葉演習林），東郷ダム（北海道演習林），ワサビ沢（秩父演習林），白坂（生態水文学研究所），加納（樹芸研究所）である。

○降水・渓流水の試料採取と分析

北海道演習林，秩父演習林，生態水文学研究所，樹芸研究所では各演習林にて，千葉演習林では砂防工学研究室にて降水と渓流水を月に1度採取して pH と EC を計測し，分析担当者へ送付した。ただし秩父演習林では水試料の pH と EC の計測はサントリーグローバルイノベーションセンター株式会社水科学研究所で行った。降水，渓流水の採取地点は降水量と流出水量の観測地点とそれぞれ同じである。

水試料の分析は次の研究室で行った。千葉演習林の水試料は森林理水及び砂防工学研究室で，北海道演習林と樹芸研究所のすべての試料と秩父演習林および生態水文学研究所の降水試料は樹芸研究所で，秩父演習林と生態水文学研究所の渓流水試料は生態水文学研究所で行った。

分析項目は渓流水については Na^+, K^+, Mg^{2+}, Ca^{2+}, SO_4^{2-}, NO_3^-, Cl^-, pH, EC の9項目，降水については，上記9項目に NH_4^+を加えた 10 項目とした。

分析結果については，千葉演習林については砂防工学研究室から，それ以外の試料については水試料を採取した各演習林の担当者がとりまとめ，生態水文学研究所に報告した。

○観測結果のとりまとめと公表

日降水量，日流出水量，月一回の降水と渓流水の水質分析結果を生態水文学研究所がとりまとめた。今年度は 2013 年1月～12 月の観測結果を雑誌「演習林」58 号で公表した。

○その他

樹芸研究所3号沢の水位計の修理と交換を行った。

基盤データ整備委員会　水文水質部門　データ公表進行状況

○2014年度までに公開済み　●2015年度公開

降水量・流出水量

		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
千葉	袋山沢A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
千葉	袋山沢B						○	○	○	○	○	●
千葉	袋山沢C						○	○	○	○	○	●
北海道	丸山沢		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
秩父	トウバク沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
秩父	バケモノ沢									○	○	●
生態水文学研究所	白坂（本谷）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
樹芸	1号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
樹芸	2号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
樹芸	3号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

水質(降水)

		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
千葉	新田									○	○	●
北海道	東郷ダム									○	○	●
秩父	ワサビ沢									○	○	●
生態水文学研究所	白坂									○	○	●
樹芸	加納									○	○	●

水質(渓流水)

		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
千葉	袋山沢A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
千葉	袋山沢B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
北海道	丸山沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
秩父	トウバク沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
秩父	バケモノ沢									○	○	●
生態水文学研究所	白坂南谷	○	○	○	○	○	○	○	○			
生態水文学研究所	白坂本谷									○	○	●
樹芸	1号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
樹芸	2号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
樹芸	3号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

＜GIS 部門＞

本年度はGIS 部門第3期活動計画期間（2013～2015 年度）の最終年度にあたる。前期の成果をさらに発展させるべく，①GIS データの整備，②GIS 操作技術の向上，③GIS データの活用，の3つを当期における GIS 部門の活動方針としている。

活動方針①に関して，当期はリモートセンシングデータの整備・拡充を全演的に進めており，本年度は千葉演習林，生態水文学研究所，富士癒しの森研究所の ALOS 衛星画像から正規化植生指数（NDVI）の分布図を作成した。千葉演習林では本年度新植地および来年度立木販売物件をレーザー距離計により測量し，ArcGIS で図面を作成した。北海道演習林では約 5,600 ha の森林を対象にヘリコプターによる航空レーザー測量を実施し，測量成果から生成した数値地形モデル（DTM）と数値表層モデル（DSM）を用いて 43 林班の樹高分布図（DCHM）を作成した。また，GNSS 測量成果に基づき一部の林班界データを更新した。秩父演習林では林道・歩道等のシェープファイルを更新し内容の充実に努めたほか，高精度 GNSS 受信機を用いた測量等基準点の増設，地番入りシェープファイルの新規作成等を行った。富

士癒しの森研究所ではII, III林班の危険木位置情報更新および樹木説明板位置情報の登録を行った。樹芸研究所ではユーカリ植林地の測量とGISデータ化を行った。

活動方針②に関して，11月24～26日に生態調和農学機構とのGIS技術合同研修会を開催した。北海道演習林の中川雄治技術専門職員が講師を務め，「ArcGIS Pro を使用したプロジェクトの作成とOnlineでのデータ共有方法の習得」をテーマに研修を実施した。田無演習林の職員2名と生態調和農学機構の職員2名が主に参加したほか，千葉演習林および生態調和農学機構の教職員計17名が講義・実習の一部を受講した（写真 - 1）。1日目はArcGIS Proの基本操作とマップおよびデータの作成を行った。2日目は，ArcGIS Onlineの基本操作とデータ編集，モバイル端末でのCollector for ArcGIS の使用とフィールドでのデータ収集，ArcGIS Pro でのデータ編集を行った。また，「北海道演習林の森林管理でのGIS利用」と「北海道演習林のUAV利用とフィールドICTを使った授業支援」に関する講義を行った。3日目はArcGIS Online でのデータの共有とArcGIS Proでの3Dマップ作成を行った。受講者はArcGIS Proの基本操作からArcGIS Online でのデータの共有までの一連の手順を学ぶことができ，有意義な研修となった。12月1～3日には樹芸研の職員3名を対象としたGIS技術研修会を開催した（写真 - 2）。千葉演習林の軽込勉技術専門職員が講師を務め，レーザー距離計を使った試験地の周囲測量と配置図作成について実習を行った。1日目はGIS関連の講義および樹芸研におけるGPS・GISの利用状況確認，レーザー測量の実技練習を行った。2日目はユーカリ試験地の周囲測量と樹木位置測量，3日目は樹木位置図の作製を行った。受講者は GIS の基本的な操作方法からレーザーコンパスを用いた周囲測量と樹木位置図作成までを学ぶことができ，有意義な研修となった。

活動方針③に関して，千葉演習林ではGISを用いた林相図の作製を行うとともに，立木販売予定地における架線集材の可能性について GIS データをもとに検討した。また，コウヨウザン植栽地までの経路について，3D 立体システム「もりったい」を用いて検討を行った。北海道演習林では伐採許可申請図面の作成や林種区分の参考情報提供（「もりったい」の利用，樹高分布図，正規化植生指標等に基づく画像分類）を行った。またArcGIS Onlineを用いた林道状況のWeb地図を作成した。秩父演習林では利用者への GIS データ提供，森林管理業務に必要な情報の提供等を行った。生態水文学研究所では苗畑跡地利用計画の策定に苗畑周辺の GIS 図面を活用した。富士癒しの森研究所では枯損木位置情報を県有林の整備に活用した。樹芸研究所ではユーカリ新植地の立木位置図を作製した。

3月 17 日には部門会議を開催し，今年度の活動報告および第3期活動期間の総括を行うとともに，第4期活動期間（2016～2018年度）の活動方針および2016年度活動計画について検討した。

写真-1　田無演習林で行われたGIS技術合同研修会

写真-2　樹芸研で行われたGIS技術研修会の様子

＜固定試験地部門＞

東京大学の7地方演習林には数多くの試験地が設定され測定が行われている。試験地部門では，2011 年度に決めた「試験地データの整備と公開に向けての具体的なスケジュールと方法についての基本的な方針」に基づいて一部のデータのデジタル化とデータ公開を順次進めていく計画である（別記参照）。2014 年度に検討した調査データの入力フォーマットや公開方法に関する方針に沿った公開作業は進めることができなかったが，2013 年度に進めた秩父演習林の成長試験地データの一部デジタル化に続き，千葉演習林吉田成長試験地データのデジタル化を進めた。

【別記】「試験地データの整備と公開に向けての具体的なスケジュールと方法についての基本的な方針」に基づくデータ公開のステップ

ステップ1：データベース化

各地方演習林に保存されている測定データの掘り起こしを行い，同一基準でのデータベース化を進める。まず，すでに地方演習林において生データが電子ファイル化されている試験地データからデータベース化を始め，電子ファイル化されていないものについても順次データの入力を進めていく。

ステップ2：データ公開の仕組み作り

データベース化した試験地データを外部に公開するための仕組み作りを進める。具体的には，データを公開する手法として web からのダウンロードが最も現実的であるが，そのためのシステム作りを行う必要がある。また，公開にあたって利用者をどのように把握するか，利用条件をどのように設定するかなどの公開規則の作成も必要である。

ステップ3：試験地データの全演的管理組織の構築

上記のようなシステムを作り上げた後，試験地データを中心とした諸々のデータの公開利用に関する事項を一元的に管理運営するための組織が必要となる。試験地データの収集整理から公開利用までを運営管理し，各地方演習林で収集している新たなデータや東大演習林利用者が収集したデータなどをいかにして公開していくかという問題にあたる全演的な組織を構築する。

【研究推進委員会】

本年度から尾張が委員長に就任し，新たな体制の下で活動を開始した。第 1 回委員会を 2015 年5月 22 日に開催し，当委員会におけるこれまでの活動経過を振り返るとともに，今後の活動方針と活動体制，および本年度の活動計画について議論した。

今後の活動方針として，次の2つを設定した。

①研究推進方策の企画：研究プロジェクトの企画と外部資金獲得，演習林データの論文化促進

②研究等実績の評価と公開：研究業績および外部資金獲得状況の定量的分析，演習林を利用した研究成果の公表

当委員会内に副委員長（後藤）を置くとともに，企画班（班長：広嶋）と評価班（班長：楠本）を設置し，方針①と②に関わる活動をそれぞれ担当する体制とした。

企画班では，演習林教員が演習林データを収集・利用しやすい環境を整え，「演習林ならでは」の研究推進をサポートするため，基盤データ整備委員会各部門が収集するデータ，および各地方演習林の試験地等データを対象としたリスト（メタデータ）を作成し，演習林教員が一覧できるようにした。

評価班では，演習林教員の研究活動状況を把握するため，2011～2014 年度の外部資金獲得および論文等業績の属性を解析した。その結果を教員総会で全教員と共有し，演習林の研究活動の評価方法について意見交換を行った。演習林年報に掲載する研究活動資料の作成のため，広報情報委員会に協力し，情報の収集・リスト化を行った。

その他，国際交流委員会との協力により，日本学術振興会（JSPS）の「平成 28 年度研究拠点形成事業（B. アジア・アフリカ学術基盤形成型）」に課題名「アジア森林圏の環境変動と生態系応答を把捉する長期観測フィールドのネットワーク構築」で応募し，採択された。

【教育推進委員会】

1. 委員会の開催

2015 年5月 22 日（金），10 月 23 日（金），2016 年2月 19 日（金）の3回開催した。

2. 活動報告

2－1. 教養学部講義の組織的取り組み

演習林では，2006 年度より，教養学部における講義の開講に積極的に取り組んできた。近年は，年に 20 以上の科目が開講され，2015 年度は 27 科目が開講された（図-1）。これらの講義を通じて演習林を訪れ，森林・農山村の現状を学ぶ機会を持った学生は毎年 300～400 人にのぼるが，2015 年度はこれまでの水準を若干下回った（図-2）。次年度も引き続き新しい学事暦への対応が課題となる。

図-1. 演習林における教養学部開講科目数の推移

図-2. 演習林における教養学部開講科目受講者の推移

注）*受講者数は，履修登録者数ではなく，実際に講義を受けた学生数。

**2006 年度，2007 年度の全学体験ゼミは集計されていない科目が含まれる。

これに加えて，「教育研究計画 2011～2020」に例示された「演習林として戦略的な題目の設定」を目指して検討したが，具体的な成案は得られなかった。2016 年度も引き続き検討する。

教養学部講義・ゼミの受講生に，演習林で学ぶためにはどのような学部・専修を選択すればよいかをわかりやすく示した資料として「森林のことを専門的に学ぶには？」を 2014 年度に作成し，受講学生に配布した。2015 年度も引き続き配布を続けた。

2－2. 教育推進委員会予算

演習林として組織的に取り組む教育活動に関わる費用負担が職種，指導学生の多少，講義数の多寡等によって大きく偏らないようにするために，教育推進委員会予算として，現有教員の教員経費の2%と欠員教員の教員経費の半額を原資とし，運営費からの補てん分を加え，教養学部前期課程の教育（全学体験ゼミナール等）にかかる経費（遠隔地教員の講義のための旅費については研究科負担），演習林ゼミに出席するための最低限の旅費，「演習林」として講義の担当を受け持っているオムニバス講義のための旅費，助教の教育技術の向上をはかるうえで重要な学部実習の担当に必要な旅費等を支弁した。予算節減の観点から，2015 年度当初に支出基準を改正し，助教の教育技術の向上をはかるうえで重要

な学部実習を5年より長く担当した場合の旅費は原則として支出対象にしないこと，演習林ゼミ発表のための旅費は指導学生のあるなしにかかわらず1回分とすること，技術・事務職員の旅費・役務経費は支出しないことを定めた。

2－3. 広報情報委員会との連携

演習林ホームページのトップページの左側のメニューに「公開森林実習」を加え，情報発信した。また公開森林実習のポスターを作成し，農学系の大学に送付して広報につとめた。

2－4. 演習林ゼミ

演習林ゼミは，教育目的で，卒業論文，修士論文および博士論文の作成に必要な指導を行うための「特別演習」「特別実験」等の科目の一部として行われている。2015 年度は例年通り4研究室ごとのアレンジおよび卒論，修論，技術職員の発表で計 10 回開催した。

2－5. 学生の確保

「森林のことを専門的に学ぶには？」を教養学部の講義・ゼミで受講生に配付した。また進学・大学院受験等のガイダンスの場で「科学の森で学ぼう」パンフレット（PDF で発行）を印刷して配布した。

2－6. 教員総会

教員総会において，「学生経費の配分・執行方法についての教育推進委員会の意見」「現在の4研究室体制で次代をリードすることができるのだろうかという観点」「予算が減っていく中で教育パフォーマンスをどう上げるか：助教の立場から」の3点の話題提供・問題提起を行った。

2－7. 公開森林実習

全国大学演習林協議会（全演協）では，各大学が持っている演習林相互の有効活用を促進することを目的に教育関係共同利用として「公開森林実習」を実施している。東京大学は，他大学の学生に東大演習林で学ぶ機会を提供するとともに，本学学生に他大学の演習林で行われるさまざまな「公開森林実習」に参加する機会を提供するため，単位の取得にかえて「成績証明書・履修証」を発行することで，「公開森林実習」に参加している。

2015 年度は，森林系2専修およびフィールド科学専修の「森林科学総合実習」，「森林保全学実習」のうち演習林で行われる部分，および国際開発農学専修の「森林実習」を「公開森林実習」として位置づけ，それぞれ「森林科学総合実習 - 北海道の天然林生態系とその持続的管理 -」，「森林と土砂と渓流の実習 - 山から川に流れ出る土砂を測ろう -」，「伊豆の公開森林実習 - 人と森林のあり方について考える -」として開講し，うち「森林と土砂」「伊豆」をそれぞれ 1 人ずつの学生が受講した。

2－8.「演習林」として講義の担当を受け持っている農学部の科目

演習林として農学部に出講している「森林生態圏管理学」について，3年生に対する演習林の教員の顔見せという位置づけとし，12 人の講師以上の教員が1回ずつ講義を行った。

【環境安全管理委員会】

毎月開催される農学部の環境安全管理室会議に出席して，情報の収集にあたり，演習林会議を通して情報の共有をはかった。

教育研究安全衛生マネジメントシステムを 2007 年度より研究部（現教育研究センター）および各地方演習林をそれぞれユニットとして実施している。2015 年度も継続して，各ユニットで安全衛生計画等の作成，定期的なミーティング，リスクアセスメントと対策の検討，安全衛生に関わる各種研修，講習を行った。研修，講習は，演習林内部で実施するほかに，演習林外部の研修，講習へ職員が参加した。

2014 年2月４日に千葉演習林のシカ生息数調査に際して発生した死亡事故を機に，研究科環境安全

管理室の全面的なバックアップを得て演習林を利用するさまざまな形態ごとに演習林が果たすべき安全配慮の範囲を明確にした。今年度実施した外部評価では，死亡事故が起こっていることから安全への一層の取り組みが必要であること，人員削減によるリスク増があることから組織的に人材確保に取り組むべきこととの指摘がされた。それらへの取り組みの必要性について認識を強くした。

秩父演習林でおきたボール盤事故は重大事故になりかねない，看過すべきできない事故として捉えて調査を行った。背景要因として作業手順書の不備に加え，所定の命令系統が遵守されなかったことにも着目し，演習林独自の安全確認作業を実施した。この情報も演習林会議を通して共有した。

【広報情報委員会】

演習林会議の前の週に，図書館会議室の TV 会議システムを利用して毎月1回の会議を行い，広報，情報，ネットワーク，ホームページ，会計等の各担当から報告を行うとともに，審議を行った。

○広報活動

演習林編集委員会と連携して，雑誌「演習林報告」133 号・134 号，「演習林」58 号を編集・発行した。今年度から，演習林報告は東京大学リポジトリで Web 発行を基本として，合冊したものを年1回冊子体として発行することにした。また，科学の森ニュース 70 号～73 号，技術職員等試験研究・研修会議報告，「科学の森で学ぼう」の編集，印刷，出版と配布，全演ホームページの更新とコンテンツの管理を行った。

科学の森ニュースについては，科学の森ニュース発行の3ヵ月前に広報情報委員会と科学の森ニュース編集委員会を合同開催（情報基盤センターの多地点 TV 会議システムを利用）することにより，掲載する記事の情報を各地方演習林から収集できるようにした（写真-1）。

毎月の専攻長・附属施設長会議に演習林の活動を資料として提出したほか，各地方演習林と協力しながら，広報誌（学内広報，淡青，弥生など）への原稿の投稿，情報の提供を行った。また，研究科カレンダー2016 に地方演習林から提供された3枚の画像が掲載された。

2015 年4～12 月の演習林出版局の出版物（ポストカード含む）の販売実績は，ジュンク堂池袋店で 55 冊，同札幌店で7冊，農学部生協店で 97 冊，地方演習林合計で 554 冊，全体では 715 冊，合計 583,663 円（消費税込）となった。2015 年度に，「千葉演習林生き物ガイドブック」，「森の健康診断の 10 年　愉しくてためになる流域の森のキヅキとマナビ」，生態水文学研究所のリーフレット「東京大学赤津研究林の見どころ-2016 年改訂版-」が発行された。秩父市の神林書店と秩父演習林関連書籍の取引を開始した。

○情報活動

各地方演習林の利用実績の収集・報告およびデータベースの維持管理，演習林年報のとりまとめ，演習林サイボウズの管理，演習林ホームページやサイボウズ，データベースの入っているサーバの保守を行った。サイボウズは3年契約で経費節減を行った。また，基盤データ整備委員会と連携し，試験地部門におけるデータベースの構築，公開についての作業分担協力，各地方演習林で観測された気象データの収集と取りまとめ，公開支援を行った。

演習林年報の構成と中身について検討を重ね，外部評価委員の意見も踏まえたうえで，情報の質と量は維持しつつ，前半で活動のトピックが分かるように改良することとした。

広報情報委員会の下部組織である演習林ネットワーク委員会では，メールアカウントの管理業務・演習林 Web/データベースサーバの管理・部局 CERT における担当としてコンピュータセキュリティに関する業務，地方演習林のインターネット接続・コンピュータネットワークに対する支援などを行った。今年度は，新

規サーバへ移行作業を行い，無事に完了した。また，事務とのワードファイルのやり取りを可能にするために，メールボックスにwebファイル機能を割り当てた。また，外国人利用者数を効率的に把握するため，利用者集計システムの改良を発注した。さらに，ICT を用いた遠隔地講義をさらに推進するため，地方演習林の施設整備の支援を行った。メールアカウントの不正アクセス，DNS サーバの踏み台攻撃，NAS のセキュリティホールを突かれた攻撃などに対して，その都度，UT-CERT 部局担当として対応した。

写真-1：多地点 TV 会議システムを利用した
科学の森編集委員会との合同開催

【国際交流委員会】

演習林国際交流委員会は，おもに，各国の大学演習林との交流計画の作成・実施を任務としている。2015 年度は，2015 年 10 月に国立台湾大学実験林で開催された第6回アジア大学演習林コンソーシアムのシンポジウムに参加した。次回のシンポジウムは，2016 年 10 月に東京大学で開催する予定である。研究推進委員会との協力により，日本学術振興会（JSPS）研究拠点形成事業（B.アジア・アフリカ学術基盤形成型）に「アジア森林圏の環境変動と生態系応答を把捉する長期観測フィールドのネットワーク構築（代表：鎌田直人，2016-2018 年度）」の課題で応募し，採択された。この事業を推進するために，地上 LiDAR 計測機器の購入（2台），全演習林の航空機 LiDAR データの取得，分子生物学実験機器の整備（北演）等について総長裁量経費に応募したが，採択には至らなかった。また，戦略的パートナーシップのキックオフミーティングとして，12 月に東京でシンポジウムを開催して，今後の協力関係について話し合った。サマースクールの開催について，実際に協議を開始するとともに，JASSO の海外留学支援制度に重点経費枠で応募し，2016 年度には東京大学の森林科学専攻・生物材料科学専攻から計5名の学生を国立台湾大で開催するサマースクールに派遣する経費と，東京大学で開催するアジア大学演習林コンソーシアムのシンポジウムに国立台湾大からの学生5名を招聘する予算を申請し，認められた。

【森林病虫害委員会】

森林病虫害委員会は森林管理において支障となる病虫害が発生し各地方演習林で対応が困難な場合に専門的な立場から管理指針を助言することになっている。2015 年度は対応が必要な病虫害発生案件はなかった。

生態水文学研究所 74 林班で 2010 年度に実施したマツ枯れ予防樹幹注入試験地（注入木約 130 本）についても 2015 年度は枯死木がなかったため，調査は実施しなかった。本試験地では注入後数年間，予防効果について経過観察し，注入木で枯死が多発した場合には薬剤の分布調査を行うことになっている。

【「東京大学の森」育成資金委員会】

予算の削減が厳しくなっていく状況を考慮し育成資金制度のより積極的な活用を進めるため 2015 年

度より本委員会の委員構成を変更した。平成 25 年度まで演習林で行っていた東大基金・渉外本部主催の東大寄付者フォローアップセミナーは 2015 年度も開催されず，渉外本部との連携は弱くなる傾向にある。今年度はあらためて連携を強化するための打合せを行う一方で，大口の寄付を募る活動にも協力した。

2015 年度は3月上旬までに 11 名から 179 万円（本部取り分含む）の寄付があったが，寄付件数，寄付額とも過去5年間でもっと少なくなっており，何らかの対策が必要と考える必要性がある。

「東京大学の森」育成資金　寄付状況

年度	寄付件数	寄付額（演習林への配分総額）	1件あたりの寄付額	備考
2009 年度	5	1,044,000	208,800	開始初年度
2010 年度	11	1,012,000	92,000	
2011 年度	30	2,936,750	97,892	
2012 年度	26	2,895,950	111,383	
2013 年度	42	2,312,000	55,048	
2014 年度	13	2,745,500	211,192	
2015 年度	11	1,521,500	138,318	（2016 年 3 月 11 日現在）
		（円）	（円）	

「東京大学の森」育成資金年度別寄付額（演習林への配分総額）

■資料■

■教育活動■

大学院講義等

大学院農学生命科学研究科

生圏システム学専攻修士課程

教員名					講義名
鎌田直人	後藤　晋	平尾聡秀	鈴木智之	前原　忠	森林圏生態学
久本洋子					
鎌田直人	後藤　晋	平尾聡秀			森林圏生態学演習
山田利博	鴨田重裕	楠本　大			森林生物機能学
山田利博	鴨田重裕	楠本　大			森林生物機能学演習
石橋整司					森林生態圏管理学特論
蔵治光一郎					国際森林学特論
石橋整司	蔵治光一郎	安村直樹			森林圏生態社会学演習
浅野友子	田中延亮				森林圏水循環機能学
尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子			森林流域管理学演習
大黒俊哉	山岸順子	高田まゆら	松崎慎一郎	山本勝利	
石橋整司	山田利博	廣嶋卓也	當山啓介	久本洋子	生圏システム学特論
齊藤　修	菊池　潔	勝木俊雄	宮下　直		
鎌田直人	山田利博	石橋整司	尾張敏章	蔵治光一郎	
鴨田重裕	後藤　晋	廣嶋卓也	平尾聡秀	浅野友子	生圏システム学実験・研究
安村直樹	楠本　大				

森林科学専攻修士課程

教員名					講義名
鎌田直人	後藤　晋	平尾聡秀	鈴木智之	前原　忠	森林圏生態学
久本洋子					
山田利博	鴨田重裕	楠本　大			森林生物機能学
石橋整司					森林生態圏管理学特論
蔵治光一郎					国際森林学特論
浅野友子	田中延亮				森林圏水循環機能学
鎌田直人	山田利博	石橋整司	尾張敏章	蔵治光一郎	
鴨田重裕	後藤　晋	廣嶋卓也	平尾聡秀	浅野友子	森林科学特別実験
安村直樹	楠本　大				
鎌田直人	山田利博	石橋整司	尾張敏章	蔵治光一郎	
鴨田重裕	後藤　晋	廣嶋卓也	平尾聡秀	浅野友子	森林科学特別演習
安村直樹	楠本　大				

農学国際専攻修士課程

教　員　名	講　義　名
鎌田直人	森林昆虫生態学
尾張敏章	International Forest Certification 国際森林認証論

生圏システム学専攻博士課程

教　員　名					講　義　名
鎌田直人	後藤　晋	平尾聡秀			森林圏生態学特別演習
山田利博	鴨田重裕	楠本　大			森林生物機能学特別演習
石橋整司	蔵治光一郎	安村直樹			森林圏生態社会学特別演習
尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子			森林流域管理学特別演習
鎌田直人 鴨田重裕 安村直樹	山田利博 後藤　晋 楠本　大	石橋整司 廣嶋卓也	尾張敏章 平尾聡秀	蔵治光一郎 浅野友子	生圏システム学特別実験・研究

森林科学専攻博士課程

教　員　名					講　義　名
鎌田直人 楠本　大	山田利博	後藤　晋	鴨田重裕	平尾聡秀	森林生態圏管理学特別演習Ⅰ
石橋整司 浅野友子	蔵治光一郎	尾張敏章	安村直樹	廣嶋卓也	森林生態圏管理学特別演習Ⅱ
鎌田直人 楠本　大	山田利博	後藤　晋	鴨田重裕	平尾聡秀	森林生態圏管理学特別実験Ⅰ
石橋整司 浅野友子	蔵治光一郎	尾張敏章	安村直樹	廣嶋卓也	森林生態圏管理学特別実験Ⅱ

農学部講義・演習・実験実習

教員名			講義名	学部:課程(専修)等	開講年次・ターム
鎌田直人 尾張敏章 後藤　晋 浅野友子	山田利博 蔵治光一郎 廣嶋卓也 安村直樹	石橋整司 鴨田重裕 平尾聡秀 楠本　大	森林生態圏管理学	応用生命科学課程・環境資源科学課程	3年次・A1
永田　信	古井戸宏通	安村直樹	森林政策学	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・S1
蔵治光一郎			森林水文学	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・S1
後藤　晋			森林遺伝育種学	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・W
小林和彦	石橋整司	宮沢佳恵	国際農業生態学	国際開発農学専修	3年次・A2
福田健二 久本洋子	松下範久 鈴木智之	楠本　大	森林植物学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・S1
富樫一巳 前原　忠	久保田耕平	加賀谷隆	森林動物学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・S1－A1
丹下　健 楠本　大	益守眞也 久本洋子	大澤裕樹	造林学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・S1－A1
永田　信 竹本太郎	古井戸宏通 齋藤暖生	安村直樹	森林政策学演習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・S1－A1
蔵治光一郎	田中延亮	小田智基	測量学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・S1－A1
丹下　健 鈴木智之	益守眞也	大澤裕樹	森林土壌学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・S1－A2
蔵治光一郎 田中延亮	浅野友子	小田智基	森林保全学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・S1－A2
酒井秀夫	桜井　倫	鈴木智之	森林土木学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・S1－A2
白石則彦 中島　徹	廣嶋卓也 當山啓介	藤原章雄	森林経理学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・S1－A2
龍原　哲 藤原章雄	廣嶋卓也	中島　徹	森林計測学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・A2－W
白石則彦 坂上大翼	鎌田直人 福井　大	尾張敏章	森林科学総合実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修・フィールド科学専修	3年次・SP
鴨田重裕 平尾聡秀	広嶋卓也	井上広喜	森林実習	国際開発農学専修	3年次・SP
石橋整司	齋藤暖生		国際農学実験・個別実験「山の幸を探る」	国際開発農学専修	3年次・S1
石橋整司			国際農学実験・個別実験「森の動物観察」	国際開発農学専修	3年次・S1
高橋一生 久保成隆	浅野友子 古谷　研	木村伸吾	水の環境科学	農学総合科目	2年次・A1－A2
白石則彦 蔵治光一郎	酒井秀夫 尾張敏章	龍原　哲 広嶋卓也	森林環境科学汎論	農学基礎科目	2年次・A2

教養学部講義・演習

教員名			講義名	開講ターム・セメスター
石橋整司 久本洋子	井上広喜 當山啓介	齋藤暖生 前原　忠	全学体験ゼミナール「危険生物の知識（春編）」	S1
山田利博 鈴木　牧	石田　健 久本洋子	廣嶋卓也 當山啓介	全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」	S
鴨田重裕	平尾聡秀		全学体験ゼミナール「森に学ぶ（ふらの）」	S
鴨田重裕	井出雄二		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ（夏）1」	S
鴨田重裕	岡本　研		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ（夏）2」	A1
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ（夏）3」	A1
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「企画系さらに伊豆に学ぶ1」	S
楠本　大	安村直樹	竹本周平	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成－子どもに伝える自然体験」	S
浅野友子 藤原章雄	石橋整司 齋藤暖生	後藤　晋 三浦直子	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る（夏）」	S2
平尾聡秀 鈴木智之	鎌田直人	浅野友子	全学体験ゼミナール「奥秩父の春を巡る」	S
嶋田　透 勝間　進 東原和成 鎌田直人	田付貞洋 長澤寛道 富樫一巳 宮下　直	石川幸男 永田晋治 久保田耕平	全学自由研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」	S
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス1」	S
石橋整司 藤原章雄	蔵治光一郎 齋藤暖生	安村直樹 當山啓介	全学体験ゼミナール「癒しの森を考える」	S2
蔵治光一郎	田中延亮		総合科目Ｄ（人間・環境）「森林環境資源学（ダムと森林）」	S
富樫一巳 福田健二 益守眞也	丹下　健 久保田耕平	鎌田直人 松下範久	総合科目Ｅ（物質・生物）「森の生物学（共存する森林生物）」	S
石橋整司 久本洋子	井上広喜 當山啓介	齋藤暖生 前原　忠	全学体験ゼミナール「危険生物の知識（秋編）」	A1
鎌田直人 福井　大	尾張敏章	坂上大翼	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	A2
石橋整司 當山啓介	廣嶋卓也	久本洋子	全学体験ゼミナール「房総の森と生業（なりわい）を学ぶ」	A2
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	A2
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	A2
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	A2
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス2」	A
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「企画系，さらに伊豆に学ぶ2」	A
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ－熱帯植物編－」	A2
蔵治光一郎	田中延亮	菊池　潔	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	A
浅野友子 齋藤暖生	石橋整司 三浦直子	藤原章雄	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る（冬）」	A2
山田利博 鈴木智之	平尾聡秀	浅野友子	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	A
石橋整司	露木　聡	藤原章雄	全学体験ゼミナール「森の魅力をマッピング～GPSを使ったオリジナル地図づくり～」	A2
安村直樹	齋藤暖生	當山啓介	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	A2
石橋整司	露木　聡		全学自由研究ゼミナール「古典落語から知る江戸の自然・文化」	A

2015年度　他大学の非常勤講師・その他の講義実習対応

他大学の非常勤講師（委嘱あり）

教員名	講 義 名	対象学部	学 科 等	学 年	大 学 名
石橋整司	環境論	電気通信学部	総合文化講座	1年	電気通信大学
石橋整司	エコロジーA	造形学部	デザイン学科	2・3・4年	東京造形大学
齋藤暖生	地域資源管理論	文学部	社会学科	2・3・4年	都留文科大学
鈴木智之	自然科学3（生物）	法学部	通信教育課程	1・2・3・4年	中央大学
鈴木智之	生物環境論	社会情報学部	情報社会学科	2・3・4年	群馬大学
三浦直子	環境情報可視化技法	環境学部	環境創生学科	3年	東京都市大学

その他の講義・実習対応（学内で担当教員以外で対応した場合／他大学で委嘱のない場合）

教員名	講 義 名	対象学部等	学 科 等	学 年	大 学 名
廣嶋卓也・當山啓介	造林学実験	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
久本洋子	樹木学実習	農学部	森林科学科	1年	宇都宮大学
齋藤俊浩・五十嵐勇治・吉田弓子	環境生物学実験Ⅰ	理学部	物質生物科学科	2年	日本女子大学
大村和也	自然科学科特別講義NS-1	知識工学部	自然科学科	3年	東京都市大学
五十嵐勇治・高野充広・才木道雄・吉田弓子・柴崎徹之	野生動物被害防除対策実習			4年	東京環境工科学園
三浦直子	全学体験ゼミナール「森の魅力をマッピング～GPSを使ったオリジナル地図づくり～」	教養学部		1・2年	東京大学
井上広喜	森林生物機能学	大学院農学生命科学研究科	森林科学専攻・生圏システム学専攻	修士課程	東京大学
楠本　大	森林遺伝育種学	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
坂上大翼・中川雄治・遠國正樹・井上　崇・犬飼慎也・福岡　哲・江口由典・岡村行治・犬飼　浩・木村恒太・天山　学・横山和宏	森林生態圏管理学	農学部	応用生命科学課程・環境資源科学課程	3年	東京大学
坂上大翼・中川雄治・木村恒太	森林環境科学汎論	農学部	農学基礎科目	2年	東京大学
坂上大翼	森林遺伝育種学	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
坂上大翼	インターンシップⅡ：北海道における森林のあり方と開発	現代社会学部	社会システム学科	3・4年	同志社女子大学
岡平卓巳・井口和信・江口由典・廣田善己・小池征寛・遠國正樹・丹羽悠二・及川希	森林科学総合実習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修・フィールド科学専修	3年	東京大学
犬飼　浩・磯崎靖雄・及川希・福岡　哲・大川あゆ子・木村徳志・小池征寛・岡平卓巳・井口和信・廣田善己・井上　崇・遠國正樹	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
尾張敏章	平成27年度大学院特別講義	大学院生物資源科学研究科	生物資源生産科学専攻	博士前期課程	日本大学
尾張敏章	森林利用学特別演習Ⅰ	生物資源科学部	森林資源科学科	4年	日本大学
松井理生・井上　淳・田中延亮	総合政策学外体験プログラムA	総合政策学部	総合政策学科	1-4年	南山大学
田中延亮・松井理生	生物環境科学基盤実験実習	農学部	生物環境科学科	2年	名古屋大学
田中延亮	森林保全学実習	農学部	森林生物科学専修，森林環境資源科学専修	4年	東京大学
藤原章雄	環境設計演習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年	東京大学
藤原章雄	フィールド演習	工学部	社会基盤学科	3年	東京大学

4研究室の所属メンバー

森林圏生態学研究室

教授	鎌田直人
准教授	後藤　晋
講師	平尾聡秀
助教	前原　忠
助教	久本洋子
助教	鈴木智之
助教	福井　大
博士2年	ティラック・チャンドラティラク
博士1年	サイフル・アムリ・サラギー
修士2年	岩城常修
修士1年	アヌット・ブランパニクパン
修士1年	阿部智和
研究生	尹　唯为

森林生物機能学研究室

教授	山田利博
准教授	鴨田重裕
講師	楠本　大
助教	坂上大翼
助教	井上広喜
助教	竹本周平
修士2年	山口彩花

森林圏生態社会学研究室

教授	石橋整司
准教授	蔵治光一郎
講師	安村直樹
助教	藤原章雄
助教	齋藤暖生
助教	當山啓介
修士1年	笠原琢志

森林流域管理学研究室

准教授	尾張敏章
講師	廣嶋卓也
講師	浅野友子
助教	田中延亮
助教	三浦直子
IPADS博士1・2年	サデーパ・ジャヤトゥンガ
修士2年	小山奈々
学部4年	永竹翔太

所属学生の学位論文

修士論文

学生氏名	題目
岩城常修	奥秩父山地における植生の標高変化と他の栄養段階への影響
山口彩花	フジにおける多重形成層の構造

卒業論文

学生氏名	題目
永竹翔太	外観の特徴に基づく天然生ミズナラ立木のウイスキー樽材適性評価 －東京大学北海道演習林での事例－

森林生態圏管理学大講座ゼミ

第1回	(2015年4月24日(金)13:00-17:00/森林圏生態社会学研究室)	
安村直樹	(田無演習林)	農山村における医療資源の適正配分
齋藤暖生	(富士癒しの森研究所)	スウェーデンにおける万人権をめぐる葛藤と行動規範
當山啓介	(千葉演習林)	森林経営計画制度において設定されている収穫規整の特徴と課題
藤原章雄	(富士癒しの森研究所)	ICT基盤整備（附属演習林の自然環境リアルタイム計測データを活用した遠隔講義システム）の紹介
第2回	(2015年5月22日(金)13:00-17:00/森林流域管理学研究室)	
Sadeepa Senarath	(IPADS)	Analysis of forest structural complexity using airborne LiDAR: A study in a conifer-broadleaved mixed forest at the University of Tokyo Hokkaido
三浦直子	(教育研究センター)	オーストラリアで開発されたForest Characterization Scheme（FCS）は北海道の森林にも効果的に適用できるのか？
田中延亮	(生態水文学研究所)	ヒノキ人工林における表面流発生と立木密度の関係
浅野友子	(秩父演習林・富士癒しの森研究所)	山地河川における洪水時の水理特性
第3回	(2015年6月19日(金)13:00-17:00/森林圏生態学研究室)	
富樫一巳	(森林科学専攻)	マツノマダラカミキリの生活環の調節機構と休眠
鎌田直人	(北海道演習林)	日本と世界における養菌性キクイムシの大発生
後藤　晋	(教育研究センター)	バルクDNAを用いたスギ採穂園の効率的なクローン分析法
鈴木智之	(秩父演習林)	秩父演習林冷温帯林の二次遷移における樹木群集の機能形質動態
第4回	(2015年7月17日(金)13:00-17:00/森林生物機能学研究室)	
鴨田重裕	(樹芸研究所)	*Eucalyptus robusta* のフェニルアラニンアンモニアリアーゼ遺伝子
鳥居正人	(田無演習林)	*Raffaelea quercivora* に対するブナ科コナラ属樹木の静的防御機構
楠本　大	(田無演習林)	樹木はどのように病原菌を認知し、防御反応を誘導するのか？
第5回	(2015年9月18日(金)13:00-17:00/森林圏生態社会学研究室)	
蔵治光一郎	(生態水文学研究所)	森林の環境サービス支払いと水道水源保全基金
森田えみ	(森林総合研究所)	森林の保健休養機能について
斎藤　馨	(新領域・自然環境)	ソーシャルメディアを活用した遠隔地の森林ライブ音聞き取りによる鳥類調査
笠原琢志	(森林修士1年)	山中湖周辺の薪利用に関する地元住民と移住民の違い
石橋整司	(演習林企画部)	成長比較試験地の間伐方針
第6回	(2015年10月23日(金)13:00-17:00/森林圏生態学研究室)	
外部評価委員会の開催のため中止		
第7回	(2015年11月20日(金)13:00-17:00/森林流域管理学研究室)	
辻　周真	(新領域・自然環境修士2年)	間伐シミュレーションを用いた木質バイオマスの利用可能量の評価-岐阜県郡上市和良町を事例として-
広嶋卓也	(千葉演習林)	都道府県別間伐量予測モデルの開発
永竹翔太	(森林4年)	ミズナラ天然木のウイスキー樽材適正評価
尾張敏章	(北海道演習林)	天然林施業における空間情報技術の応用:北海道演習林の取り組み
第8回	(2015年12月18日(金)13:00-17:00/修士論文発表・森林圏生態学研究室)	
岩城常修	(森林修士2年)	奥秩父地域における植生の標高変化と他の栄養段階への影響
山口彩花	(森林修士2年)	フジの多重形成層の構造
Anut Burananichpan	(森林修士1年)	Ecology of an ambrosia beetle *Xyleborus seriatus* in Hokkaido: background, present situation and this year data, and future plan
Thilak Chandrathilake	(森林博士2年)	Short term transpiration response of surrounding trees following oak individuals dead by Japanese oak wilt disease
第9回	(2016年1月22日(金)13:00-17:00/森林生物機能学研究室)	
井上広喜	(樹芸研究所)	ビャクダン培養細胞における芳香成分生産の試み
竹本周平	(田無演習林)	スエヒロタケのポプラ樹に対する病原力は遺伝的形質である
山田利博	(秩父演習林)	音響波トモグラフによる樹木の非破壊腐朽診断の特性
坂上大翼	(北海道演習林)	横打撃共振法による腐朽診断技術の北方林業への応用の取り組み
坂上大翼	(北海道演習林)	ICTを活用したフィールド遠隔教育の手引き:研究科の遠隔授業支援システムについて
楠本　大	(田無演習林)	VR技術を利用した森林体験教育の試み
第10回	(2016年2月19日(金)13:00-17:00/森林圏生態学研究室)	
阿部智和	(森林修士1年)	葉食性鱗翅目昆虫ギルドに対する植物の系統と形質の影響
久本洋子	(千葉演習林)	放置竹林問題の抜本的な解決方法とは？
平尾聡秀	(秩父演習林)	植生衰退が森林土壌の微生物機能に及ぼす影響
福井　大	(北海道演習林)	森林生態系指標としてのコウモリ類
第11回	(2016年3月11日(金)13:15-17:00/技術職員研究発表)	
江口由典	(北海道演習林)	北海道演習林におけるフィールド遠隔教育の取り組み
五十嵐勇治	(秩父演習林)	秩父演習林と地域社会
井上　淳	(生態水文学研究所)	生態水文学研究所における境界の管理-隣接土地所有者の対応と今後の課題-
里見重成	(千葉演習林)	母樹齢の異なるさし穂を用いたキヨスミミツバツツジのさし木発根試験
才木道雄	(秩父演習林)	秩父演習林におけるヨタカのさえずり頻度の時間変化

※第11回(農学部7号館A棟1階104/105講義室)を除き第1～11回は農学部1号館2階森林科学専攻会議室で開催された。

演習林教育研究センターゼミ

月	日	発表者氏名	発表タイトル
4	10	後藤　晋	教育研究センターゼミ・ガイダンス
	17	全員	プレゼンのミニ講習（自己紹介）
5	8	後藤　晋	R講習パート1（インストールと簡単な分析）
	15	阿部智和	葉食性鱗翅目昆虫とホスト植物の関係 特に選好性とパフォーマンス
	29	ティラック・チャンドラティラク	Directional sap flux compensation of Japanese Oak(*Quercus serrata*) tree after Ambrosia beetle attack
6	5	小山奈々	カエルの有無による水稲害虫被害の比較
	12	永竹翔太	ミズナラ天然木のウイスキー樽材適正評価
	26	笠原琢志	薪利用が社会関係に与える影響の把握に向けたソーシャルキャピタル論の検討
7	3	岩城常修	奥秩父山地におけるニホンジカの分布と植生衰退の関係
	10	山口彩花	フジの多重形成層の構造
	24	永竹翔太	論文レビュー「東京大学北海道演習林の針広混交林における択伐施業がミズナラの個体群動態に及ぼす影響」
		岩城常修	論文レビュー「Crouching tigers, hidden prey: Sumatran tiger and prey populations in a tropical forest landscape」
		小山奈々	論文レビュー「Natural enemy interactions constrain pest control in complex agricultural landscapes」
	31	ノルウェン・ル・トーキン	インターンシップで学んだこと
9	4	山口彩花	論文レビュー「Effect of Support on the Growth of a Woody Vine, *Wisteria Floribunda* DC.」
		笠原琢志	論文レビュー「The importance of social networks in the Norwegian firewood industry」
	11	全員	ICT講義デモンストレーション
10	2	後藤　晋	R講習パート2（作図）
	16	阿部智和	葉食性鱗翅目昆虫ギルドに対する植物の系統及び形質の影響
	30	笠原琢志	第2回山中湖調査の報告～山中湖周辺の薪関係者たち～
11	6	三浦直子	ArcGIS研究に使える3選デモンストレーション
	13	永竹翔太	ミズナラに関する卒業研究の進捗報告
	27	ティラック・チャンドラティラク	論文レビュー「Above and below Ground Gaps: The Effects of a Small Canopy Opening on Throughfall, Soil Moisture and Tree Transpiration in Suserup Skov, Denmark」
12	4	山口彩花	フジの多重形成層の構造
		岩城常修	奥秩父山地における植生の標高変化と他の栄養段階への影響
		アヌット・ブラン・パニクパン	論文レビュー「Polyphyly of *Xylosandrus* Reitter inferred from nuclear and mitochondrial genes (Coleoptera: Curculionidae: Scolytinae」
	11	後藤　晋	論文要旨の作成について（演習）
1	15	阿部智和	論文レビュー「To each its own: differential response of specialist and generalist herbivores to plant defence in willows」

実習等

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
千葉	東京大学	造林学実験	農学部	森林科学科	3･4年	17	4月	5
千葉	千葉大学	堆積学実験	理学部	地球科学科	3年	16	5月	1
千葉	東京大学	地域自然誌論	新領域創成科学研究科	環境学研究系	院生	5	6月	2
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	教養学部		1･2年	7	5月	1
千葉	東京大学	森林経理学実習	農学部	森林科学科	3･4年	5	6月	3
千葉	東京大学	森林植物学実験	農学部	森林科学科	3･4年	20	6月	2
千葉	宇都宮大学	樹木学実習	農学部	森林科学科	1年	38	6月	2
千葉	東京大学	地球惑星環境学野外調査Ⅰ	理学部	地球環境惑星学科	3年	9	8月	5
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール「野生動物の保護管理」	教養学部		1･2年	16	8月	3
千葉	千葉大学	地質学野外実験Ⅱ・地殻構造学野外実験Ⅰ	理学部	地球科学科	3･4年	27	8月	8
千葉	京都大学	課題演習E2（地質調査実習）	理学部	理学科	3年	13	9月	5
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール「危険生物の知識（秋編）」	教養学部		1･2年	24	10月	1
千葉	東京大学	生圏システム学特論　現地実習	農学生命科学研究科		院生	9	11月	1
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール「房総の森と生業（なりわい）を学ぶ」	教養学部		1･2年	18	2月	4
千葉	東京大学	森林計測学実習	農学部	森林科学科	3･4年	4	3月	3
北海道	東京大学	森林科学総合実習	農学生命科学研究科	森林科学専攻	学生･院生	18	6月	4
北海道	東京大学	附属学校宿泊研修	教育学部		高校生	40	6-7月	4
北海道	北海道札幌啓成高等学校	SSH道内視察研修（自然環境）			高校生	19	7月	3
北海道	東京大学	全学体験ゼミナール「森に学ぶ（ふらの）」	教養学部		1年	8	8月	4
北海道	同志社女子大学	北海道における森林あり方と開発		社会システム学科	学生	4	9月	1
北海道	東京大学	陸域生態学実習	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	7	9月	5
北海道	東京大学	研究室での演習林ワークショップ	新領域創成科学研究科	人間環境学専攻	院生	8	9月	4
北海道	とわの森三愛高等学校	1年道内研修		獣医進学コース	高校生	8	10月	1
北海道	東京大学	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	教養学部		1･2年	44	2月	3
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「危険生物の知識（春編）」	教養学部		1･2年	7	5月	2
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	教養学部		2年	7	5月	2
秩父	東京大学	自然環境学研究1,2及び自然環境学特別研究1,2,3	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	9	5月	2
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	教養学部		2年	7	6月	2
秩父	東京大学	森林土木学実習	農学生命科学研究科	森林科学専攻	4年	2	7月	4
秩父	東京大学	森林植物学実験の野外実習	農学生命科学研究科	森林科学専攻	3･4年	20	7月	3
秩父	東京大学	フィールド科学総論	農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	院生	17	7月	4
秩父	埼玉県立秩父農工科学	樹木採集実習	森林科学科		1年	41	7月	1
秩父	東京大学	植物科学野外実習Ⅲ	理学系研究科	生物科学専攻	4年･院生	15	8月	4
秩父	首都大学東京	動物系統学実習	理工学研究科	生命科学専攻	3･4年	12	8月	4
秩父	日本女子大学	専門科目授業「環境生物学実験I」による植物分類学関連実習	理学部	物質生物科学科	2年	17	8月	3
秩父	東京大学	森林政策学演習および課題「山村社会における歴史と文化の価値の再考」	農学生命科学研究科	森林科学専攻	3･4年	20	9月	4
秩父	東京大学	森林土壌学実験	農学生命科学研究科	森林科学専攻	4年	2	9月	3
秩父	東京大学	バイオマス科学実習・森林科学実習	農学生命科学研究科	生物材料科学専攻	3年	17	9月	3
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	教養学部		1･2年	13	10月	2

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	教養学部		1･2年	12	10･11月	2
秩父	東京大学	デザインスタジオⅡ	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	1	11月	3
田無	東京大学	造林学実験	農学部	森林系2専修	3年	15	4･5･10月	3
田無	東京大学	緑地環境実地実習	農学部	緑地環境学専修	3年	5	4月	1
田無	東京大学	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成-子どもに伝える自然体験-」	教養学部		1･2年	4	5･6月	3
田無	東京大学	フィールド農学応用実習	農学部	応用生物学専修	3年	21	7月	1
田無	東京大学	保全生態学実習	農学部	フィールド科学専修･緑地環境学専修	3年	14	7月	1
田無	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系2専修	3年	20	9月	1
田無	東京大学	森林生物機能学	農学生命科学研究科	森林科学専攻･生圏システム学専攻	院生	6	10月	1
田無	東京大学	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部		1･2年	22	1月	1
生態水文	東京大学	総合科目D（人間･環境一般）「ダムと森林」	教養学部		1･2年	21	6月	2
生態水文	東京大学	森林保全学実習	農学部	森林科学	4	7	6月	3
生態水文	南山大学	総合政策学部学外体験プログラムA（国内）	総合政策	総合政策	1･2･3･4年	17	5月	2
生態水文	東京大学	測量学実習	農学部	森林環境資源科学	3年	5	8月	5
生態水文	名古屋大学	生物環境科学基盤実験実習	農学部	生物環境科学	2･3年	37	11月	1
生態水文	東京大学	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	教養学部		1･2年	22	2月	2
富士	東京大学	森林生態圏管理学特論	農学部		院生	7	5月	1
富士	東京大学	森圏管理学実習	農学部	フィールド科学専修	3･4年	10	6月	4
富士	東京大学	国際開発農学実験･個別実験	農学部	国際開発農学専修	3年	1	6月	2
富士	東京大学	環境設計演習	農学部		4年	4	6月	2
富士	東京大学	全学体験ゼミナール「癒しの森を考える」	教養学部		1･2年	4	7月	2
富士	東京大学	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る(夏)」	教養学部		1･2年	7	7月	2
富士	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系2専修	3･4年	20	7月	3
富士	東京大学	学生体験活動プログラム「癒しの森の森林管理」	教養学部		1･2年	2	9月	2
富士	東京大学	社会基盤フィールド演習	工学部	社会基盤学専攻	3年	52	9月	5
富士	東京大学	国際開発農学実験･個別実験	農学部	国際開発農学専修	3年	3	9月	3
富士	東京大学	自然環境デザインスタジオ	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	17	9月	5
富士	東京大学	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	教養学部		1･2年	24	10月	2
富士	東京大学	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る(冬)」	教養学部		1･2年	10	12月	2
富士	東京大学	全学体験ゼミナール「森の魅力をマッピング」	教養学部		1･2年	12	12月	2
富士	東京大学	学生体験活動プログラム「癒しの森の森林管理」	教養学部		1･2年	4	12月	2
富士	東京大学	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部		1･2年	20	1月	3
樹芸	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1･2年	1	8月	6
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版･伊豆に学ぶ1」	教養学部		1･2年	21	8月	5
樹芸	東京大学他	森林実習（全演協公開森林実習）	農学部他	国際開発農学専修	3年	20	9月	4
樹芸	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1･2年	3	9月	6

2015年度　実習等

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版・伊豆に学ぶ2」	教養学部		1・2年	16	8・9月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版・伊豆に学ぶ3」	教養学部		1・4年	4	9月	3
樹芸	東京大学	学生体験活動プログラム	教養学部		1・2年	6	9月	3
樹芸	東京大学	学生体験活動プログラム	教養学部		1・2年	5	1月	3
樹芸	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1・2年	2	1月	6
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ-熱帯植物編-」	教養学部		1・2年	13	1月	5
樹芸	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1・2年	2	2月	6
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	教養学部		1・2年	20	2月	5
樹芸	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1・2年	2	2月	6
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	教養学部		1・2年	14	2月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	教養学部		1・4年	8	3月	5

■研究活動■
教職員の論文等

発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻―号	頁	年
Thwe-Thwe-Win, Hirao T, Watanabe A, Goto S	Current genetic structure of teak (*Tectona grandis*) in Myanmar based on newly developed chloroplast single nucleotide polymorphism and nuclear single sequence repeat markers	Tropical Conservation Science	8	235-236	2015
Okada M, Kitamura K, Lian C, Goto S	The effects of multilocus heterozygosity on the longevity of seedlings established on fallen logs in *Picea jezoensis* and *Abies sachalinensis*	Open Journal of Forestry	5	422-430	2015
Iwaizumi M, Aizawa M, Watanabe A, Goto S	Highly polymorphic nuclear microsatellite markers reveal detailed patterns of genetic variation in natural populations of Yezo spruce in Hokkaido	Jouranal of Forest Research	20	301-307	2015
Kurokochi H, Toyama K.	Invasive tree species *Robinia pseudoacacia* : a potential biomass resource in Nagano Prefecture, Japan.	Small-scale Forestry	14(2)	205-215	2015
Fujii M, Hirao T, Kojima H, Fukui M	Inter-taxonomic differences in bacterioplankton community assembly in oligotrophic mountain lakes of east Japan	Aquatic Microbial Ecology	75	251-257	2015
Owari T, Tatsumi S, Ning L, Yin M	Height growth of Korean pine seedlings planted under strip-cut larch plantations in Northeast China	International Journal of Forestry Research	2015	Article ID 178681	2015
Igarashi Y, Katul G, Kumagai T, Yoshifuji N, Sato T, Tanaka N, Tanaka K, Fujinami H, Suzuki M, Tantasirin C	Separating physical and biological controls on long-term evapotranspiration fluctuations in a tropical deciduous forest subjected to monsoonal rainfall	Journal of Geophysical Research: Biogeoscienses	120	1262-1278	2015
Fukui D, Hill DA, Kim S-S, Han S-H	Echolocation call structure of fourteen bat species in Korea	Animal Systematics, Evolution and Diversity	31	160-175	2015
Sawano S, Hotta N, Tanaka N, Tsuboyama Y, Suzuki M	Development of a simple forest evapotranspiration model using a process-oriented model as a reference to parameterize data from a wide range of environmental conditions	Ecological Modelling	309-310	93-109	2015
Suzuki SN, Ishihara MI, Hidaka A	Regional-scale directional changes in abundance of tree species along a temperature gradient in Japan	Global Change Biology	21	3436-3444	2015
Hirao T, Kubota Y, Murakam M	Geographical patterns of butterfly species diversity in the subtropical Ryukyu Islands: the importance of a unidirectional filter between two source islands	Journal of Biogeography	42	1418-1430	2015
Sato T, Tanaka N, Tanaka K, Igarashi Y, Yoshifuji N, Suzuki M, Tantasirin C	Applicability of thermal dissipation method (TDM) for sap flow measurement of teak tree	Bulletin of the Tokyo University Forests	133	1-18	2015
Saito K, Nakamura K, Ueta M, Kurosawa R, Fujiwara A, Kobayashi HH, Nakayama M, Toko A, Nagahama K	Utilizing the Cyberforest live sound system with social media to remotely conduct woodland bird censuses in Central Japan	AMBIO:A Journal of the Human Environment	44(Suppl. 4)	S572–S583	2015
Tomimatsu H, Yamagishi H, Suzuki SN, Sato C, Konno Y	Long-term dynamics of small fragmented forests inferred from patterns along a gradient of fragment sizes	Ecological Research	30	1057-1064	2015
Tanaka K, Takahashi GH, Tantasirin C, Yoshifuji N, Wiwatwittaya D, Igarashi Y, Tanaka N, Sato T, Suzuki M	Earlier leaf flush associated with increased teak defoliation	Forest Science	61	1009-1020	2015

2015年度　教職員の論文等

発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻―号	頁	年
Tanaka N, Levia D, Igarashi Y, Nanko K, Yoshifuji N, Tanaka K, Tantasirin C, Suzuki M, Kumagai T	Throughfall under a teak plantation in Thailand: a multifactorial analysis on the effects of canopy phenology and meteorological conditions	International Journal of Biometeorology	59	1145-1156	2015
Kobayashi H, Muramatsu K, Okuno J, Nakamura K, Fujiwara A, Saito K	Playful Rocksalt System: animal-computer interaction design in wild environment	Proceedings of the12th International Conference on Advances in Computer Entertainment Technology (ACM ACE2015)			2015
Funakoshi K, Fukui D, Yamamoto T, Mizuno M, Osawa Y, Osawa K, Yoshikura S, Minesita K, Sato A, Tsuji A, Matsumura S, Mikasa A, Nivesh N	Ecology and monogamous system of the painted woolly bat Kerivoula picta in Khon Kaen, Thailand.	Mammal Study	40 (4)	207-216	2015
Hiroshima T	Finding Suitable Stands for Clearcutting and Reforestation by Combining GIS Thematic Maps Expressed by Standard Scores: A Case Study in the University of Tokyo Chiba Forest	Journal of Forest Planning	20	35-43	2015
Togashi K, Miyauchi O, Kusumoto D, Matsushita N	Commensal relation between *Bursaphelenchus xylophilus* (Nematoda: Aphelenchoididae) and *Monochamus alternatus* (Coleoptera: Cerambycidae) within pine trees	Applied Entomology and Zoology	51	53-62	2016
Tatsumi S, Owari T, Mori AS	Estimating competition coefficients in tree communities: a hierarchical Bayesian approach to neighborhood analysis	Ecosphere	7(3)	e01273	2016
Umebayashi T, Yamada T, Fukuhara K, Endo R	Observations on the embolism and survival of *Pinus thunbergii* seedlings inoculated with *Bursaphelenchus xylophilus*	European Journal of Plant Pathology	145	227-231	2016
山田利博	非破壊で生立木の腐朽をはかる	森林科学	74	34-35	2015
石塚　航・小野清美・原登志彦・後藤　晋	北方針葉樹トドマツの低温への適応：耐凍性獲得のタイミングと遺伝的変異	低温科学	73	81-92	2015
尾崎煙雄・斉藤明子・宮野伸也・村川功雄	清澄山で採集したシモフリクチブトカメムシ属2種について	房総の昆虫	55	20-21	2015
羽井佐冴彦・楠本　大・山田利博	ケヤキおよびクスノキ枝剪定後の巻き込みおよび材変色に対する塗布剤や剪定方法の影響	樹木医学研究	19(3)	159-160	2015
米道　学・鈴木祐紀・塚越剛史・里見重成・軽込勉・久本洋子・後藤　晋・山田利博	人工交配による強制他殖がヒメコマツ実生苗のマツ材線虫病抵抗性に及ぼす影響	森林遺伝育種	4	101-104	2015
田村　明・織田春紀・山田浩雄・福田陽子・矢野慶介・生方正俊・後藤　晋	ガラス温室内日長処理によるエゾマツ実生コンテナ苗の育苗期間短縮	日本森林学会誌	97	135-142	2015
齋藤暖生	自然資源の共有をめぐる知恵と苦悩	開発こうほう	626（9月号）	26-28	2015
浅野友子・内田太郎	AGU Chapman conference -Catchment spatial organization and complex behaviorに参加して	水文・水資源学会誌	28(2)	84-85	2015
佐藤貴紀・田中延亮・田中克典・五十嵐康記・吉藤奈津子・鈴木雅一・タンタシリン　チャチャイ	環孔材であるチークを対象とした熱消散法による樹液流計測の適応可能性の検討	東京大学農学部演習林報告	133	1-18	2015
後藤　晋・西山教雄・村瀬一隆・楠本　大	植栽から3年間のエゾマツのコンテナ苗と裸苗における地上部と地下部の成長経過	東京大学農学部演習林報告	133	43-51	2015

発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻―号	頁	年
坂上大翼・木村徳志・福岡　哲	東京大学北海道演習林におけるカラマツ属交雑育種試験地の現在(2)-カラマツ，樺太系グイマツ，ホクシカラマツ，およびアメリカカラマツの部分的二面交雑家系の植栽41年後の生育-	北海道の林木育種	58(1)	18-22	2015
山口彩花・楠本　大・山田利博	フジの多重形成層の構造	樹木医学研究	19(4)	218-219	2015
當山啓介	研究トピックス　東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	森林利用学会	30(4)	165-166	2015
蔵治光一郎	「水」と「森林」の関係　両者を同時に得られるのか	環境会議	秋号	52-57	2015
後藤　晋・松井由佳里	バルクDNAを用いたスギ挿し木在来品種シャカイン採穂園の効率的なクローン分析法	日本森林学会誌	5	232-237	2015
尾張敏章	欧州域外へ市場を広げるフィンランドの製材業	木材情報	294	1-4	2015
原　祐二・大杉　輔・横尾憲祐・小田祐也・福井大・竹中利明・有本　智	和歌山県海南市孟子不動谷におけるニホンイシガメの行動範囲と生態環境・他種との関係	南紀生物	57	97-106	2015
蔵治光一郎	水と森林と人間の関係をどう学んできたか	水資源・環境研究	28	119-123	2015
鳥居正人	日本産とアメリカ産コナラ属の生苗木とγ線滅菌苗木における*Raffaelea quercivora*の菌糸伸展比較	樹木医学研究	20	5-6	2016
山田利博・梁瀬桐子・軽込　勉・里見重成・塚越剛史・米道　学・村川功雄	マツ枯れ抵抗性家系の抽出物にみられる菌類やマツノザイセンチュウに対する阻害活性	樹木医学研究	20(1)	34-35	2016
米道　学・軽込　勉・鈴木祐紀・里見重成・梁瀬桐子・久本洋子・後藤　晋	高芽接ぎを利用したヒメコマツ孤立集団から他殖種子を得るための試み	森林遺伝育種	5	18-20	2016
遠國正樹・尾張敏章・平田雅和・鈴木祐紀・高橋功一・笠原久臣・芝野博文	森林内におけるマッピング用およびコンシューマ用GNSS受信機の測位精度	東京大学農学部演習林報告	134	29-40	2016
稲垣怜那・植木悠貴・寺田珠実・井上広喜・鴨田重裕・鮫島正浩	*Eucalyptus saligna*の葉に含まれるフェノール性成分の分析	東京大学農学部演習林報告	134	105-112	2016
坂上大翼	横打撃共振法によるシラカンバ生立木樹幹腐朽の非破壊診断事例	北方森林研究	64	31-34	2016
米道　学・久本洋子・鈴木祐紀・軽込　勉・塚越剛史・里見重成・梁瀬桐子・後藤　晋・山田利博	2010-2014年に採取された千葉演習林産天然生ヒメコマツの球果当たり種子数と水沈種子率	演習林(東大)	58	1-7	2016
原口竜成・齋藤俊浩・吉田弓子・高徳佳絵・丹羽悠二・五十嵐勇治	秩父演習林大面積プロットにおける毎木調査資料(2014年)	演習林(東大)	58	9-174	2016
五十嵐勇治・吉田弓子・角田正行・河野　満・高杉茂・土橋秀行・茂木庸佑	東京大学秩父演習林「影森苗畑・黒石実験地」の維管束植物目録	演習林(東大)	58	175-205	2016
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会水文水質部門	東京大学演習林水文観測・水質分析報告(自2013年1月至2013年12月)	演習林(東大)	58	213-238	2016
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会気象部門	東京大学演習林気象報告(自2014年1月至2014年12月)	演習林(東大)	58	239-259	2016
田中延亮・蔵治光一郎	ホートン型表面流の発生を調べる簡易散水装置の考案と矢作川流域の人工林への適用	矢作川研究	20	23-28	2016

学会発表等

発表者全氏名	題　　目	誌　　名	巻―号	頁	年
Asano Y, Uchida T	Detailed documentation of dynamic changes in water depth and surface velocity during large flood at steep mountain stream	Geophysical Research Abstracts	Vol. 17	EGU2015 -3084	2015
Miura N, Asano Y	Is green-wavelength Terrestrial Laser Scanning capable of capturing reliable underwater data in the cascade unit of a mountain channel?	Geophysical Research Abstracts	Vol. 17	EGU2015 -1583-1	2015
Saito H	How do rights of public access affect performance of Ecosystem Services?	The 15th Biennial Conference of the International Association for the Study of Commons			2015
Kuraji K, Gomyo M	The role of litter layer on the hydrological response of a forested catchment	The 4th International Conference on Forests and Water in a Changing Environment			2015
Fukui D	Outline of the policy of the environmental impact assessment on wind power plant in Japan ~current status and background~.	Vth International Wildlife Management Congress			2015
Kuraji K, Gomyo M	The role of the litter layer on the hydrological response of a forested catchment	The 7th Asia Pacific Association of Hydrology and Water Resources and the 12th Annual Meeting of the Asia Oceania Geosciences Society			2015
Fukui D, Hirao T	Regional patterns of bat community assembly in the Japanese archipelago.	3rd International Southeast Asian Bat Conference			2015
Yamada T, Yamashita K, Ota Y, Yonezawa H, Tokue I	Detecting defects in standing trees by an acoustic wave tomography with pseudorandom binary sequence code: effect of frequency	19th International Nondestructive Testing and Evaluation of Wood Symposium			2015
Yamashita K, Yamada T, Ota Y, Yonezawa H, Tokue I	Detecting defects in standing trees by an acoustic wave tomography with pseudorandom binary sequence code: simulation of defects using artificial cavity	19th International Nondestructive Testing and Evaluation of Wood Symposium			2015
Owari T, Nakawaga Y, Tokuni M	Advances in the application of spatial information technologies in the stand-based silvicultural management system	Proceedings of the 6th International Symposium of Asian University Forest Consortium		11	2015
Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	Application of airborne LiDAR and aerial photography for forest structure analysis in mixed conifer-broadleaved forests in northern Japan	Proceedings of the 6th International Symposium of Asian University Forest Consortium		24	2015
Kobayashi T, Sawada H, Tsuji K, Tsuji R, Murase K, Inoue H, Kamoda S	Growth of six Eucalyptus species in the 22-years-old stand established in Arboricultural Research Institute, University of Tokyo	Proceedings of the 6th International Symposium of Asian University Forest Consortium		45	2015
Sawada H, Kobayashi T, Tsuji K, Tsuji R, Murase K, Inoue H, Kamoda S, Kamata N	Infestation by *Platypus quercivorus* in a warm-temperate secondary forest in southern Izu Peninsula, Japan	Proceedings of the 6th International Symposium of Asian University Forest Consortium		47	2015

発表者全氏名	題　　目	誌　　名	巻―号	頁	年
Inukai S, Owari T, Nakawaga Y, Tokuni M	Using a fixed-wing unmanned aerial vehicle (UAV) for silvicultural management planning at the University of Tokyo Hokkaido Forest	Proceedings of the 6th International Symposium of Asian University Forest Consortium		61	2015
Motoi K, Sumiya M, Fukui D, Fujioka E, Hiryu S	3-D sonar beam control of FM echolocating bats during natural foraging revealed by large scale microphone array system.	Acoustical Society of America Fall 2015 Meeting			2015
Tanaka N, Levia D, Igarashi Y, Yoshifuji N, Tanaka K, Tantasirin C, Nanko K, Suzuki M, Kumagai T	Factors governing stemflow production from plantation grown teak trees in Thailand	American Geophysical Union Fall Meeting 2015			2015
Takayama N, Saito H, Fujiwara A, Horiuchi M	The Effect of Slight Thinning of Managed Coniferous Forest on Landscape Appreciation and Psychological Restoration	Japan Geoscience Union Meeting 2015			2015
Hill DA, Flanders J, Fukui D	Roosting behaviour and social system of the Ussuri tube-nosed bat (Murina ussuriensis) in Japan.	17th Australasian Bat Society Conference			2016
浅野友子・西口幸希・内田太郎	階段状河川における洪水時の水理特性の実測	平成27年度砂防学会研究発表会概要集		A-150	2015
笠原琢志・浅野友子・三浦直子	階段状河川における水位と流速の変動	平成27年度砂防学会研究発表会概要集		A-154	2015
三浦直子・浅野友子	地上型グリーンレーザによる山地河川の河床地形計測	平成27年度砂防学会研究発表会概要集		A-260	2015
竹本周平・秋田和則・片柳薫子・浦田悦子・伊藤豊彰・齋藤雅典・岡田浩明	冬期の湛水は水田の土壌線虫相に持続的な影響を及ぼす	第38回日本土壌動物学会大会			2015
増田圭祐・松井孝典・福井健一・福井 大・町村 尚	エコーロケーションコールを用いたコウモリの種識別器の開発	2015年度人工知能学会全国大会			2015
五名美江・蔵治光一郎	斜面ライシメータ上のヒノキ林の強度間伐が流出量に及ぼす影響	水文・水資源学会2015年研究発表会	28	34-35	2015
中村晋一郎・乃田啓吾・木村匡臣・五名美江・渡部哲史	中山間地域における治水対策に関する研究会－将来シナリオに関する検討－	水文・水資源学会2015年研究発表会	28	64-65	2015
松村ゆかり・伊神裕司・村田光司・鴨田重裕・児嶋美穂	国産ユーカリ4樹種の鋸断性と製材品品質	日本木材加工技術協会第33回年次大会			2015
佐藤貴紀・松井理生・田中延亮・蔵治光一郎	東海地方の暖温帯二次林におけるカシノナガキクイムシ被害の経年変化	第5回中部森林学会大会		20	2015
五名美江・高橋功一・蔵治光一郎	広葉樹二次林内および隣接表層崩壊地における表面流の比較	第5回中部森林学会大会		35	2015
當山啓介・梁瀬桐子・村川功雄・鶴見康幸・塚越剛史・里見重成・三次充和	皆伐地斜面上部に設置したスギ枝条による簡易筋工設置区の被覆要素の変遷	第5回関東森林学会大会			2015
軽込　勉・米道　学・里見重成・梁瀬桐子・久本洋子	ヒメコマツ実生苗におけるさし木増殖でのオーキシン処理の効果	第5回関東森林学会大会			2015
竹本周平・ロール＝シャピュイ・鳥居正人・山田利博	キバナフジ’ボッシー’の胴枯症状の病原菌について	樹木医学会第20回大会			2015
山田利博・梁瀬桐子・軽込　勉・里見重成・塚越剛史・米道　学・村川功雄	マツ枯れ抵抗性家系を含むマツ類の抽出物にみられた菌類やマツノザイセンチュウに対する阻害活性	樹木医学会第20回大会			2015
山下香菜・太田祐子・米沢　洋・徳江　泉・山田利博	ドクターウッズによる人工空洞の検出	樹木医学会第20回大会			2015
鳥居正人・松田陽介・伊藤進一郎	*Raffaelea quercivora* に対するブナ科4樹種の感受性に関わる防御機構	樹木医学会第20回大会			2015

2015年度　学会発表等

発表者全氏名	題　　目	誌　　名	巻―号	頁	年
鳥居正人	日本産とアメリカ産コナラ属の生苗木とγ線滅菌苗木における*Raffaelea quercivora*の伸展比較	樹木医学会第20回大会			2015
栗田直明・相川美絵子	田無演習林の地域社会との関わりと課題	平成27年度技術職員等試験研究・研修会議報告		1-6	2015
梁瀬桐子	千葉演習林一般公開の変遷と課題	平成27年度技術職員等試験研究・研修会議報告		7-10	2015
五十嵐勇治・大村和也	秩父演習林と地域社会	平成27年度技術職員等試験研究・研修会議報告		11-14	2015
磯崎靖雄・及川　希	北海道演習林の林道管理と地域との関わりについて	平成27年度技術職員等試験研究・研修会議報告		15-18	2015
西山教雄・辻　和明	社会貢献業務の自己評価に向けた分析方法の提案	平成27年度技術職員等試験研究・研修会議報告		19-24	2015
井上　淳・松井理生	生態水文学研究所における境界の管理－隣接地所有者への対応と今後の課題－	平成27年度技術職員等試験研究・研修会議報告		25-28	2015
里見重成・塚越剛史・軽込　勉・梁瀬桐子・米道学	母樹齢の異なるさし穂を用いたキヨスミミツバツツジのさし木発根試験	平成27年度技術職員等試験研究・研修会議報告		29-32	2015
才木道雄	秩父演習林におけるヨタカのさえずり頻度の時間変化	平成27年度技術職員等試験研究・研修会議報告		33-36	2015
米道　学・軽込　勉・里見重成	千葉演習林のマツ材線虫病抵抗性アカマツ採種園を構成するクローンの生存経過と実生苗のマツ材線虫病抵抗性	平成27年度技術職員等試験研究・研修会議報告		37-40	2015
辻　良子・村瀬一隆・小林徹行・須田常仁・萩原乃々美	樹芸研究所大温室におけるカカオ栽培に関する報告	平成27年度技術職員等試験研究・研修会議報告		41-44	2015
高橋功一・松井理生	赤津研究林白坂小流域における林分構造の変化－1954年と2014年の比較－	平成27年度技術職員等試験研究・研修会議報告		45-49	2015
江口由典	北海道演習林におけるフィールド遠隔教育の取り組み	平成27年度技術職員等試験研究・研修会議報告		51-56	2015
坂上大翼	横打撃共振法によるシラカンバ生立木樹幹腐朽の非破壊診断事例	第64回北方森林学会		P-04	2015
久本洋子・江上　浩・鈴木重雄	放置マダケ林における事前の稈全伐と塩素酸ナトリウム粒剤・クロレートS全面土壌散布後の植生回復	竹林景観ネットワーク第17回研究集会			2015
佐々木潔州・白井深雪・池田正則・曽我竜一・澤田晴雄・藤田真志・小野山一郎・黒岩真弓・高橋友継・堀　吉満	技術職員による技術力向上を目指して－分析技術グループ研修「pH測定技術」報告－	生物学技術研究会報告	26	77-79	2015
黒岩真弓・佐々木潔州・高橋友継・堀　吉満・澤田晴雄・白井深雪・曽我竜一・池田正則・小野山一郎・藤田真志	技術職員による技術力向上を目指して－分析技術グループの立ち上げから現在に至るまで－	生物学技術研究会報告	26	166-167	2015
広嶋卓也	GISによる森林伐採地の選定－東京大学千葉演習林の事例－	G空間EXPO2015			2015
當山啓介	バイオマス燃料用広葉樹林伐採事例における林分構造と利用材積の関係	第11回バイオマス科学会議			2016
尾張敏章・坂上大翼・中川雄治・木村恒太	森林フィールド遠隔講義のデモンストレーション	第5回サイバーフォレストシンポジウム			2016
澤田晴雄・鈴木祐紀・犬飼　浩・齋藤俊浩・栗田直明・井上　淳・辻　和明・村瀬一隆・米道　学	農学生命科学研究科7つの演習林と技術職員の業務	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		20	2016
西山教雄・辻　和明	社会貢献業務の自己評価に向けた分析方法の提案	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		23	2016

発表者全氏名	題　　目	誌　　名	巻―号	頁	年
澤田晴雄・鈴木祐紀・犬飼　浩・齋藤俊浩・栗田直明・井上　淳・辻　和明・村瀬一隆・米道　学	農学生命科学研究科7つの演習林の一覧と配置技術職員数	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		29	2016
里見重成・軽込　勉・米道　学	千葉演習林におけるキヨスミミツバツツジに関する取り組み	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		29	2016
米道　学・軽込　勉	千葉演習林におけるマツ材線虫病抵抗性アカマツの選抜育種	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		29	2016
犬飼慎也・中川雄治・遠國正樹・尾張敏章	固定翼型無人飛行機（UAV）を利用した森林管理計画図の作成	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		30	2016
原口竜成	非破壊診断法によるサワラの腐朽診断とその精度の検証	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		30	2016
辻　和明	地域循環型「癒しの森」プロジェクトの活動紹介	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		30	2016
才木道雄	秩父演習林におけるヨタカのさえずり頻度の時間変化	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		30	2016
近澤静恵・米道　学	教育研究センターにおける演習林の広報活動－科学の森ニュースを中心に－	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		31	2016
村瀬一隆・辻　良子・小林徹行	樹芸研究所の紹介	第1回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		31	2016
久保田浩史・市川健一郎・入江　猛・大村和也・笠原久臣・佐々木潔州・城　夕香・高野充弘・高橋功一・鶴見康幸・藤田真志・水野直樹・渡辺知明	大学院農学生命科学研究科技術部　機械技術グループの活動紹介	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		31	2016
井上　淳・松井理生	生態水文学研究所における境界の管理－隣接地所有者への対応と今後の課題－	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		31	2016
犬飼　浩	北海道演習林の紹介	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		31	
齋藤俊浩	秩父演習林における技術職員の業務	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		32	2016
相川美絵子・栗田直明	田無演習林の紹介	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		32	2016
松井理生・佐藤貴紀・高橋功一	二次林の森林動態にナラ枯れが及ぼす影響	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		32	2016
鈴木祐紀	千葉演習林における技術職員の業務	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		33	2016
軽込　勉・米道　学・里見重成・梁瀬桐子	房総丘陵ヒメコマツの保全活動と研究紹介	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		34	2016
栗田直明・相川美絵子	樹林地が地価にもたらす影響の評価－西東京市における事例分析－	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		35	2016
黒岩真弓・佐々木潔州・高橋友継・堀　吉満・池田正則・小野山一郎・澤田晴雄・白井深雪・曽我竜一・藤田真志	技術職員による技術力向上を目指して－農学生命科学研究科技術部分析技術グループの立ち上げから現在に至るまで－	第1回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		35	2016
長田典之・村瀬一隆・辻和明・澤田晴雄・布川耕市・塚原雅美・日浦　勉	相互移植実験によるブナの展葉フェノロジーと気温の関係の緯度変異	第63回日本生態学会大会		75	2016

2015年度　学会発表等

発表者全氏名	題　　目	誌　　名	巻―号	頁	年
西村尚之・菊池明日香・赤路康朗・原登志彦・隅田明洋・長谷川成明・小野清美・加藤京子・坂本圭児・松井　淳・真鍋徹・鈴木智之	北方林における優占針葉樹3種の肥大生長に関する樹種特性	第63回日本生態学会大会			2016
鈴木智之・平尾聡秀	冷温帯二次林のSLA動態：Chronosequence，長期観察，形質データの統合	第63回日本生態学会大会			2016
稲垣怜那・寺田珠実・井上広喜・鴨田重裕・鮫島正浩	*Eucalyptus saligna* 葉の主成分である没食子酸類の活用に向けた抗菌スペクトルの検討	第66回日本木材学会大会			2016
前田　啓・信田　聡・鴨田重裕	クスノキ合板の物性(2)－力学的性質の評価－	第66回日本木材学会大会			2016
藤原章雄・齋藤暖生・浅野友子	地域の森を活かす地域住民との協働による森林教育・社会貢献活動の試み－地域と創る「癒しの森プロジェクト」－	第127回日本森林学会大会学術講演集		75	2016
澤田晴雄・五十嵐勇治・井上　淳・西山教雄・梁瀬桐子	大学演習林の森林管理における社会連携の影響－東京大学演習林の実例－	第127回日本森林学会大会学術講演集		75	2016
石橋整司・當山啓介・齋藤暖生	大学演習林における森林教育・社会連携活動の現状と課題	第127回日本森林学会大会学術講演集		73	2016
鈴木保志・有賀一広・吉岡拓如・當山啓介	高知県における木質バイオマス発電の現状と課題	第127回日本森林学会大会学術講演集		78	2016
後藤　晋・鐘ヶ江弘美・石塚　航・北村系子・上野真義・久本洋子・永野　惇・岩田洋佳	標高に沿ったトドマツの表現型変異と適応候補遺伝子へのアプローチ	第127回日本森林学会大会学術講演集		80	2016
久本洋子	放置竹林問題の概要（本企画シンポジウムの趣旨説明）	第127回日本森林学会大会学術講演集		85	2016
江上　浩・久本洋子・鈴木重雄	事前伐採と塩素酸ナトリウム粒剤（クロレートS）全面土壌散布の組み合わせによる放置竹林防除法の紹介	第127回日本森林学会大会学術講演集		86	2016
鈴木重雄・久本洋子	放置竹林問題の解決に向けて－竹材利用と防除技術を踏まえた竹林管理計画－	第127回日本森林学会大会学術講演集		87	2016
広嶋卓也・鹿又秀聡・中島　徹	都道府県別間伐モデルによる利用間伐量のシミュレーション－2020年国産材自給率50%の達成条件－	第127回日本森林学会大会学術講演集		105	2016
斎藤　馨・藤原章雄・中村和彦・小林博樹・岩岡正博・藤稿亜矢子	サイバーフォレスト:2072 年に向けた自然認証のための全球感覚について	第127回日本森林学会大会学術講演集		114	2016
丹羽悠二・中村和彦	森林に生息する野生哺乳類の体験型観察プログラムの検討とテキストの試作	第127回日本森林学会大会学術講演集		115	2016
内田莉紗・梅木　清・平尾聡秀・鈴木智之・本條　毅	航空機LiDARデータを使用した林冠構造と樹木サイズ分布の把握	第127回日本森林学会大会学術講演集		115	2016
永竹翔太・尾張敏章・福士憲司・笠原久臣・渡邉良広・井口和信・犬飼　浩	外観の特徴に基づく天然生ミズナラ立木のウイスキー樽材適性評価：東京大学北海道演習林の事例	第127回日本森林学会大会学術講演集		121	2016
執行宣彦・平尾聡秀・梅木　清	標高傾度に伴う樹木の機能的多様性の変化が土壌微生物相に及ぼす影響	第127回日本森林学会大会学術講演集		131	2016
三木直子・岩本圭太・岩泉正和・楠本　大	マツ材線虫病進展初期の防御反応：異なる光条件下のアカマツポット苗木の比較	第127回日本森林学会大会学術講演集		161	2016
山田利博・山下香菜・太田祐子・米沢　洋・徳江泉・関　敏之	ドクターウッズによる非破壊腐朽診断－人工空洞の形状と周波数の影響	第127回日本森林学会大会学術講演集		164	2016
洲崎燈子・蔵治光一郎・丹羽健司	市民と研究者の協働による森の健康診断の10年	第127回日本森林学会大会学術講演集		191	2016

発表者全氏名	題　　目	誌　　名	巻―号	頁	年
中村和彦・斎藤　馨・藤原章雄・奥山賢一・中村忠廣・伊東恵子・八代一浩	森林フィールドワークを原体験とした小学校授業におけるインターネットと映像コンテンツの活用	第127回日本森林学会大会学術講演集		192	2016
齋藤暖生	富士山北麓における非木材林産物利用とそのブランディング	第127回日本森林学会大会学術講演集		194	2016
浅野友子・内田太郎	大雨時の山地流域内での場所によるピーク到達時間の違いは斜面ではなく河道のプロセスに由来する	第127回日本森林学会大会学術講演集		219	2016
蔵治光一郎・五名美江	隣接する裸地斜面と広葉樹林斜面における地表面流 の比較	第127回日本森林学会大会学術講演集		220	2016
坂上大翼	トドマツ人工林に対する横打撃共振法の適用と腐朽判定の精度	第127回日本森林学会大会学術講演集		227	2016
鳥居正人・楠本　大・山田利博	病原力の異なる*Raffaelea quercivora* 菌株のミズナラ苗木と滅菌材片における菌糸伸長	第127回日本森林学会大会学術講演集		227	2016
當山啓介・有賀一広	栃木県北地域における木質バイオマスエネルギー活用が最適施業体系に及ぼす影響の検討	第127回日本森林学会大会学術講演集		233	2016
佐藤貴紀・松井理生・田中延亮・蔵治光一郎	東海地方の暖温帯二次林におけるナラ枯れが林分構造に与える影響	第127回日本森林学会大会学術講演集		258	2016
平尾聡秀・藤井正典・山田利博	ニホンジカによる植生衰退が土壌微生物群集の機能的多様性に及ぼす影響	第127回日本森林学会大会学術講演集		261	2016
西村尚之・大久保直哉・原登志彦・鈴木智之・杉田久志	異なる気候帯に成立する常緑針葉樹林の林内気温特性	第127回日本森林学会大会学術講演集		265	2016
原口竜成・齋藤俊浩・木村恒太・相川美絵子・浅野友子・川崎雅俊	奥秩父山地荒川源流域における河川水中の硝酸濃度の分布	第127回日本森林学会大会学術講演集		283	2016

著書

著者名	題目	書名・編者	出版社名	頁	年
蔵治光一郎・五名美江	森林の保水力と緑のダム機能	社会的共通資本としての森　宇沢弘文・関良基(編)	東京大学出版会	344pp	2015
Ohdachi SD, Ishibashi Y, Iwasa M, Fukui D, Saitoh T	The Wild Mammals of Japan 2nd edition		松香堂	506pp	2015
Saito H, Takemoto T	Histories of 'Property Wards (Zaisanku)' and 'School Forests (Gakkou-rin)'	Multi-level Forest Governance in Asia; Concepts, Challenges and the Way Forward. Inoue M and Shivakoti G (eds.)	SAGE publications India Pvt Ltd	377-404	2015
広嶋卓也・吉本　敦	「森林計画・計測における統計理論の応用に係わる若手研究集会」資料集		森林計画学会出版局	63pp	2015
三俣　学・齋藤暖生	コモンズの自治を取り戻す	「田舎暮らし」と豊かさ－コモンズと山村振興－　奥田裕規編著	日本林業調査会	65-99	2016
広嶋卓也・久本洋子・藤平晃司・村川功雄・梁瀬桐子	千葉演習林生き物ガイドブック	千葉演習林生き物ガイドブック　東京大学千葉演習林ガイドブックワーキング	東京大学演習林出版局	52pp	2016
田中延亮・蔵治光一郎	森の健康診断の10年－愉しくてためになる流域の森のキズキとマナビ－	森の健康診断の10年－愉しくてためになる流域の森のキズキとマナビ－　矢作川森の健康診断実行委員会編	東京大学演習林出版局	240pp	2016

2015年度　演習林を利用して行った論文等

演習林を利用して行った論文等

	発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻－号	頁	年
	川上華子	日本産ルリクワガタ属と共生酵母との関係に及ぼす温度の影響	東京大学 卒業論文		100pp	2016
	久保田将之	スギ幼齢林に生育するキイチゴ属4種の繁殖様式と種間の相互作用	東京大学 卒業論文		38pp	2015
	佐々木夏未	ブナの葉内における内生菌の種間および種内の相互作用	東京大学 修士論文		34pp	2016
	Jayathunga S	Analysis of forest structural complexity using airborne LiDAR and aerial photography in a mixed conifer-broadleaved forest in central Hokkaido, Japan	東京大学 修士論文		101pp	2015
	室　紀行	マルグンバイ属の系統関係と生息環境	東京大学 修士論文		60pp	2016
	山口彩花	フジにおける多重形成層の構造	東京大学 修士論文		47pp	2016
	伊藤茉美	北海道山間部天然林におけるヒメネズミ *Apodems argenteus* が巣材に利用する植物種の選好性の解明	帯広畜産大学 卒業論文		41	2016
	鈴木陽己	北海道の山間部天然林におけるエゾモモンガの巣箱利用に影響する環境要因の検証	帯広畜産大学 卒業論文		26	2016
	田中孝和	*Hevea brasiliensis* のカルス形成と再分化系の構築	神奈川工科大学応用バイオ科学科 卒業論文			2016
	平野友幹	モクセイ科における二対立遺伝子型自家不和合性と異花柱性の進化	京都大学 修士論文		64pp	2016
	大恵真白	エゾマツにおける発芽不良原因解明	玉川大学 卒業論文		27pp	2016
	久野真実	古典園芸植物イセナデシコの起源	玉川大学 卒業論文		28pp	2016
	高橋尚里	エゾマツ生育1 年目における近交弱勢の顕在化	玉川大学 卒業論文		27pp	2016
	川崎　満	閉鎖林冠下における複数種の萌芽発生パターン－生物・物理的環境および親木サイズ成長の影響 －	千葉大学卒業研究発表会(園芸学部緑地環境学科)要旨集	2015年度	47-48	2016
	稲見安希子	都市化による土壌の化学性の変化が緑地生態系のマンガン動態におよぼす影響	千葉大学 卒業論文		50pp	2016
	片野港介	東京大学秩父演習林におけるニホンジカの生息状況	千葉大学 卒業論文		16pp	2016
	金城彰太朗	東京大学秩父演習林における土壌有機物分解特性と環境条件の関係 －Tea Bag Indexを用いた検討－	千葉大学 卒業論文		17pp	2016
	鈴木まり	東京大学秩父演習林における実生の動態	千葉大学 卒業論文		17pp	2016
	土田健人	都市化による土壌酸性の変化が土壌生物による有機物分解特性におよぼす影響	千葉大学 卒業論文		52pp	2016
	内田莉紗	航空機LiDARデータを使用した林冠の垂直構造と林分の樹木サイズ構造の把握	千葉大学 修士論文		52pp	2016
	執行宣彦	標高傾度に沿った下層植物群集の多様性パターン(英文)	千葉大学 修士論文		34pp	2016
	松本　文	緑地の物質循環特性に基づく緑地の持続性の評価手法に関する検討	千葉大学 修士論文		120pp	2016
	坂本佳奈	南房総天然林におけるニホンヤマネの生息確認調査	千葉科学大学 卒業論文			2016
	Ogai T	The effects of mountain landscapes on the biodiversity formation of epigeic and subterranean arthropods:community-wide approach	筑波大学 博士論文		103pp	2016
	礒崎未菜	倒木のドローイングと写真撮影	東京藝術大学 卒業制作			2016
	Youn NS	Evaluating effects of intense strip thinning on spatial and temporal variation of fine sediment transports in forested catchments	東京農工大学 博士論文		269pp	2016
	杉浦　綾	シダ類のリボン形独立配偶体の成立背景と個体群維持機構に関する研究－環境要因と遺伝的要因について－	日本女子大学 卒業論文		50pp	2016
	高橋　淳・横山素之・酒井　崇・石井竜也・上野将成・小川倫史・古谷益朗・中島健太	シカによる茶樹食害について	茶業研究報告	120	26	2015
	羽井佐冴彦・楠本　大・山田利博	ケヤキおよびクスノキ枝剪定後の巻き込みおよび材変色に対する塗布剤や剪定方法の影響	樹木医学研究	19	159-160	2015
	山口彩花・楠本　大・山田利博	フジの多重形成層の構造	樹木医学研究	19	218-219	2015
※	梶　幹男	ブナ北限問題に関する一考察	北海道の林木育種	57(1)	1-6	2014

	発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻－号	頁	年
※	石塚　航	トドマツが示す標高変異－植栽試験の長期データから－	北海道の林木育種	57(1)	7-11	2014
※	北海道育種場	第52回北海道林木育種現地研究会報告	北海道の林木育種	57(2)	40-42	2014
	笠原琢志	リゾート地域における薪ストーブの利用実態と居住形態－山梨県山中湖村を事例として－	第127回日本森林学会大会学術講演集	P1-005	109	2016
	久保田将之・吉岡さんご・新井一司・松下範久	スギ幼齢林に生育するキイチゴ属植物のクローン構造	第127回日本森林学会大会学術講演集	P1-105	134	2016
	小西雄大・齊藤陽子・井出雄二	河道沿いに断続分布するシオジ(*Fraxinus spaethiana*)の遺伝構造	第127回日本森林学会大会学術講演集	P1-114	136	2016
	内田莉紗・梅木　清・平尾聡秀・鈴木智之・本條毅	航空機LiDAR データを使用した林冠構造と樹木サイズ分布の把握	第127回日本森林学会大会学術講演集	P1-031	115	2016
	執行宣彦・平尾聡秀・梅木　清	標高傾度に伴う樹木の機能的多様性の変化が土壌微生物相に及ぼす影響	第127回日本森林学会大会学術講演集	P1-095	131	2016
	三輪　誠	埼玉県における県民参加を主体としたオゾンによるアサガオ被害調査	第56回大気環境学会年会講演要旨集	1D1045	200	2015
	糸数　哲・小杉賢一朗・恩田裕一・藏治光一郎・田中延亮・後藤太成・太田岳史・水山高久	山地小流域における土層厚の変化が豪雨時の洪水流量に与える影響	平成27年度砂防学会研究発表会概要集B		B-314-B-315	2015
	河原　元	東京大学秩父演習林で2013年2014年に採集したゼフィルス	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	157	39	2015
	萩原　昇	埼玉県秩父市で採集した蛾	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	157	63-71	2015
	築比地秀夫・山本理香	東京大学秩父演習林で採集した蛾(2014年6月28日および9月27日)	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	158	1-4	2015
	安保　康	秩父市大滝入川渓谷の甲虫について	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	158	49-50	2015
	井上修吾	東京大学秩父演習林におけるムサシセモンササキリモドキの記録	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	160	46-47	2016
	斉藤明子・尾崎煙雄・鈴木　勝	東京大学千葉演習林で採集した甲虫類(Ⅴ)	房総の昆虫	55	1-6	2015
	尾崎煙雄・鈴木　勝	清澄山でアカスジキンカメムシ黒化型を採集	房総の昆虫	55	22	2015
	斉藤明子・尾崎煙雄・鈴木　勝	東京大学千葉演習林で採集した甲虫類(Ⅵ)	房総の昆虫	56	45-48	2015
	斉藤　修	清澄山系でニセフジロアツバ，ビロードキリガを採集	房総の昆虫	56	60-61	2015
	宮野伸也・尾崎煙尾	東京大学千葉演習林で大発生したマツノミドリハハチ	房総の昆虫	56	78	2015
	五十嵐鉄朗	東京大学千葉演習林内でヒオドシチョウを採集	房総の昆虫	56	57	2015
	斉藤　修	千葉県未記録または記録の少ないツトガ科3種，メイガ科1種の清澄山系からの記録	房総の昆虫	56	58	2015
	松本　文・高橋輝昌・宮脇侑子	生態系の物質循環特性に基づく緑地の持続性の評価手法に関する検討	日本緑化工学会誌	41(Ⅰ)	243-246	2015
	植田睦之	環境省重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト1000)森林・草原分野 鳥類調査	平成27年度 重要生態系監視地域モニタリング推進事業(陸生鳥類調査)調査報告書. 環境省自然環境局 生物多様性センター		45-84	2016
	Omote K, Nishida C, Takenaka T, Saito K, Shimura R, Fujimoto S, Sato T, Masuda R	Recent fragmentation of the endangered Blakiston's fish owl (*Bubo blakistoni*) population on Hokkaido Island, northern Japan, revealed by mitochondrial DNA and microsatellite Analyses	Zoological Letters	1:16	9pp	2015
	Naomi S-I, Nomura s	The Genus *Magalopinus* EICHELBAUM(Coleoptera,Staphylinidae, Megalopsidiinae)of Japan,with description of a new species	Elytra. New series	5-1	27-36	2015
	Shimada T, Maeda S, Sakakibara M	A morphological study of *Cynops pyrrhogaster* from the Chita peninsula:rediscovery of the "extinct" Atsumi race endemic to peninsular regions of Aichi prefecture, central Japan	Current Herpetology	35(1)	38-52	2016

2015年度　演習林を利用して行った論文等

	発表者全氏名	題　　目	誌　名	巻－号	頁	年
	Togashi K, Miyauchi O, Kusumoto D, Matsushita N	Commensal relation between *Bursaphelenchus xylophilus* (Nematoda: Aphelenchoididae) and *Monochamus alternatus* (Coleoptera: Cerambycidae) within pine trees	Applied Entomology and Zoology	51	53-62	2016
	Saito K, Nakamura K, Ueta M, Kurosawa R, Fujiwara A, Kobayashi HH, Nakayama M, Toko A, Nagahama K	Utilizing the Cyberforest live sound system with social media to remotely conduct woodland bird censuses in Central Japan	Ambio	44	S572-S583	2015

※これまで発行の年報に未掲載の論文である。

外部資金によって行われた研究

科学研究費

氏　名	研究種目	研　究　課　題	研究代表者	代表者所属
鎌田直人	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	鎌田直人	東京大学
平尾聡秀	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	鎌田直人	東京大学
楠本　大	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	鎌田直人	東京大学
蔵治光一郎	基盤研究(A)(海外)	ウォーカー循環系における大気振動と山岳の森林限界の形成	北山兼弘	京都大学
齋藤暖生	基盤研究(A)(海外)	熱帯の産米林農村に在来する生物の機能を活用した農業生産と資源利用との調和	宮川修一	岐阜大学
鎌田直人	基盤研究(B)	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	鎌田直人	東京大学
平尾聡秀	基盤研究(B)	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	鎌田直人	東京大学
山田利博	基盤研究(B)	音響トモグラフィによる樹木の非破壊腐朽診断法の高精度化	山田利博	東京大学
山田利博	基盤研究(B)	スギ辺材腐朽発生に関わる生物学的環境要因の解明	服部　力	森林総合研究所
後藤　晋	基盤研究(B)	北方針葉樹における標高適応に関わるフェノロジーの分子遺伝機構	後藤　晋	東京大学
久本洋子	基盤研究(B)	北方針葉樹における標高適応に関わるフェノロジーの分子遺伝機構	後藤　晋	東京大学
尾張敏章	基盤研究(B)	インターネット森林観察サイトの拡充による自然学習授業案の開発	斎藤　馨	東京大学
藤原章雄	基盤研究(B)	インターネット森林観察サイトの拡充による自然学習授業案の開発	斎藤　馨	東京大学
楠本　大	基盤研究(B)	樹木内生菌の伝播・繁殖機構および樹体内共生機構の解明	松下範久	東京大学
藤原章雄	基盤研究(B)	電源・情報インフラが存在しない森林環境に最適化した統合型の空間情報センシング機構	瀬崎　薫	東京大学
當山啓介	基盤研究(B)	長期的な森林バイオマス利用可能量算定モデルの構築とエネルギー収支分析	有賀一広	宇都宮大学
田中延亮	基盤研究(B)	同位体年輪分析による落葉・常緑熱帯林の気象・生理的環境応答の長期変動履歴の解明	吉藤奈津子	森林総合研究所
福井　大	基盤研究(B)(海外)	野生動物―ウイルス共進化の解明と新規ウイルス変異予測	新井　智	国立感染症研究所
広嶋卓也	基盤研究(C)	皆伐・利用間伐量の都道府県別積み上げによる国産材生産量予測モデルの開発	広嶋卓也	東京大学
安村直樹	基盤研究(C)	補助金に代わる林業支援の在り方に関する研究	安村直樹	東京大学
楠本　大	基盤研究(C)	樹木防御反応の誘導・調節に対する細胞間シグナル物質の機能解明	楠本　大	東京大学
楠本　大	基盤研究(C)	上層木の管理は植生の被食耐性を高めるか？資源分配理論からの検証	鈴木　牧	東京大学

2015年度　外部資金によって行われた研究

氏　名	研究種目	研　究　課　題	研究代表者	代 表 者 所 属
三浦直子	基盤研究(C)	地上型レーザスキャニングによる山地河川の河床地形計測手法の確立	三浦直子	東京大学
浅野友子	基盤研究(C)	地上型レーザスキャニングによる山地河川の河床地形計測手法の確立	三浦直子	東京大学
鎌田直人	挑戦的萌芽研究	食物網構造を組み入れた全球的な群集の多様性創出機構の解明	鎌田直人	東京大学
後藤　晋	挑戦的萌芽研究	針葉樹の更新過程における近交弱勢の遺伝的メカニズム解明	後藤　晋	東京大学
尾張敏章	挑戦的萌芽研究	情報技術を活用した天然林施業の知識ベース構築とその運用	尾張敏章	東京大学
坂上大翼	挑戦的萌芽研究	情報技術を活用した天然林施業の知識ベース構築とその運用	尾張敏章	東京大学
當山啓介	挑戦的萌芽研究	情報技術を活用した天然林施業の知識ベース構築とその運用	尾張敏章	東京大学
齋藤暖生	挑戦的萌芽研究	保護地域制度が周辺地域の生業変化や資源化に及ぼす影響－持続可能な地域発展における規制のあり方－	柴崎茂光	国立歴民俗博物館
鈴木智之	若手研究(B)	大規模風倒が森林の長期的な炭素蓄積と動態に及ぼす影響の解明	鈴木智之	東京大学
竹本周平	若手研究(B)	モデル生物スエヒロタケの交配家系を用いた材質腐朽病の病原性関連遺伝子領域の同定	竹本周平	東京大学
五名美江	若手研究(B)	ハゲ山に森林が再生した流域における洪水緩和機能の回復メカニズムの解明	五名美江	東京大学
軽込　勉	奨励研究	房総丘陵におけるヒメコマツの分布変遷からみた種子の遺伝的多様性と自殖の検証	軽込　勉	東京大学
丹羽悠二	奨励研究	森林に生息する野生哺乳類の体験型観察プログラムの検討	丹羽悠二	東京大学
原口竜成	奨励研究	フィールドワークにおけるマダニ刺咬リスク低減策とその実用性に関する研究	原口竜成	東京大学
米道　学	奨励研究	高齢木ヒメコマツの高芽接ぎによる天然更新の試み	米道　学	東京大学
鳥居正人	特別研究員奨励費	*Raffaelea*属菌の病原性発現機構の解明	鳥居正人	東京大学
五名美江	特別研究員奨励費	長期流域水収支データを用いた森林の洪水緩和機能の定量的解析と評価	五名美江	東京大学

■社会連携■

学外各種委員会等委員

氏　名	委　員　会　等　名　称	委員会等所属機関
石橋整司	学術著作権協会監事	一般社団法人　学術著作権協会
石橋整司	千葉県森林審議会森林保全部会	千葉県
後藤　晋	理事(総務委員長)	森林遺伝育種学会
後藤　晋	科学研究費委員会専門委員	(独)日本学術振興会
後藤　晋	120周年記念WG委員長	全国大学演習林協議会
後藤　晋	農林総合研究センター研究等評価委員	埼玉県
三浦直子	会計監査員	森林GISフォーラム
広嶋卓也	環境審議会鳥獣部会ニホンジカ小委員会委員	千葉県
広嶋卓也	狩猟事故防止会議	千葉県
広嶋卓也	文化財保護審議会委員	鴨川市
広嶋卓也	カーボン・オフセット推進ネットワーク　タスクフォースチーム	カーボン・オフセット推進ネットワーク
久本洋子	英文誌編集主事	日本森林学会
久本洋子	運営委員	竹林景観ネットワーク
久本洋子	千葉県ヒメコマツ協議会	千葉県
當山啓介	幹事(事務局)	木材利用システム研究会
鎌田直人	富良野市防災会議委員	富良野市
鎌田直人	富良野市総合戦略有識者会議委員	富良野市
鎌田直人	富良野環境審議会委員	富良野市
鎌田直人	地域管理経営計画等に関する懇談会委員	北海道森林管理局
鎌田直人	日本昆虫学会英文誌編集部編集諮問委員	日本昆虫学会
鎌田直人	兼六園マツ等保全対策指導者会議	石川県
鎌田直人	北海道林木育種協会顧問	北海道林木育種協会
鎌田直人	埼玉県環境科学国際センター客員研究員	埼玉県環境科学国際センター
尾張敏章	北方森林学会評議員	北方森林学会
坂上大翼	北海道林木育種協会評議員	北海道林木育種協会
坂上大翼	北海道林木育種協会編集委員	北海道林木育種協会
坂上大翼	北海道林木育種協会地方連絡員	北海道林木育種協会
坂上大翼	北方森林学会幹事	北方森林学会
福井　大	日本生態学会 Ecological　Research編集委員	一般財団法人日本生態学会
福井　大	日本哺乳類学会保護管理専門委員	一般社団法人日本哺乳類学会
福井　大	日本哺乳類学会英文編集委員	一般社団法人日本哺乳類学会
福井　大	日本哺乳類学会代議員	一般社団法人日本哺乳類学会
山田利博	樹木医学研究編集委員会／評議員／監事	樹木医学会
山田利博	千葉県土石採取対策審議会	千葉県
山田利博	埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会	埼玉県
山田利博	特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査委員会	埼玉県
山田利博	甲信秩父ユネスコエコパーク登録推進検討委員会	山梨県
山田利博	草加松原保全管理計画策定委員会	草加市
浅野友子	埼玉県森林審議会委員	埼玉県
浅野友子	Hydrological Research Letters編集委員	水文・水資源学会
浅野友子	日本森林学会代議員	日本森林学会
平尾聡秀	モニタリングサイト1000コアサイト検討会	環境省
平尾聡秀	JaLTER代表者委員会	JaLTER
平尾聡秀	JaLTER運営委員会	JaLTER
平尾聡秀	埼玉県レッドデータブック動物編改訂調査検討会検討委員	埼玉県
平尾聡秀	秩父地域森林林業活性化協議会幹事	秩父市

2015年度　学外各種委員会等委員

氏　名	委　員　会　等　名　称	委員会等所属機関
鈴木智之	日本生態学会大規模長期生態学専門委員会	日本生態学会
鈴木智之	日本生態学会キャリア支援専門委員会	日本生態学会
齋藤俊浩	埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会	埼玉県
齋藤俊浩	秩父地域鳥獣被害対策協議会幹事会	埼玉県
齋藤俊浩	秩父地域森林林業活性化協議会分科会	秩父市
楠本　大	理事	樹木医学会
竹本周平	理事	樹木医学会
竹本周平	市民スタッフ	我孫子市鳥の博物館（教育委員会委嘱）
相川美絵子	技術部会	一般社団法人日本樹木医会
蔵治光一郎	矢作川流域圏懇談会	国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所
蔵治光一郎	大阪府森林の保全及び都市の緑化の推進に関する調査検討会議	大阪府
蔵治光一郎	大阪府森林環境整備事業評価審議会	大阪府
蔵治光一郎	長良川河口堰最適運用検討委員会	愛知県
蔵治光一郎	とよた森づくり委員会	豊田市
蔵治光一郎	水循環推進協議会	岡崎市
蔵治光一郎	環境審議会	瀬戸市
蔵治光一郎	せと環境塾運営委員会	瀬戸市
蔵治光一郎	せとまるっと環境クラブ	瀬戸市
蔵治光一郎	環境審議会	犬山市
蔵治光一郎	代議員会	日本森林学会
蔵治光一郎	理事	中部森林学会
蔵治光一郎	国際委員会	水文・水資源学会
蔵治光一郎	APHW対応小委員会	水文・水資源学会
蔵治光一郎	理事	不知火海・球磨川流域圏学会
蔵治光一郎	編集委員会	不知火海・球磨川流域圏学会
蔵治光一郎	顧問	猿投の森づくりの会
蔵治光一郎	共同代表	矢作川森の研究者グループ
蔵治光一郎	監事	認定NPO法人才の木
蔵治光一郎	理事	ニッセイ緑の財団
齋藤暖生	公募助成事業選考委員会	公益財団法人粟井英朗環境財団
齋藤暖生	Evaluator of The Elinor Ostrom Award	International Association for the Study of the Commons
鴨田重裕	第5号委員	一般財団法人東京大学運動会

小中高等学校への対応

教員名	講　演　名	主催	開催場所	日程
松井理生	探鳥会	犬山市立今井小学校	生態水文学研究所	4/17・6/20・
松井理生	探鳥会	犬山市立城東小学校	生態水文学研究所	5/14・11/5・2/18
廣嶋卓也・軽込勉	校外実習	千葉県立君津青葉高校	千葉演習林	5/27-28
安村直樹・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	校外授業	実践学園中学校	田無演習林	5/28
鎌田直人・坂上大翼・福井　大・犬飼浩・福士憲司・渡邉良広・犬飼慎也・三次充和・延　栄一・磯崎靖雄・及川希・小池征寛・井上崇・丹羽悠二・岡村行治	宿泊研修（北海道コース）	東京大学教育学部附属中等教育学校	北海道演習林	6/30-7/2
大川あゆ子	総合的な学習の時間「樹海の森へ」	富良野市立樹海小学校	北海道演習林	7/3
齋藤俊浩・原口竜成・才木道雄・柴崎徹之	秩父市中学生社会体験チャレンジ事業・秩父第一中学校「仕事発見DAY」	秩父市立秩父第一中学校	秩父演習林	7/8-10
里見重成・藤平晃司・梁瀬桐子	スクールミュージアム	君津市立坂畑小学校	千葉演習林	7/14
石橋整司・廣嶋卓也・久本洋子・當山啓介・藤平晃司	高校生のための森と海のゼミナール～大学の先生と考える環境問題と生物多様性～	千葉演習林・千葉大学海洋バイオシステム研究センター	千葉演習林・千葉大学海洋バイオシステム研究センター	7/27-29
坂上大翼・木村徳志・及川　希・犬飼慎也	平成27年度スーパーサイエンスハイスクール事業視察研修「北海道の針広混交天然林の構造」	北海道札幌啓成高等学校	北海道演習林	7/29-30
藤平晃司	茨城県高等学校教育研究会生物部夏季研究大会	茨城県高等学校教育研究会	千葉演習林	7/29-31
高野充広	樹木採集	埼玉県立秩父農工科学高等学校	秩父演習林	7/31
大村和也	荒川の起点まで登りつめ，自然の成り立ちを体感する	埼玉県立神川げんきプラザ	秩父演習林	8/6
遠國正樹・江口由典	東京大学北海道演習林の森林施業と研究活動	北海道帯広農業高等学校（森林科学科）	北海道演習林	8/26
犬飼　浩	北海道の森林資源	山梨県立農林高等学校	北海道演習林	9/10
安村直樹・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	職場体験	西東京市立明保中学校	田無演習林	9/16-18
安村直樹・栗田直明・相川美絵子	職場体験	東久留米市立西中学校	田無演習林	10/6-7
楠本　大・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	生活科見学	西東京市立住吉小学校	田無演習林	10/8
及川　希	北海道の天然林と生態系保全・野生動物管理に果たす獣医師の役割	とわの森三愛高等学校（獣医進学コース）	北海道演習林	10/8

2015年度　小中高等学校への対応

教員名	講　演　名	主催	開催場所	日程
鎌田直人・尾張敏章・福井　大	持続可能な社会で森林の活用はどうあるべきか（科学技術振興機構さくらサイエンスプラン事業）	立命館慶祥高校・National Junior College（シンガポール）	北海道演習林	10/11
久本洋子・當山啓介・藤平晃司	千葉県高等学校教育研究会理科部生物分科会研究協議会	千葉県高等学校教育研究会	千葉演習林	10/20
安村直樹・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	職場体験	西東京市立田無第二中学校	田無演習林	10/20-22
楠本　大・竹本周平・栗田直明	職場体験	西東京市立ひばりが丘中学校	田無演習林	10/27-29
松井理生・後藤太成・高橋功一	職場体験	瀬戸市立幡山中学校	生態水文学研究所	10/28-30
相川美絵子	生活科授業	自由学園初等部	田無演習林	10/29
廣嶋卓也・久本洋子・鈴木祐紀・村川功雄・大石　諭・鶴見康幸・塚越剛史・軽込　勉・阿達康眞・藤平晃司・里見重成・梁瀬桐子	緑の教室	鴨川市立天津小学校	千葉演習林	11/13
相川美絵子	校外学習	西武学園文理小学校	田無演習林	11/18
千嶋　武・原口竜成・才木道雄・吉田弓子・柴崎徹之	秩父市中学生社会体験チャレンジ事業	秩父市立影森中学校	秩父演習林	11/18-20
平尾聡秀・原口竜成	熊谷高校SSH講義・実習「DNAから見た生物の多様性と進化」	埼玉県立熊谷高等学校	秩父演習林	12/22・2/13
楠本　大・栗田直明・相川美絵子	職場体験	東久留米市立南中学校	田無演習林	1/19-21
軽込　勉	校外実習	千葉県立君津青葉高校	千葉演習林	3/25

公開講座・セミナー等

講　座　名	主催	開催場所	日程
鴨川市・東京大学交流事業「野鳥の巣箱をかけよう！」巣箱観察会	鴨川市・千葉演習林	千葉演習林	4/4
第1回温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	4/15
ふれあいコース自然観察会	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	4/18
第2回温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	4/18
森つくり連絡協議会	日本山岳会	生態水文学研究所	4/18-19
総会とGPS・コンパス講習会	シデコブシの会	生態水文学研究所	4/19
「犬山の森」春のふれあい自然観察会	犬山市	生態水文学研究所	4/25
東大教職員向け特別ガイド「春の彩りを訪ねて」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	4/25
休日公開	田無演習林	田無演習林	4/26
第2回薪原木販売会（富士癒しの森研究所）	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	4/28
休日公開	田無演習林	田無演習林	5/3
平成27年度利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会	生態水文学研究所	生態水文学研究所	5/8
森づくりの会「森の観察会・植生調査・記録」	コープあいち	生態水文学研究所	5/9
スキルアップ講習会（植物）	シデコブシの会	生態水文学研究所	5/24
東大教職員向け特別ガイド「新緑の入川渓谷と荒川の源流を訪ねて」	秩父演習林	秩父演習林	5/30
神社山自然観察路春季一般公開	北海道演習林	北海道演習林	5/31
ガイドツアー「演習林の試験地見学」	秩父演習林	秩父演習林	6/5
第3回薪原木販売会	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	6/6
「子ども樹木博士」認定会	西東京市「子ども樹木博士」を育てる会	田無演習林	6/7
休日公開	田無演習林	田無演習林	6/7
とよた森林学校「森林セミナー」森林の持つ公益的機能	豊田森林組合	生態水文学研究所	6/13
研修ツアー	雑木林研究会	生態水文学研究所	6/20
公開セミナー	北海道演習林	北海道演習林	6/21
利用者交流会	田無演習林	田無演習林	6/22
第20回利用者説明会	千葉演習林	千葉演習林	6/25-26
赤津研究林案内人養成講習会	シデコブシの会	生態水文学研究所	7/5・7/12
大麓山ハイキング登山会	北海道演習林	北海道演習林	7/12
高校生のための森と海のゼミナール～大学の先生と考える環境問題と生物多様性～	千葉演習林・千葉大学海洋バイオシステム研究センター	千葉演習林・千葉大学海洋バイオシステム研究センター	7/27-29
東大農場・演習林子どもサマースクール～夏の田んぼと林を探検しよう～	生態調和農学機構・多摩六都科学館・東大農場・演習林子どもサマースクール実行委員会	生態調和農学機構・田無演習林	8/4
運動会学生との共同作業	富士癒しの森研究所・東京大学学生部運動会	富士癒しの森研究所	8/6
東大の森林で昆虫採集	秩父演習林	秩父演習林	8/7-8
「水」をテーマにした親子体験教室	愛知中部水道企業団	生態水文学研究所	8/15
教員向け「子どもの森の健康診断」体験研修会	矢作川水系森林ボランティア協議会	生態水文学研究所	8/18~19
自然と水生昆虫観察体験学習	地域環境活性化協議会	生態水文学研究所	8/23
あいち海上の森大学講座「森林の機能と水循環」	あいち海上の森センター	生態水文学研究所	9/12
第1回「癒しの森の植生調査隊」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	9/16・9/26・9/28
平成27年度教室系技術職員研修「森林野生動物調査法」	秩父演習林	秩父演習林	9/29-10/2
平成27年度矢作川の現状把握活動	矢作川環境技術研究会	生態水文学研究所	9/30
東大教職員向け特別ガイド「きのこに親しむ」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	10/3
「せと環境塾2015」大人キャンプin東大演習林	瀬戸市・生態水文学研究所	生態水文学研究所	10/3-4
神社山自然観察路秋季一般公開	北海道演習林	北海道演習林	10/4
矢田川源流の森林の歴史と今後の保全についての学習	矢田・庄内川をきれいにする会	生態水文学研究所	10/4
第3回温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	10/14
第4回温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	10/17
獣害調査のための準備会	シデコブシの会	生態水文学研究所	10/18
秋のガイドツアー「カエデの見分け方を学ぶ」	秩父演習林	秩父演習林	10/24
森林・植物の観察	日本森林林業振興会グリーン・サークル	生態水文学研究所	10/25
鴨川市交流事業「野鳥の巣箱をかけよう」	鴨川市・千葉演習林	千葉演習林	10/31

2015年度　公開講座セミナー等

講　座　名	主催	開催場所	日程
「子ども樹木博士」認定会	西東京市「子ども樹木博士」を育てる会	田無演習林	11/1
休日公開	田無演習林	田無演習林	11/1
森林博物資料館一般公開	清澄星フェスタ・千葉演習林	千葉演習林	11/21
「犬山の森」秋のふれあい自然観察会	犬山市	生態水文学研究所	11/28
休日公開	田無演習林	田無演習林	11/29
公開講座「林業遺産・岩樟園クスノキ林見学会」	樹芸研究所	樹芸研究所	11/29
休日公開	田無演習林	田無演習林	12/5
東大教職員向け特別ガイド「リース・クラフト作り体験会」	田無演習林	田無演習林	12/5
影森祭	秩父演習林	秩父演習林	12/6
標石を探そうツアー	シデコブシの会	生態水文学研究所	12/6
赤津研究林見学コース整備	シデコブシの会	生態水文学研究所	1/17
公開講座「秩父演習林の動物たち」	秩父演習林	秩父演習林	1/23
機構公開セミナー「薪ストーブを生かそう」	生態調和農学機構	生態調和農学機構・田無演習林	1/23
シンポジウム「水害・土砂災害から住民の命を守るには-過去の災害の教訓をどうすれば生かせるか-」	生態水文学研究所	生態水文学研究所	1/30
森林博物資料館一般公開	千葉演習林	千葉演習林	2/3
東大教職員向け特別ガイド「冬の散歩みち」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2/6
犬山研究林観察会	シデコブシの会	生態水文学研究所	2/21
木材販売	シデコブシの会	生態水文学研究所	2/28
「せと環境塾」里山学習講座～野生動物との共存を目指して～	瀬戸市	生態水文学研究所	3/5
公開講座「富士癒しの森研究所研究報告会2015」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	3/16
「せと環境塾」窯跡と埋没林から解く！中世の自然と歴史	瀬戸市	生態水文学研究所	3/19
公開講座「東京大学樹芸研究所講座チョコレート作りを体験しよう！」	下田市教育委員会・樹芸研究所	樹芸研究所	3/19

学会，研修，市民教育等における講演（招待講演を含む）

教職員名	講 演 名	主催	開催場所	日程
蔵治光一郎	2015年度コモンズ研究会in Toyama講演「矢作川森の健康診断 治山治水思想（被災体験）に基づく流域コモンズの可能性と課題」	コモンズ研究会	富山大学経済学部7階大会議室	4/11
蔵治光一郎	第9回JAC全国森づくり連絡協議会　講演「矢作川森の健康診断 水源涵養思想・水害被災体験に基づく流域コモンズの可能性と課題」	公益社団法人日本山岳会全国森づくり連絡協議会	赤津宿泊施設講義室	4/18
田中延亮	森林水文についての身近で楽しい話	犬山研究林利用者協議会	市民健康館さらさくら	4/18
蔵治光一郎	箱根西麓森林塾オープニング講演会「緑のダムの森づくり 森・水・人の関係」	箱根西麓森林塾	三島市民文化センター大会議室	5/9
蔵治光一郎	木曽川流域協議会第二期定期総会　講演「私たちの生存と安全の 基本単位としての流域の 水と森林」	木曽川流域協議会	TKP名古屋ビジネスセンターバンケットホール7B	5/29
蔵治光一郎	森林セミナー「森林の持つ公益的機能」	とよた森林学校	赤津宿泊施設講義室	6/13
齋藤暖生	森林インストラクター養成講習「山村と農林業」	全国森林レクリエーション協会	全林野会館	6/20・8/9
齋藤暖生	自然資源の共有をめぐる知恵と苦悩	一般財団法人北海道開発協会・NPO法人苫東環境コモンズ	苫小牧市サンガーデン	6/27
蔵治光一郎	赤津研究林補助者講習会　講義「赤津研究林に関して利用者のみなさまに東京大学が伝えたいこと」	シデコブシの会	赤津宿泊施設講義室	7/5・12
尾張敏章	北海道演習林と天然林施業（JICA集団研修「持続的森林管理及びREDDに向けた国家森林モニタリングシステム整備のための人材育成」）	公益財団法人国際緑化推進センター	北海道演習林	7/8
坂上大翼	北海道の林業と北海道演習林の森林施業	クローネ山の会	北海道演習林	7/14
尾張敏章	作業システムと林業機械（平成27年度北海道森林組合連合会森林施業プランナー基礎研修会）	北海道森林組合連合会	深川市林業センター	7/22
尾張敏章・坂上大翼・中川雄治・天山　学・及川希・江口由典	ICTを活用したフィールド遠隔講義－東京大学北海道演習林からの中継と実演（関東甲信越大学農場協議会平成27年度技術研修会）	関東甲信越大学農場協議会	生態調和農学機構	7/23
尾張敏章・坂上大翼・中川雄治・江口由典	関東甲信越地区大学農場協議会技術研修会	東京大学生態調和農学機構	北海道演習林（生態調和農学機構）	7/23
久本洋子	竹ってどんな植物？竹の種類・生態・管理について（太田山竹取ものがたり）	木更津市 市民まちづくり塾	木更津市太田山公園	7/26
蔵治光一郎	シンポジウム　わが国の水政策の将来-水循環基本計画の光と影-水循環基本計画を斬る! 森林の緑のダム機能の維持及び向上は可能か	水循環基本法フォローアップ委員会・日本地下水学会	星陵会館ホール	7/29
安村直樹	森と私たちの生活	東大農場・演習林子どもサマースクール実行委員会・多摩六都科学館	田無演習林	8/4
蔵治光一郎	雨水ネットワーク会議全国大会 in 愛知　講演「雨水の恵み，森の恵みと私たちの生活」	雨水ネットワーク会議	愛・地球博記念公園（モリコロパーク）地球市民交流センター	8/22
竹本周平	根っこの観察キットをつくろう	我孫子市鳥の博物館	我孫子市鳥の博物館	8/23
田中延亮	東京大学生態水文学研究所の環境教育の取組紹介	環境教育学会	名古屋市立大学	8/23
坂上大翼	森に学ぶ～大学演習林を訪ねて～（国内スクーリング）	NHK学園	北海道演習林・十勝岳周辺	8/27
犬飼　浩	林分施業法に関する研修と高齢級カラマツ林見学（平成27年度現地研修会）	森林部門技術士会北海道支部会	北海道演習林	8/28
蔵治光一郎	巨大（深層）崩壊の高精度編年研究会　招待発表「尾張東部の土砂災害と 埋没木」	巨大（深層）崩壊の高精度編年研究会	清水屋旅館　（韮崎市）	8/29
犬飼　浩	天然林施業に関する先進地調査	静岡県議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟	北海道演習林	9/4
田中延亮	森林の機能と水循環	あいち海上の森センター	生態水文学研究所	9/12
田中延亮	森林の遷移と管理に伴う周辺湿地の水文環境への影響	八竜湿地研究会	金城学院大学	9/19
鎌田直人・犬飼　浩	平成27年度課題別研修 「地域住民の参加による多様な森林保全」コース	JICA研修	北海道演習林	9/28

2015年度　学会，研修，市民教育等における講師等

教職員名	講 演 名	主催	開催場所	日程
山田利博・平尾聡秀・鈴木智之・齋藤俊浩・高野充広・才木道雄	東京大学教室系技術職員研修	東京大学	秩父演習林	9/29-10/2
山田利博	幹の外科技術と機器による診断（樹木医研修）	日本緑化センター	筑波研修センター	10/2・10/13
尾張敏章	北海道演習林の森林管理（平成27年度JICA課題別研修「認証制度やプラン度化を通じた森林資源の総合利用による地域振興」）	公益財団法人北海道国際交流・協力総合センター	北海道演習林	10/16
蔵治光一郎	とよた森林学校10周年記念行事 「とよた森林学校，振り返ろう10年，前に進もう10年」講演「とよた森林学校がこれからの10年で目指す姿・指針」	豊田市	足助交流館　飯盛座	10/18
蔵治光一郎	日本森林林業振興会グリーンサークル東大赤津研究林自然観察会　講演「森と水と人」	日本森林林業振興会グリーンサークル	赤津宿泊施設講義室	10/25
尾張敏章・犬飼　浩	北方林業の経営及び生態系保全について	札幌弁護士会公害対策・環境保全委員会	北海道演習林	10/26
久本洋子	房総の森林生態系から考える自然環境問題	千葉県高等学校教育研究会理科部生物分科会研究協議会	大原高等学校	10/20
犬飼　浩	天然林施業に関する現地見学（北海道バイオマス研修）	木と住まい研究協会	北海道演習林	10/30
平尾聡秀	ニホンジカによる植生衰退が土壌微生物相に及ぼす影響	サントリー天然水の森フォーラム2015	サントリーホール	11/13
高野充広	平成27年度機械グループ小規模施設の機械総点検研修	東京大学	富士癒しの森研究所	11/18-19
犬飼　浩	天然林施業の現地視察及び意見交換	上川総合振興局産業振興部林務課	北海道演習林	11/19
蔵治光一郎	第一回最上川森の健康診断報告会　講演「流域の森の健康診断の理念と実践」	第一回最上川森の健康診断実行委員会	白鷹町文化交流センターあゆーむ	11/21
山田利博	診断機器の特性と課題－音響波調査機器を中心に－（技術講習会）	街路樹診断協会	大井運動公園	11/26
広嶋卓也	GISによる森林伐採地の選定－東京大学千葉演習林の事例－（in G空間EXPO2015）	G空間EXPO2015 運営協議会	日本科学未来館	11/26
蔵治光一郎	NPO法人奥矢作森林塾主催講演会「緑のダムについて知ろう」	NPO法人奥矢作森林塾	サンホールくしはら	11/28
蔵治光一郎	岡崎市森林整備講演会シンポジウム　講演「緑の宝物　岡崎市の森林」	岡崎市林務課	ぬかた会館2階	12/6
広嶋卓也	森林吸収系J-VER取得費用の分析と 販売価格に関する考察	カーボンオフセット推進ネットワーク	一般社団法人海外環境協力センター	12/17
蔵治光一郎	第一回あさひ森の健康診断報告会　講演「東海豪雨を忘れない」	第一回あさひ森の健康診断実行委員会	敷島公民館	12/20
田中延亮	オプション調査「緑のダム実験」の報告	あさひ森の健康診断実行委員会	農村環境改善センター	12/20
竹本周平	東大演習林と私たちの生活　微生物てなんだろう！！	都市計画道路田無3・4・7を考える会	田無演習林	1/12
蔵治光一郎	木の駅連続講座in与謝野 「緑のダムと持続可能な流域づくり」	与謝野町	加悦地域公民館	1/23
尾張敏章	フィンランドの製材業及び輸出の取組（日本産木材製品輸出促進セミナー）	一般社団法人日本木材輸出振興協会	主婦会館プラザエフ	1/27
鎌田直人・尾張敏章・犬飼　浩	林分施業法等の広葉樹林管理手法について	北海道森林管理局長	北海道演習林	1/28
蔵治光一郎	東大演習林シンポジウム～水害・土砂災害から住民の命を守るには～講演「犬山研究林における自然災害研究の取り組み」	東京大学演習林生態水文学研究所	犬山市役所	1/30
蔵治光一郎	講演 「私たちの“大地”を考える」～森と水の科学～	春日井市ようゆう会	JR勝川駅前ルネック多目的ホール	2/5
久本洋子	竹ってどんな植物？竹の種類・生態・管理について（竹炭シンポジウム in 東葛）	NPO法人竹もりの里	東葛テクノプラザ	2/12
坂上大翼	森林フィールドからの遠隔講義の取り組み（第5回サイバーフォレストシンポジウム）	東京大学新領域創成科学研究科・農学生命科学研究科・空間情報科学研究センター	弥生キャンパス	2/20
蔵治光一郎	2015年度自然共生社会分科会研究会II（第4回）「産・官・民連携による生物多様性の取り組み④」講演「生態系保全のために企業に何が期待されているのか」	環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）自然共生社会分科会	SMBCパーク栄	2/24

教職員名	講 演 名	主催	開催場所	日程
坂上大翼	森林学習フィールドとしての北海道演習林（富良野市森林学習プログラム推進事業検討会議）	富良野市生涯学習センター	富良野市生涯学習センター	2/25
久本洋子	竹ってどんな植物？竹の種類・生態・管理について（竹炭シンポジウム in いすみ）	NPO法人竹もりの里	夷隅文化会館	2/25
田中延亮	東大演習林生態水文学研究所（瀬戸市）の紹介	東部丘陵生態系ネットワーク協議会	名古屋大学	2/26
久本洋子・軽込　勉	房総のヒメコマツ観察会	千葉県生物多様性センター	千葉演習林	2/27
久本洋子	千葉県の放置竹林問題の現状と対策	NPO法人樹の生命を守る会	千葉市　プラザ菜の花	2/28
松井理生	せと環境塾	瀬戸市	生態水文学研究所	3/5
竹本周平	土と生物	我孫子市鳥の博物館	我孫子市鳥の博物館	3/12
鴨田重裕・村瀬一隆・辻良子・小林徹行	下田市中央公民館講座　東京大学樹芸研究所講座「チョコレート作りを体験しよう！」	樹芸研究所・下田市教育委員会	樹芸研究所	3/19
蔵治光一郎	せと環境塾講座「窯跡と埋没林から解く！中世の自然と歴史」講義「赤津研究林で発見された埋没木」	瀬戸市	赤津宿泊施設講義室	3/19

■管理■

2015年度　管理面積集計表・林相別蓄積集計表・植栽樹種

管理面積集計表

2015年4月1日現在　ha

	合計	樹林地								竹林	伐採跡地	未立木地	その他
		人工林				天然林							
		小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林	小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林				
千葉	2,170	858	826	17	15	1,302		377	925	1			9
北海道	22,716	3,412	3,090	140	182	18,481		15,272	3,209			640	183
秩父	5,812	767	749		18	4,986	199	778	4,009				59
田無	9	6	2	3	1								3
生態水文	1,292	304	302		2	949		949					39
富士	38	38	34	1	3								
樹芸	246	109	50		59	106			106				31
合計	32,283	5,494	5,053	161	280	25,824	199	17,376	8,249	1		640	324

※2012年度より，北海道演習林の針葉樹林は混交林へ区分した

林相別蓄積集計表

2015年4月1日現在　m^3

演習林名	計	人工林	天然林
千葉	810,611	252,212	558,399
北海道	5,020,541	658,569	4,361,972
秩父	1,462,189	360,322	1,101,867
田無	2,344	2,344	
生態水文	239,026	84,928	154,098
富士	11,462	11,462	
樹芸	74,797	51,153	23,644
合計	7,620,970	1,420,990	6,199,980

植栽樹種

（本）

千葉	スギ	ヒノキ	ケヤキ	
	500	1217	25	
北海道	トドマツ	エゾマツ	アカエゾマツ	グイマツF1
	1800	8603	400	2638
秩父				
田無				
生態水文				
富士				
樹芸				

立木伐採量

m^3

		主伐材積					利用間伐材積	主伐，間伐合計
		人工林		天然林		小計		
		針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹			
千　葉	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合　計							
北海道	立木販売			12,808	2,560	15,367	11,716	27,083
	素材生産資材量			483	977	1,460		1,460
	その他							
	合　計			13,291	3,536	16,827	11,716	28,543
秩　父	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合　計							
田　無	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合　計							
生態水文	立木販売						256	256
	素材生産資材量							
	その他							
	合　計						256	256
富　士	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合　計							
樹　芸	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合　計							
合　計	立木販売			12,808	2,560	15,367	11,972	27,339
	素材生産資材量			483	977	1,460		1,460
	その他							
	合　計			13,291	3,536	16,827	11,972	28,799

育林実行量

演習林名	地拵え				新植および補植					下刈り				除伐			枝打ち				保育間伐			獣害対策(シカ柵設置など)				その他		
	林小班		面積(ha)	備考	林小班		面積(ha)	植栽本数	備考	林小班		面積(ha)	備考	林小班		面積(ha)	備考	林小班		面積(ha)	備考	林小班		面積(ha)	備考	林小班		面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考
千葉	44C11-1		0.51		44C11-1		0.50	1537		22Ca-1		0.53										8C3-1		1.53		44C11-1		0.10				
千葉					23C3-2		0.10	205		22Ca-2		0.86										22C10-1		2.06								
							造林学実習による植栽																									
千葉										23C3-2		0.80										22C10-2		3.09								
千葉										45C11-2		0.77																				
北海道	3	E	0.10	請負	3	E	0.03	28		3	A	0.31	請負					68	D	0.77	アカエゾ	98	B	14.11		16	B	0.26	鼠毒餌散布			
																								請負（補助金）								
北海道	4	B	5.16	〃	3	E	0.07	70	請負	3	B	0.26	〃					68	E	0.19	〃					17	A	1.25	〃			
北海道	4	C	1.27	〃	4	B	0.11	132		7	A	0.12														18	B	0.38	〃			
北海道	75	B	2.64	〃	4	B	5.05	5365	請負	14	A	1.32														18	D	2.08	〃			
北海道	92	A	0.65	〃	4	C	1.27	1560	〃	14	A	2.89	請負													26	A	0.08	〃			
北海道	92	B	12.07	〃	23	B	4.76	200		29	D	4.02	〃													32	C	0.23	〃			
北海道	92	C	0.07	〃	71	D	2.63	491		35	D	0.84	〃													33	A	2.18	〃			
北海道	101	A	1.13		73	D	2.85	33		39	B	0.03	〃													33	C	2.13	〃			
北海道	101	B	0.72		75	B	0.15	302		40	A	2.54	〃													47	B	0.34	〃			
北海道	102	B	0.64		75	B	2.49	2610	請負	71	D	2.61	〃													57	C	3.65	〃			
北海道					101	A	1.13	1445	〃	72	D	0.70	〃													71	D	2.63	〃			
北海道					101	B	0.72	543	〃	73	D	2.55	〃													72	D	4.53	〃			
北海道					102	B	0.25	267	〃	88	B	0.02	〃													73	D	2.86	〃			
北海道					102	B	0.39	395																		75	B	3.09	〃			
北海道																										74	C	1.20	〃			
北海道																										74	J	0.91	〃			
北海道																										87	C	6.70	〃			
秩父																										3	い30	0.7	シカ柵補修			
秩父																										20	ち1		〃　（樹木園周囲930m）			
秩父																										29	い1	3.4	〃			
秩父																										29	い10	0.82	〃			
秩父																										29	い37	0.24	〃			
秩父																										29	い38	0.31	〃			
秩父																										29	い40	0.22	〃			
秩父																										31	い23	1.18	〃			
秩父																										28	い8	1.28	樹皮ガード取付			
秩父																										28他			〃　（矢竹沢第3作業道沿い）			
秩父																										4	い3	1.36	樹皮ガード状態調査			
秩父																										4	い4	1	〃			
秩父																										4	い8	2.2	〃			
秩父																										4	い13	0.1	〃			
秩父																										4	い20	0.95	〃			
秩父																										29	い2	0.52	樹皮ガード取付			
秩父																										29	い22	0.6	〃			

演習林名	地拵え			新植および補植				下刈り			除伐			枝打ち			保育間伐			獣害対策(シカ柵設置など)			その他		
	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	植栽本数	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考
田無								1	0.12																
田無								2	0.02	延面積															
田無								3	0.04	〃															
田無								4	0.08																
田無								5	0.03																
田無								6	0.14																
田無								7	0.14	延面積															
田無								8	0.25	〃															
田無								9	0.20	〃															
田無								10	0.01																
田無								11	0.02																
田無								12	0.30	延面積															
田無								13	0.08																
田無								14	0.40	延面積															
田無								16	0.05																
田無								19	0.08	延面積															
田無								20	0.22																
田無								21	0.09																
田無								22	0.07																
田無								23	0.40	延面積															
田無								24	0.18																
田無								25	0.14																
田無								26	0.01																
生態水文														63	い16	0.42	27	い1	2.4	愛知県保安林整備事					
生態水文																	27	い2	4	〃					
生態水文																	41	い2	1.4	〃					
生態水文																	55	い1	0.22	愛知県小規模治山整備事業					
生態水文																	55	い2	1.52	〃					
生態水文																	55	い3	0.05	〃					
生態水文																	58	い7	1.43	直営					
生態水文																	62	い7	0.24	愛知県小規模治山整備事業					
生態水文																	62	い9	1.22	〃					
生態水文																	62	い10	2.52	〃					
生態水文																	62	い12	0.2	〃					
生態水文																	72	い8	0.5	ボランティア					
富士																	Ⅲ	13	1.50	寒地性樹種試験地					
合 計		24.96			22.50	15,183			24.23						1.38				36.49		49.48				

2015年度　素材生産総括表・土木実行総括表・道路現況

素材生産総括表

m³

	素材生産資材量			素材生産量			歩留(%)		
	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	平均	針葉樹	広葉樹
千　葉									
北海道	1,459.94	483.30	976.64	1,088.16	340.99	747.17	74.53	70.55	76.50
秩　父									
田　無									
生態水文									
富　士									
樹　芸									
合　計	1,459.94	483.30	976.64	1,088.16	340.99	747.17	74.53	70.55	76.50

土木実行総括表

m

千　葉	実行内容	林道維持	歩道維持	林道開設			
	実行数量	14,002	8,200				
北海道	実行内容	車道手入	砂利敷均し	除雪	請負草刈り	請負砂利敷均し	
	実行数量	54,220	260	62,100	154,200	1,300	
秩　父	実行内容	林道維持	作業道維持	歩道維持	モノレール維持	作業道開設	歩道開設
	実行数量	11,395	7,302	77,383	3,067	1,195	980
田　無	実行内容	除雪					
	実行数量	1,590					
生態水文	実行内容	林道維持	歩道維持				
	実行数量	5,750	3,700				
富　士	実行内容	車道草刈	歩道草刈				
	実行数量	600	900				
樹　芸	実行内容	車道草刈	車道整備	歩道草刈	歩道整備		
	実行数量	1,979	1,203	1,708	550		

道路現況

m

	車道延長				歩道延長	
	林道延長	作業道延長	計	密度(m/ha)	延長	密度(m/ha)
千　葉	31,436		31,436	14.5	125,361	57.8
北海道	484,500	448,890	933,390	41.0	7,800	0.3
秩　父	11,395	7,302	18,697	3.2	182,371	31.4
田　無					1,590	176.70
生態水文	11,840	1,500	13,340	10.3	12,400	9.6
富　士	2,087		2,087	54.9	3,009	79.2
樹　芸	3,486	3,657	7,143	29.0	11,753	47.8
合　計	544,744	461,349	1,006,093		344,284	

予算配分

		2014年度 (単位:千円)		2015年度 (単位:千円)	
配　　分	当初配分	246,204	(前年繰越赤字749千円減額)	262,186	(前年繰越 計14,306千円含む)
	追加配分, 協力金等	2,410	(専攻協力金, 学生経費, 他)	2,215	(専攻協力金, 学生経費, 他)
運 営 費	小 計	248,614		264,401	
事項指定経費	市町村交付金相当額	42,330		41,980	
	借 地 料	7,835	(秩父・富士借地料支払)	7,824	(秩父・富士借地料支払)
	特殊雇用経費	5,670	(障害者雇用対策費)	9,238	(障害者雇用対策費)
国大協保険金	H26年2月雪害	15,842	(千葉, 秩父, 田無, 富士)	3,900	(千葉, 秩父)
合　計 (当初および追加)		320,291		327,343	
収入不足戻し		-1,944	(年度末に研究科へ返還)	0	
指定経費残額, 他口座への移算		-168		-332	
最終配分額		318,180		327,011	(収入超過戻し997千円を含んでいない)

予算執行

執行額	303,873	財務会計システムデータ	288,570	財務会計システムデータ
残額	14,306	(特別繰越枠 計6,000千円含む)	38,436	(預託申請額 計16,000千円含む)
次年度への演習林全体の繰越額	14,306		39,433	(H27年度収入超過戻し997千円含む)

収　入

林産物収入	86,702		88,731	
損害賠償金	1,549	立木補償等	1,828	立木補償等
土地貸付料等	15,008	電線敷地貸, 宿泊施設利用費, 私費分等	13,926	電線敷地貸, 宿泊施設利用費, 私費分等
その他収入等	1,860	刊行物販売, 講習料, 不用品, その他収入	1,983	刊行物販売, 講習料, 不用品, その他収入
合　計	105,119	H26経理課決算	106,468	H27経理課決算

※特別繰越枠(北演5,000千円, 全演1,000千円)

演習林林産物収入細分表

区　分	立　木	素　材	その他 ヒサカキ	その他 苗　木	その他 残材等, その他	合　計
千葉	m^3	m^3	24　束	本	m^3	14,000　円
	円	円	14,000　円	円	円	
北海道	27,082.98　m^3	1,088.160　m^3	束	本	m^3	88,208,686　円
	44,099,580　円	44,109,106　円	円	円	円	
生態水文	256.320　m^3	m^3	束	本	m^3	450,000　円
	450,000　円	円	円	円	円	
樹芸	m^3	m^3	束	本	m^3	58,320　円
	円	円	円	円	58,320　円※	
合　計	27,339.30　m^3	1,088.16　m^3	24　束	0　本	0.00　m^3	88,731,006　円
	44,549,580　円	44,109,106　円	14,000　円	0　円	58,320　円	

※　カカオ果実50個, バニラ種子鞘20本の代金

演習林技術職員等試験研究・研修会議

場所　東京大学　山中寮内藤セミナーハウス

日程［2015 年 10 月 29 日(木)］
12:45　山中寮内藤セミナーハウス集合・受付
13:10　開会挨拶　浅野友子　富士癒しの森研究所長
13:20　試験研究発表(○:発表者)

《共通テーマの部》『地域社会との良好な関係を結ぶために』 進行:辻　和明
田無演習林の地域社会との関わりと課題
○栗田直明・相川美絵子(田無演習林)
千葉演習林一般公開の変遷と課題
○梁瀬桐子(千葉演習林)
秩父演習林と地域社会
○五十嵐勇治・大村和也(秩父演習林)
北海道演習林の林道管理と地域の関わりについて
○磯崎靖雄・及川　希(北海道演習林)
社会貢献業務の自己評価に向けた分析方法の提案
○西山教雄・辻　和明(富士癒しの森研究所)
生態水文学研究所における境界の管理－隣接土地所有者の対応と今後の課題－
○井上　淳・松井理生(生態水文学研究所)
15:20　休憩
15:30《自由テーマの部》 進行:澤田晴雄
母樹齢の異なるさし穂を用いたキヨスミミツバツツジのさし木発根試験
○里見重成・塚越剛史・軽込　勉・梁瀬桐子(千葉演習林)・米道　学(教育研究センター)
秩父演習林におけるヨタカのさえずり頻度の時間変化
○才木道雄(秩父演習林)
千葉演習林のマツ材線虫病抵抗性アカマツ採種園を構成するクローンの生存経過と実生苗のマツ材線虫病抵抗性
○米道　学(教育研究センター)・軽込　勉・里見重成(千葉演習林)
樹芸研究所大温室におけるカカオ栽培に関する報告
○辻　良子・村瀬一隆・小林徹行・須田常仁・萩原乃々美(樹芸研究所)
赤津研究林白坂小流域における林分構造の変化－1954年と2014年の比較－
○高橋功一・松井理生(生態水文学研究所)
北海道演習林におけるフィールド遠隔教育の取り組み
○江口由典(北海道演習林)
17:40　講評　石橋整司　企画部長
18:00　懇親会(内藤セミナーハウス食堂)

[2015 年 10 月 30 日(金)]
講義・現地研修
9:00　富樫一巳　演習林長
「学術論文作成の基本」
10:00　現地見学
12:00　昼食後解散

参加者
林　長　・企　画　部 ： 富樫一巳・石橋整司・澤田晴雄
千　葉　演　習　林 ： 大石　諭・里見重成・梁瀬桐子
北 海 道 演 習 林 ： 磯崎靖雄・江口由典
秩　父　演　習　林 ： 大村和也・齋藤俊浩・五十嵐勇治・才木道雄
田　無　演　習　林 ： 栗田直明
生態水文学研究所 ： 井上　淳・高橋功一
富士癒しの森研究所 ： 浅野友子・藤原章雄・齋藤暖生・辻　和明・西山教雄・齋藤純子・高村洋子
樹　芸　研　究　所 ： 辻　良子
教育研究センター ： 米道　学

■その他■

2015年度　交流事業・国際シンポジウム・共同研究

■国際交流■

交流事業

相手大学および機関名	国名	協定締結の有無	交流期間	目的
農業研究開発庁	タイ	有	2015/12/12 - 19	研究の指導を受けるため
農業研究開発庁	タイ	有	2016/2/1 - 15	研究の指導を受けるため

国際シンポジウム

参加者氏名	シンポジウム名	主　催	開 催 地	日　程
蔵治光一郎	The 4th IUFRO International Conference on Forests and Water in a Changing Environment	The University of British Columbia	カナダ	2015/7/5 - 7/10
福井　大	3rd International Southeast Asian Bat Conference	サラワク大学	マレーシア	2015/8/12 - 8/19
山田利博	第19回木材の非破壊検査に関する国際研究集会	第19回木材の非破壊検査に関する国際研究集会国際組織委員会	ブラジル	2015/9/21 - 9/25
鎌田直人	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium	国立台湾大学	台湾	2015/10/5 - 10/10
尾張敏章	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium	国立台湾大学	台湾	2015/10/5 - 10/10
福井　大	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium	国立台湾大学	台湾	2015/10/5 - 10/10
犬飼慎也	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium	国立台湾大学	台湾	2015/10/5 - 10/10
蔵治光一郎	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium	国立台湾大学	台湾	2015/10/5 - 10/10
松井理生	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium	国立台湾大学	台湾	2015/10/5 - 10/10
小林徹行	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium	国立台湾大学	台湾	2015/10/5 - 10/10
齋藤暖生	UTokyo-NTU Joint Conference	東京大学	東京	2015/12/10
當山啓介	UTokyo-NTU Joint Conference	東京大学	東京	2015/12/10
竹本周平	UTokyo-NTU Joint Conference	東京大学	東京	2015/12/9 - 10

共同研究

氏名	研究課題	共同研究者所属	氏名	国籍
鎌田直人	食物網構造を組み入れた全球的な群集の多様性創出機構の解明	南ボヘミア大学・チェコ科学アカデミー	Vojtech Novotny	チェコ
			Martin Volf	チェコ
		南ボヘミア大学	Martin Libra	チェコ
		インド養蚕研究所	Rajesh Kumar	インド
		New Guinian Binatang Research Center	Roll Lillip	パプア・ニューギニア
鎌田直人	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	インド養蚕研究所	Rajesh Kumar	インド
		Kassetsart University	Sunisa Sanguansub	タイ
		Chaing Mai University	Sawai Buranapanichpan	タイ
			Teerapong Saowaphak	タイ
		タイ国王室局	Sirin Kawla-ierd	タイ
		カリフォルニア大学リバーサイド校	Richard Stouthamer	アメリカ合衆国
鎌田直人	サトウキビを加害するカミキリムシ *Dorysthenes buqueti* の微生物防除に関する研究	Kassetsart University	Wiwat Suasa-ard	タイ
			Sopon Uraichuen	タイ
			Oraphan Kern-asa	タイ
蔵治光一郎	Impact of Climate Change on Rainfall Variability in Mae Chaem and Whole Mountainous Area in Upper Chao Phraya basin	タイ王立灌漑局	Nilobol Aranyabhaga	タイ
蔵治光一郎	Hydrological Monitoring in Mount Alab, Crocker Range Park Sabah	マレーシアサバ大学	Maznah Mahali	マレーシア

海外渡航

氏名	所属演習林	行き先	用務	出発日	帰着日
浅野友子	秩父演習林	オーストリア	EGU General Assemblyにて研究発表	2015/4/11	2015/4/19
三浦直子	教育研究センター	オーストリア	EGU General Assemblyにて研究発表	2015/4/11	2015/4/19
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	カナダ	国際コモンズ学会での研究発表	2015/5/24	2015/6/3
鎌田直人	北海道演習林	タイ	キクイムシのサンプリング等のため	2015/7/4	2015/7/12
蔵治光一郎	生態水文学研究所	カナダ	The 4th IUFRO International Conference on Forests and Water in a Changing Environment　参加・発表	2015/7/5	2015/7/10
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	熱帯季節林の水文気象の調査，研究打ち合わせ	2015/7/29	2015/8/3
蔵治光一郎	生態水文学研究所	シンガポール	7th APHW International Conference jointly organized with 12th AOGS Annual Conference　参加・発表	2015/8/2	2015/8/8
五名美江	生態水文学研究所	シンガポール	7th APHW International Conference jointly organized with 12th AOGS Annual Conference　参加・発表	2015/8/2	2015/8/8
福井　大	北海道演習林	マレーシア	3rd International Southeast Asian Bat Conference出席	2015/8/12	2015/8/19
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	イギリス	自然環境のレクリエーション利用に関する現地調査	2015/8/19	2015/8/31
鳥居正人	田無演習林	中国	シイ類樹木の衰退現象の現地調査	2015/9/20	2015/9/24
鎌田直人	北海道演習林	インドネシア	ナラ菌接種実験	2015/9/29	2015/10/5
楠本　大	田無演習林	インドネシア	ナラ菌接種実験	2015/9/29	2015/10/5
當山啓介	千葉演習林	オーストリア	広葉樹資源活用海外事例調査（林業機械展，木質バイオマス利用企業）	2015/9/30	2015/10/9
鎌田直人	北海道演習林	台湾	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium　参加・発表	2015/10/5	2015/10/10
福井　大	北海道演習林	台湾	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium　参加・発表	2015/10/5	2015/10/10
尾張敏章	北海道演習林	台湾	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium　参加・発表	2015/10/5	2015/10/10
犬飼慎也	北海道演習林	台湾	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium　参加・発表	2015/10/5	2015/10/10
蔵治光一郎	生態水文学研究所	台湾	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium　参加・発表	2015/10/5	2015/10/10
松井理生	生態水文学研究所	台湾	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium　参加・発表	2015/10/5	2015/10/10
小林徹行	樹芸研究所	台湾	The Sixth Symposium of Asian University Forest Consortium　参加・発表	2015/10/5	2015/10/10
鎌田直人	北海道演習林	タイ	餌木に寄生したキクイムシの採集	2015/11/4	2015/11/12
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	科研プロジェクトの資料収集と研究打合せ	2015/11/29	2015/12/4
田中延亮	生態水文学研究所	アメリカ	アメリカ地球物理学連合大会での研究発表，試験地の現地見学	2015/12/12	2015/12/19
鎌田直人	北海道演習林	インド	カシノナガキクイムシの採集	2016/1/30	2016/2/14
安村直樹	田無演習林	ニュージーランド	ニュージーランドにおける小規模森林経営の実態調査	2016/2/20	2016/2/27
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	南アフリカ	シロアリ塚由来資源の利用に関する現地調査	2016/2/25	2016/3/3
蔵治光一郎	生態水文学研究所	エクアドル	科研費「ウォーカー循環系における大気振動と山岳の森林限界の形成」現地調査	2016/3/3	2016/3/12
鎌田直人	北海道演習林	タイ	キクイムシの採集	2016/3/6	2016/3/16
福井　大	北海道演習林	イギリス	コウモリ類標本の計測・撮影，研究打合せ	2016/3/12	2016/3/20

外国人研究者の来訪

演習林名	来 訪 目 的	日　　程	国　　籍	来訪人数
千葉	菌類調査	2015/7/3		1
千葉	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究	2015/7/25 - 7/27		1
千葉	菌類調査	2015/8/24		1
千葉	菌類調査	2015/9/30		1
千葉	菌類調査	2015/10/26		1
千葉	韓国における国立大学演習林管理のための視察	2015/10/27 - 10/29	韓国	7
千葉	地下比抵抗構造を推定のための地磁気地電位差観測	2015/11/5		2
千葉	修論の研究テーマを決めるための見学	2015/11/27		1
千葉	東京大学-国立台湾大学　戦略的パートナーシップによる合同カンファレンスに伴う視察	2015/12/6 - 12/8	台湾	12
千葉	森林流域における水文観測	2016/1/19		8
千葉	アジアの森林帯に関する比較研究　ネパール研究者の案内	2016/1/26	ネパール	2
北海道	スイス国立樹木園　日本園の整備	2015/10/11 - 10/15	スイス	1
秩父	野鳥における血液原虫保有状況および媒介昆虫の調査	2015/6/24 - 6/25	スウェーデン	1
秩父	ソウル大学秩父演習林視察	2015/10/30	韓国	5
秩父	養菌性ｷｸｲﾑｼが媒介する樹木萎凋病の国際的なﾘｽｸ評価に必要な基礎ﾃﾞｰﾀの収集	2016/1/4 - 1/31	タイ	1
生態水文	博士論文のデータ収集，樹液流センサー作成	2015/4/8 - 4/16	スリランカ	9
生態水文	平成27年度利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会	2015/5/8 - 5/9	スリランカ	1
生態水文	博士論文のデータ収集，樹液流センサー作成	2015/5/9 - 5/13	スリランカ	5
生態水文	博士論文のデータ収集，樹液流センサー作成	2015/6/29 - 7/5	スリランカ	7
生態水文	生態水文学研究所内の気象･量水観測の見学	2015/7/10	アメリカ	1
生態水文	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	2015/7/15 - 7/31	中国	4
生態水文	体験活動プログラム「森・水・土砂の長期モニタリング調査体験」	2015/7/20 - 7/24		5
生態水文	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	2015/8/1 - 8/31	中国	4
生態水文	博士論文のデータ収集，樹液流センサー作成	2015/8/5 - 8/8	スリランカ	4
生態水文	「水」をテーマにした親子体験教室	2015/8/15		1
生態水文	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	2015/9/1 - 9/30	中国	3
生態水文	博士論文のデータ収集，樹液流センサー作成	2015/9/5 - 9/9	スリランカ	5
生態水文	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	2015/10/1 - 10/31	中国	5
生態水文	博士論文のデータ収集，樹液流センサー作成	2015/10/16 - 10/17	スリランカ	2
生態水文	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	2015/11/1 - 11/30	中国	4
生態水文	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	2015/12/1 - 12/31	中国	4
生態水文	博士論文のデータ収集，樹液流センサー作成	2015/12/8 - 12/10	スリランカ	3
生態水文	研究の指導を受けるため	2015/12/12 - 12/19	タイ	1
生態水文	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	2016/1/1 - 1/31	中国	4
生態水文	国際開発研究の演習への演習林の活用の可能性の探求	2016/1/27		1
生態水文	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	2016/2/1 - 2/29	中国	4
生態水文	研究の指導を受けるため	2016/2/1 - 2/15	タイ	1
富士	富士癒しの森研究所の視察	2015/7/15	台湾	11
富士	富士癒しの森研究所の視察	2015/8/27 - 28	台湾	8
富士	富士癒しの森研究所および技術職員研修の視察	2015/10/29 - 10/30	韓国	6
富士	JSTさくらサイエンスプログラムにおける見学	2015/11/26	インド，ベトナムほかアジア各国	9

■出版広報活動■

演習林報告

「演習林報告」133号，134号を発行した。

演習林報告第133号　2015年9月1日発行

佐藤貴紀・田中延亮・田中克典・五十嵐康記・吉藤奈津子・鈴木雅一・タンタシリン　チャチャイ
環孔材であるチークを対象とした熱消散法による樹液流計測の適応可能性の検討－英文－ …… 1-18

アナリン　リコング　コディラン・中島　徹・龍原　哲・白石則彦
フィリピン ミンダナオ島における産業造林樹種の環境要因による地位指数の推定－英文－ …… 19-41

後藤　晋・西山教雄・村瀬一隆・楠本　大
植栽から3年間のエゾマツのコンテナ苗と裸苗における地上部と地下部の成長経過 …… 43-51

演習林報告第134号　2016年2月24日発行

金　旼奎・櫻井　倫・仁多見俊夫・酒井秀夫
異なる2機種のタワーヤーダによる集材作業の労働生産性，費用と最適路網密度 …… 1-17

飛田京子・仁多見俊夫
伐木競技会の評価基準が技術レベルの向上および労働災害低減にもたらす効果 …… 19-28

遠國正樹・尾張敏章・平田雅和・鈴木祐紀・高橋功一・笠原久臣・芝野博文
森林内におけるマッピング用およびコンシューマ用GNSS受信機の測位精度 …… 29-40

津脇晋嗣・中島　徹・龍原　哲・白石則彦
我が国の森林・林業に関する事業において重視された森林の多面的機能の変遷 …… 41-74

小此木宏明・福田健二
雁坂トンネル掘削ズリにより埋め立てられたワサビ沢の14 年間の植生遷移 …… 75-103

稲垣怜那・植木悠貴・寺田珠実・井上広喜・鴨田重裕・鮫島正浩
*Eucalyptus saligna*の葉に含まれるフェノール性成分の分析 …… 105-114

演習林

「演習林」58号を発行した。

演習林第58号　2016年3月11日発行

米道　学・久本洋子・鈴木祐紀・軽込　勉・塚越剛史・里見重成・梁瀬桐子・後藤　晋・山田利博
2010-2014年に採取された千葉演習林産天然生ヒメコマツの球果当たり種子数と水沈種子率 …… 1-7

原口竜成・齋藤俊浩・吉田弓子・高徳佳絵・丹羽悠二・五十嵐勇治
秩父演習林大面積プロットにおける毎木調査資料(2014年) …… 9-174

五十嵐勇治・吉田弓子・角田正行・河野　満・高杉　茂・土橋秀行・茂木庸佑
東京大学秩父演習林「影森苗畑・黒石実験地」の維管束植物目録 …… 175-205

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所
生態水文学研究所赤津研究林白坂北谷・南谷小流域量水堰堤の水位・流量曲線 …… 207-212

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会水文水質部門
東京大学演習林水文観測・水質分析報告（自2013年1月至2013年12月） …… 213-238

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会気象部門
東京大学演習林気象報告（自2014年1月至2014年12月） …… 239-259

科学の森ニュース

No. 70
The University of Tokyo Forests News
科学の森ニュース
June 10, 2015
発行：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

新演習林長の挨拶

演習林長　富樫一巳

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林は，120年にわたって森林に関わる分野の教育と研究の場として存在してきました。これまでに社会は木材生産，国土保全，地域活性化，生物多様性の維持など，森林とその研究に多くのことを要請してきました。本演習林は，社会の要請に応えるべく，森林，森林施業とその効果について，長期間，着実にデータを採取してきました。そして，研究成果を公表するだけでなく，森林の大切さを社会に発信し，有為な人材を世に送り出すことに貢献してきました。

4月に私はこの演習林の長になりました。昨今の大学の運営経費と教職員定数の削減は演習林にも及んでいます。そのため，本演習林は効率的な運営を図るべく，10年以上にわたって組織の再部改革を進めています。これまでの方針に従って改革を進めながら，演習林の教職員の能力が充分に発揮できるように配慮することが必要だと思っています。そして，日本の成長のような教育，研究，社会連携が長く着実に発展するよう，演習林の運営に取り組みたいと思います。皆様のご支援をお願いいたします。

「科学の森ニュース」のバックナンバー（PDF形式）は東京大学演習林のホームページからダウンロードすることができます。
(http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/)

■第70号■　2015年6月10日発行

【表紙記事】新演習林長の挨拶（演習林長　富樫一巳）

≪記事≫

・カエデの樹液からメープルシロップ作りを体験（秩父演習林）
・鈴木雅一，芝野博文先生の退職セレモニーが開催されました
・「東大カカオからチョコレート製品を世に送る」
　共同研究が目指すもの（樹芸研究所）
・演習林のイベントダイジェスト　2015年4月～2015年9月

＜クローズアップ＞

改良ポプラ品種コレクションと将来の研究貢献（田無演習林）

＜科学の森の動植物紹介＞

チチブミネバリ（秩父演習林）

＜名所・名物紹介＞

小長曽陶器窯跡（生態水文学研究所）

No. 71
The University of Tokyo Forests News
科学の森ニュース
September 10, 2015
発行：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

北海道演習林が2014年度林業遺産に選定されました

北海道演習林

2013年度の芦別演ヶスノキ林（樹芸研究所），浅間山（千葉演習林）に続き，北海道演習林が「天然林施業実践の森」として日本森林学会の林業遺産に選定されました。北海道演習林は1899年に設立され，天然林の施業・経営実践に取り組んできました。1958年以降は「林分施業法」に基づき，択伐を基調とした森林経営を事業内規模で継続しています。日本において天然林施業を長期間，大規模に実践した森林経営は他に類例がなく，時々の時代背景のもとで行ってきたその多様な展開が歴史的・技術的に顕著な価値を有すると認められました。

沢筋施業が行われている北海道演習林の天然林

「科学の森ニュース」のバックナンバー（PDF形式）は東京大学演習林のホームページからダウンロードすることができます。
(http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/)

■第71号■　2015年9月10日発行

【表紙記事】北海道演習林が2014年度林業遺産に選定されました（北海道演習林）

≪記事≫

・神社山自然観察路春季一般公開（北海道演習林）
・初夏の雁坂峠と山小屋体験（秩父演習林）
・公開森林実習を実施しました（生態水文学研究所）
・演習林のイベント情報　2015年9月～2015年11月

＜クローズアップ＞

Bonjourインターン生さん！

＜科学の森の動植物紹介＞

サンショウ（富士癒しの森研究所）

No. 72
The University of Tokyo Forests News
科学の森ニュース
December 10, 2015
発行：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

国立台湾大学にて第6回アジア大学演習林シンポジウム開催

2015年10月6日（火）から7日（水）にかけて，アジア大学演習林コンソーシアムの第6回シンポジウムが台湾の南投郡にある国立台湾大学実験林(認可自然教育園区)で開催され，韓国，中国，台湾，日本から教職員と学生合わせて57名が参加しました。会場では，さまざまな分野の研究発表59件が口頭ならびにポスター形式で行われ，各国の大学・演習林における研究や管理に関する情報・意見交換を通した交流が精力的に行われました。シンポジウム終了後，台湾大学実験林の各苗圃区を訪問し，森林の状況や演習林管理計画の現場を見学しました。

学生による口頭発表の様子　ポスター発表の様子

森林を学ぶ一日実習(山歩き)　東大，ソウル大，台湾大の総合力と集合写真

「科学の森ニュース」のバックナンバー（PDF形式）は東京大学演習林のホームページからダウンロードすることができます。
(http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/)

■第72号■　2015年12月10日発行

【表紙記事】 国立台湾大学にて第6回アジア大学演習林シンポジウム開催

≪記事≫

・演習林産のご神木で20年ぶりの「鳥居曳」祭礼（千葉演習林）
・演習林の技術職員3名が森林管理技術賞を受賞
・せと環境塾2015「大人キャンプin東大演習林」（生態水文学研究所）
・演習林のイベント情報　2015年12月～2016年2月

＜クローズアップ＞

台湾では「癒しの森」がアツい？－相次ぐ視察団の訪問－（富士癒しの森研究所）

＜科学の森の動植物紹介＞

カカオノキ（樹芸研究所）

No. 73
The University of Tokyo Forests News
科学の森ニュース
March 10, 2016
発行：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

オックスフォード大学への遺伝資源提供

秩父演習林

2013～2014年にかけて，英国オックスフォード大学植物園のスタッフが北海道・千葉・秩父演習林に日本固有木の種子を採集しにきました。採集した種子は各ユー植物園などの施設で長期保存されると同時に，同大学の植物園各庁で発芽・栽培が試みられるとのことです。先日，彼らの採集した種子のうち，チチブミネバリ (*Betula chichibuensis*) の発芽がみられたことが英国BBC や英国ニューヨーク・タイムズ紙で記事になりました。チチブミネバリは秩父山地と北上山地のごく一部の石灰岩地のみに生育するカバノキ科の絶滅危惧種（環境省指定 EN 種）です。秩父演習林内に最大級の自生地がありますが，険しい山道で片道2時間以上かかります。記事では，その苦労りの大変さとともに，遺伝資源としての重要さを伝えています。

BBC 記事 http://www.bbc.com/news/science-environment-34356553
ニューヨーク・タイムズ紙 http://www.nytimes.com/2015/10/07/science/saving-a-rare-tree-mobile-map.html

採集当日に現地で説明中の筑波植物園のスタッフ（中央）

「科学の森ニュース」のバックナンバー（PDF形式）は東京大学演習林のホームページからダウンロードすることができます。
(http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/)

■第73号■　2016年3月10日発行

【表紙記事】オックスフォード大学への遺伝資源提供（秩父演習林）

≪記事≫

・木材搬出作業会（富士癒しの森研究所）
・東京大学と台湾大学の合同会議が開催
・雪の富良野で技術職員の実務研修を実施（北海道演習林）
・演習林のイベント情報　2016年3月～2016年5月

＜クローズアップ＞

創設121年で初めての「外部評価」

＜科学の森の動植物紹介＞

ヒツバタゴ（田無演習林）

＜コラム＞

ユーカリ優良個体のクローン増殖（樹芸研究所　井上広喜）

演習林出版物

■ 千葉演習林生き物ガイドブック ■

2016年3月1日　発行
編集　東京大学千葉演習林ガイドブックワーキング
　　廣嶋卓也・久本洋子・藤平晃司・村川功雄・梁瀬桐子
発行　東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林
定価　500円＋税　　A5判　52頁
ISBN 978-4-903321-24-0

＜目次＞
千葉演習林の概要
植物
動物
　哺乳類
　鳥類
　昆虫
　甲殻類
　両生類
　爬虫類
　魚類
　その他
表紙の生き物

■ 東京大学赤津研究林の見どころ　－2016年改訂版－■

2016年3月1日　発行
編集　東京大学演習林生態水文学研究所
発行　東京大学演習林出版局
定価　463円＋税　　A5判　30頁
ISBN 978-4-903321-23-3

＜目次＞
森に入る前に
ようこそ赤津研究林へ
森林，植物
鳥類，動物，昆虫
モデルコース
モデルコースの概要
A 赤津宿泊施設
B 白坂気象観測露場
C 白坂量水堰
水質の調査
白坂量水堰の砂出し
ヤマガラとシジュウカラの繁殖生態調査
D～G 白坂小流域
長期生態系プロット
H，J 測量学実習用測点
I　ハゲ山
K 東海豪雨による崩壊跡地
L 間伐を遅らせたヒノキ人工林

2015年度　演習林出版物

■「森の健康診断の10年　愉しくてためになる流域の森のキヅキとマナビ」■

2016年3月15日　発行
編集　矢作川森の健康診断実行委員会
発行　東京大学演習林出版局
定価　1,500円＋税　　A5判　240頁
ISBN 978-4-903321-22-6

＜主な目次＞

写真で見る森の健康診断の1年
森の健康診断調査項目
矢作川森の健康診断調査地点
はじめに
第1章　矢作川森の健康診断　10年のあゆみ
第2章　進化する森の健康診断
第3章　オプション調査開発物語
第4章　10年やってわかったこと
第5章　広がる森の健康診断
第6章　将来への展望
おわりに
資料1　寄稿感想文
資料2　矢作川森の健康診断マニュアル＋調査票
資料3　第10回矢作川森の健康診断　チームリーダーマニュアル
用語解説

新聞・雑誌・放送等

演習林名	メディア	日付	内容
千葉	房日新聞	2015/4/1	「高田の松原」再生に協力　天津小2・3年生プランターにクロマツの種まき
生態水文	尾張東部放送	2015/4/3	蔵治先生の環境講座
樹芸	菓子食品新聞	2015/4/13	日本を元気に「日本初のカカオ」からチョコレート　メリーチョコ×東大
樹芸	伊豆新聞	2015/4/16	バニラの受粉体験　東大樹芸研特別公開　アイスクリーム作りも
生態水文	南信州新聞	2015/6/7	山の価値を確かめよう　根羽村で森の健康診断（教養学部前期課程　総合科目「森林資源環境科学」フィールドワーク内で行った，「森の健康診断」）
富士	北海道新聞	2015/6/28	ハスカップ　地域の財産に　苫小牧でフォーラム
生態水文	尾張東部放送	2015/7/3	蔵治先生の環境講座
生態水文	岐阜新聞	2015/7/11	検証　長良川河口堰　運用20年　住民の意見生かして
田無	散歩の達人	2015/7/21（2015年8月号）	都会の自然　西東京いこいの森公園から見るメタセコイア林
生態水文	尾張東部放送	2015/8/14	蔵治先生の環境講座
生態水文	ウッドミック	2015/9/10（2015年9月号）	森林と水と人の関係との研究現場を視る ～東京大学赤津研究林（愛知県瀬戸市）を訪ねて～
秩父	BCC News	2015/9/29	UK team germinates critically endangered Japanese birch（イギリスのチームが絶滅危惧種の日本のカンバの発芽に成功）
北海道	北海道新聞	2015/10/5	色づいた木々　散策を楽しむ　東大演習林一般公開
生態水文	中日新聞（岐阜県版）	2015/10/9	森と生きる　10・11全国育樹祭・岐阜　放置が招く災害危機
富士	FUJIYAMA　Style（富士山麓ライフスタイルマガジン）	2015年秋・冬号10月発行	人が森に求めるもの。森が人に語りかけること。－東京大学「富士癒しの森研究所」を訪ねて－
樹芸	伊豆新聞	2015/10/10	14，17日に東大樹芸研温室公開　参加者を募集
樹芸	伊豆新聞	2015/10/15	自作チョコに大満足　東大樹芸研が温室特別公開　カカオ豆使い体験
秩父	The New York Times	2015/10/26	Saving a Rare Tree Worlds Away（希少種の樹木を救う）
生態水文	尾張東部放送	2015/11/6	蔵治先生の環境講座
樹芸	伊豆新聞	2015/11/14	29日に林業遺産見学　南伊豆の東大樹芸研
生態水文	山形新聞	2015/11/22	最上川流域の人工林調査活動成果を共有　白鷹で報告会
樹芸	伊豆新聞	2015/11/30	樹齢100年のクスノキ林観察　東大樹芸研公開講座　森林遺産の意義説明　樟脳生産支えた歴史学ぶ
生態水文	尾張東部放送	2015/12/4	蔵治先生の環境講座
生態水文	矢作新報	2016/1/8	山主も参加意識アップ　「過密」判定 目からウロコ　あさひ森の健診　報告会に熱気
千葉	読売新聞	2016/1/9	学校自慢　ヒメコマツを保全・継承　君津青葉高校
北海道	北海道新聞	2016/1/11	東大演習林開放へ　教育目的に限定（北海道新聞に富良野市との連携協定）
北海道	北海道新聞	2016/1/14	雁坂トンネル掘削ズリにより埋め立てられたワサビ沢の14 年間の植生遷移
北海道	北海道新聞	2016/1/14	東大演習林　開放協定に調印　有料ツアー実現に期待
樹芸	製菓製パン	2016年1月号	東京大学農学部樹芸研究所とメリーチョコレートが，カカオに関する産学連携！希少な日本産（東大樹芸研究所産）カカオのチョコレートが実現
樹芸	東京新聞	2016/2/12	夢の国産カカオチョコ　大田区メーカー東大と伊豆で
北海道	北海道新聞	2016/2/27	モデル3校東大演習林活用　16年度は山部小・中，樹海小市教委，旭教大とプログラム開発
北海道	北海道新聞	2016/3/5	演習林どう利活用　“先輩”愛知県の取り組み紹介　有料観察会で自然学習　認定ガイド養成，技術講習も　自治体と連携不可欠　体制整備　蔵治所長に聞く
田無	中国新聞	2016/3/18	東大生3人 島の農業学ぶ　大柿で甘夏の収穫体験（体験活動プログラム「みかんの収穫・販売体験から中山間地域の底力を考える」）
樹芸	静岡新聞	2016/3/21	温泉熱を利用　スイーツ作り　南伊豆で親子ら（公開講座）
生態水文	尾張東部放送	2016/3/25	蔵治先生の環境講座
北海道	北海道新聞	2016/3/29	演習林ガイド養成開始　市教委が講座　自然学習推進へ

2015年度　安全防災のための講習会等・資格取得のための講習等

■安全衛生■

下表のように安全・防災のための各種講習会を実施した。その他に各演習林の実情と必要性に応じ安全衛生のための定期的な会議や点検を実施，あるいは日常的な連絡・注意喚起のための態勢を整備している。

安全・防災のための講習会等

研　　修　　名	開 催 機 関 等	開催月	参加人数
雇い入れ時の安全衛生教育	北海道演習林	4	3
安全衛生推進者養成講習	(財)埼玉労働基準協会連合会	4	1
教育研究安全衛生マネジメントシステム説明会	農学生命科学研究科環境安全管理室	4	1
普通救命講習I	秩父市消防本部	4	8
安全衛生MSガイダンス	教育研究センター・企画部	4	17
雇い入れ時の安全衛生教育	北海道演習林	5	2
環境安全講習会	東京大学環境安全センター	5	4
温泉管取扱講習	樹芸研究所	5	7
安全運転管理者講習会	北海道旭川方面公安委員会	6	1
化学物質等(化学物質・UTCRIS・高圧ガス・レーザー)取り扱い講習会	東京大学環境安全センター	6	1
刈払機取扱作業者安全衛生教育	林業・木材製造業労働災害防止協会静岡県支部	6	2
緊急連絡網訓練(ショートメールによる伝達訓練)	北海道演習林	7	33
刈払機取扱作業者安全衛生教育	北海道演習林	7	16
MS会議及び蜂対策講習会	北海道演習林	7	36
メンタルヘルス講習会	北海道演習林	7	36
北演安全の日	北海道演習林	7	36
緊急時対応訓練	札幌防災市民センター	7	20
環境安全講習会	東京大学環境安全センター	7	1
安全運転管理者講習会	埼玉県公安委員会	7	1
機器等(遠心機・ドラフトチャンバー・オートクレーブ)取り扱い及び点検講習会	東京大学環境安全センター	7	1
緊急時対応訓練	札幌防災市民センター	8	17
林業労働安全管理講習会	林業・木材製造業労働災害防止協会静岡県支部	8	1
クレーン作業安全講習	北海道演習林	9	11
雇い入れ時の安全衛生教育	北海道演習林	10	1
交通安全講習会	北海道演習林	11	33
振動工具取扱安全衛生教育	住友建機教習所	11	1
低温センター安全講習会	東京大学環境安全センター	11	2
防災訓練	生態調和農学機構	11	8
振動工具取扱安全衛生教育	千葉演習林	12	21
ボール盤取扱説明会	千葉演習林	12	21
環境安全講習会	東京大学環境安全センター	1	1
スノーモビル安全運転講習会	北海道演習林	1	23

資格取得のための講習等

研　　修　　名	開 催 機 関 等	開催月	参加人数
立木の伐木等の業務特別教育	林材業労災防止協会旭川分会	5	1
車両系木材伐出機械等の運転業務特別教育	林材業労災防止協会旭川分会	6	5
車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習	株式会会社芽室自動車学校	8	1
立木の伐木等の業務特別教育	林材業労災防止協会旭川分会	9	1
樹木医研修	(財)日本緑化センター	9	1
小型移動式クレーン運転技能講習	コマツ教習所株式会社センター	12	2
玉掛け技能講習	コマツ教習所株式会社センター	12	3
千葉県農薬管理指導士認定研修	千葉県	12	1

災害統計

2015年度は災害は15件，ヒヤリハット等は5件であった。内訳は労働時の災害がハチ刺され5件，ダニ刺され5件（利用者1件：事故災害報告あり，職員4件：事故災害報告なし），ナタによる切創1件，ボール盤使用時の切創1件，ゴミによる角膜上皮びらん1件，打撲（膝・右腕）2件であった。また物損事故は重機1件，普通車両4件であった。

	教職員(件)	学生(件)	その他(件)
重大及び休業災害（4日以上）			
休業災害（4日未満）			
不休災害	14		1
災害合計	14		1
ヒヤリハットなど	5		
そのうち設備災害	5		

山火事予防活動

演習林名	名　　称	開 催 場 所	日　程	参加人数
北海道	巡視及び注意喚起の幟，設置と撤去	北海道演習林一円	2015/4/21-5/31	全職員
秩父	消火訓練（大血川管内）	秩父演習林	2015/8/24	17

■研修■

技術職員

研　修　名	開 催 機 関	開催月	参加人数
第56回北海道地区中堅係員研修	人事院北海道	6月	1
平成27年度リサーチアドミニストレーター（URA）業務研修応用コース	東京大学	6月	1
pH・水質分析基礎セミナー	堀場製作所	6月	1
平成27年度北海道地区国立大学法人等中堅技術職員研修	北海道大学	8月	1
平成27年度技術職員研修「森林野生生物調査法」	東京大学	9・10月	3
平成27年度国立大学法人北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション技術職員研修	北海道大学	10月	1
第24回九州地区農学部附属演習林技術職員研修	鹿児島大学	10月	2
平成27年度技術職員等試験研究・研修会議	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	10月	17
平成27年度技術職員専門研修	北海道大学	10月	1
第23回東海地区農学部附属演習林等技術職員研修	三重大学	10月	1
平成27年度附属施設実務研修（富士癒しの森研究所）	東京大学大学院農学生命科学研究科	10月	6
平成27年度職員自己啓発支援「語学学校利用支援プログラム」	東京大学	10-3月	1
第18回関東甲信越地区演習林技術職員研修	宇都宮大学	11月	3
機械グループ研修「小規模施設の機械点検研修」	東京大学大学院農学生命科学研究科技術部機械グループ	11月	4
平成27年度技術職員研修「コンピュータネットワーク研修」	東京大学	1月	1
第3回分析技術グループ研修「動物の生理分析とフィールドにおける簡易分析」	東京大学大学院農学生命科学研究科技術部分析グループ	2月	5
平成27年度中国・四国・近畿地区大学附属演習林等技術職員研修	鳥取大学	2・3月	2
第1回東京大学技術発表会	東京大学総合技術本部	3月	35

事務職員

研　修　名	開 催 機 関	開催月	参加人数
平成27年度東京大学係長級研修（初任者）	東京大学（人材育成課職員評価・研修チーム）	9・10月	1
国立大学法人会計出前講座（入門編）	東京大学	10月	1

■組織図■

企画部・教育研究センター

組織（主任職員）	配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
演習林林長　教授　富樫一巳		
企画部 部長　教授　石橋整司 統括技術長　技術専門職員　澤田晴雄		事務補佐員　柴田ゆう子
教育研究センター センター長　准教授　後藤　晋	准教授　鴨田重裕(兼) 助教　前原　忠 助教　三浦直子 技術主任・技術専門職員 米道　学 技術専門職員　近澤静恵	事務補佐員　小林ひとみ
農学系事務部 事務部長　奥抜義弘 総務課長　金子郁夫 経理課長　山本　浩 教務課長　篠田恵美	研究支援チーム 副課長　根本浩三 係長　佐野浩幸 他事務部各係	

学生等	氏名
博士2年	ティラク・チャンドラティラク
博士1年	サイフル・アムリ・サラギー
修士2年	岩城常修
修士2年	小山奈々
修士2年	山口彩花
修士1年	阿部智和
修士1年	笠原琢志
修士1年	アヌット・ブランパニクパン
学部4年	永竹翔太
研究生	尹　唯为
IPADS　博士1年/2年	サデーパ・ジャヤトゥンガ

2015年度　組織図（千葉演習林）

千葉演習林

組織（主任職員）			配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）	
林長	教授	石橋整司（兼）				
林長補佐	講師	廣嶋卓也				
教育研究主任	助教	久本洋子				
事務係長		田山勝則				
技術主任	技術専門職員	鈴木祐紀				
副技術主任	技術専門職員	大石　諭				
事務係	事務室係長	田山勝則				
	事務室主任	野山　智				
			一般職員	根上昌久（再）		
宿泊管理係			一般職員	根上昌久（兼）	臨時用務員	糟谷育代（兼）
					特任専門職員	羽若部理會
					特任専門職員	京極道子 2016/2/28まで
森林管理係	技術専門職員	里見重成	技術専門職員	軽込　勉		
			技術職員	梁瀬桐子（兼）		
施設係	事務室係長	田山勝則（兼）	技術専門職員	鈴木祐紀（兼）		
			技術専門職員	村川功雄（兼）		
			技術専門職員	鶴見康幸（兼）		
管財係	事務室係長	田山勝則（兼）				
企画調整係	技術専門職員	藤平晃司	技術職員	梁瀬桐子		
土木係	技術専門職員	塚越剛史	技術専門職員	藤平晃司（兼）		
			技術専門職員	阿達康眞（兼）		
試験係	助教	當山啓介				
資料管理係	技術専門職員	大石　諭				
清澄作業所	技術専門職員	村川功雄	技術専門職員	阿達康眞	特任専門職員	糟谷善廣
					特任専門職員	富川　勲
					特任専門職員	加瀬清巳
					特任専門職員	長谷川二郎 2015/12/31まで
					特任専門職員	岡田康則
札郷作業所	技術専門職員	鶴見康幸			特任専門職員	宮原はな
					特任専門職員	吉田龍三
					臨時用務員	糟谷育代

北海道演習林

組織(主任職員)			配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長	教授	鎌田直人				
林長補佐	准教授	尾張敏章				
教育研究主任	助教	坂上大翼				
	助教	福井　大				
		2015/6/1から(2015/5/31まで特任助教)				
主査		安部秀明				
技術主任	技術専門員	犬飼　浩				
技術副主任	技術専門員	井口和信				
庶務係	係長	横山和宏	主任	天山　学	事務補佐員	穴澤三恵子
会計係	係長	岡田教和	専門職員(係長級)	小川　理		
資産管理係	係長	米田久和				
企画調整係主任	技術専門員	犬飼　浩(兼)	技術専門職員	大川あゆ子		
調査資料係主任	技術専門職員	笠原久臣	技術専門職員	中川雄治	学術支援職員	岡本ヒサヨ 2015/5/1から2015/10/31まで
			技術専門職員	大川あゆ子(兼)		
			技術職員	木村恒太 2015/10/1から	学術支援職員	石﨑敏幸 2015/5/1から2015/10/31まで
種苗造林係主任	技術専門員	岡村行治	技術専門職員	宅間隆二		
生産販売係主任	技術専門職員	福士憲司			特任専門職員	高橋可奈
土木生産係(土木担当)主任	技術専門職員	磯崎靖雄	技術職員	及川　希		
土木生産係(生産担当)主任	技術専門職員	小池征寛	技術専門職員	井上　崇		
			技術専門職員	丹羽悠二		
			技術職員	遠國正樹		
調査第一係主任	技術専門職員	渡邉良広	技術専門職員	三次充和		
			技術職員	犬飼慎也		
			技術職員	算用子麻未 2015/6/10まで(2015/6/11から育児休業)		
			技術職員	延　栄一 2015/6/11から (代替職員)	学術支援職員	延　栄一 2015/6/10まで
調査第二係主任	技術専門職員	岡平卓巳	技術専門員(兼)	井口和信		
			技術職員	江口由典		
			技術専門職員	小川　瞳 2015/5/11まで(2015/5/12から育児休業)		
			技術職員	廣田善己 2015/5/12から (代替職員)	学術支援職員	廣田善己 2015/5/11まで
試験係			教授	鎌田直人		
			准教授	尾張敏章		
			助教	坂上大翼		
			助教	福井　大 2015/6/1から(2015/5/31まで特任助教)		
山部樹木園主任	技術専門職員	木村徳志	技術専門職員	福岡　哲	技能補佐員	内芝和江 2015/4/1から2015/11/30まで
					技能補佐員	安藤佳子 2015/4/1から2015/11/30まで
					技能補佐員	中坪優子 2015/4/1から2015/11/30まで
					学術支援職員	佐藤裕子 2015/4/1から2015/11/30まで
セミナーハウス						
施設長		鎌田直人	一般職員	横山和宏(兼)	技能補佐員	飯沼芳子
					特任専門職員	杉原時子
					特任専門職員	松村裕美 2015/5/1から2015/10/31まで

2015年度　組織図（秩父演習林・田無演習林）

秩父演習林

組織（主任職員）			配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）	
林長	教授	山田利博				
林長補佐	講師	平尾聡秀				
教育研究主任	講師	浅野友子				
試験係主任	助教	鈴木智之				
事務室	係長 係長	草開泰之 2015/6/30まで 本橋雅人 2015/7/1から	主任 主任	亀原弥生 渡邊幸司	特任専門職員	浅見美津子
技術主任	技術専門職員	齋藤俊浩	技術専門職員	高徳佳絵 （産休・育休）	特任専門職員	冨沢貴志
森林管理チーム	技術専門職員	才木道雄	技術職員 技術専門職員	吉田弓子 高野充広 2015/10/1から		
利用促進チーム	技術専門職員	原口竜成	技術専門員 技術専門職員 特任専門職員 特任専門職員	大村和也 千嶋　武 木村恒太 2015/9/30まで 太田弘子 2015/10/1から （代替職員）	特任専門職員 特任専門職員 特任専門職員 特任専門職員	新井容子 2015/6/12まで 島崎雅美 2015/6/12まで 島崎雅美 2015/9/1から 内田理恵 2015/9/1から
作業所チーム	技術専門職員	五十嵐勇治	技術専門職員 技術職員	高野充広 2015/9/30まで 柴﨑徹之 （代替職員）	臨時用務員 特任専門職員 臨時用務員 特任専門職員 特任専門職員	山中五郎 2015/12/31まで 山中五郎 2016/1/1から 山中淑子 2015/12/31まで 山中淑子 2016/1/1から 浅見美津子（兼）
影森苗畑	技術専門職員	齋藤俊浩（兼）				

田無演習林

組織（主任職員）			配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）	
林長	講師	安村直樹				
林長補佐 教育研究主任	講師	楠本　大	助教	竹本周平	特別研究員	鳥居正人
技術主任	技術専門職員	栗田直明	技術専門職員	相川美絵子	技能補佐員 特任専門職員 特任専門職員	尾林文男 石浦恭子 後藤美津子 2015/6/1から 2015/12/31まで

生態水文学研究所

組織（主任職員）			配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）	
所長	准教授	蔵治光一郎	所長補佐	田中延亮		
気象水文土砂 過去データ管理室	准教授	蔵治光一郎	助教 特任助教	田中延亮 五名美江 2016/1/1から	学術支援職員 学術支援職員 特任専門職員	加藤純子 黒木里香 加藤敦美(兼)
教育研究主任 教育研究係主任	助教	田中延亮	技術専門職員 特任助教	高橋功一 五名美江 2016/1/1から	特任研究員 特任専門職員 学術支援職員 特任専門職員	佐藤貴紀 加藤敦美 新實夏美 鎌田幸子(兼)
事務主任	事務室係長	平野圭二			事務補佐員 事務補佐員	加藤正勝 大地泰子
技術主任 研究林管理係主任	技術専門職員	井上　淳	技術専門職員 技術職員	松井理生 後藤太成	技能補佐員 特任専門職員 学術支援職員	波多野八重子 2015/12/31まで 渡辺平和 橋本　聖 2016/1/1から
環境安全推進者	事務室係長	平野圭二	技術専門職員	井上　淳	特別研究員 農学共同研究員	五名美江 2015/12/31まで 畑　憲治 2015/12/31まで

富士癒しの森研究所

組織（主任職員）			配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）	
所長 所長補佐 教育研究主任	講師 助教 助教	浅野友子 藤原章雄 齋藤暖生				
技術主任	技術専門職員	辻　和明	技術専門職員	西山教雄	臨時用務員 特任専門職員	高村洋子 齋藤純子

樹芸研究所

組織（主任職員）			配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）	
所長 所長補佐	准教授 助教	鴨田重裕 井上広喜				
教育研究係 教育研究主任	助教	井上広喜				
技術係 技術主任	技術専門職員	村瀬一隆				
	教育研究支援チーム		技術専門職員	辻　良子	技能補佐員 事務補佐員 学術支援職員	土屋福江 須田常仁 渡邉沙季 2015/4/1から 2015/9/30まで
	森林管理チーム		技術職員	小林徹行	技能補佐員 技能補佐員	大島浩子 高橋　誠
事務係 事務主任	（不在）		技術専門職員	辻　良子（兼）	事務補佐員	萩原乃々美 2015/6/1から 2016/3/31まで

■人事異動■

日付	異動	新職名	氏名	旧職名
2015/4/1	命	附属演習林千葉演習林長(兼)	石橋整司	附属演習林企画部長
2015/4/1	命	附属演習林北海道演習林長	鎌田直人	附属演習林秩父演習林長
2015/4/1	命	附属演習林秩父演習林長	山田利博	附属演習林千葉演習林長
2015/4/1	勤務換	附属演習林　北海道演習林　特任助教	福井　大	附属演習林教育研究センター　特任助教
2015/4/1	勤務換	附属演習林企画部　技術専門職員	澤田晴雄	附属演習林樹芸研究所　技術専門職員
2015/4/1	勤務換	附属演習林北海道演習林　技術専門員	犬飼　浩	附属演習林企画部　技術専門員
2015/4/1	勤務換	附属演習林北海道演習林　技術専門職員	三次充和	附属演習林千葉演習林　技術専門職員
2015/4/1	勤務換	附属演習林北海道演習林　技術専門職員	丹羽悠二	附属演習林秩父演習林　技術専門職員
2015/4/1	勤務換	附属演習林生態水文学研究所 技術専門職員	高橋功一	附属演習林北海道演習林　技術専門職員
2015/4/1	勤務換	附属演習林富士癒しの森研究所 技術専門職員	辻　和明	附属演習林樹芸研究所　技術専門職員
2015/4/1	勤務換	附属演習林樹芸研究所　技術専門職員	村瀬一隆	附属演習林富士癒しの森研究所 技術専門職員
2015/4/1	昇任	附属演習林秩父演習林　技術専門員	大村和也	附属演習林秩父演習林　技術専門職員
2015/4/1	昇任	附属演習林北海道演習林　技術専門職員	井上　崇	附属演習林北海道演習林　技術職員
2015/4/1	臨時的採用	附属演習林秩父演習林　技術職員	柴崎徹之	
2015/5/12	臨時的採用	附属演習林北海道演習林　技術職員	廣田善己	
2015/5/31	辞職	附属演習林　北海道演習林　助教	福井　大	附属演習林　北海道演習林　特任助教
2015/6/1	採用	附属演習林　北海道演習林　助教	福井　大	附属演習林　北海道演習林　特任助教
2015/6/11	臨時的採用	附属演習林北海道演習林　技術職員	延　栄一	
2015/10/1	採用	附属演習林北海道演習林　技術職員	木村恒太	附属演習林秩父演習林　特任専門職員
2016/1/1	採用	附属演習林生態水文学研究所　特任助教	五名美江	
2016/3/31	任期満了退職		柴崎徹之	附属演習林秩父演習林　技術職員
2015/4/1	出向復帰	苫小牧工業高等専門学校 総務課調達係主任	本田貴一郎	総務課附属演習林北海道演習林 事務室会計係　主任
2015/4/1	在籍出向	総務課附属演習林北海道演習林 事務室　会計係　専門職員	小川　理	国立大雪青少年交流の家管理係 会計専門職
2015/7/1	配置換	経済学研究科等研究協力係　係長	草開泰之	総務課附属演習林秩父演習林 事務室　係長
2015/7/1	昇任	総務課附属演習林秩父演習林 事務室　係長	本橋雅人	教育学部・教育学研究科 財務・研究支援チーム　主任

■利用状況■
全利用者
演習林名：千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	13	鴨川市有害鳥獣対策協議会				13	13	有害鳥獣捕獲	日帰り
2	4	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証	日帰り
3	4	2	東大　農・秩父演習林	4				4	研究資料・資材の移送	清澄宿泊施設
4	4	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	非汚染地域大気環境調査（4/6, 20）　化学物質大気環境調査（4/23-24）	日帰り
5	4	1	慶應義塾大学　経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
6	4	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異「フェノロジー仮説」の検証 デンドロメータを用いたスギの肥大成長測定のため	日帰り
7	4	1	千葉県立中央博物館環境教育研究科	1			4	5	菌類調査	日帰り
8	4	2	立正大学　地球環境学部	2				2	第三紀層における岩盤の侵食と風化	札郷宿泊施設
9	4	1	森林総合研究所　林木育種センター遺伝資源部探索収集課遺伝資源収集係	2				2	林野庁で実施している林木ジーンバンク事業の一環 キヨスミミツバツツジ　穂と種の採取 マルバチシャノキ　穂の採取 3コウヨウザン　見学	日帰り
10	4	3	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	6		5		11	森林流域における水文観測	清澄宿泊施設 2
11	4	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	平成27年度催事「春の猪ノ川渓谷ハイキング」下見	日帰り
12	4	5	東大　農・造林学研究室	5	84 (5)	2		91 (5)	造林学実験	清澄宿泊施設
13	4	1	内浦山県民の森管理事務所				1	1	内浦山県民の森催事「春の会所・清澄ハイク」下見	日帰り
14	4	1	内浦山県民の森管理事務所				33	33	内浦山県民の森催事「春の会所・清澄ハイク」	日帰り
15	4	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異-「フェノロジー仮説」の検証-（デンドロメータを用いたスギの肥大成長測定のため）	日帰り
16	4	1	東京女子大学　現代教養学部数理科学科	1				1	小型哺乳類調査の計画検討のための下見	日帰り
17	4	1	筑波大学　生命環境系	1				1	照葉天然林におけるモチノキの存在様式と樹木－種子食性昆虫－鳥類間相互作用系の解明	日帰り
18	4	1	東大　農・演習林教育研究センター			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
19	4	2	千葉科学大学　危機管理学部動物危機管理学科	2	6			8	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況調査	清澄宿泊施設 2
20	4	1	千葉大学　理学研究科地球科学	1	3	4		8	卒業研究・実験の下見	日帰り
21	4	1	千葉県立中央博物館	1			4	5	菌類調査	日帰り
22	4	1	日本環境衛生センター環境生物・住環境部環境生物課	2				2	新規殺虫製剤のマダニに対する実地効力の検討（下見）	日帰り
23	5	14	鴨川市有害鳥獣対策協議会				15	15	有害鳥獣捕獲	日帰り
24	5	4	千葉県　環境生活部大気保全課				6	6	化学物質大気環境調査（5/19-5/20）　非汚染地域大気環境調査（5/1，5/15）	日帰り
25	5	1	千葉大学　理学研究科地球科学	1	16	3		20	卒業研究・実験の下見	日帰り
26	5	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証・デンドロメータを用いたスギの肥大成長測定のため	日帰り
27	5	1	千葉県　農林総合研究センター森林研究所	4				4	施設見学及び研究打ち合わせ	日帰り

2015年度　全利用者（千葉演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
28	5	1	千葉演習林ボランティア会Abies				5	5	Abies活動「菖蒲沢の整備」	日帰り
29	5	1	茨城県高等学校教育研究会　生物部	5				5	茨城県高等学校	日帰り
30	5	1	東大　農・演習林教育研究センター	1				1	高齢林ヒメコマツの高芽接ぎによる天然更新の試み	日帰り
31	5	1	ガールスカウト東京連盟公認自主活動グループほほえみの会				4	4	スギ・ヒノキ苗の植えつけ	日帰り
32	5	2	慶應義塾大学　経済学部生物学教室	2			2	4	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設
33	5	1	東大　農・森林植物学研究室	1				1	外生菌根菌の繁殖様式に関する研究	日帰り
34	5	4	日本環境衛生センター環境生物・住環境部環境生物課	8				8	新規殺虫製剤のマダニに対する実地効力の検討	清澄宿泊施設2
35	5	1	東大　農・演習林教育研究センター	1				1	高齢木ヒメコマツの高芽接ぎによる天然更新の試み ヒメコマツ着花量の調査	日帰り
36	5	1	東大　農・森圏管理学研究室	1	2	1		4	森圏管理学研究室ゼミでの樹木学習	日帰り
37	5	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証（デンドロメータを用いたスギの肥大成長測定のため）	日帰り
38	5	2	麻布大学　獣医学部生理学第1研究室	3	2			5	イモリ食性調査，ヒキガエル生息調査と採集	郷台宿泊施設
39	5	2	千葉県立君津青葉高等学校　総合学科	6			38	44	演習林内の樹木の種類とその特徴を学習する	清澄宿泊施設
40	5	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	森林流域における水文観測	日帰り
41	5	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（千葉県自然保護課委託事業）	日帰り
42	5	1	いであ　国土環境研究所自然環境保全部				1	1	ミゾゴイ生息状況調査（環境省委託業務）	日帰り
43	5	3	東京女子大学　教養学部数理科学科	3	3			6	小型哺乳類捕獲調査	日帰り
44	5	2	千葉科学大学　危機管理学部動物危機管理学科	2	4			6	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
45	5	1	東大　農・森林植物学研究室	1				1	外生菌根菌の繁殖様式に関する研究	日帰り
46	5	1	横浜国立大学　大学院環境情報学府小池研究室	1		2		3	朽木性昆虫の調査	日帰り
47	5	1	東大　農・演習林企画部	4	7			11	教養学部全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	日帰り
48	6	1	東京女子大学　教養学部数理科学科	1	1			2	小型哺乳類捕獲調査	日帰り
49	6	18	鴨川市有害鳥獣対策協議会				18	18	有害鳥獣捕獲	日帰り
50	6	5	千葉県　環境生活部大気保全課				8	8	非汚染地域大気環境調査（6/1，15，29）化学物質大気環境調査（6/17-18）	日帰り
51	6	1	千葉県立中央博物館	1			5	6	菌類調査	日帰り
52	6	1	千葉県衛生研究所医動物研究室	2				2	千葉県におけるマダニ類の生息調査	日帰り
53	6	1	東大　農・千葉演習林	20				20	春の研修会開催	日帰り
54	6	1	千葉演習林ボランティア会Abies				2	2	Abies活動（春の研修会聴講）	日帰り
55	6	1	東大　農・森林植物学研究室	1				1	外生菌根菌の繁殖様式に関する研究	日帰り
56	6	1	東大　農・演習林教育研究センター			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
57	6	1	横浜国立大学　大学院環境情報学府小池研究室		1	1		2	朽木性昆虫の調査	日帰り
58	6	2	東大　新領域創成科学研究科環境学研究系	4		10 (2)		14 (2)	自然環境学専攻S1・S2ターム授業科目「地域自然史論」	清澄宿泊施設
59	6	2	千葉県昆虫談話会	2			42	44	千葉県における昆虫相の調査	札郷宿泊施設

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
60	6	2	東大　新領域創成科学研究科　鈴木研究室			2		2	修士論文のための研究の下見	清澄宿泊施設2
61	6	4	東大　農・森林経理学研究室	8	17			25	森林経理学実習	札郷宿泊施設
62	6	1	東大　農・演習林教育研究センター	1				1	高齢木ヒメコマツの高芽接ぎによる天然更新の試み	日帰り
63	6	1	東大　農・演習林教育研究センター	1				1	ヒメコマツ生育地の見学および遺伝解析打ち合わせ	日帰り
64	6	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政のための資料基礎となる鳥類生息状況に関するデータ収集	日帰り
65	6	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証（デンドロメータを用いたスギの肥大成長測定のため）	日帰り
66	6	3	東大　農・森林植物学研究室	6	60 (3)	3		69 (3)	森林植物学実験の野外学習	清澄宿泊施設
67	6	2	慶應義塾大学　経済学部生物学教室	2			2	4	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設
68	6	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	森林流域における水文観測	日帰り
69	6	1	千葉県立中央博物館	12			4	16	菌類調査	日帰り
70	6	3	立正大学　大学院地球環境科学研究科			6		6	穿入蛇行河川の横断形状の対称性の分布と成因	札郷宿泊施設
71	6	2	横浜国立大学　大学院環境情報学府小池研究室			2		2	朽木性昆虫の調査	清澄宿泊施設
72	6	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政のための野鳥に関する資料収集	日帰り
73	6	2	千葉科学大学	2	8			10	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況調査	清澄宿泊施設2
74	6	1	木更津市立文京公民館	1			1	2	木更津市立文京公民館事業の下見（千葉県森林インストラクター会員岩崎氏が同行）	日帰り
75	6	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（鳥類相の調査）	日帰り
76	6	3	東大　農・千葉演習林	42	3	9	7	61	第20回利用者説明会	清澄宿泊施設
77	6	2	東大　農・秩父演習林	3			2	5	研究機材の運搬・移送	清澄宿泊施設
78	6	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	2	1			3	森林流域における水文観測	日帰り
79	6	2	横浜国立大学　大学院環境情報学府小池研究室			2		2	朽木性昆虫の調査	日帰り
80	6	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証・デンドロメータを用いたスギの肥大成長測定のため	日帰り
81	6	2	立正大学　地球環境学部	2		2		4	第三紀層における岩盤の侵食と風化	札郷宿泊施設
82	6	2	茨城大学　理学部	2	4	6		12	マメ科植物の窒素利用	清澄宿泊施設
83	6	1	いであ　国土環境研究所自然環境保全部				2	2	ミゾゴイ生息状況調査（環境省からの請負業務）	日帰り
84	6	1	千葉県森林インストラクター会				1	1	千葉市都市緑化植物園主催自然観察会の下見（ルート調査等）	日帰り
85	6	2	宇都宮大学　農学部森林科学科	4	72	4		80	樹木学実習	清澄宿泊施設
86	6	2	宇都宮大学　大学院農学研究科森林科学専攻森林生態学・育林学研究室	2		2		4	ニホンヤマビルの遺伝的多様性と地理的変異について	日帰り
87	6	3	京都大学　大学院理学研究科地球惑星科学専攻			6		6	房総半島清澄層におけるタービダイトの逆解析	札郷宿泊施設
88	6	1	森林総合研究所　遺伝資源部探索収集課遺伝資源収集係	5				5	受託研究　林野庁の林木ジーンバンク事業の一環としてのカギカズラ等の収集・保存	日帰り
89	6	1	東大　農・森林植物学研究室	2				2	タマゴタケの繁殖様式に関する研究	日帰り
90	7	1	森林総合研究所　遺伝資源部探索収集課遺伝資源収集係	5				5	受託研究　林野庁の林木ジーンバンク事業の一環としてのカギカズラ等の収集・保存	日帰り

2015年度　全利用者（千葉演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
91	7	12	鴨川市有害鳥獣対策協議会				12	12	有害鳥獣捕獲	日帰り
92	7	1	茨城大学　農学部資源生物科学科	1		1		2	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
93	7	1	筑波大学　大学院環境科学専攻科	1		1		2	Cotton片を用いたセルロース分解菌の系統地理的研究	日帰り
94	7	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集	日帰り
95	7	1	千葉県立中央博物館	1			5	6	菌類調査	日帰り
96	7	12	千葉県環境生活部大気保全課				16	16	化学物質大気環境調査（7/6-7/7）　ダイオキシン類大気環境調査（7/8-7/16）　非汚染地域大気環境測定（7/13，7/27）	日帰り
97	7	1	東大　本部監査課	6				6	千葉演習林内部監査	日帰り
98	7	1	東大　農・森林植物学研究室	2				2	タマゴタケの繁殖様式に関する研究	日帰り
99	7	1	君津市教育委員会文化振興課	9			3	12	君津市立坂畑小学校　スクールミュージアム職員自然観察会	日帰り
100	7	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集	日帰り
101	7	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証・デンドロメータを用いたスギの肥大成長測定	日帰り
102	7	2	横浜国立大学　大学院環境情報学府小池研究室			2		2	朽木性昆虫の調査	清澄宿泊施設
103	7	1	木更津市立文京公民館	1			73	74	公民館主催による社会教育事業（今澄高齢スギ人工林見学と森林博物資料館見学）	日帰り
104	7	1	千葉県立中央博物館	1			4 (1)	5 (1)	菌類調査	日帰り
105	7	1	千葉県立中央博物館	2				2	菌類調査（ヒメノヤガラ）	日帰り
106	7	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	2	1			3	森林流域における水文観測	日帰り
107	7	1	君津市教育委員会文化振興課	8			14	22	君津市立坂畑小学校スクールミュージアム　自然観察会	日帰り
108	7	1	千葉大学　大学院理学研究科	2				2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究（装置メンテナンス）	日帰り
109	7	1	筑波大学　生命環境系	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木－種子食性昆虫－鳥類間相互作用系の解明	日帰り
110	7	1	戸村学園コスモス幼稚園	33			134	167	園児ハイキング	日帰り
111	7	2	横浜国立大学　大学院環境情報学府小池研究室			2		2	朽木性昆虫の調査	清澄宿泊施設2
112	7	2	千葉科学大学　危機管理学部動物危機管理学科	2	10			12	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
113	7	1	NPO法人やまぼうし自然学校12期会				4	4	自然観察会（千葉演習林ボランティア会Abiesとの共同開催）	日帰り
114	7	1	千葉演習林ボランティア会Abies				4	4	Abies活動「森林博物資料館見学と郷台林道荒樫沢見学他」（NPO法人やまぼうしの会との共催）	日帰り
115	7	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料作成	日帰り
116	7	1	茨城県高等学校教育研究会　生物部	9				9	夏季研究大会開催のための予備調査	日帰り
117	7	3	千葉大学　大学院理学研究科	21 (3)				21 (3)	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究（ELF磁場センサの設置）	日帰り
118	7	5	株式会社大成イーアンドエル				10	10	昆虫の特性調査　日中：虫と色　夜間：虫と光	清澄宿泊施設2
119	7	3	東大　農・千葉演習林	17			33	50	「高校生のための森と海のゼミナール」開催	清澄宿泊施設
120	7	3	千葉演習林ボランティア会Abies				5	5	「高校生のための森と海のゼミナール」サポート	清澄宿泊施設
121	7	3	茨城県高等学校教育研究会　生物部	90				90	夏季研究大会	清澄宿泊施設
122	7	1	千葉県立中央博物館	1			5	6	菌類調査	日帰り
123	8	16	鴨川市有害鳥獣対策協議会				16	16	有害鳥獣捕獲	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
124	8	1	千葉県森林インストラクター会				3	3	自然観察（植生遷移等観察）	日帰り
125	8	5	東大　理・地球惑星科学専攻	15	45	15		75	地球惑星環境学野外調査	清澄宿泊施設
126	8	1	千葉演習林ボランティア会Abies				3	3	下草刈り	日帰り
127	8	2	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	13		4		17	森林流域における水文観測	清澄宿泊施設2
128	8	1	株式会社フラジャイル				2	2	テレビ取材（TBSテレビ「噂の！東京マガジン」）	日帰り
129	8	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	化学物質大気環境調査（8/10-11）非汚染地域大気環境調査（8/12，24）	日帰り
130	8	1	住化グリーン株式会社				2	2	新規ヤマビル忌避剤の開発打合せ	日帰り
131	8	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集	日帰り
132	8	3	横浜国立大学　大学院環境情報学府小池研究室			3		3	朽木性昆虫の調査	清澄宿泊施設2
133	8	2	千葉県立中央博物館	6				6	昆虫調査	郷台宿泊施設
134	8	1	筑波大学　大学院環境科学専攻科			2		2	Cotton片を用いたセルロース分解菌の系統地理的研究	日帰り
135	8	4	東大　農・千葉演習林	24	64 (4)	48		136 (4)	全学体験ゼミナール「野生動物の保護管理」	清澄宿泊施設
136	8	1	東大　農・演習林教育研究センター	1				1	高齢木ヒメコマツの高芽接ぎによる天然林更新の試み	日帰り
137	8	4	立正大学　大学院地球環境科学研究科			8		8	穿入蛇行河川の横断形状の対称性の分布と成因	札郷宿泊施設
138	8	2	千葉科学大学　危機管理学部動物危機管理学科	2	8			10	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
139	8	1	東大　新領域創成科学研究科自然環境学専攻福田研究室			1		1	カシ類の葉内内生菌叢の調査	日帰り
140	8	8	千葉大学　理学研究科地球科学	37	196	14		247	地質学野外実験・地殻構造学野外実験	清澄宿泊施設
141	8	2	横浜国立大学　大学院環境情報学府小池研究室			2		2	朽木性昆虫の調査	清澄宿泊施設2
142	8	1	千葉県立中央博物館環境教育研究科	1			5 (1)	6 (1)	菌類調査	日帰り
143	8	1	東大　農・森林動物学研究室			1		1	陸生甲殻類の関東地方における分化プロセス及び種の共存の可能性に関わる要因の解明	日帰り
144	8	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証・デンドロメータを用いたスギの肥大成長測定のため	日帰り
145	8	1	東大　農・演習林教育研究センター	1				1	高齢木ヒメコマツの高芽接ぎによる天然更新の試み	日帰り
146	9	14	鴨川市有害鳥獣対策協議会				14	14	有害鳥獣捕獲	日帰り
147	9	5	京都大学　理・地質学鉱物学教室	25	65	10		100	課題演習E2「地質調査実習」	清澄宿泊施設
148	9	7	日本地質学会　関東支部	24	7	7		38	フィールド調査の継承・発展のための地質調査の基礎的訓練	清澄宿泊施設2
149	9	1	茨城大学　農学部資源生物科学科	1				1	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
150	9	4	千葉県　環境生活部大気保全課				6	6	化学物質大気保全環境調査（9/3-4）非汚染地域大気環境調査（9/7，18）	日帰り
151	9	1	千葉県立中央博物館環境教育研究科	1			2	3	菌類調査	日帰り
152	9	4	立正大学　地球環境科学研究科			8		8	穿入蛇行河川の横断形状の対称性の分布と成因	札郷宿泊施設
153	9	2	千葉科学大学　危機管理学部動物危機管理学科	2	8			10	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
154	9	1	東大　農・森林植物学研究室	1				1	タマゴタケの繁殖様式に関する研究	日帰り

2015年度　全利用者（千葉演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
155	9	7	京都大学　大学院理学研究科地球惑星科学専攻	7		7		14	房総半島清澄層におけるタービダイトの逆解析	清澄宿泊施設2
156	9	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室				1	1	森林伐採後の河川流量・水質の経年変化に関する研究	日帰り
157	9	1	千葉演習林ボランティア会Abies				4	4	試験研究補助「どんぐり拾いと加工」	日帰り
158	9	1	千葉県衛生研究所医動物研究室	2				2	千葉県におけるマダニ類の生息調査	日帰り
159	9	1	森林総合研究所　森林管理研究領域	5				5	人工林固定試験地等の踏査および調査	日帰り
160	9	2	東大　農・演習林企画部	4				4	富樫演習林本部林長と千葉演習林職員との懇談と現地視察	清澄宿泊施設2
161	9	3	東大　新領域創成科学研究科自然環境学専攻	3			3	6	広葉樹二次林試験地におけるシカ忌避植物の調査	清澄宿泊施設2
162	9	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集	日帰り
163	9	1	千葉県立中央博物館環境教育研究科	1			4 (1)	5 (1)	菌類調査	
164	10	19	京都大学　大学院理学研究科地球惑星科学専攻			19		19	房総半島清澄層におけるタービダイトの逆解析	清澄宿泊施設2
165	10	1	東大　新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1			1	2	広葉樹二次林試験地におけるシカ忌避植物の調査	
166	10	14	鴨川市有害鳥獣対策協議会				14	14	有害鳥獣捕獲	日帰り
167	10	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	非汚染地域大気環境調査（10/2，19）化学物質大気環境調査（10/6-7）	日帰り
168	10	4	立正大学大学院　地球環境科学研究科			7		7	穿入蛇行河川の横断形状の対称性の分布と成因	札郷宿泊施設
169	10	1	東大　農・造林学研究室	1				1	「造林学実験」にかかるコンテナ苗育苗の準備	日帰り
170	10	1	千葉演習林ボランティア会Abies				6	6	郷台周辺と猪ノ川林道での観察会	日帰り
171	10	1	千葉大学　大学院理学研究科	1				1	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究（メンテナンス）	日帰り
172	10	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥関係）	日帰り
173	10	1	住化グリーン　生産・開発部				2	2	新規ヤマビル忌避剤の開発　打合せ＆ヤマビル採集	日帰り
174	10	1	筑波大学　大学院環境科学専攻科			2		2	コットン片を用いたセルロース分解菌の系統地理的研究	日帰り
175	10	1	千葉県立大原高等学校	26				26	千葉県高等学校教育研究会理科部会生物分科会研究協議会	日帰り
176	10	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥）	日帰り
177	10	2	麻布大学　獣医学部生理学第1研究室	2	4			6	イモリ食性調査，ヒキガエル生息調査と採集	郷台宿泊施設
178	10	1	東大　新領域創成科学研究科	2				2	旧薪炭林伐採跡群落の植生構造に対するシカの影響	日帰り
179	10	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証（デンドロメータを用いたスギの肥大成長測定のため）	日帰り
180	10	1	東大　農・千葉演習林	3	14			17	教養学部全学体験ゼミナール「危険生物の知識（秋編）」	日帰り
181	10	2	千葉演習林ボランティア会Abies				12	12	お月見研修会	札郷宿泊施設
182	10	1	内浦山県民の森管理事務所				10	10	内浦山県民の森催事「東条みちをゆく」下見	日帰り
183	10	1	横浜国立大学　大学院環境情報学府小池研究室			2		2	朽木性昆虫の調査	日帰り
184	10	1	千葉県立中央博物館環境教育研究科	1			26 (1)	27 (1)	菌類調査	日帰り
185	10	3	SEOUL NATIONAL UNIVERSITY, College of Agriculture and Life Sciences, Department of Forest Sciences	31 (20)				31 (20)	韓国における国立大学演習林管理のための視察	清澄宿泊施設2
186	10	2	東大　農・秩父演習林	6				6	スギ辺材腐朽の発生機構	清澄宿泊施設

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
187	10	3	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	5	5	17		27	森林流域における水文観測	清澄宿泊施設
188	10	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥関係）	日帰り
189	10	1	東大　農・千葉演習林	6			32	38	鴨川市共同事業「野鳥の巣箱をかけよう」	日帰り
190	10	1	千葉演習林ボランティア会Abies				1	1	「野鳥の巣箱をかけよう」サポート	日帰り
191	11	16	鴨川市有害鳥獣対策協議会				16	16	有害鳥獣捕獲	日帰り
192	11	5	千葉県環境生活部大気保全課				9	9	非汚染地域大気環境調査（11/2，16，30）化学物質大気環境調査（11/11-12）	日帰り
193	11	1	内浦山県民の森管理事務所				3	3	内浦山県民の森11/11催事「東条みちをゆく」下見	日帰り
194	11	3	森林総合研究所　遺伝資源部探索収集課遺伝資源収集係	6				6	コウヨウザンの成長特性の解明（平成27年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業西南日本に適した木材強度の高い新たな造林用樹種・系統の選定及び改良指針の策定）	日帰り
195	11	1	千葉県農林総合研究センター森林研究所	2				2	ヒメコマツ調査	日帰り
196	11	4	千葉大学　大学院理学研究科	4		7	6 (2)	17	地下比抵抗構造を推定のための地磁気地電位差観測	日帰り
197	11	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森11/11催事「東条みちをゆく」下見	日帰り
198	11	1	東大　農・森林動物学研究室			1		1	陸生甲殻類の関東地方における分化プロセス及び種の共存の可否に関わる要因の解明	日帰り
199	11	1	東大　農・演習林教育研究センター			1		1	フジの多重形成要因に関する分析	日帰り
200	11	1	千葉県森林インストラクター会				3	3	森林観察会の下見	日帰り
201	11	1	東大　農・演習林企画部			9		9	生圏システム学特論　現地実習	日帰り
202	11	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥）	日帰り
203	11	2	東京貝類同好会			2	12	14	千葉演習林及び周辺の陸産貝類相を明らかにする	清澄宿泊施設
204	11	1	鴨川市立天津小学校	3			44	47	天津小学校5年「緑の教室」	日帰り
205	11	4	森林総合研究所　遺伝資源部探索収集課遺伝資源収集係	20				20	コウヨウザンの成長特性の解明（平成27年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業西日本に適した木材強度の高い新たな造林用樹種・系統の選定及び改良指針の策定）	日帰り
206	11	1	筑波大学　生命環境系	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木－種子食性昆虫－鳥類間相互作用系の解明	日帰り
207	11	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥）	日帰り
208	11	1	東大　農・演習林教育研究センター	1				1	高齢木ヒメコマツの高芽接ぎによる天然更新の試み	日帰り
209	11	1	東大　農・造林学研究室	1				1	「造林学実験」にかかるコンテナ苗育苗の準備	日帰り
210	11	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1		1	1	3	森林流域における水文観測	日帰り
211	11	1	鴨川未来倶楽部				103	103	清澄☆フェスタ開催（地域振興及び星観察イベント）	日帰り
212	11	4	グリーン航業株式会社				12	12	平成27年度森林生態系多様性基礎調査（林野庁委託事業）	日帰り
213	11	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異「フェノロジー仮説」の検証・デンドロメータを用いたスギの肥大成長測定のため	日帰り
214	11	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（鳥類）	日帰り
215	11	1	横浜国立大学　酒井研究室	1	1 (1)	1		3 (1)	修論の研究テーマを決めるための見学	日帰り
216	11	1	日本環境衛生センター環境生物・住環境部環境生物課	2				2	新規殺虫製剤のマダニに対する実地効力の検討（下見）	日帰り

2015年度　全利用者（千葉演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
217	11	2	千葉科学大学　危機管理学部動物危機管理学科	2	6			8	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
218	11	1	千葉県森林インストラクター会				8	8	自然観察会	日帰り
219	11	1	千葉演習林ボランティア会Abies				17	17	ボランティア会Abiesと千葉自然学校シニア自然大学との千葉演習林合同見学会	日帰り
220	11	1	東大　農・森林植物学研究室	1				1	樹木内生菌の伝播・繁殖様式に関する研究	日帰り
221	11	1	NPO法人樹の生命を守る会				16	16	樹の生命を守る会研修会	日帰り
222	11	3	京都大学　大学院理学研究科地球惑星科学専攻			3		3	房総半島清澄層におけるタービダイトの逆分析	札郷宿泊施設
223	12	11	京都大学　大学院理学研究科地球惑星科学専攻			11		11	房総半島清澄層におけるタービダイトの逆分析	札郷宿泊施設
224	12	16	鴨川市有害鳥獣対策協議会				17	17	有害鳥獣捕獲	日帰り
225	12	2	千葉県森林インストラクター会				44	44	森林観察（12/1は下見）	日帰り
226	12	5	(一財)日本環境衛生センター　環境生物・住環境部　環境生物課	10				10	新規殺虫製剤のマダニに対する実地効力の検討	清澄宿泊施設2
227	12	2	東大　工・情報図書課情報総務チーム	7			8	15	図書館・情報基盤センター職員等有志による自然観察会	札郷宿泊施設
228	12	3	国立台湾大学 NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY, SCHOOL of FORESTRY and RESOURCE CONSERVATION	21（12）		15（15）	3（3）	39（30）	東京大学－国立台湾大学　戦略的パートナーシップによる合同カンファレンスに伴う視察	清澄宿泊施設
229	12	1	東大　農・千葉演習林	21				21	千葉演習林　冬の研修会	日帰り
230	12	1	千葉演習林ボランティア会Abies				2	2	千葉演習林冬の研修会聴講	日帰り
231	12	1	東大　農・森林植物学研究室	1				1	樹木内生菌の伝播・繁殖k様式に関する研究	日帰り
232	12	1	千葉県衛生研究所医動物研究室	2				2	千葉県におけるマダニ類の生息調査	日帰り
233	12	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森催事「東条みちをゆく」下見	日帰り
234	12	1	千葉県立中央博物館	1			3	4	フロラ調査（地衣類）	日帰り
235	12	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森11/11催事「東条みちをゆく」下見	日帰り
236	12	1	フィールズ有限会社				4	4	トレイルラン競技コースの整備及びロープ養生	日帰り
237	12	1	東大　農・演習林教育研究センター	1				1	高齢木ヒメコマツの高芽接ぎによる天然更新の試み	日帰り
238	12	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	非汚染地域大気環境調査（12/14，28）化学物質大気環境調査（12/17-18）	日帰り
239	12	1	住化グリーン　生産・開発部				2	2	新規ヤマビル忌避剤の開発　打合せ	日帰り
240	12	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥）	日帰り
241	12	1	東大　新領域創成科学研究科自然環境学専攻			1		1	カシ類の葉内内生菌叢の調査	日帰り
242	12	1	内浦山県民の森管理事務所				33	33	内浦山県民の森催事「東条みちをゆく」開催のため	日帰り
243	12	2	フィールズ有限会社				32	32	トレイルラン競技実施のため	清澄宿泊施設
244	12	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥）	日帰り
245	12	2	渋谷教育学園幕張中学高等学校　ワンダーフォーゲル部	6			24	30	東大演習林周辺での自然散策と登山活動	清澄宿泊施設
246	12	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異「フェノロジー仮説」の検証（デンドロメータを用いたスギの肥大成長測定のため）	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
247	1	20	鴨川市有害鳥獣対策協議会				23	23	有害鳥獣捕獲	日帰り
248	1	1	東京都立国分寺高等学校	2			3	5	シカの生息の有無と土壌及び植生の比較	日帰り
249	1	12	千葉県環境生活部大気保全課				16	16	ダイオキシン類大気環境調査（1/5-1/13）　非汚染地域大気環境調査（1/8，25）　化学物質大気環境調査（1/18-19）	日帰り
250	1	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森催事「新年ハイクゆくぞ！清澄山」下見	日帰り
251	1	1	慶應義塾大学　経済学部生物学教室	2	3	3		8	郷古池の浚渫および補修工事	日帰り
252	1	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森催事「新年ハイクゆくぞ！清澄山」下見	日帰り
253	1	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証・デンドロメータを用いたスギの肥大成長測定のため	日帰り
254	1	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森催事「新年ハイク目指せ！三石山」下見	日帰り
255	1	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥）	日帰り
256	1	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森催事「目指せ！三石山」下見	日帰り
257	1	1	ユリノキ写真集				1	1	ユリノキの樹高，直径測定と写真撮影	日帰り
258	1	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森催事「新年ハイク目指せ！三石山」下見	日帰り
259	1	1	住友林業　山林部				5	5	コウヨウザン林分の見学	日帰り
260	1	3	横浜国立大学　大学院環境情報学府小池研究室			3		3	朽ち木性昆虫の調査	清澄宿泊施設2
261	1	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	2		9（8）		11（8）	森林流域における水文観測（国連大学視察案内）	日帰り
262	1	2	野生動物保護管理事務所	8				8	ニホンジカの個体数推定のための糞粒調査（千葉県委託事業）	日帰り
263	1	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥）	日帰り
264	1	1	箱根植木				2	2	種子採取をするための事前踏査	日帰り
265	1	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証・（スギの肥大成長測定のため）	日帰り
266	1	1	学習院大学　理・生命科学科	2			2（2）	4（2）	アジアの森林帯に関する比較研究（ネパール研究者案内）	日帰り
267	1	1	東大　農・演習林教育研究センター	1				1	高齢木ヒメコマツの高芽接ぎによる天然更新の試み	日帰り
268	1	1	千葉県勤労者山岳連盟				70	70	ロングハイク（モミ・ツガ観察ハイク）	日帰り
269	1	1	フィールズ有限会社				5	5	コース整備・養生（房総丘陵トレイルラン＆ハイク競技）	日帰り
270	2	14	鴨川市有害鳥獣対策協議会				14	14	有害鳥獣捕獲	日帰り
271	2	4	東大　農・千葉演習林	21	71			92	教養学部全学体験ゼミナール「房総の森と生業（なりわい）を学ぶ」	清澄宿泊施設
272	2	1	東大　農・千葉演習林				19	19	森林博物資料館一般公開	日帰り
273	2	1	千葉演習林ボランティア会Abies				3	3	Abies活動　森林博物資料館一般公開サポート	日帰り
274	2	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥）	日帰り
275	2	3	国立研究開発法人海洋研究開発機構	9		3		12	火山灰鍵層研究（鍵層マーキング）	日帰り
276	2	3	横浜国立大学　大学院環境情報学府小池研究室			3		3	朽木性昆虫の調査	清澄宿泊施設2
277	2	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	非汚染地域大気環境調査（2/5，22）　化学物質大気環境調査（2/9-10）	日帰り
278	2	2	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	2				2	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証	日帰り
279	2	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥）	日帰り
280	2	1	千葉演習林ボランティア会Abies				6	6	Abies役員会	日帰り

2015年度　全利用者（千葉演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
281	2	1	フィールズ(有)(房総丘陵トレイルラン＆ハイク実行委員会)				5	5	コース整備，ロープでの養生	日帰り
282	2	2	千葉科学大学　危機管理学部動物危機管理学科	4	6			10	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
283	2	1	慶應義塾大学　経済学部生物学教室	1				1	郷古池の確認（浚渫作業後の水位等観察）	日帰り
284	2	1	フィールズ(有)(房総丘陵トレイルラン＆ハイク実行委員会)				975	975	山岳マラソン（トレイルラン）競技会実施のため	日帰り
285	2	3	森林総合研究所　遺伝資源部探索収集課遺伝資源収集係	15				15	コウヨウザンの成長特性の解明（平成27年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業西南日本に適した木材強度の高い新たな造林用樹種・系統の選定及び改良指針の策定）	日帰り
286	2	2	東大　農・演習林教育研究センター	2				2	高齢木ヒメコマツの高芽接ぎによる天然更新の試み	日帰り
287	2	1	麻布大学　獣医学部生理学第1研究室	1	2			3	イモリ生息調査，ヒキガエル生息調査と採集	日帰り
288	2	1	ユリノキ写真集				2	2	ユリノキの樹高・直径測定と写真撮影	日帰り
289	2	1	千葉県立中央博物館	1				1	ヒメコマツ調査	日帰り
290	2	1	千葉県生物多様性センター	6				6	房総のヒメコマツ観察会の下見	日帰り
291	2	1	鴨川ふるさと会				17	17	鴨川ふるさと会　平成27年度第2回ふるさとセミナー	日帰り
292	2	3	日本大学　大学院理工学研究科地理学専攻			3		3	河川地形の侵食プロセスに関する研究	日帰り
293	2	3	東大　農・森林経理学研究室	6		6		12	吉田試験地の定期成長測定	清澄宿泊施設
294	2	1	東大　地震研究所	2				2	地震観測機器点検	日帰り
295	2	1	千葉県立中央博物館	1			2	3	フロラ調査（地衣類）	日帰り
296	2	1	千葉県立中央博物館	1				1	ヒメコマツ調査	日帰り
297	2	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥）	日帰り
298	2	1	国立研究開発法人海洋研究開発機構	1		1	1	3	火山灰鍵層研究（鍵層マーキング）	日帰り
299	2	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証	日帰り
300	2	1	千葉県生物多様性センター	2			45	47	房総のヒメコマツ観察会	日帰り
301	2	1	東大　環境安全本部（産業医）	1				1	産業医による千葉演習林巡視	日帰り
302	3	15	鴨川市有害鳥獣対策協議会				18	18	有害鳥獣捕獲	日帰り
303	3	2	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	5	1	1		7	森林流域における水文観測	清澄宿泊施設
304	3	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	化学物質大気環境測定（3/2-3）非汚染地域大気環境調査（3/7, 18）	日帰り
305	3	1	千葉県立中央博物館	1				1	ヒメコマツ調査	日帰り
306	3	2	東大　農・演習林教育研究センター	2				2	北方針葉樹3種の植栽予定地の見学及び遺伝解析打ち合わせ	清澄宿泊施設2
307	3	2	東大　農・演習林教育研究センター	2				2	高齢木ヒメコマツの高芽接ぎによる天然更新の試み	日帰り
308	3	1	君津市久留里城址資料館	3			21	24	番所跡見学（資料館講座「川越藩の番所をめぐる」）	日帰り
309	3	1	千葉県立中央博物館	1				1	蘚苔類相調査	日帰り
310	3	1	千葉県立中央博物館	1			3	4	フロラ調査（地衣類）	日帰り
311	3	1	君津市上総公民館				24	24	演習林内の自然観察（君津市上総公民館　松丘・亀山分館事業）	日帰り
312	3	5	東大　農・森林経理学研究室	12	13		4	29	森林計測学実習	清澄宿泊施設2
313	3	1	千葉県衛生研究所医動物研究室	2				2	千葉県におけるマダニ類の生息調査	日帰り
314	3	1	千葉県立中央博物館	1				1	蘚苔類相調査	日帰り
315	3	2	千葉演習林ボランティア会Abies				15	15	Abies総会 演習林を歩こう実施	清澄宿泊施設

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
316	3	1	千葉県森林インストラクター会				8	8	ハイキングコースの下見	日帰り
317	3	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥）	日帰り
318	3	1	東大　農・森林理水及び砂防工学研究室	1		1		2	森林流域における水文観測 気象観測機器の交換（風速計）	日帰り
319	3	1	千葉大学　大学院理学研究科	1				1	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究（観測機器のメンテナンス）	日帰り
320	3	1	日本製紙悠友会				9	9	全国農学部林学科卒業生グループでの東大演習林見学	日帰り
321	3	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥関係）	日帰り
322	3	1	自然と人間を考える会				5	5	石造物調査	日帰り
323	3	1	千葉県立君津青葉高等学校	2			5	7	高校生による房総のヒメコマツの保全に関する研究	日帰り
324	3	1	森林総合研究所　森林管理研究領域資源解析研究室	1				1	スギの成長の地域変異・「フェノロジー仮説」の検証	日帰り
325	3	1	特定非営利活動法人ちば山				28	28	演習林見学　ちば山の木の学習	日帰り
326	3	1	千葉県野鳥の会				2	2	鳥獣保護行政の資料収集（野鳥）	日帰り
327	3	1	立正大学　地球環境学部	1			3	4	第三紀層における岩盤の侵食と風化	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計　4702
利用件数　327

2015年度　全利用者（北海道演習林）

演習林名：北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	北海道地方環境事務所				1	1	シマフクロウ保護増殖事業に係るシマフクロウ生息状況調査及び巣箱の状況調査	日帰り
2	4	2	筑波大学菅平高原実験研究センター	2				2	モミ属を加害するキクイムシ類の調査	山部宿泊施設
3	4	2	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				6	6	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
4	5	1	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				4	4	富良野地区における猛禽類生息状況調査	日帰り
5	5	1	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				2	2	富良野地区における猛禽類生息状況調査	日帰り
6	5	3	帯広畜産大学生命科学研究部門	3	15	3		21	北海道の天然林においてｴｿﾞﾓﾓﾝｶﾞが巣箱を利用する環境要因に関する研究	山部宿泊施設
7	5	25	東京大学演習林教育研究センター			25 (25)		25 (25)	ウダイカンバに寄生するアンブロシアキクイムシに関する研究	山部宿泊施設
8	5	2	東京大学演習林教育研究センター	3				3	北方針葉樹における標高適応に関わるフェノロジー形質分子遺伝機構	山部宿泊施設
9	5	6	東京大学演習林教育研究センター		6			6	ミズナラの大径木調査を主目的とする卒業論文研究に伴う諸活動	山部長期宿泊施設
10	5	2	東京大学演習林教育研究センター	2				2	針葉樹更新初期に顕在化する近交弱勢遺伝子のゲノムワイド探索	山部宿泊施設
11	5	5	北海道大学地球環境科学院	5		5 (5)		10 (5)	富良野地方における水族寄生虫相の解明	山部宿泊施設
12	5	5	北海道大学地球環境科学院	5		5 (5)		10 (5)	富良野地方における水族寄生虫相の解明	山部宿泊施設
13	5	9	東京大学演習林教育研究センター			9 (9)		9 (9)	葉食性昆虫カラマツハラアカバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
14	5	1	東京大学空間情報科学研究センター	1				1	インターネット森林観察サイトの拡充による自然学習事業案の開発	日帰り
15	5	3	東京大学空間情報科学研究センター	5				5	情報技術を活用した天然林施業の知識ベース構築とその運用	山部宿泊施設
16	5	7	北海道大学地球環境科学院	7		7 (7)		14 (7)	富良野地方における水族寄生虫相の解明	山部宿泊施設
17	5	1	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				3	3	富良野地区における猛禽類生息状況調査	日帰り
18	5	1	東京大学北海道演習林				35	35	神社山自然観察路春季一般公開	日帰り
19	6	30	東京大学演習林教育研究センター			30 (30)		30 (30)	ウダイカンバに寄生するアンブロシアキクイムシに関する研究	山部宿泊施設
20	6	30	東京大学演習林教育研究センター			30 (30)		30 (30)	葉食性昆虫カラマツハラアカバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
21	6	1	北海道大学地球環境科学院	1		1		2	富良野地方における水族寄生虫相の解明	山部宿泊施設
22	6	3	東京大学教育学部附属中等教育学校	6				6	6/3-7/3の修泊研修に伴う研修計画の現地確認	山部宿泊施設
23	6	1	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				1	1	富良野地区における猛禽類生息状況調査	日帰り
24	6	1	北海道大学農学研究院	3 (1)	5	3	1	12 (1)	リモートセンシング手法を用いた生態環境変化のモリタリングに関する研究	山部宿泊施設
25	6	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	6	2		10	北海道の天然林においてｴｿﾞﾓﾓﾝｶﾞが巣箱を利用する環境要因に関する研究	山部宿泊施設
26	6	4	金沢大学理工研究域電子情報学系	4				4	葉植生昆虫カラマツアカハラバチの食害推定	山部宿泊施設
27	6	1	東大OB				6 (2)	6 (2)	日本の管理された優良森林の見学と森林散策	日帰り
28	6	1	富良野市立東山保育所	9			38	47	春の遠足	日帰り
29	6	3	(株)森林環境リアライズ				9	9	森林生態系多様性基礎調査	宿泊なし
30	6	1	東京大学北海道演習林				16	16	公開セミナー	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
31	6	2	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				8	8	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
32	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	4	64	8		76	森林科学総合実習	セミナーハウス
33	6	1	東京大学樹芸研究所	1				1	エゾマツの立ち枯れ病等の病害防除に関する研究	日帰り
34	6	2	NHK札幌放送局				10	10	NHK　新日本風土記～富良野～	宿泊なし
35	6	3	北海道大学理学研究院附属地震火山研究観測センター	6		3		9	GPS観測により，十勝岳の火山活動に伴う地殻変動を明らかにする	山部宿泊施設
36	6	2	森林総合研究所	4				4	リモートセンシング技術を用いた択伐天然林の資源量の把握手法の開発	山部宿泊施設
37	6	1	東京大学教育学部附属中等教育学校	3			40	43	東京大学教育学部附属学校宿泊研修北海道コース	セミナーハウス
38	7	31	東京大学演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	ウダイカンバに寄生するアンブロシアキクイムシに関する研究	山部宿泊施設
39	7	31	東京大学演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	葉食性昆虫カラマツハラアカバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
40	7	3	東京大学教育学部附属中等教育学校	9			120	129	東京大学教育学部附属学校宿泊研修北海道コース	セミナーハウス
41	7	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	6	4		12	北海道の天然林においてｴｿﾞﾓﾓﾝｶﾞが巣箱を利用する環境要因に関する研究	山部長期宿泊施設
42	7	3	筑波大学菅平高原実験研究センター	3				3	モミ属を加害するキクイムシ類の調査	山部宿泊施設
43	7	1	富良野市立樹海小学校	4			13	17	総合的な学習の時間「樹海の森へ」	日帰り
44	7	11	北海道大学地球環境科学院			22		22	外来種カワマスと在来種アメマスの種間競争と交雑調査	山部宿泊施設
45	7	4	東京大学演習林教育研究センター	11				11	針葉樹更新初期に顕在化する近交弱勢遺伝子のゲノムワイド探索	山部宿泊施設
46	7	12	森林科学専攻森林動物学研究室	12		12		24	雑食者ﾄｹﾞﾏﾀﾞﾗｶｹﾞﾛｳ属の体色斑による陰蔽効果と渓流食物網における役割の解明	山部宿泊施設
47	7	4	(公財)国際緑化推進センター				68 (52)	68 (52)	バイオマス破壊調査(JICA研修)	セミナーハウス
48	7	1	東京大学北海道演習林				28	28	大麓山ハイキング登山会	山部宿泊施設
49	7	3	北海道大学理学研究院附属地震火山研究観測センター	9				9	GPS観測により，十勝岳の火山活動に伴う地殻変動を明らかにする	宿泊なし
50	7	1	クローネ　山の会				8	8	林内見学	日帰り
51	7	3	一般				7	7	記念樹及び林内見学	セミナーハウス
52	7	5	金沢大学理工研究域電子情報学系	5				5	葉植生昆虫カラマツアカハラバチの食害推定	山部宿泊施設
53	7	2	東京大学秩父演習林	2				2	フィールドワークにおけるマダニ刺咬リスク低減策とその実用性に関する研究	山部宿泊施設
54	7	1	東京大学大学院総合文化研究科	2 (1)				2 (1)	日本と中国における冷温帯性植物の比較系統地理学的解析	宿泊なし
55	7	3	北海道札幌啓成高等学校	6			57	63	北海道札幌啓成高等学校SSH道内研修B(自然環境)	セミナーハウス
56	7	1	ふらの環境エネルギー事業化検討協議会				10	10	西達布川におけ小水力発電の可能性調査	日帰り
57	8	31	東京大学演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	ウダイカンバに寄生するアンブロシアキクイムシに関する研究	山部宿泊施設
58	8	31	東京大学演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	葉食性昆虫カラマツハラアカバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
59	8	1	ふらの環境エネルギー事業化検討協議会				10	10	西達布川におけ小水力発電の可能性調査	
60	8	3	東京大学大学院総合文化研究科	45	3	6	3	57	アメリカ史研究セミナー	セミナーハウス
61	8	4	東京大学演習林教育研究センター	8				8	ｳﾀﾞｲｶﾝﾊﾞ二次林の地がき地における更新実態の解明	山部宿泊施設
62	8	4	東京大学生態水文学研究所	4				4	モザイク状皆伐による天然更新の促進	山部宿泊施設

2015年度　全利用者（北海道演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
63	8	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	6	6		14	北海道の天然林においてｴｿﾞﾓﾓﾝｶﾞが巣箱を利用する環境要因に関する研究	宿泊なし
64	8	4	東京大学樹芸研究所	8	32			40	全学体験ゼミナール「森に学ぶ（ふらの）」	宿泊なし
65	8	2	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				8	8	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
66	8	15	東京大学新領域創成科学研究科	15				15	森林植生の違いによる菌根菌の種多様性および群集構造の解明	セミナーハウス
67	8	7	東京大学北海道演習林			7		7	東京大学体験活動ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ「森が社会に貢献する-持続可能な森づくりへの挑戦-」	山部宿泊施設
68	8	2	東京大学演習林企画部	4				4	北海道演習林職員との懇談と現地視察	山部宿泊施設
69	8	5	金沢大学理工研究域電子情報学系	5				5	葉植生昆虫カラマツアカハラバチの食害量推定	山部宿泊施設
70	8	5	北海道大学地球環境科学院	5		5 (5)		10 (5)	富良野地方における水族寄生虫相の解明	山部宿泊施設
71	8	1	北海道帯広農業高等学校	2			40	42	帯広農業高校　森林科学科1年見学	山部宿泊施設
72	8	1	NHK学園生涯学習局				22	22	NHK学園国内学習スクーリング「森に学ぶ～大学演習林を訪ねて」	日帰り
73	8	1	森林総合研究所森林整備センター	5				5	演習林視察・見学	日帰り
74	8	1	森林部門技術士会				233	233	森林分技術士会北海道支部会現地研修会	日帰り
75	8	1	玉川大学農学部生物環境システム学科	1		1		2	葉樹更新初期に顕在化する近交弱勢遺伝子のゲノムワイド探索	山部宿泊施設
76	9	30	東京大学演習林教育研究センター			30 (30)		30 (30)	ウダイカンバに寄生するアンブロシアキクイムシに関する研究	山部宿泊施設
77	9	30	東京大学演習林教育研究センター			30 (30)		30 (30)	葉食性昆虫カラマツハラアカバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
78	9	2	玉川大学農学部生物環境システム学科	2		2		4	葉樹更新初期に顕在化する近交弱勢遺伝子のゲノムワイド探索	山部宿泊施設
79	9	1	東京大学大学院経済学研究科		2		2	4	東京大学体験活動プログラム	日帰り
80	9	1	静岡県議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟				9	9	先進地調査	日帰り
81	9	1	静岡県交通基盤部森林局				2	2	先進地調査	日帰り
82	9	2	東京大学秩父演習林	3		1		4	台風風倒跡地における森林の予備的調査	山部宿泊施設
83	9	5	金沢大学理工研究域電子情報学系	5				5	葉植生昆虫カラマツアカハラバチの食害量推定	日帰り
84	9	1	同志社女子大学現代社会学部	2	4			6	インターンシップ2	日帰り
85	9	4	東京大学新領域創成科学研究科	12		28		40	陸域生態学実習	セミナーハウス
86	9	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	6	2		10	北海道の天然林においてｴｿﾞﾓﾓﾝｶﾞが巣箱を利用する環境要因に関する研究	山部宿泊施設
87	9	1	山梨県立農林高等学校	3			29	32	修学旅行学科別研修	日帰り
88	9	4	東京大学新領域創成科学研究科	4		32		36	研究室での演習林ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	セミナーハウス
89	9	4	東京大学新領域創成科学研究科	4		8		12	インターネット森林観察サイトの拡充による自然学習事業案の開発	山部宿泊施設
90	9	4	東京大学空間情報科学研究センター	4			4	8	情報技術を活用した天然林施業の知識ベース構築とその運用	山部宿泊施設
91	9	4	東京芸術大学美術学部		8			8	卒業作成：倒木更新のドローイングと写真撮影	山部宿泊施設
92	9	2	森林総合研究所	4				4	リモートセンシング技術を用いた択伐天然林の資源量の把握手法の開発	山部宿泊施設

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
93	9	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1				1	北海道の広葉樹林におけるｴｿﾞﾓﾓﾝｶﾞの生態学的研究	日帰り
94	9	7	北海道大学地球環境科学院	7		7 (7)		14 (7)	富良野地方における水族寄生虫相の解明	山部宿泊施設
95	9	1	海外林業ｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ協会				16 (14)	16 (14)	地域住民の参加による多様な森林保全(JICA研修)	日帰り
96	9	3	武蔵野美術大学		3			3	随筆的表象が示す主客関係表現行為およびその対象についての考察	山部宿泊施設
97	9	1	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				4	4	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
98	10	31	東京大学演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	ウダイカンバに寄生するアンブロシアキクイムシに関する研究	山部宿泊施設
99	10	21	東京大学演習林教育研究センター			21 (21)		21 (21)	葉食性昆虫カラマツハラアカバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
100	10	1	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				4	4	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
101	10	1	東京大学北海道演習林				20	20	神社山自然観察路秋季一般公開	山部宿泊施設
102	10	3	東京大学生態水文学研究所	6				6	前山気象露場の観測機器更新作業	山部宿泊施設
103	10	1	北海道地方環境事務所	2			1	3	シマフクロウ保護増殖事業に係るシマフクロウ生息状況調査及び巣箱の状況調査	日帰り
104	10	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	5	2		9	北海道の広葉樹林におけるｴｿﾞﾓﾓﾝｶﾞの生態学的研究	山部宿泊施設
105	10	1	酪農学園とわの森三愛高校	2			12	14	道内研修	日帰り
106	10	1	立命館慶祥中学校・高等学校	4			25 (11)	29 (11)	慶祥さくらサイエンス2015	日帰り
107	10	5	スイス国立樹木園	5 (5)				5 (5)	スイス国立樹木園　日本園の整備	山部宿泊施設
108	10	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	5	1		7	北海道の広葉樹林におけるｴｿﾞﾓﾓﾝｶﾞの生態学的研究	日帰り
109	10	5	金沢大学理工研究域電子情報学系	5				5	葉植生昆虫カラマツアカハラバチの食害量推定	山部宿泊施設
110	10	1	静岡県交通基盤部森林局	7			3	10	先進地調査	山部宿泊施設
111	10	4	北海道大学地球環境科学院	4		4 (4)		8 (4)	富良野地方における水族寄生虫相の解明	山部宿泊施設
112	10	1	北海道国際交流・協力総合センター	2			4 (4)	6 (4)	JICA研修「認証制度やブランド化」を通じた森林資源の総合利用による地域振興」コース	日帰り
113	10	1	北海道立総合研究機構林業試験場	1				1	千島系・樺太系ｸﾞｲﾏﾂの系統的ルーツの解明と育種利用の評価	日帰り
114	10	1	北海道立総合研究機構林業試験場	1				1	ｸﾞｲﾏﾂF1次代検定林レス検定モデル試験林	日帰り
115	10	5	筑波大学菅平高原実験研究センター	5				5	モミ属を加害するキクイムシ類の調査	山部宿泊施設
116	10	2	東京大学富士癒しの森研究所	2				2	インターネット森林観察サイトの拡充による自然学習授業案の開発	山部宿泊施設
117	10	3	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				12	12	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
118	10	1	札幌弁護士会				13	13	北方林業の経営及び生態系保全についての調査・研究	日帰り
119	10	2	森林総合研究所	2				2	カバノキ類の着花量・開花時期に関する研究調査	山部宿泊施設
120	10	1	北海道地方環境事務所				3	3	シマフクロウ保護増殖事業に係るシマフクロウ生息状況調査及び巣箱の状況調査・保守	日帰り
121	10	4	東京大学演習林教育研究センター		4			4	ミズナラの大径木調査を主目的とする卒業論文研究に伴う諸活動	日帰り
122	10	1	(一社)木と住まいの研究協会	8				8	北海道バイオマス研修	日帰り
123	11	30	東京大学演習林教育研究センター			30 (30)		30 (30)	ウダイカンバに寄生するアンブロシアキクイムシに関する研究	山部宿泊施設
124	11	1	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				4	4	富良野地区における猛禽類生息状況調査	日帰り

2015年度　全利用者（北海道演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
125	11	3	日本大学生物資源科学部		12	3		15	森林利用学特別演習	山部宿泊施設
126	11	4	北海道大学地球環境科学院			8		8	外来種カワマスと在来種アメマスの種間競争と交雑調査	山部宿泊施設
127	11	2	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				8	8	富良野地区における猛禽類生息状況調査	日帰り
128	11	1	北海道地方環境事務所	4			3	7	シマフクロウ保護増殖事業に係るシマフクロウ生息状況調査及び巣箱の状況調査・保守	山部宿泊施設
129	11	1	北海道上川総合振興局	10				10	天然林施業の現地視察及び意見交換	日帰り
130	11	4	北海道大学地球環境科学院	4		4 (4)		8 (4)	富良野地方における水族寄生虫相の解明	山部宿泊施設
131	11	3	東京大学国際農業開発学コース			3 (3)		3 (3)	情報技術を活用した天然林施業の知識ベース構築とその運用	山部宿泊施設
132	12	31	東京大学演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	ウダイカンバに寄生するアンブロシアキクイムシに関する研究	山部宿泊施設
133	12	5	東京大学演習林教育研究センター		5			5	ミズナラの大径木調査を主目的とする卒業論文研究に伴う諸活動	山部宿泊施設
134	12	2	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店	2			6	8	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
135	12	4	北海道大学地球環境科学院	5		34 (4)		39 (4)	富良野地方における水族寄生虫相の解明	日帰り
136	1	31	東京大学演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	ウダイカンバに寄生するアンブロシアキクイムシに関する研究	山部宿泊施設
137	1	24	東京大学生態調和農学機構	24				24	実務研修	山部宿泊施設
138	1	8	東京大学北海道演習林		8			8	東京大学体験活動ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ「森が社会に貢献する-持続可能な森づくりへの挑戦-」	山部宿泊施設
139	1	5	東京大学国際農業開発学コース			5 (5)		5 (5)	情報技術を活用した天然林施業の知識ベース構築とその運用	山部宿泊施設
140	1	1	上川南部森林管理署	5				5	林分施業等の広葉樹林管理手法について	日帰り
141	1	2	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店	2			6	8	富良野地区における猛禽類生息状況調査	日帰り
142	2	29	東京大学演習林教育研究センター			29 (29)		29 (29)	ウダイカンバに寄生するアンブロシアキクイムシに関する研究	山部宿泊施設
143	2	29	東京大学生態調和農学機構	29				29	実務研修	山部宿泊施設
144	2	3	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店	3			9	12	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
145	2	3	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店	3			12	15	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
146	2	3	東京大学北海道演習林		132			132	教養学部全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ」	セミナーハウス
147	2	2	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				8	8	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
148	3	31	東京大学演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	ウダイカンバに寄生するアンブロシアキクイムシに関する研究	山部長期宿泊施設
149	3	9	東京大学生態調和農学機構	9				9	実務研修	山部宿泊施設
150	3	3	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店	3			9	12	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
151	3	18	東京大学国際農業開発学コース			18 (18)		18 (18)	情報技術を活用した天然林施業の知識ベース構築とその運用	山部宿泊施設
152	3	1	北海道立総合研究機構林業試験場	1				1	千島系・樺太系ｸﾞｲﾏﾂの系統的ルーツの解明と育種利用の評価	日帰り
153	3	4	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				20	20	富良野地区における猛禽類生息状況調査	日帰り
154	3	3	北海道地方環境事務所				9	9	シマフクロウ保護増殖事業に係るシマフクロウ生息状況調査及び巣箱の状況調査・保守	宿泊なし
155	3	1	東京大学TSCP室	3	11	2		16	TSCP室学生委員会の知識習得	日帰り
156	3	2	株式会社ﾙｰﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱ札幌支店				10	10	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
157	3	1	北海道地方環境事務所				3	3	シマフクロウ保護増殖事業に係るシマフクロウ生息状況調査及び巣箱の状況調査・保守	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計　2635
利用件数　157

2015年度　全利用者（秩父演習林）

演習林名：秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
2	4	1	特定非営利活動法人バードリサーチ	1				1	モニタリングサイト1000　鳥類調査	日帰り
3	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			2		2	シカによる植生衰退が地下部生物群集に及ぼす影響	影森自炊宿舎
4	4	1	東京大学空間情報科学研究センター	2				2	ロボットカメラ類のメンテナンス作業	日帰り
5	4	1	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			1		1	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
6	4	2	東京大学農学部環境資源科学課程フィールド科学専修	4		2		6	シオジの遺伝解析	栃本自炊宿舎
7	4	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
8	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態	日帰り
9	4	1	埼玉県茶業研究所	7				7	茶の山間冷涼地育種	日帰り
10	4	2	埼玉昆虫談話会				12	12	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣自炊宿舎
11	4	1	埼玉県水産研究所	5				5	在来種の精子を導入したヤマメ放流用種苗の開発	日帰り
12	4	1	東京大学演習林教育研究センター			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する研究	日帰り
13	4	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オゾン計の設置，ミヤマスカシユリの確認	日帰り
14	4	1	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			1		1	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	日帰り
15	4	1	環境科学技術研究所環境影響研究部　循環研究グループ	1				1	実験室のサンプル整理	外部宿泊
16	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態	日帰り
17	4	4	東京大学演習林北海道演習林	4				4	研究資材・資料の整理・搬出	影森自炊宿舎
18	4	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	ロボットカメラメンテナンス	日帰り
19	5	1	東京大学演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
20	5	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
21	5	1	東京環境工科学園	1				1	野生鳥獣被害論における情報収集（シカの被害の現状と課題）	日帰り
22	5	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
23	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実動態研究，鳥類群集の長期動態等	日帰り
24	5	1	東京大学空間情報科学研究センター	2			1	3	ロボットカメラ及び周辺機器の視察	日帰り
25	5	2	埼玉県立秩父農工科学高等学校	50	212		106	368	埼玉県高校総合体育大会登山の部	テント・幕営
26	5	1	東京女子大学数理科学科情報理学専攻	1				1	調査（シカの採食圧が小型哺乳類に及ぼす影響）のための下見	日帰り
27	5	1	秩父演習林管理協力員				7	7	自然観察	日帰り
28	5	3	特定非営利活動法人バードリサーチ	4			1	5	モニタリングサイト1000　鳥類調査	川俣学生宿舎（自炊泊）
29	5	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	6		8 (4)		14 (4)	秩父演習林見学とサイバーフォレスト研究調査	栃本自炊宿舎

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
30	5	1	東京大学演習林企画部	2				2	星野写真の撮影	日帰り
31	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態	日帰り
32	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林動物学研究室	2	1			3	科研「森林昆虫-共生微生物の共進化と温度反応及び気候変動から予測される動態予測」の研究のためのサンプル採集	日帰り
33	5	19	National school for water and environmental engineering of Strasb		19 (19)			19 (19)	山地・森林保全に関するインターンシップ	影森自炊宿舎
34	5	2	東京大学演習林富士癒しの森研究所	4				4	全学体験ゼミナール「危険生物の知識（春編）」の準備	影森自炊宿舎
35	5	3	日本大学生物資源科学部森林資源科学科	3	15			18	自動撮影カメラを用いた東京大学秩父演習林における中大型動物相の調査	栃本自炊宿舎
36	5	2	埼玉昆虫談話会				8	8	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣自炊宿舎
37	5	1	日本女子大学理学部物質生物科学科	1	2			3	シダ植物カラクサシダ配偶体の成長動態解析及び微環境の長期モニタリング	日帰り
38	5	2	東京大学農学部環境資源科学課程フィールド科学専修		2			2	シオジの遺伝解析	栃本自炊宿舎
39	5	2	東京大学演習林富士癒しの森研究所	8	14			22	全学体験ゼミナール「危険生物の知識（春編）」	川俣学生宿舎（食事あり）
40	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	森林構造が哺乳類の個体数と分布に及ぼす影響	日帰り
41	5	1	東京大学演習林北海道演習林	1				1	研究資材・資料の整理・搬出	日帰り
42	5	2	東京大学農学生命科学研究科	2				2	鳥類標識調査	テント・幕営
43	6	1	東京大学演習林富士癒しの森研究所	1			3	4	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
44	6	1	東京大学演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
45	6	2	特定非営利活動法人バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000　鳥類調査	川俣学生宿舎（自炊泊）
46	6	2	東京大学演習林秩父演習林		15			15	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	外部宿泊
47	6	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
48	6	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
49	6	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
50	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
51	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実動態研究	日帰り
52	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	ブナ科実生トランセクト調査	日帰り
53	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	ブナ科実生トランセクト調査	入川コンテナハウス1
54	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	鳥類標識調査	テント・幕営
55	6	1	東京大学演習林秩父演習林	1	1	1		3	ニホンジカによる植生衰退が森林の生物多様性と生態系機能に及ぼす影響調査（サントリーシカ柵試験地）	栃本自炊宿舎

2015年度　全利用者（秩父演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
56	6	1	東京大学演習林秩父演習林	1	4	1		6	ニホンジカによる植生衰退が森林の生物多様性と生態系機能に及ぼす影響調査（サントリーシカ柵試験地）	栃本自炊宿舎
57	6	1	東京大学演習林秩父演習林	1	2	1		4	ニホンジカによる植生衰退が森林の生物多様性と生態系機能に及ぼす影響調査（サントリーシカ柵試験地）	栃本自炊宿舎
58	6	4	東京大学演習林秩父演習林	2	10	7		19	ニホンジカによる植生衰退が森林の生物多様性と生態系機能に及ぼす影響調査（サントリーシカ柵試験地）	日帰り
59	6	1	埼玉県茶業研究所	6				6	茶の山間冷涼地育種	日帰り
60	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	鳥類群集モニタリング，景観撮影	日帰り
61	6	2	埼玉昆虫談話会	2			8	10	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	日帰り
62	6	1	東京大学農学生命科学研究科森林動物学研究室			1		1	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態」	日帰り
63	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林利用学研究室	1				1	森林土木学実習下見	日帰り
64	6	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
65	6	2	東京大学農学生命科学研究科環境資源科学課程フィールド科学専修	2	4			6	渓流沿いのシオジ林の遺伝的多様性に関する研究	栃本自炊宿舎
66	6	2	日本大学生物資源科学部獣医学科	3 (2)		2		5 (2)	野鳥における血液原虫保有状況およ媒介昆虫の調査	テント・幕営
67	6	1	東京大学空間情報科学研究センター	1		1		2	森林地表部における音声マイクを用いた位置情報取得手法の開発	日帰り
68	6	1	東京大学空間情報科学研究センター	2		2	1	5	森林地表部における音声マイクを用いた位置情報取得手法の開発	日帰り
69	6	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	2				2	オゾンデータの回収，調査用アサガオの移植，ミヤマスカシユリの確認	日帰り
70	6	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
71	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			3		3	シカによる植生衰退が地下部生物群集に及ぼす影響	影森自炊宿舎
72	6	4	東京大学演習林秩父演習林	6	15	6		27	ニホンジカによる植生衰退が森林の生物多様性と生態系機能に及ぼす影響（サントリー森林整備事業）	栃本自炊宿舎
73	6	3	千葉大学園芸学研究科			3		3	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響の実験	影森自炊宿舎
74	6	4	東京女子大学	4	8			12	調査（シカの採食圧が小型哺乳類に及ぼす影響）	外部宿泊
75	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	2				2	鳥類標識調査	テント・幕営
76	6	1	東京大学演習林秩父演習林				21	21	ガイドツアー「演習林の試験地見学」	日帰り
77	7	1	東京大学演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
78	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	ブナ科実生トランセクト調査	日帰り
79	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林利用学研究室	4	6			10	森林土木学実習	川俣学生宿舎（食事あり）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
80	7	1	東京大学空間情報科学研究センター	2		4		6	森林地表部における音声マイクを用いた位置情報取得手法の開発	栃本自炊宿舎
81	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻	14		68		82	フィールド科学総論（実習・講義）	川俣学生宿舎（食事あり）
82	7	1	秩父観光協会大滝支部				289	289	入川渓谷ハイキング	日帰り
83	7	1	千葉大学園芸学部緑地環境学科	1	2	2		5	生態系の物質循環特性に基づく緑地の「自然らしさ」の評価手法に関する研究	日帰り
84	7	3	秩父市立第一中学校				15	15	職場体験	日帰り
85	7	2	埼玉県水産研究所	10				10	在来魚の精子を導入したヤマメ放流用種苗の開発	日帰り
86	7	1	埼玉昆虫談話会	1			7	8	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	日帰り
87	7	1	秩父演習林管理協力員				6	6	動植物の自然観察（ネイチャークラブ）	日帰り
88	7	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	1		3 (3)		4 (3)	オゾンデータの回収，移植したアサガオとミヤマスカシユリの確認	日帰り
89	7	2	東京大学農学部環境資源科学課程フィールド科学専修		2	2		4	渓流沿いのシオジ林の遺伝的多様性に関する研究	川俣自炊宿舎
90	7	3	東京大学農学部環境資源科学課程フィールド科学専修		3	1		4	渓流沿いのシオジ林の遺伝的多様性に関する研究	影森自炊宿舎
91	7	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2				2	サイバーフォレスト景観モニタリング（文化財の森）	テント・幕営
92	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	2				2	鳥類標識調査	テント・幕営
93	7	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
94	7	5	東京大学演習林秩父演習林	5	15	5		25	ニホンジカによる植生衰退が森林の生物多様性と生態系機能に及ぼす影響（サントリー森林整備事業）	川俣自炊宿舎
95	7	1	日本女子大学理学部物質生物科学科		2			2	シダ植物カラクサシダ配偶体の成長動態解析及び微環境の長期モニタリング	日帰り
96	7	2	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			2		2	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	影森自炊宿舎
97	7	1	東京農工大学大学院農学研究院	1	4	1		6	森林利用システム学研究室セミナー	日帰り
98	7	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
99	7	1	東京大学演習林教育研究センター			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
100	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	樹木内生菌の伝播・繁殖機構の解明（ブナの葉の採集）	日帰り
101	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			2		2	シカによる植生衰退が地下部生物群集に及ぼす影響	影森自炊宿舎
102	7	1	日本女子大学理学部物質生物科学科	2				2	環境生物学実験I（8月26日-28日）の打ち合わせと下見	日帰り
103	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
104	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
105	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科	11 (2)	60 (3)	8 (3)		79 (3)	森林植物学実験の野外実習	川俣学生宿舎（食事あり）
106	8	2	東京大学農学部環境資源科学課程フィールド科学専修		2	1		3	渓流沿いのシオジ林の遺伝的多様性に関する研究	栃本自炊宿舎

2015年度　全利用者（秩父演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
107	8	4	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻	4	48	4		56	動物系統学野外実習	川俣学生宿舎（食事あり）
108	8	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
109	8	1	千葉大学園芸学部緑地環境学科	1	2	2		5	都市化が緑地の物質循環特性に及ぼす影響	日帰り
110	8	4	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	12	45	6	4	67	野外の植物で生理生態学的測定を行う（講義名：植物科学野外実習）	川俣学生宿舎（食事あり）
111	8	2	東京大学演習林企画部	4				4	秩父演習林職員との懇談と現地視察	影森自炊宿舎
112	8	1	埼玉県立神川げんきプラザ	2			48	50	自然体験学習	日帰り
113	8	1	埼玉県茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	日帰り
114	8	3	日本女子大学理学部物質生物科学科	6	51			57	理学部物質生物科学科専門科目授業「環境生物学実験I」による植物分類学関連実習	川俣学生宿舎（食事あり）
115	8	1	東京大学演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
116	8	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オゾンデータの回収，アサガオ被害調査，ミヤマスカシユリの確認	日帰り
117	8	2	東京大学演習林秩父演習林	4			38	42	公開講座「東大の森で昆虫採集」	川俣学生宿舎（食事あり）
118	8	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
119	8	5	千葉大学園芸学研究科	5	15	2		22	シカ排除柵試験地で樹木実生・萌芽，シカ糞，鳥類相，昆虫相の調査	栃本自炊宿舎
120	8	1	埼玉県立熊谷西高等学校	12	14			26	生物実習	日帰り
121	8	1	日本女子大学理学部物質生物科学科		1	1		2	シダ植物配偶体の形態進化と菌共生	日帰り
122	8	1	東京大学演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
123	8	1	秩父宮記念三峰山博物館　NPO法人ニホンオオカミを探す会				2	2	自動撮影カメラに依る野生動物調査	日帰り
124	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	2				2	鳥類標識調査	テント・幕営
125	8	2	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			2		2	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	影森自炊宿舎
126	8	3	環境科学技術研究所環境影響研究部　循環研究グループ	3				3	実験室のサンプル片付け	外部宿泊
127	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			3		3	シカによる植生衰退が地下部生物群集に及ぼす影響	影森自炊宿舎
128	8	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
129	8	2	埼玉昆虫談話会				11	11	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣学生宿舎（自炊泊）
130	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科	4	6	2		12	森林土壌学実験	川俣学生宿舎（食事あり）
131	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻	3	48	9		60	バイオマス科学実習・森林科学実習	外部宿泊
132	9	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
133	9	1	東京都市大学知識工学部自然科学科	5	22			27	自然科学科特別講義 NS-1	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
134	9	1	東京大学演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
135	9	1	NPO法人スポーツエイド・ジャパン				306	306	第18回雁坂峠越え秩父往還153km開催のため	日帰り
136	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科	19	75	8 (4)		102 (4)	森林政策学演習	川俣学生宿舎（食事あり）
137	9	1	日本女子大学理学部物質生物科学科		2			2	シダ植物カラクサシダ配偶体の成長動態解析及び微環境の長期モニタリング	日帰り
138	9	2	埼玉昆虫談話会	2			12	14	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣自炊宿舎
139	9	2	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	2				2	シオジの開花結実特性	日帰り
140	9	5	千葉大学園芸学研究科	5	29	5		39	シカ排除柵試験地で樹木実生・萌芽，土壌特性を調査	栃本自炊宿舎
141	9	5	東京大学農学部森林科学専攻経理学研究室	10		13		23	不成績造林地及び管理放棄林に侵入した広葉樹の種組成の調査	栃本自炊宿舎
142	9	1	東京大学空間情報科学研究センター	1			1	2	観測塔の新規設置に係る現地下見	日帰り
143	9	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
144	9	2	環境科学技術研究所環境影響研究部　循環研究グループ	2				2	実験室のサンプル片付け	外部宿泊
145	9	1	埼玉県茶業研究所	6				6	茶の山間冷涼地育種	日帰り
146	9	2	東京大学農学部環境資源科学課程フィールド科学専修		2			2	渓流沿いのシオジ林の遺伝的多様性に関する研究	川俣学生宿舎（自炊泊）
147	9	1	東京大学農学部環境資源科学課程フィールド科学専修		1			1	渓流沿いのシオジ林の遺伝的多様性に関する研究	栃本自炊宿舎
148	9	1	埼玉県水産研究所	5				5	在来魚の精子を導入したヤマメ放流用種苗の開発	日帰り
149	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	2				2	鳥類群集モニタリング，ロガー等点検	テント・幕営
150	9	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			5		5	シカによる植生衰退が地下部生物群集に及ぼす影響	影森自炊宿舎
151	9	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
152	9	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	2				2	オゾンデータの回収，ミヤマスカシユリの確認	日帰り
153	9	2	東京大学演習林秩父演習林	6				6	平成27年度東京大学教室系技術職員研修「森林野生動物調査法」	川俣学生宿舎（食事あり）
154	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			3		3	シカによる植生衰退が地下部生物群集に及ぼす影響	影森自炊宿舎
155	10	2	東京大学演習林企画部	4				4	自動撮影カメラメディア交換＆星野写真の撮影	テント・幕営
156	10	1	東京大学演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
157	10	3	東京環境工科学園	3	6			9	野生動物被害防除対策実習	影森自炊宿舎
158	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	4	3	6		13	人工林調査（秩父演習林人工林試験地）	川俣学生宿舎（食事あり）
159	10	2	東京大学農学部環境資源科学課程フィールド科学専修		2	2		4	渓流沿いのシオジ林の遺伝的多様性に関する研究	栃本自炊宿舎
160	10	2	東京大学演習林秩父演習林	6				6	平成27年度東京大学教室系技術職員研修「森林野生動物調査法」	川俣学生宿舎（食事あり）

2015年度　全利用者（秩父演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
161	10	2	東京大学演習林樹芸研究所	2				2	演習林環境安全管理委員として安全確認の視察	影森自炊宿舎
162	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科			2		2	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態」	影森自炊宿舎
163	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科			2		2	修士論文「関東地方におけるマルグンバイ属の系統関係および基本的生態」	栃本自炊宿舎
164	10	3	環境科学技術研究所環境影響研究部　循環研究グループ	3				3	微生物群集データ解析に関する打ち合わせ・樹木に含まれる放射性炭素のサンプリ	外部宿泊
165	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			3		3	シカによる植生衰退が地下部生物群集に及ぼす影響	影森自炊宿舎
166	10	1	しおじの会				1	1	演習林内に植林された幼木の保護用に設置された鹿柵の破壊防止機能を調査	日帰り
167	10	1	しおじの会				1	1	演習林内に植林された幼木の保護用に設置された鹿柵の破壊防止機能を調査	日帰り
168	10	2	埼玉昆虫談話会				6	6	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣自炊宿舎
169	10	1	東京大学演習林田無演習林	1				1	葉内生菌の病原性に関する研究	日帰り
170	10	2	東京大学演習林秩父演習林		26			26	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」現地講義	外部宿泊
171	10	1	東京大学演習林秩父演習林		11			11	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」現地講義	川俣学生宿舎（食事あり）
172	10	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
173	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			4		4	シカによる植生衰退が地下部生物群集に及ぼす影響	影森自炊宿舎
174	10	1	東京大学演習林秩父演習林				15	15	東京大学秩父演習林秋のガイドツアー「カエデの見分け方を学ぶ」	日帰り
175	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			3		3	シカによる植生衰退が地下部生物群集に及ぼす影響	影森自炊宿舎
176	10	4	東京大学演習林北海道演習林	3		4 (4)		7 (4)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	影森自炊宿舎
177	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			2		2	シカによる植生衰退が地下部生物群集に及ぼす影響	影森自炊宿舎
178	10	1	東京大学演習林企画部	6 (5)				6 (5)	演習林内視察	日帰り
179	11	1	伝統工芸木炭生産技術保存会				4	4	伝統工芸，伝統工芸研磨用木炭に使用するホオノキに関する調査	日帰り
180	11	1	東京大学演習林秩父演習林		11			11	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」現地講義	日帰り
181	11	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
182	11	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	4		2	2	8	落葉広葉樹の紅黄葉日の将来変化予測に関する研究	栃本自炊宿舎
183	11	13	東京大学演習林北海道演習林			13 (13)		13 (13)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	影森自炊宿舎
184	11	1	しおじの会				1	1	演習林内に植林された幼木の保護用に設置された鹿柵の破壊防止機能を調査	日帰り
185	11	1	埼玉県茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	日帰り
186	11	2	埼玉県水産研究所	8				8	在来魚の精子を導入したヤマメ放流用種苗の開発	日帰り
187	11	1	しおじの会				1	1	演習林内に植林された幼木の保護用に設置された鹿柵の破壊防止機能を調査	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
188	11	1	東京大学演習林教育研究センター			1		1	フジの多重形成層の形成要因に関する分析	日帰り
189	11	2	埼玉昆虫談話会	4			10	14	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣学生宿舎（自炊泊）
190	11	1	地域交流センター　森の駅推進協議会				11	11	森林の生態　市民フォーラム：森と国産材等について市民の理解と促進　健康住宅研究会：住む人が元気になる住居作りで森を元気に	日帰り
191	11	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
192	11	3	秩父市立影森中学校				6	6	社会体験チャレンジ事業による職場体験	日帰り
193	11	3	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	9		3 (3)	3	15 (3)	自然環境デザインスタジオ2	川俣学生宿舎（食事あり）
194	11	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻			1		1	落葉広葉樹の紅黄葉日の将来変化予測に関する研究	日帰り
195	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林動物学研究室	1	1	1 (1)	1	4 (1)	科研「森林昆虫ー共生微生物の共進化と温度反応及び気候変動から予測される動態予測」の研究のためのサンプル採集	日帰り
196	11	1	日本女子大学理学部物質生物科学科		2			2	シダ植物カラクサシダ配偶体の成長動態解析及び微環境の長期モニタリング	日帰り
197	11	1	東京大学演習林教育研究センター	1				1	北方針葉樹の温暖化に対するストレス応答に関する研究の打ち合わせ	日帰り
198	11	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻			1		1	落葉広葉樹の紅黄葉日の将来変化予測に関する研究	日帰り
199	11	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	1				1	オゾンデータの回収，ミヤマスカシユリの鉢の回収	日帰り
200	11	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	2				2	雁坂峠周辺の環境データの収集等	日帰り
201	11	5	千葉大学園芸学研究科	5	12	8	2	27	シカ排除柵試験地で樹木実生・萌芽，土壌特性を調査する	栃本自炊宿舎
202	11	4	東京大学演習林北海道演習林	3		4 (4)		7 (4)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	影森自炊宿舎
203	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	シカによる植生衰退が地下部生物群集に及ぼす影響	日帰り
204	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			2		2	シカによる植生衰退が昆虫相の変化を通じて鳥類相に及ぼす影響	影森自炊宿舎
205	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	長期生態系プロットによる森林動態の解明	日帰り
206	11	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻			1		1	落葉広葉樹の紅黄葉日の将来変化予測に関する研究	日帰り
207	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システム	日帰り
208	12	2	特定非営利活動法人バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000　鳥類調査	栃本自炊宿舎
209	12	1	千葉大学園芸学部緑地環境学科	1	2	2		5	生態系の物質循環特性に基づく緑地の「自然らしさ」の評価手法に関する研究	日帰り
210	12	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
211	12	7	東京大学演習林北海道演習林	1		7 (7)		8 (7)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	影森自炊宿舎

2015年度　全利用者（秩父演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
212	12	1	秩父宮記念三峰山博物館　NPO法人ニホンオオカミを探す会				2	2	自動撮影カメラに依る野生動物調査	日帰り
213	12	3	東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻	1		3		4	地上レーザー，UAVを用いた森林計測	栃本自炊宿舎
214	12	1	東京大学空間情報科学研究センター	1				1	観測塔の新規設置に係る現場立ち会い	日帰り
215	12	1	東京大学空間情報科学研究センター	1				1	観測塔の新規設置に係る現場立ち会い	日帰り
216	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実調査(トラップ回収等)	日帰り
217	12	1	東京大学演習林秩父演習林	1				1	山地河川における堰堤等を用いた量水観測精度の向上	日帰り
218	12	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻			1		1	落葉広葉樹の紅黄葉日の将来変化予測に関する研究研究	日帰り
219	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実調査(トラップ回収等)	日帰り
220	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システム	日帰り
221	12	1	東京大学演習林北海道演習林			1 (1)		1 (1)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	日帰り
222	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実の遺伝特性研究	日帰り
223	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システム	日帰り
224	12	1	東京大学空間情報科学研究センター	1				1	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔のメンテナンス作業	日帰り
225	12	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	1				1	オゾンデータの回収，ミヤマスカシユリの鉢の設置	日帰り
226	1	1	東京大学演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
227	1	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
228	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1			1	2	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システム	日帰り
229	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システム	日帰り
230	1	26	東京大学演習林北海道演習林	37 (26)		49 (49)		86 (75)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	影森自炊宿舎
231	1	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	サイバーフォレスト景観モニタリング(文化財の森)	日帰り
232	1	1	日本女子大学理学部物質生物科学科		2			2	シダ植物カラクサシダ配偶体の成長動態解析及び微環境の長期モニタリング	日帰り
233	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実調査（伐倒枝の片付け，標本木の点検）	日帰り
234	1	1	東京大学空間情報科学研究センター	1				1	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔のメンテナンス作業	日帰り
235	1	1	東京大学演習林秩父演習林	1			12	13	公開講座「秩父演習林の動物たち」開催	日帰り
236	2	1	埼玉県立熊谷高等学校	4	6		6	16	熊谷高校SSH講義・実習	日帰り
237	2	3	東京大学演習林北海道演習林			3 (3)		3 (3)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	影森自炊宿舎
238	2	4	東京大学演習林北海道演習林	2		4 (4)		6 (4)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	影森自炊宿舎
239	2	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
240	2	2	特定非営利活動法人バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000　鳥類調査	栃本自炊宿舎
241	2	1	埼玉県水産研究所	5				5	在来魚の精子を導入したヤマメ放流用種苗の開発	日帰り
242	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システム	日帰り
243	2	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	1				1	オゾンデータ及びオゾン計の回収，ミヤマスカシユリの確認	日帰り
244	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システム	日帰り
245	3	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
246	3	1	東京大学演習林企画部	1				1	リターおよびシードトラップ落下物試料確認とデータのとりまとめ打ち合わせ	日帰り
247	3	3	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			3		3	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	影森自炊宿舎
248	3	1	秩父宮記念三峰山博物館　NPO法人ニホンオオカミを探す会				2	2	自動撮影カメラに依る野生動物調査	日帰り
249	3	3	東京大学演習林北海道演習林			3		3	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	影森自炊宿舎
250	3	2	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			2		2	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	影森自炊宿舎
251	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	植食者に対する脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価	日帰り
252	3	1	特定非営利活動法人バードリサーチ	1				1	モニタリングサイト1000　鳥類調査	日帰り
253	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システム	日帰り
254	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システム	日帰り
255	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システム	日帰り
256	3	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	2				2	「ニホンジカによる森林生態系への影響評価と植生回復に関する研究」の研究調査候補地の視察	日帰り
257	3	1	東京大学演習林秩父演習林	1	1			2	山地河川における洪水流出の実態解明にむけた観測	日帰り
258	3	5	東京大学空間情報科学研究センター	8		5	5	18	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔に関する機材設置作業	栃本自炊宿舎
259	3	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2				2	サイバーフォレスト景観モニタリング	テント・幕営
260	3	2	埼玉昆虫談話会				6	6	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築（第3期）	川俣自炊宿舎
261	3	1	埼玉県茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	日帰り
262	3	3	東京大学空間情報科学研究センター	3		2	3	8	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔に関する機材設置作業	日帰り
263	3	3	千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境情報学研究室			3		3	シカによる植生衰退が土壌微生物群集の多様性と機能に及ぼす影響	影森自炊宿舎
264	3	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計　2819
利用件数　264

2015年度　全利用者（田無演習林）

演習林名：田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	昆虫遺伝研究室	2	3			5	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	日帰り
2	4	1	いであ株式会社				1	1	希少猛禽類の繁殖状況確認，希少植物の移植状況確認	日帰り
3	4	2	演習林教育研究センター	2				2	バルクDNAを用いたスギ採穂園の効率的なクローン分析法	日帰り
4	4	1	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	2				2	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
5	4	1	生態調和農学機構	1				1	フィールド農学応用実習	日帰り
6	4	15	農学部森林生物科学専修農学実験研修生	15	15（15）			30（15）	樹病害の診断，管理および樹木と病原の相互作用に関する実地教育	日帰り
7	4	1	一般見学者				131	131	見学	日帰り
8	4	1	造林学研究室	2	14			16	造林学実験	日帰り
9	4	1	一般見学者				187	187	見学	日帰り
10	4	2	一般				2	2	樹木から発生する音の調査	日帰り
11	4	1	農地環境工学研究室			1		1	農地・林地の根圏下への窒素流出フラックスの測定	日帰り
12	4	2	造林学研究室			2		2	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
13	4	1	森林動物学研究室		2			2	五月祭の植木市	日帰り
14	4	2	生態調和農学機構	3	5		1	9	緑地環境実地実習	日帰り
15	4	2	グランジオ武蔵野　グランジオクラブ				32	32	地域の自然とふれあい，親睦を深める	日帰り
16	4	1	株式会社緑生研究所				2	2	希少猛禽類調査	日帰り
17	4	3	自然観察の会・杉並				121	121	自然観察	日帰り
18	4	1	葛飾区ハイキング連盟				35	35	演習林見学	日帰り
19	4	1	森林動物学研究室	1		2		3	科研「森林昆虫－共生微生物の共進化と温度反応及び気候変動から予測される動態予測」	日帰り
20	4	1	一般				1	1	庁舎のスケッチ	日帰り
21	4	1	一般社団法人養蜂文化情報ネットワーク				1	1	伐採木の再利用	日帰り
22	4	1	一般				1	1	陶芸家，釉薬の材料として，伐採したシラカシの提供	日帰り
23	4	2	東大農場・演習林の存続を願う会				39	39	定例植物観察会，植物調査会	日帰り
24	4	2	東大農場・演習林の存続を願う会				20	20	動物調査会	日帰り
25	4	1	森林動物学研究室	1				1	スギカミキリの繁殖能力	日帰り
26	4	2	森林動物学研究室	2				2	マツ材線虫に係る生物の生態学的研究	日帰り
27	5	1	昆虫遺伝研究室	2	3			5	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	日帰り
28	5	1	いであ株式会社				2	2	希少猛禽類の繁殖状況確認，希少植物の移植状況確認	日帰り
29	5	1	練馬区立関町リサイクルセンター				30	30	区民を対象とした自然観察会の実施	日帰り
30	5	1	総合文化研究科伊藤元巳研究室			1	1	2	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
31	5	2	演習林教育研究センター	2				2	バルクDNAを用いたスギ採穂園の効率的なクローン分析法	日帰り
32	5	8	農学部森林生物科学専修農学実験研修生	4	8（8）			12（8）	樹病害の診断，管理および樹木と病原の相互作用に関する実地教育	日帰り
33	5	1	筑波大学菅平高原実験センター	1				1	モチノキタネオナガコバチ-寄生植物間相互作用の解明	日帰り
34	5	4	田無演習林	4				4	ピットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	日帰り
35	5	1	造林学研究室	1	15			16	造林学実験	日帰り
36	5	3	一般				3	3	樹木から発生する音の調査	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
37	5	2	農地環境工学研究室			2		2	農地・林地の根圏下への窒素流出フラックスの測定	日帰り
38	5	2	造林学研究室			2		2	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
39	5	2	森林動物学研究室		3			3	五月祭の植木市	日帰り
40	5	1	生態調和農学機構	1				1	緑地環境実地実習	日帰り
41	5	1	株式会社緑生研究所				2	2	希少猛禽類調査	日帰り
42	5	1	元気で歩こう会・東久留米				35	35	ウォーキングと自然観察	日帰り
43	5	1	京都大学生態学研究センター			1		1	モクセイ科における二対立遺伝子型自家不和合成と，それがもたらす性表現の進化	日帰り
44	5	2	東大農場・演習林の存続を願う会				36	36	定例植物観察会，植物調査会	日帰り
45	5	2	東大農場・演習林の存続を願う会				23	23	動物調査会	日帰り
46	5	2	田無演習林	6	8			14	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成-子どもに伝える自然体験-」	日帰り
47	5	1	分子育種学研究室	1		1		2	環境における細菌のコロニー形成能に関する研究	日帰り
48	5	1	森林理水及び砂防工学研究室			1	1	2	樹木への放射性セシウムの移行係数	日帰り
49	5	1	演習林教育研究センター	1				1	発芽しないエゾマツ充実種子の遺伝的要因の解明	日帰り
50	5	1	実践学園中学校	6			73	79	校外授業　中学一年	日帰り
51	5	1	多摩六都科学館	2			1	3	小学生（西東京市立保谷第二小学校）を対象とした野外観察プログラム（校外学習）の実施	日帰り
52	5	1	西東京市立田無保育園	3			19	22	散策	日帰り
53	5	1	シチズンビジネスエキスパート株式会社				2	2	見学および「生物多様性の保全」に関するレクチャーを受ける	日帰り
54	5	1	ディサービスぽぽたん				7	7	散策	日帰り
55	5	1	一般見学者				174	174	見学	日帰り
56	5	1	一般見学者				94	94	見学	日帰り
57	6	1	造林学研究室	1				1	大気の乾燥化が樹木の光合成生産に与える影響	日帰り
58	6	1	いであ株式会社				1	1	希少猛禽類の繁殖状況確認，希少植物の移植状況確認	日帰り
59	6	3	演習林教育研究センター	3				3	バルクDNAを用いたスギ採穂園の効率的なクローン分析法	日帰り
60	6	1	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	2				2	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
61	6	23	農学部森林生物科学専修農学実験研修生	9	23 (23)			32 (23)	樹病害の診断，管理および樹木と病原の相互作用に関する実地教育	日帰り
62	6	1	筑波大学菅平高原実験センター	1				1	モチノキタネオナガコバチ-寄生植物間相互作用の解明	日帰り
63	6	1	農地環境工学研究室			1		1	農地・林地の根圏下への窒素流出フラックスの測定	日帰り
64	6	2	大気汚染測定運動西東京連絡会				2	2	二酸化窒素測定	日帰り
65	6	2	造林学研究室			2		2	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
66	6	1	株式会社緑生研究所				2	2	希少猛禽類調査	日帰り
67	6	2	東大農場・演習林の存続を願う会				39	39	定例植物観察会，植物調査会	日帰り
68	6	2	東大農場・演習林の存続を願う会				18	18	動物調査会	日帰り
69	6	1	田無演習林	3	4			7	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成-子どもに伝える自然体験-」	日帰り
70	6	1	田無演習林	7	6		72	85	第26回子ども樹木博士認定会	日帰り
71	6	1	森林動物学研究室	1				1	マツ材線虫に係る生物の生態学的研究	日帰り

2015年度　全利用者（田無演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
72	6	2	田無演習林				2	2	*Raffaelea* 属菌の病原性発現機構の解明	日帰り
73	6	1	東大農場・演習林の存続を願う会				1	1	観察会(6/9)の下見	日帰り
74	6	1	楽しく歩く若葉の会				30	30	見学	日帰り
75	6	1	多摩六都科学館				82	82	小学生(西東京市立保谷第二小学校)を対象とした野外観察プログラム(校外学習)の実施	日帰り
76	6	1	一般見学者				163	163	見学	日帰り
77	6	1	シチズンビジネスエキスパート株式会社				12	12	見学および「生物多様性の保全」に関するレクチャーを受ける	日帰り
78	6	1	ディサービスぽぽたん				7	7	散策	日帰り
79	6	3	演習林教育研究センター			3		3	カエルの有無による水稲害虫被害の比較	日帰り
80	6	1	京都大学フィールド科学教育研究センター	1		1		2	火山灰土壌における森林生態系の土壌窒素動態の解明	日帰り
81	6	2	堀カレッジ				28	28	植物の観察	日帰り
82	6	1	田無演習林	9	1	3	1	14	平成27年度利用者交流会	日帰り
83	6	1	田無演習林	12		3		15	平成27年度田無演習林・アジアセンター合同環境整備	日帰り
84	6	1	西東京市立西原保育園	3			6	9	散策	日帰り
85	6	1	生態調和農学機構	1		1		2	植生復元研究に用いる在来草本植物種子の収集	日帰り
86	6	1	演習林企画部	1				1	作業協力	日帰り
87	6	1	生態調和農学機構	1				1	丸鋸を使用しての木工作業	日帰り
88	6	1	演習林教育研究センター	1				1	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る(夏)」の講義で使用する枝の採取	日帰り
89	6	1	生態調和農学機構	1			4	5	農場博物館における七夕イベント用笹竹の分譲	日帰り
90	6	1	一般見学者				7	7	見学	日帰り
91	7	1	いであ株式会社				2	2	希少猛禽類の繁殖状況確認，希少植物の移植状況確認	日帰り
92	7	3	生態調和農学機構	3	21		4	28	フィールド農学応用実習	日帰り
93	7	6	農学部森林生物科学専修農学実験研修生	3	6 (6)			9 (6)	樹病害の診断，管理および樹木と病原の相互作用に関する実地教育	日帰り
94	7	1	筑波大学菅平高原実験センター	1				1	モチノキタネオナガコバチ-寄生植物間相互作用の解明	日帰り
95	7	3	田無演習林	3				3	ピットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	日帰り
96	7	1	農地環境工学研究室			3		3	農地・林地の根圏下への窒素流出フラックスの測定	日帰り
97	7	2	造林学研究室			2		2	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
98	7	2	生態調和農学機構	2				2	緑地環境実地実習	日帰り
99	7	2	株式会社緑生研究所				4	4	希少猛禽類調査	日帰り
100	7	2	東大農場・演習林の存続を願う会				41	41	定例植物観察会，植物調査会	日帰り
101	7	1	東大農場・演習林の存続を願う会				6	6	動物調査会	日帰り
102	7	2	森林動物学研究室	2				2	マツ材線虫に係る生物の生態学的研究	日帰り
103	7	3	田無演習林				3	3	*Raffaelea* 属菌の病原性発現機構の解明	日帰り
104	7	1	西東京市立小学校教育研究会　理科部	33				33	小学校学習指導のための教材研究	日帰り
105	7	1	演習林教育研究センター			1		1	カエルの有無による水稲害虫被害の比較	日帰り
106	7	1	社会福祉法人てつなぎの会田無ひまわり保育園	2			5	7	七夕飾り用笹の分譲	日帰り
107	7	1	東大農場・演習林子どもサマースクール実行委員会				5	5	小学生3-5年生を対象にした体験型自然観察	日帰り
108	7	1	田無演習林	2				2	マツノザイセンチュウ接種苗の組織化学的観察に関する技術指導	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
109	7	1	東大サークル「環境三四郎」		3			3	駒場キャンパス　紙プロジェクト（古紙再利用・うちわ製作）	日帰り
110	7	1	所沢高齢者大学35期なでしこウォーキング				30	30	散策，見学	日帰り
111	7	1	森の仲間（グランジオ武蔵野同好会）				1	1	演習林見学の打ち合わせ	日帰り
112	7	1	西東京市立住吉小学校	4				4	生活科見学	日帰り
113	7	1	生態調和農学機構				2	2	アオイ造園（株）による，14林班の調査	日帰り
114	7	1	演習林企画部	2				2	田無演習林視察，懇談会	日帰り
115	7	2	演習林企画部	6				6	演習林技術職員採用試験，打ち合わせ，試験（実技試験）	日帰り
116	7	1	一般見学者				93	93	見学	日帰り
117	7	2	秩父演習林	2				2	スギ辺材腐朽発生に関わる生物学的環境要因の解明	日帰り
118	7	1	生態調和農学機構	2	14		4	20	保全生態学実習	日帰り
119	8	1	昆虫遺伝研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	日帰り
120	8	1	造林学研究室	1				1	大気の乾燥化が樹木の光合成生産に与える影響	日帰り
121	8	1	いであ株式会社				2	2	希少猛禽類の繁殖状況確認，希少植物の移植状況確認	日帰り
122	8	2	造林学研究室	1		2		3	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
123	8	2	東大農場・演習林の存続を願う会				40	40	定例植物観察会，植物調査会	日帰り
124	8	1	東大農場・演習林の存続を願う会				11	11	動物調査会	日帰り
125	8	3	田無演習林				3	3	*Raffaelea* 属菌の病原性発現機構の解明	日帰り
126	8	2	演習林教育研究センター	2				2	発芽しないエゾマツ充実種子の遺伝的要因の解明	日帰り
127	8	1	東大農場・演習林子どもサマースクール実行委員会				56	56	小学生3-5年生を対象にした体験型自然観察	日帰り
128	8	1	分子育種学研究室			2		2	環境における細菌コロニー形成能に関する研究	日帰り
129	8	1	生態調和農学機構				2	2	アオイ造園（株）による，14林班の調査	日帰り
130	8	1	西東京市立保谷中学校1年B組	1			1	2	田無演習林に生えているシダ植物の調査と胞子の観察	日帰り
131	8	9	秩父演習林	9				9	スギ辺材腐朽発生に関わる生物学的環境要因の解明	日帰り
132	8	1	特定非営利活動法人かるがも花々会				7	7	散策	日帰り
133	8	1	(株)ジュピターテレコム				2	2	西東京市のPR映像の撮影	日帰り
134	8	7	田無演習林	7				7	樹木防御反応の誘導・調節に対する細胞間シグナル物質の機能解明	日帰り
135	8	2	森林動物学研究室	4	7			11	教養学部全学自由研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」に関連した昆虫の野外学習	日帰り
136	8	1	一般見学者				105	105	見学	日帰り
137	9	1	演習林教育研究センター	1				1	バルクDNAを用いたスギ採穂園の効率的なクローン分析法	日帰り
138	9	2	一般				2	2	樹木から発生する音の調査	日帰り
139	9	1	農地環境工学研究室			1		1	農地・林地の根圏下への窒素流出フラックスの測定	日帰り
140	9	5	造林学研究室	1		7		8	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
141	9	3	東大農場・演習林の存続を願う会				39	39	定例植物観察会，植物調査会	日帰り
142	9	1	東大農場・演習林の存続を願う会				12	12	動物調査会	日帰り
143	9	1	演習林教育研究センター	1				1	発芽しないエゾマツ充実種子の遺伝的要因の解明	日帰り

2015年度　全利用者（田無演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
144	9	1	中野区立緑野小学校	5			75	80	生活科見学	日帰り
145	9	3	西東京市立明保中学校				18	18	職場体験学習	日帰り
146	9	1	彩の国生きがい大学自然散策クラブ				19	19	散策	日帰り
147	9	4	秩父演習林	4				4	スギ辺材腐朽発生に関わる生物学的環境要因の解明	日帰り
148	9	1	田無演習林	1				1	樹木防御反応の誘導・調節に対する細胞間シグナル物質の機能解明	日帰り
149	9	1	森林動物学研究室	2	20	3		25	森林動物学実験	日帰り
150	9	1	西東京市役所秘書広報課				1	1	写真撮影	日帰り
151	9	1	一般				3	3	散策（障がい者同伴のため駐車許可証申請）	日帰り
152	9	1	ディサービスぽぽたん				7	7	散策（ハンディキャブでの来林のため駐車許可証申請）	日帰り
153	9	2	一般社団法人養蜂文化情報ネットワーク				2	2	伐採木の再利用	日帰り
154	9	2	多摩六都科学館	2			115	117	小学生（西東京市立けやき小学校5年生）を対象とした野外観察プログラム（校外学習）の実施	日帰り
155	9	1	西東京市立けやき保育園	4			19	23	遠足	日帰り
156	9	1	演習林教育研究センター	2				2	田無演習林管理状況の視察（昭和大学案内）	日帰り
157	9	1	生態調和農学機構	1				1	教育用圃場の整備	日帰り
158	9	1	東大サークル「環境三四郎」		2			2	駒場キャンパス　紙プロジェクト（古紙再利用・うちわ製作）	日帰り
159	9	1	アジア生物資源環境研究センター	1				1	放棄アカマツ林の管理に向けた基礎研究	日帰り
160	9	1	演習林教育研究センター			1		1	フジの多重形成層の構造	日帰り
161	9	1	一般見学者				69	69	見学	日帰り
162	9	1	生態調和農学機構	1			4	5	農場博物館の運営を通じた農業技術史・農業教育史および社会連携の研究	日帰り
163	10	1	いであ株式会社				1	1	希少猛禽類の繁殖状況確認，希少植物の移植状況確認	日帰り
164	10	1	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	1				1	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
165	10	1	造林学研究室	2	14			16	造林学実験	日帰り
166	10	2	一般				2	2	樹木から発生する音の調査	日帰り
167	10	1	農地環境工学研究室			1		1	農地・林地の根圏下への窒素流出フラックスの測定	日帰り
168	10	2	造林学研究室	1		2		3	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
169	10	2	東大農場・演習林の存続を願う会				36	36	定例植物観察会，植物調査会	日帰り
170	10	2	東大農場・演習林の存続を願う会				26	26	動物調査会	日帰り
171	10	1	森林動物学研究室	1				1	マツ材線虫に係る生物の生態学的研究	日帰り
172	10	2	演習林教育研究センター	2				2	発芽しないエゾマツ充実種子の遺伝的要因の解明	日帰り
173	10	1	京都大学フィールド科学教育研究センター	1		1		2	火山灰土壌における森林生態系の土壌窒素動態の解明	日帰り
174	10	1	西東京市立住吉小学校	4			123	127	生活科見学	日帰り
175	10	3	西東京市立田無第二中学校				15	15	職場体験学習	日帰り
176	10	2	自由学園初等部	4			18	22	生活科見学	日帰り
177	10	1	ディサービスぽぽたん				9	9	散策（ハンディキャブでの来林のため駐車許可証申請）	日帰り
178	10	3	一般社団法人養蜂文化情報ネットワーク				3	3	伐採木の再利用	日帰り
179	10	1	国分寺にふるさとを作る会				12	12	散策	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
180	10	2	東久留米市立西中学校				4	4	職場体験学習	日帰り
181	10	1	一般				10	10	散策（障がい者同伴のため駐車許可証申請）	日帰り
182	10	1	西東京市立けやき保育園	4			19	23	遠足	日帰り
183	10	3	西東京市立ひばりが丘中学校				9	9	職場体験学習	日帰り
184	10	1	西東京市立田無保育園	3			22	25	遠足	日帰り
185	10	1	造林学研究室	1				1	造林学実験の学習材料準備	日帰り
186	10	2	演習林教育研究センター			2		2	フジの多重形成層の構造	日帰り
187	10	1	秩父演習林	3		6	1	10	森林生物機能学講義	日帰り
188	10	1	一般見学者	4			212	216	見学	日帰り
189	11	1	筑波大学菅平高原実験センター	1				1	モチノキタネオナガコバチ-寄生植物間相互作用の解明	日帰り
190	11	1	一般				1	1	樹木から発生する音の調査	日帰り
191	11	1	農地環境工学研究室			1		1	農地・林地の根圏下への窒素流出フラックスの測定	日帰り
192	11	3	造林学研究室	1		4		5	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
193	11	2	東大農場・演習林の存続を願う会				34	34	定例植物観察会，植物調査会	日帰り
194	11	1	東大農場・演習林の存続を願う会				5	5	動物調査会	日帰り
195	11	3	演習林教育研究センター	3				3	発芽しないエゾマツ充実種子の遺伝的要因の解明	日帰り
196	11	1	一般見学者				5	5	見学	日帰り
197	11	7	秩父演習林	7				7	スギ辺材腐朽発生に関わる生物学的環境要因の解明	日帰り
198	11	1	練馬区立関町リサイクルセンター				30	30	区民を対象とした自然観察会	日帰り
199	11	1	花緑倶楽部				20	20	散策	日帰り
200	11	3	演習林教育研究センター			3		3	フジの多重形成層の構造	日帰り
201	11	1	わーく！わかば				16	16	自然散策および自然風景の写真撮り	日帰り
202	11	1	西武学園文理小学校	7			73	80	校外学習	日帰り
203	11	1	ビーフェア田無保育園				42	42	散策	日帰り
204	11	1	清瀬市健康推進課健康づくり推進委員・ハイキング部会				88	88	散策	日帰り
205	11	1	一般				12	12	自然観察	日帰り
206	11	1	アジア生物資源環境研究センター	2 (1)		7 (7)		9 (8)	日本・アジア青少年サイエンス交流事業による演習林見学	日帰り
207	11	1	造林学研究室	1				1	造林学実験の実習材料準備（実習で使用するスギ苗の育成）	日帰り
208	11	1	一般見学者				117	117	見学	日帰り
209	11	1	田無演習林	7	3		62	72	第27回子ども樹木博士認定会	日帰り
210	11	1	一般見学者				181	181	見学	日帰り
211	11	1	野山歩きのフィールドノート				15	15	散策	日帰り
212	12	1	昆虫遺伝研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	日帰り
213	12	1	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	2				2	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
214	12	1	一般				1	1	樹木から発生する音の調査	日帰り
215	12	2	株式会社緑生研究所				4	4	希少猛禽類調査	日帰り
216	12	1	森林動物学研究室	1		2		3	科研「森林昆虫－共生微生物の共進化と温度反応及び気候変動から予測される動態予測」	日帰り
217	12	2	東大農場・演習林の存続を願う会				35	35	定例植物観察会，植物調査会	日帰り
218	12	2	東大農場・演習林の存続を願う会				13	13	動物調査会	日帰り
219	12	2	演習林教育研究センター	2				2	発芽しないエゾマツ充実種子の遺伝的要因の解明	日帰り

2015年度　全利用者（田無演習林）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
220	12	4	秩父演習林	4				4	スギ辺材腐朽発生に関わる生物学的環境要因の解明	日帰り
221	12	9	演習林教育研究センター			9		9	フジの多重形成層の構造	日帰り
222	12	1	森の仲間				30	30	見学，植物の観察，研究者による講義の受講	日帰り
223	12	1	シリブカガシ里親				3	3	ドングリ（シリブカガシ）の採集	日帰り
224	12	2	大気汚染測定運動西東京連絡会				2	2	大気汚染測定	日帰り
225	12	1	演習林教育研究センター	1				1	ポプラのさし木苗の根系機能評価法の開発	日帰り
226	12	1	田無演習林	7			4	11	教養学部全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	日帰り
227	12	1	NPO法人ワーカーズコープ				3	3	クリスマスリース素材の採集	日帰り
228	12	1	生態調和農学機構	1				1	東大職員組合のリース手作り講座の材料の採集	日帰り
229	12	1	一般見学者				298	298	見学	日帰り
230	12	1	田無演習林	26			9	35	リース・クラフト作り	日帰り
231	12	1	一般見学者				146	146	見学	日帰り
232	12	2	演習林教育研究センター			2 (2)		2 (2)	Sapflux density in Quercus serrata trunks after three levels of partial sapwood removal simulating the Japanese oak wilt	日帰り
233	1	1	一般				1	1	樹木から発生する音の調査	日帰り
234	1	1	農地環境工学研究室	1		1		2	農地・林地の根圏下への窒素流出フラックスの測定	日帰り
235	1	2	株式会社緑生研究所				4	4	希少猛禽類調査	日帰り
236	1	2	東大農場・演習林の存続を願う会				27	27	定例植物観察会，植物調査会	日帰り
237	1	2	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物調査会	日帰り
238	1	2	演習林教育研究センター	2				2	発芽しないエゾマツ充実種子の遺伝的要因の解明	日帰り
239	1	4	秩父演習林	4				4	スギ辺材腐朽発生に関わる生物学的環境要因の解明	日帰り
240	1	3	演習林教育研究センター			3		3	フジの多重形成層の構造	日帰り
241	1	1	田無演習林	9	24			33	教養学部全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	日帰り
242	1	1	演習林教育研究センター	2	11			13	「森林遺伝育林学」Wターム（2単位）の現地講義	日帰り
243	1	3	東久留米市立南中学校				6	6	職場体験学習	日帰り
244	1	1	（株）三洋コンサルタント				7	7	東京都環境局委託　カラスの調査	日帰り
245	1	1	東大生態調和農学機構社会連携協議会	5			26	31	東大生態調和農学機構社会連携協議会公開講座	日帰り
246	1	1	一般見学者				89	89	見学	日帰り
247	1	1	たなし3・4・7を考える会				20	20	西東京市公民館市民企画事業「東大演習林と私たちの生活」	日帰り
248	2	1	昆虫遺伝研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	日帰り
249	2	1	いであ株式会社				1	1	希少猛禽類の繁殖状況確認，希少植物の移植状況確認	日帰り
250	2	1	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	2				2	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
251	2	1	一般				1	1	樹木から発生する音の調査	日帰り
252	2	1	株式会社緑生研究所				2	2	希少猛禽類調査	日帰り
253	2	3	東大農場・演習林の存続を願う会				38	38	定例植物観察会，植物調査会	日帰り
254	2	1	東大農場・演習林の存続を願う会				7	7	動物調査会	日帰り
255	2	1	秩父演習林	1				1	スギ辺材腐朽発生に関わる生物学的環境要因の解明	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
256	2	3	(株)環境トリニティ				5	5	東京都建設局北多摩南建設事務所委託による希少猛禽類の調査	日帰り
257	2	1	製紙科学研究室	1				1	樹木における二酸化炭素同化産物の輸送と材形成に関する研究	日帰り
258	2	1	宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター	1 (1)				1 (1)	樹木が生産するストリゴラクトンの探索	日帰り
259	2	1	生態調和農学機構	3				3	ハス見本園の整備のための伐採済みのモウソウチクの分譲	日帰り
260	2	1	一般見学者				70	70	見学	日帰り
261	3	1	いであ株式会社				1	1	希少猛禽類の繁殖状況確認，希少植物の移植状況確認	日帰り
262	3	1	株式会社緑生研究所				2	2	希少猛禽類調査	日帰り
263	3	1	一般				1	1	陶芸家，釉薬の材料として，伐採したシラカシの提供	日帰り
264	3	2	東大農場・演習林の存続を願う会				35	35	定例植物観察会，植物調査会	日帰り
265	3	1	西東京市立田無保育園	3			18	21	散策	日帰り
266	3	1	西東京市立西原保育園	3			19	22	散策	日帰り
267	3	2	秩父演習林	2				2	スギ辺材腐朽発生に関わる生物学的環境要因の解明	日帰り
268	3	2	演習林教育研究センター			2		2	フジの多重形成層の構造	日帰り
269	3	1	演習林教育研究センター	1				1	ポプラのさし木苗の根系機能評価法の開発	日帰り
270	3	7	(株)環境トリニティ				14	14	東京都建設局北多摩南建設事務所委託による希少猛禽類の調査	日帰り
271	3	1	田無演習林	1			2	3	廃棄用枝の分譲	日帰り
272	3	1	田無ひまわり保育園	5			21	26	散策	日帰り
273	3	1	北多摩自然環境連絡会				20	20	見学(「多摩ライフ」20周年記念活動)	日帰り
274	3	1	みどりめぐり隊				22	22	見学	日帰り
275	3	1	秩父演習林	1				1	シラカシの材腐朽に関わる菌類群集の研究	日帰り
276	3	1	森林植物学研究室	1				1	高級菌根性きのこの栽培技術の開発	日帰り
277	3	1	一般見学者				137	137	見学	日帰り
278	3	1	教育研究センター	1				1	高所作業車による作業の視察	日帰り
279	3	1	田無演習林	4				4	重機類の整備・調整(講師・牧場・技術専門職員)	日帰り
280	3	1	田無演習林	4				4	GIS講習会(講師・北海道演習林技術専門職員)	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す　　利用者数合計　5484
利用件数　280

2015年度　全利用者（生態水文学研究所）

演習林名：生態水文学研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	21	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所	21				21	生態水文学研究所における研究に従事するため	日帰り1
2	4	2	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			2		2	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
3	4	4	犬山研究林利用者協議会	4			20	24	ギフチョウ生態観測及びふれあい観察会散策路整備	日帰り1
4	4	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会　定例会	日帰り1
5	4	9	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　教育研究センター			9 (9)		9 (9)	博士論文のデータ収集，樹液流センサー作成	赤津宿泊施設2
6	4	2	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野	1		4		5	今年度の調査計画立案のための現地視察	日帰り1
7	4	1	犬山研究林利用者協議会				9	9	ふれあいゾーン自然観察会	日帰り1
8	4	2	公益社団法人　日本山岳会　猿投の森づくりの会				64	64	公益社団法人　日本山岳会 森づくり連絡協議会の開催	日帰り1
9	4	1	シデコブシの会				27	27	シデコブシの会　GPS講習会と総会	日帰り1
10	4	1	猿投の森づくりの会				7	7	伐倒木の集積	日帰り1
11	4	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	犬山市主催「春のふれあい自然観察会」案内人対応	日帰り1
12	4	1	犬山市生活環境部公園緑地課	2			18	20	犬山の森「春のふれあい自然観察会」のため	日帰り1
13	5	3	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室	2		1		3	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	日帰り1
14	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所	5	10	6 (1)	16	37 (1)	平成27年度利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会	日帰り1
15	5	1	生活協同組合コープあいち				8	8	森づくりの会　森の観察会　植生調査　記録	日帰り1
16	5	4	犬山研究林利用者協議会				23	23	定例自主活動（自然観察と歩道整備）	日帰り1
17	5	5	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　教育研究センター			5 (5)		5 (5)	博士論文のデータ収集　樹幹流センサー作成	赤津宿泊施設2
18	5	1	シデコブシの会				10	10	シデコブシの会　定例会	日帰り1
19	5	1	猿投の森づくりの会				7	7	伐倒木集材	日帰り1
20	5	1	シデコブシの会				5	5	愛知中部水道企業団「水とふれあう親子ツアー」打合せ	日帰り1
21	5	2	南山大学総合政策学部	6	34 (16)			40 (16)	総合政策学部学外体験プログラムA	赤津宿泊施設2
22	5	1	シデコブシの会				10	10	シデコブシの会　スキルアップ講習会「植物編」	日帰り1
23	5	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			2		2	枯死木を利用する菌類と昆虫の生態解明	日帰り1
24	5	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野	1		2		3	葉を変形させる昆虫と菌類の生態解明	赤津宿泊施設2
25	5	18	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所	18				18	生態水文学研究所における研究に従事するため	日帰り1
26	6	6	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			6		6	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
27	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科　森林科学専攻・森林植物学研究室	1				1	高級菌根性きのこ栽培技術の開発	日帰り1
28	6	1	シデコブシの会				9	9	シデコブシの会　定例会	日帰り1

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
29	6	3	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野	3		6		9	葉を変形させる昆虫と菌類の生態解明	日帰り1
30	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所	6	42	42		90	2015年度「ダムと森林」フィールドワーク	赤津宿泊施設2
31	6	1	一般				2	2	赤津研究林見学	日帰り1
32	6	1	名古梶村恒屋大学大学院生命農学研究科森林保護学研究分野	1		2		3	枯死木を利用する菌類と昆虫の生態解明	日帰り1
33	6	2	犬山研究林利用者協議会				13	13	定例自主活動（自然観察と歩道整備）	日帰り1
34	6	1	豊田森林組合　総務課とよた森林学校事務局				48	48	とよた森林学校　森林セミナー	日帰り1
35	6	1	シデコブシの会				7	7	とよた森林学校　森林セミナーイベント補助	日帰り1
36	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科　森林科学専攻・森林理水および砂防工学研究室	4	27	8		39	森林保全学実習	赤津宿泊施設2
37	6	1	雑木林研究会	2			12	14	雑木林研究会　研修ツアー	日帰り1
38	6	1	シデコブシの会				2	2	雑木林研究会　研修ツアー　案内補助	日帰り1
39	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　教育研究センター	1		2 (2)		3 (2)	博士論文の相談，樹液流計測	赤津宿泊施設2
40	6	22	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所	22				22	生態水文学研究所における研究に従事するため	日帰り1
41	7	5	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　教育研究センター			5 (5)		5 (5)	博士論文の相談，樹液流計測	日帰り1
42	7	5	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			5		5	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	日帰り1
43	7	1	衆議院議員				3	3	赤津研究林の視察	日帰り1
44	7	1	シデコブシの会				9	9	シデコブシの会　定例会	日帰り1
45	7	2	名古梶村恒屋大学大学院生命農学研究科森林保護学研究分野			4		4	葉を変形させる昆虫と菌類の生態解明	日帰り1
46	7	2	シデコブシの会				37	37	平成27年度赤津研究林案内人養成講習	日帰り1
47	7	1	シデコブシの会				3	3	8/23地域環境活性化協議会「こども環境大学」事前打ち合わせ	日帰り1
48	7	2	犬山研究林利用者協議会				14	14	定例自主活動（自然観察と歩道整備）	日帰り1
49	7	1	名古屋大学地球水循環研究センター	4 (1)				4 (1)	生態水文学研究所内の気象・量水観測及び治山試験地の見学	
50	7	1	フォーラム東名21				23	23	県道の清掃	日帰り1
51	7	4	京都大学霊長類研究所　社会生態研究部門社会進化分野	4		4 (4)		8 (4)	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	日帰り1
52	7	5	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所	5 (5)	5			10 (5)	体験活動プログラム「森・水・土砂の長期モニタリング調査体験」	日帰り1
53	7	2	森林総合研究所　九州支所	2				2	ナラ枯れ故損木に発生するキノコバエ類の調査	赤津宿泊施設2
54	7	1	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			1		1	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2

2015年度　全利用者（生態水文学研究所）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
55	7	22	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所	22				22	生態水文学研究所における研究に従事するため	日帰り1
56	8	1	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			1		1	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	日帰り1
57	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　教育研究センター			4 (4)		4 (4)	博士論文の相談，樹液流計測	赤津宿泊施設2
58	8	1	シデコブシの会				5	5	イベント危険個所・用具確認	日帰り1
59	8	2	犬山研究林利用者協議会				11	11	定例自主活動（自然観察と歩道整備）	日帰り1
60	8	1	シデコブシの会				10	10	シデコブシの会　定例会	日帰り1
61	8	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			1		1	葉を変形させる昆虫と菌類の生態解明	日帰り1
62	8	1	一般				1	1	埋設木年輪年代同定	日帰り1
63	8	1	シデコブシの会				2	2	イベント事前準備	日帰り1
64	8	1	愛知中部水道企業団				49 (1)	49 (1)	「水」をテーマにした親子体験教室	日帰り1
65	8	1	猿投の森づくりの会				7	7	選木	日帰り1
66	8	1	尾張県民事務所環境保全課環境保全第二グループ				2	2	平成27年度地下水質測定調査の採水	
67	8	2	上越教育大学大学院学校教育研究科生活・健康系コース（技術）	8		6		14	中学校技術・家庭科における森林の育成から利用に至るまでの指導内容に関する研究	赤津宿泊施設2
68	8	2	矢作川水系森林ボランティア協議会	12			18	30	教員向け「子どもの森の健康診断」体験研修会	赤津宿泊施設2
69	8	1	シデコブシの会				2	2	イベント準備	日帰り1
70	8	1	地域環境活性化協議会				14	14	自然と水生昆虫観察体験学習	日帰り1
71	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科　森林科学専攻・森林理水および砂防工学研究室	15	25	5		45	測量学実習	赤津宿泊施設2
72	8	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			2		2	枯死木を利用する菌類と昆虫の生態解明	日帰り1
73	8	16	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所	16				16	生態水文学研究所における研究に従事するため	日帰り1
74	8	4	京都大学霊長類研究所　社会生態研究部門社会進化分野	4		4 (4)		8 (4)	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	日帰り1
75	8	5	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			6		6	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	日帰り1
76	9	19	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所	19				19	生態水文学研究所における研究に従事するため	
77	9	3	京都大学霊長類研究所　社会生態研究部門社会進化分野	3		3 (3)		6 (3)	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	日帰り1
78	9	2	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			2		2	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
79	9	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			2		2	枯死木を利用する菌類と昆虫の生態解明	日帰り1
80	9	3	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			3		3	葉を変形させる昆虫と菌類の生態解明	日帰り1

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
81	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科　森林科学専攻・森林植物学研究室	2				2	高級菌根性きのこ栽培技術の開発	日帰り1
82	9	5	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　教育研究センター			5 (5)		5 (5)	博士論文のデータ収集，樹液流センサー作成	赤津宿泊施設2
83	9	1	法政大学　文学部　地理学科	1				1	東海地方の湧水湿地目録作成（湧水湿地分布調査）	日帰り1
84	9	3	犬山研究林利用者協議会				21	21	定例自主活動（自然観察と歩道整備）	日帰り1
85	9	1	シデコブシの会				10	10	シデコブシの会　定例会	日帰り1
86	9	1	あいち海上の森センター				30	30	あいち海上の森大学講座	日帰り1
87	9	1	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			1		1	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
88	9	1	矢作川環境技術研究会				22	22	平成27年度矢作川の現状把握活動	日帰り1
89	10	2	名城大学　農学部　生物環境科学科　環境動物学研究室			2		2	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
90	10	5	京都大学霊長類研究所　社会生態研究部門社会進化分野	5		5 (5)		10 (5)	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	日帰り1
91	10	21	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所	21				21	生態水文学研究所における研究に従事するため	日帰り1
92	10	2	瀬戸市役所環境課				22	22	「せと環境塾2015」講座	日帰り1
93	10	1	矢田・庄内川をきれいにする会				14	14	矢田川源流の森林の歴史と今後の保全についての学習	日帰り1
94	10	1	シデコブシの会				10	10	シデコブシの会　定例会	日帰り1
95	10	2	犬山研究林利用者協議会				15	15	定例自主活動（自然観察と歩道整備）	日帰り1
96	10	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			1		1	葉を変形させる昆虫と菌類の生態解明	日帰り1
97	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　教育研究センター			2 (2)		2 (2)	博士論文のデータ収集，樹液流センサー作成	赤津宿泊施設2
98	10	1	シデコブシの会				13	13	獣調査のための準備会	日帰り1
99	10	1	猿投の森づくりの会				8	8	間伐	日帰り1
100	10	1	一般財団法人 日本森林林業振興会 グリーンサークル				25	25	森林・植物の観察	日帰り1
101	10	3	瀬戸市立幡山中学校				9	9	職場体験	日帰り1
102	10	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野		1	2		3	枯死木を利用する菌類と昆虫の生態解明	日帰り1
103	11	19	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所	19				19	生態水文学研究所における研究に従事するため	日帰り1
104	11	4	京都大学霊長類研究所　社会生態研究部門社会進化分野	4		4 (4)		8 (4)	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	日帰り1
105	11	1	岡崎市環境部環境総務課				15	15	岡崎市水循環推進協議会「緑のダム部会」における現地視察	日帰り1
106	11	3	犬山研究林利用者協議会				24	24	秋のふれあい自然観察会と事前準備活動（下見と歩道整備）	日帰り1
107	11	1	シデコブシの会				10	10	シデコブシの会　定例会	日帰り1
108	11	1	猿投の森づくりの会				8	8	間伐	日帰り1
109	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科　森林科学専攻・森林植物学研究室	2				2	高級菌根性きのこ栽培技術の開発	日帰り1

2015年度　全利用者（生態水文学研究所）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
110	11	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			1		1	葉を変形させる昆虫と菌類の生態解明	日帰り1
111	11	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			2		2	枯死木を利用する菌類と昆虫の生態解明	日帰り1
112	11	1	名古屋大学大学院生命農学研究科		36			36	生物環境科学基盤実験実習（名古屋大学農学部生物環境科学科2年次）	日帰り1
113	11	1	株式会社ダイヤコンサルタント				1	1	埋没木材を発生させた土砂移動現象の解明のための視察	日帰り1
114	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林 企画部	2				2	穴の宮量水堰堤上流部へのパーシャルフリューム設置作業	赤津宿泊施設2
115	11	1	犬山市生活環境部公園緑地課	2			20	22	「犬山の森」秋のふれあい自然観察会	日帰り1
116	12	19	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所	19				19	生態水文学研究所における研究に従事するため	日帰り1
117	12	4	京都大学霊長類研究所　社会生態研究部門社会進化分野	4		4 (4)		8 (4)	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	日帰り1
118	12	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			1		1	枯死木を利用する菌類と昆虫の生態解明	日帰り1
119	12	1	シデコブシの会				10	10	シデコブシの会　定例会	日帰り1
120	12	2	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			2		2	葉を変形させる昆虫と菌類の生態解明	日帰り1
121	12	1	愛知県立豊田西高等学校	2			2	4	高等学校科学部の個人研究指導（森林，砂防）	日帰り1
122	12	1	シデコブシの会				9	9	標石ツアー	日帰り1
123	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　教育研究センター			3 (3)		3 (3)	博士論文のデータ収集，樹液流センサー作成	赤津宿泊施設2
124	12	2	犬山研究林利用者協議会				13	13	歩道及び観察路整備と自然観察	日帰り1
125	12	1	猿投の森づくりの会				9	9	間伐	日帰り1
126	12	8	タイ王立灌漑局・水文水管理局水文部	8 (8)				8 (8)	研究の指導を受けるため	五位塚宿泊施設3
127	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所			3		3	大学院国際森林学特論集中講義	赤津宿泊施設2
128	1	4	京都大学霊長類研究所　社会生態研究部門社会進化分野	4		4 (4)		8 (4)	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	日帰り1
129	1	1	シデコブシの会				10	10	シデコブシの会　定例会	日帰り1
130	1	1	犬山研究林利用者協議会				8	8	湿地帯自然観察及びふれあいゾーン歩道整備	日帰り1
131	1	1	シデコブシの会				12	12	見学コース整備と近道確認	日帰り1
132	1	1	猿投の森づくりの会				9	9	間伐	日帰り1
133	1	1	名古屋大学大学院国際開発研究科国際開発専攻	3 (1)		2		5 (1)	国際開発研究の演習への演習林の活用の可能性の探求	日帰り1
134	1	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			1		1	葉を変形させる昆虫と菌類の生態解明	日帰り1
135	1	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			1		1	枯死木を利用する菌類と昆虫の生態解明	日帰り1
136	2	4	京都大学霊長類研究所　社会生態研究部門社会進化分野	4		4 (4)		8 (4)	犬山研究林周辺に生息する食肉類の採食生態に関する基礎研究	日帰り1
137	2	14	タイ王立灌漑局・水文水管理局水文部	14 (14)				14 (14)	研究の指導を受けるため	五位塚宿泊施設3
138	2	1	シデコブシの会				9	9	シデコブシの会　定例会	日帰り1

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
139	2	2	犬山研究林利用者協議会				20	20	湿地観察，ふれあいゾーン歩道整備及び「シデコブシの会」見学会	日帰り1
140	2	1	猿投の森づくりの会				9	9	間伐	日帰り1
141	2	1	シデコブシの会				2	2	シデコブシの会　木材販売作業（搬出）	日帰り1
142	2	1	シデコブシの会				7	7	犬山研究林観察会	日帰り1
143	2	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			1		1	枯死木を利用する菌類と昆虫の生態解明	日帰り1
144	2	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			1		1	葉を変形させる昆虫と菌類の生態解明	日帰り1
145	2	3	東京大学教養学部	20	58	44		122	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	
146	2	1	シデコブシの会				9	9	シデコブシの会　木材販売	
147	3	1	シデコブシの会				9	9	シデコブシの会　定例会	日帰り1
148	3	1	瀬戸市役所環境課	1			40	41	せと環境塾「里山学習講座～野生動物との共存を目指して～」	日帰り1
149	3	1	瀬戸市東明連区自治連合会				8	8	瀬戸設楽線沿線環境整備活動	日帰り1
150	3	2	犬山研究林利用者協議会				11	11	湿地観察，ふれあいゾーン歩道整備	日帰り1
151	3	1	猿投の森づくりの会				9	9	枝打ち	日帰り1
152	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科　附属演習林　生態水文学研究所			2		2	赤津研究林見学	日帰り1
153	3	1	瀬戸市役所環境課				40	40	せと環境塾「窯跡と埋没木から解く！中世の自然と歴史」	日帰り1
154	3	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			2		2	葉を変形させる昆虫と菌類の生態解明	日帰り1
155	3	1	名古屋大学大学院生命農学研究科　森林保護学研究分野			1		1	枯死木を利用する菌類と昆虫の生態解明	日帰り1

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計　1918
利用件数　155

2015年度　全利用者（富士癒しの森研究所）

演習林名：富士癒しの森研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	(国)物質・材料研究機構　材料信頼性評価ユニット　腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
2	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	エゾマツにおけるコンテナ苗と裸苗の活着比較	日帰り
3	4	1	渋谷区教育委員会事務局				4	4	渋谷区立小学校教職員が移動教室の実地踏査	日帰り
4	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	6			7	13	東大教職員特別ガイド「春の彩りを訪ねて」	日帰り
5	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所		2		11	13	薪原木販売会参加および見学	日帰り
6	4	1	NPO法人アースバウンダー				2	2	環境教育プログラム実施の下見	日帰り
7	5	1	NPO法人アースバウンダー				122	122	環境教育プログラムの実施	日帰り
8	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1	7			8	森林生態圏管理学特論	日帰り
9	5	1	(国)物質・材料研究機構　材料信頼性評価ユニット　腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
10	5	1	ドッグリゾート　ワフ	3			34	37	湖畔への通行	日帰り
11	5	1	ドッグリゾート　ワフ	3			35	38	湖畔への通行	外部宿泊施設
12	5	1	ドッグリゾート　ワフ	3			28	31	湖畔への通行	外部宿泊施設
13	5	1	西東京　自然を見つめる会				29	29	見学	日帰り
14	5	1	(国)物質・材料研究機構　材料信頼性評価ユニット　腐食研究グループ	4 (3)				4 (3)	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
15	5	1	渋谷区立上原小学校				31	31	自然観察	日帰り
16	5	1	山中湖村村長				13000	13000	第35回スポニチ山中湖ロードレース大会に伴う参加者の利用スペースとして	日帰り
17	5	1	一般				1	1	見学	日帰り
18	5	1	一般				1	1	見学	日帰り
19	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				4	4	実証林間伐材ほかの見学	日帰り
20	5	1	目黒星美学園小学校	3				3	6/24,25の活動の実地踏査	日帰り
21	6	1	ドッグリゾート　ワフ	3			50	53	湖畔への通行	日帰り
22	6	1	千葉演習林ボランティア会Abies	1			14	15	千葉演習林ボランティア会Abies研修会	日帰り
23	6	1	ドッグリゾート　ワフ	3			25	28	湖畔への通行	外部宿泊施設
24	6	1	ドッグリゾート　ワフ	3			37	40	湖畔への通行	日帰り
25	6	1	渋谷区立長谷戸小学校	4			25	29	山中湖畔の見学，散策	外部宿泊施設
26	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				20	20	薪原木販売会参加および見学	日帰り
27	6	2	東京大学赤津研究林サポーターズクラブ　シデコブシの会				10	10	東京大学富士癒しの森研究所研修会	外部宿泊施設
28	6	1	聖ヨゼフ学園小学校	10			59	69	散策・学年交流	日帰り
29	6	1	(国)物質・材料研究機構　材料信頼性評価ユニット　腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
30	6	1	NPO法人アースバウンダー				2	2	環境教育プログラムの実施の下見	日帰り
31	6	1	NPO法人アースバウンダー	6			116	122	環境教育プログラムの実施	日帰り
32	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻	8	40			48	フィールド科学専修森圏管理学実習	山中寮内藤セミナーハウス
33	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	4	2			6	国際開発農学専修「国際開発農学実験・個別実験」	富士山中宿泊施設
34	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	4 (2)	8	4 (2)		16 (4)	農学部4年「環境設計演習」における現地実習	富士山中宿泊施設
35	6	3	目黒星美学園小学校	30			348	378	教育活動	外部宿泊施設
36	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	8	8			16	全学体験ゼミナール「癒しの森を考える」の現地講義実施	富士山中宿泊施設
37	7	1	NPO法人アースバウンダー				3	3	環境教育プログラム実施の下見	日帰り
38	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2			1	3	森林散策	日帰り
39	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	ブナ伐採後にみられる萌芽性の産地間差に関する研究	日帰り
40	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	12	14			26	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る（夏）」の現地講義実施	山中寮内藤セミナーハウス
41	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	11 （11）			1	12 （11）	台湾大学演習林視察団による富士癒しの森研究所視察および意見交換	外部宿泊施設
42	7	1	（国）物質・材料研究機構　材料信頼性評価ユニット　腐食研究グループ	2				2	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
43	7	2	八幡幼稚園	36			136	172	夏期宿泊保育に伴い自然に触れる体験学習	外部宿泊施設
44	7	1	東京大学文学部日本史学科		5			5	馬術部夏季合宿下見	日帰り
45	7	1	（株）モデルランゲージスタジオ(MLS)	18			104	122	英会話学校の夏期研修　オリエンテーリング	外部宿泊施設
46	7	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	4		1	1	6	甲斐市立竜王小学校における実験授業実施に係る現地学習の下見	日帰り
47	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	2				2	国際開発農学専修「国際開発農学実験・個別実験」準備	日帰り
48	7	3	京都造形芸術大学　通信教育部芸術学部美術科		6			6	植物デッサン	富士山中宿泊施設
49	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	6	60	6		72	森林動物学実験	山中寮内藤セミナーハウス
50	8	1	カトリック赤堤教会　教会学校				28	28	休憩と見学	外部宿泊施設
51	8	5	森林圏生態社会学研究室			5		5	山中湖周辺に住む人々の聞き取り調査	富士山中宿泊施設
52	8	17	教養学部認知行動科学コース		544			544	馬術部合宿	山中寮内藤セミナーハウス
53	8	1	（国）物質・材料研究機構　材料信頼性評価ユニット　腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り

2015年度　全利用者（富士癒しの森研究所）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
54	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	林内見学及び研究打ち合せ	日帰り
55	8	1	スニッファードッグカンパニー				2	2	捜索救助犬認定準備のため現地確認	日帰り
56	8	2	台湾林務局				16 (16)	16 (16)	森林セラピーの見学	日帰り
57	9	1	一般				2	2	見学	日帰り
58	9	1	昭和大学富士吉田教育部生物学教室	1				1	他種スズメバチに社会寄生するチャイロスズメバチの山梨県内における分布域の解明	日帰り
59	9	1	地球温暖化観測推進事務局・環境省・気象庁	1				1	演習林の共同利用に関する調査	日帰り
60	9	5	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻	80	260	20		360	工学部社会基盤学科の必修授業「フィールド演習」の対象地として利用	山中寮内藤セミナーハウス
61	9	1	(株)シュリンクス				2	2	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
62	9	1	渋谷区立常磐松小学校	5			15	20	自然観察	日帰り
63	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				20	20	第1回「癒しの森の植生調査隊」	日帰り
64	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	36				36	国立歴史民俗博物館共同研究会の見学案内	日帰り
65	9	1	昭和大学富士吉田教育部生物学教室	1				1	他種スズメバチに社会寄生するチャイロスズメバチの山梨県内における分布域の解明	日帰り
66	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	8	6			14	国際開発農学専修「国際開発農学実験・個別実験」	富士山中宿泊施設
67	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				7	7	第1回「癒しの森の植生調査隊」	日帰り
68	9	5	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻自然環境形成学分野	20		85		105	大学院講義「自然環境デザインスタジオ」	山中寮内藤セミナーハウス
69	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	タマゴタケの繁殖様式に関する研究	日帰り
70	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	2				2	マツの材線虫病に関する研究	日帰り
71	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	19			18	37	東大職員特別ガイド「キノコに親しむ」	日帰り
72	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				14	14	クロスズメバチ類のサンプリング	富士山中宿泊施設
73	10	1	昭和大学富士吉田教育部生物学教室	1				1	他種スズメバチに社会寄生するチャイロスズメバチの山梨県内における分布域の解明	日帰り
74	10	1	スニッファードッグカンパニー				10 (4)	10 (4)	捜索救助犬認定試験準備のため	外部宿泊施設
75	10	1	スニッファードッグカンパニー				30 (4)	30 (4)	捜索救助犬認定試験のため	外部宿泊施設
76	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	10	48			58	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	山中寮内藤セミナーハウス

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
77	10	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科	4		4 (2)		8 (2)	インターネット森林観察サイトの拡充による自然観察授業案の開発「森からみえる」（竜王小学校）実践授業の準備とデータ収集	外部宿泊施設
78	10	1	聖ヨゼフ学園小学校	5			53	58	体験学習　グループ活動	日帰り
79	10	1	(国)物質・材料研究機構　材料信頼性評価ユニット　腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
80	10	1	一般				5	5	フットパス体験	日帰り
81	10	1	NPO法人アースバウンダー	3			97	100	自然散策，ネイチャーゲ-ム	日帰り
82	10	1	工学系研究科　修了生				1	1	官舎改修工事見学	日帰り
83	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	12 (12)				12 (12)	ソウル大学演習林視察	日帰り
84	10	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	6			66	72	インターネット森林観察サイトの拡充による自然観察授業案の開発「森からみえる」（竜王小学校）実践授業	日帰り
85	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	34				34	平成27年度技術職員等試験研究・研修会議	山中寮内藤セミナーハウス
86	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	21				21	実務研修	山中寮内藤セミナーハウス
87	11	1	NPO法人アースバウンダー				5	5	来年のプログラムの下見	日帰り
88	11	1	東京農業大学国際食料情報学部	1			1	2	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
89	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			3		3	薪入手方法と意識の特性の把握	外部宿泊施設
90	11	1	(株)シュリンクス				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
91	11	1	アジア生物資源環境研究センター・地域資源評価研究室	8 (1)		3 (3)	5 (5)	16 (9)	JSTさくらサイエンスプログラム（アジアの青年との科学における交流）での見学	外部宿泊施設
92	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	6		1		7	森林圏生態社会学研究室による林内視察	日帰り
93	11	2	富士癒しの森研究所(農学生命科学研究科技術部機械グループ)	18				18	小規模施設の機械総点検，アフターケア（点検，修理）	山中寮内藤セミナーハウス
94	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	エゾマツにおけるコンテナ苗と裸苗の活着比較	日帰り
95	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	10	20			30	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る（冬）」	山中寮内藤セミナーハウス
96	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				20	20	木材搬出作業会	日帰り
97	12	1	一般				5	5	散策	日帰り
98	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	4	12			16	全学体験ゼミナール「森林の魅力をマッピング～GPSを使ったオリジナル地図つくり」	日帰り
99	12	1	(株)シュリンクス				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
100	12	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り
101	12	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り
102	12	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り
103	12	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り

2015年度　全利用者（富士癒しの森研究所）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
104	12	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り
105	12	1	神奈川県立生命の星・地球博物館				1	1	演習林内における菌類調査の下見	日帰り
106	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				6	6	木材搬出作業会	日帰り
107	12	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り
108	12	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り
109	12	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り
110	12	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り
111	12	2	国立研究開発法人森林総合研究所環境計画研究室	2				2	森林の癒しの利用に関する意見交換，森林管理方法等の見学，及び，癒しの森プログラム	山中寮内藤セミナーハウス
112	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	6	8			14	学生の体験活動プログラム「癒しの森の森林管理」	山中寮内藤セミナーハウス
113	12	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り
114	1	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	4				4	LTERの樹木番号札付け替え	外部宿泊施設
115	1	1	東京農業大学国際食料情報学部	2				2	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
116	1	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	9	60			69	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」の現地講義実施	富士山中宿泊施設
117	1	1	ガールスカウト　ほほえみの会				4	4	散策　現地下見	日帰り
118	1	1	(国)物質・材料研究機構　材料信頼性評価ユニット　腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
119	2	1	東京農業大学　地域環境科学部　森林総合科学科　治山・緑化工学研究室	1		6		7	老齢カラマツ人工林の見学	日帰り
120	2	1	第一測量				2	2	東京電力による電線下　伐採申請業務のため	日帰り
121	2	1	第一測量				2	2	東京電力による電線下　伐採申請業務のため	日帰り
122	2	1	(国)物質・材料研究機構　材料信頼性評価ユニット　腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
123	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	9			8	17	東大教職員特別ガイド「冬のさんぽみち」	日帰り
124	2	1	第一測量				2	2	東京電力による(伐採・供給)申請業務のため　現地調査及び申請箇所部分の現地測量(平面測量)	日帰り
125	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			2		2	地域社会における木質エネルギー利用の意義についての研究を行うため	外部宿泊施設
126	3	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り
127	3	1	(国)物質・材料研究機構　材料信頼性評価ユニット　腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
128	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	22	13	4		39	大学間里山交流会	山中寮内藤セミナーハウス
129	3	1	一般				3	3	薪原木搬出	日帰り
130	3	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り
131	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				2	2	看板作成用の木材の採材・加工	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
132	3	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り
133	3	1	一般				2	2	薪原木搬出	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計　3596
ロードレース13000人を除く
利用件数　133

2015年度　全利用者（樹芸研究所）

演習林名：樹芸研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	メリーチョコレート				1	1	温室カカオ見学	日帰り
2	4	1	一般				10	10	温室植物見学	日帰り
3	4	1	浦和実業学園高校	2			32	34	熱帯植物の見学	日帰り
4	4	1	一般				21	21	温室植物見学	日帰り
5	4	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
6	4	1	一般				6	6	温室植物見学	日帰り
7	5	1	メリーチョコレート				1	1	バニラ交配	日帰り
8	5	1	メリーチョコレート				1	1	バニラ交配	日帰り
9	5	1	メリーチョコレート				1	1	バニラ交配	日帰り
10	5	1	メリーチョコレート				1	1	バニラ交配	日帰り
11	5	1	メリーチョコレート				1	1	バニラ交配	日帰り
12	5	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
13	5	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
14	5	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
15	5	1	一般				3	3	温室植物見学	日帰り
16	5	4	大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	4				4	演習林基盤データ昆虫部門調査	スポーティア下賀茂
17	6	2	大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	2			4	6	新たな合成方法によるカシノナガキクイムシの合成フェロモンの誘引効力の検証	加納事務所休憩施設
18	6	1	静岡県賀茂農林事務所				7	7	施設見学	日帰り
19	6	1	メリーチョコレート				1	1	カカオ採取	日帰り
20	6	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1			1	2	新たな合成方法によるカシノナガキクイムシの合成フェロモンの誘引効力の検証	日帰り
21	6	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	山地河道の水理特性解明のための調査	日帰り
22	6	1	山形大学　理学部　物質生命化学科	1				1	パラゴムノキのカルス誘導研究	日帰り
23	6	1	いしい林業				1	1	ユーカリ苗木の提供	日帰り
24	6	1	メリーチョコレート				3	3	カカオ共同研究打ち合わせ	日帰り
25	7	2	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科	1	2			3	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	日帰り
26	7	1	静岡県自然環境保護調査委員会菌類部				5	5	静岡県生物多様性地域戦略策定のための現地調査	日帰り
27	7	4	大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	4				4	演習林基盤データ昆虫部門調査	外部施設泊
28	7	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林				2	2	新たな合成方法によるカシノナガキクイムシの合成フェロモンの誘引効力の検証	日帰り
29	7	1	静岡県自然環境保護調査委員会菌類部				5	5	静岡県生物多様性地域戦略策定のための現地調査	日帰り
30	7	2	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科		2			2	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	外部施設泊
31	7	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
32	8	5	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		105			105	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・1」	スポーティア下賀茂
33	8	4	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		4			4	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	スポーティア下賀茂
34	8	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	山地河道の水理特性解明のための調査	日帰り
35	8	1	静岡県自然環境保護調査委員会菌類部				5	5	静岡県生物多様性地域戦略策定のための現地調査	日帰り
36	8	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
37	8	5	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		13			13	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
38	8	4	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		64			64	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・2」	スポーティア下賀茂

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
39	9	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		3			3	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	
40	9	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		16			16	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・2」	
41	9	4	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	12	68			80	森林実習	スポーティア下賀茂
42	9	1	大学院新領域創成科自然環境学専攻	1		1		2	カシ類の葉内内生菌相の調査	日帰り
43	9	2	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科		2			2	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	外部施設泊
44	9	2	大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2			2	4	演習林基盤データ昆虫部門調査	外部施設泊
45	9	1	岐阜県立森林文化アカデミー山村づくり講座	5	15			20	クスノキ人工林見学研修	日帰り
46	9	3	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		12			12	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・3」	加納事務所休憩施設
47	9	3	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		18			18	体験活動プログラム	加納事務所休憩施設
48	10	2	静岡県自然環境保護調査委員会菌類部				26	26	静岡県生物多様性地域戦略策定のための現地調査	外部施設泊
49	10	2	一般				2	2	水生昆虫（トンボ幼虫）の調査・研究	日帰り
50	10	1	一般				3	3	温室植物見学	日帰り
51	10	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	山地河道の水理特性解明のための調査	日帰り
52	10	1	一般				19	19	温室植物見学	日帰り
53	10	1	一般				17	17	温室植物見学	日帰り
54	11	1	一般				9	9	温室植物見学	日帰り
55	11	1	（有）山村木材				1	1	早生樹植林計画に関するユーカリ林見学	日帰り
56	11	1	一般				5	5	狩猟	日帰り
57	11	3	一般				15	15	狩猟	日帰り
58	11	1	伝統工芸木炭生産技術保存会				4	4	工芸用研磨木炭（駿河炭）原木，アブラギリに関する調査研究	日帰り
59	11	1	一般				5	5	狩猟	日帰り
60	11	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所				13	13	公開講座「林業遺産・岩樟園クスノキ林見学会」	日帰り
61	11	1	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科	2	1			3	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	日帰り
62	12	1	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科		1			1	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	日帰り
63	12	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
64	12	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
65	12	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
66	12	1	一般				5	5	温室植物見学	日帰り
67	12	1	森林総合研究所林木育種センター遺伝資源部探索収集課	2				2	コウヨウザンの植栽木の成長の様子の見学	日帰り
68	12	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
69	12	2	大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	2				2	4-5林班長期生態系プロットにおけるカシナガ穿入調査	外部施設泊
70	12	1	大学院新領域創成科自然環境学専攻	1	1			2	カシ類の葉内内生菌相の調査	日帰り
71	12	1	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科		2			2	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	日帰り
72	12	2	一般				10	10	狩猟	日帰り

2015年度　全利用者（樹芸研究所）

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
73	12	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
74	1	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
75	1	2	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科		2			2	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	外部施設泊
76	1	3	一般				15	15	狩猟	日帰り
77	1	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
78	1	3	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		15			15	体験活動プログラム	加納事務所休憩施設
79	1	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
80	1	5	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		65 (5)			65 (5)	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ熱帯植物編」	スポーティア下賀茂
81	1	1	一般				5	5	狩猟	日帰り
82	1	6	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		12			12	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
83	2	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
84	2	5	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		95			95	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	スポーティア下賀茂
85	2	1	一般				4	4	温室植物見学	日帰り
86	2	1	一般				5	5	狩猟	日帰り
87	2	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
88	2	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
89	2	5	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		69			69	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	スポーティア下賀茂
90	2	1	一般		1			1	温室植物見学	日帰り
91	2	6	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		12			12	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
92	2	6	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		12			12	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	加納事務所休憩施設
93	3	6	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		48			48	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	加納事務所休憩施設
94	3	1	一般				4	4	温室植物見学	日帰り
95	3	1	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科		2			2	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	日帰り
96	3	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	2		1	20	23	公開講座「チョコレートつくりを体験しよう」	日帰り
97	3	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計　1107
利用件数　97

■各演習林所在地および連絡先■

企画部・教育研究センター
〒113-8657
東京都文京区弥生1-1-1
電話 03-5841-5497　FAX　03-5841-5494

千葉演習林
〒299-5503
千葉県鴨川市天津770
電話 04-7094-0621
FAX 04-7094-2321

清澄作業所
〒299-5505
千葉県鴨川市清澄135
電話 04-7094-0585

札郷作業所
〒292-0537
千葉県君津市黄和田畑字前沢1442-1
電話 0439-39-3122

郷台作業所
〒292-0533
千葉県君津市折木沢字相ノ沢
電話 0439-39-3121

北海道演習林
〒079-1563
北海道富良野市山部東町9番61号
電話 0167-42-2111
FAX 0167-42-2689

山部樹木園
〒079-1582
北海道富良野市字山部第一苗圃
電話 0167-39-6017

セミナーハウス
〒076-0161
北海道富良野市字麓郷市街地1
電話 080-6066-8234

田無演習林
〒188-0002
東京都西東京市緑町1-1-8
電話 042-461-1528
FAX 042-461-2302

秩父演習林
〒368-0034
埼玉県秩父市日野田町1-1-49
電話 0494-22-0272
FAX 0494-23-9620

栃本作業所
〒369-1901
埼玉県秩父市大滝3450-2
電話0494-55-0355
FAX 0494-55-0355

大血川作業所
〒369-1907
埼玉県秩父市大滝5198
電話0494-54-1220

影森苗畑
〒369-1871
埼玉県秩父市大字下影森764
電話0494-23-9768

生態水文学研究所
〒489-0031
愛知県瀬戸市五位塚町11-44
電話 0561-82-2371
FAX 0561-85-2838

赤津作業所
〒489-0014
愛知県瀬戸市北白坂町1-1
電話0561-21-1185

犬山作業所
〒484-0094
愛知県犬山市塔野地字大畔178-2

富士癒しの森研究所
〒401-0501
山梨県南都留郡山中湖村山中341-2
電話 0555-62-0012
FAX 0555-62-4798

樹芸研究所
〒415-0304
静岡県賀茂郡南伊豆町加納457
電話 0558-62-0021
FAX 0558-62-3170

青野作業所
〒415-0327
静岡県賀茂郡南伊豆町青野851
電話0558-62-0254

演習林年報

平成28年７月６日

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
文京区弥生１丁目１番１号

印刷・製本　明誠企画株式会社